



DS-1760WN

ユーザーズガイド

本製品の特長

スキャナーの基本情報

セットできる原稿とセット方法

スキャン

メンテナンス

困ったときは

管理者向け情報

目次

マニュアルの見方	6
マニュアルの種類と内容	7
マークの意味	7
マニュアル記載の前提	7
OS表記の仕方	7
マニュアルのご注意	8
商標	8

製品のご注意	10
インターネットへの接続に関するご注意	11
本製品の不具合に起因する付随的損害	11
電波に関するご注意	11
無線LAN (Wi-Fi) 機能に関するご注意	12
セキュリティに関するご注意	12
本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意	12
本製品の使用限定	13
本製品の譲渡と廃棄	13
管理者パスワードに関するご注意	13
管理者パスワードの初期値	13
管理者パスワードの入力が必要な操作	13
管理者パスワードの変更	14
管理者パスワードの初期化	14

本製品の特長	15
複数枚の自動切り出し	16
様々な原稿をスキャン可能	16
タッチパネルの操作だけでスキャンデータを 送信可能 (スキャン to機能)	17
原稿のダメージを抑える原稿保護機能	18
ADF汚れのお知らせ機能	19

スキャナーの基本情報	20
各部の名称と働き	21
USBドライブの挿入と取り出し	22
USBドライブを挿入する	22
USBドライブの取り外し	23

操作パネル	23
ボタンとランプ	23
画面の見方と使い方	24
お気に入りの登録する	28
製品の管理者パスワード	30
管理者パスワードの初期値	30
管理者パスワードの入力が必要な操作	30
管理者パスワードの変更	31
管理者パスワードの初期化	31
ソフトウェアの紹介	31
書類をスキャンするソフトウェア (Document Capture Pro / Document Capture)	31
スキャナーを制御するソフトウェア (Epson Scan 2)	32
スマートデバイスからスキャンするアプリケー ション (Epson Smart Panel)	33
ソフトウェアやファームウェアを更新するソフ トウェア (EPSON Software Updater)	33
スキャナーを設定するソフトウェア (Web Config)	33
ネットワーク上のデバイスを設定するソフト ウェア (EpsonNet Config)	35
ネットワーク上のデバイスを管理するソフト ウェア (Epson Device Admin)	36
ドライバパッケージを作成するソフトウェア (EpsonNet SetupManager)	36
オプションと消耗品の紹介	36
クリーニングキットの型番	36

セットできる原稿とセット方法 37

ADFに原稿をセットする	38
セットできる原稿の基本仕様 (ADF)	38
注意が必要な原稿 (ADF)	38
スキャンできない原稿 (ADF)	39
原稿の仕様とセット方法 (ADF)	40
原稿台に原稿をセットする	51
原稿をセットする	52
厚みのある原稿をセットする	53
複数枚の原稿を一度にセットする	55
IDカードをセットする	57
一度のスキャンでADFと原稿台を組み合わせ て使う	60

スキャン64

操作パネルからスキャンする	65
コンピューターに保存	65
ネットワークフォルダーに保存	67
メールに添付して送付	73
クラウドに転送	80
USBドライブに保存	86
機能と設定の組み合わせ	91
お気に入りの登録内容でスキャンする	93
コンピューターからスキャンする	94
Document Capture Proでスキャンする (Windows)	94
Document Captureでスキャンする (Mac OS)	100
Epson Scan 2でスキャンする	106
ソフトウェアの画質調整機能	111
AirPrintを使う	111
Chromebookを使ってスキャンする	111
ジョブを登録する	112
ジョブを作成し、操作パネルに割り当てる (Windows)	112
ジョブを作成、登録する (Mac OS)	112
操作パネルにジョブを割り当てる (Mac OS) ..	113
e-文書法および電子帳簿保存法に適合したス キャン	113
スマートデバイスからスキャンする	114
Epson Smart Panelでスキャンする	114
Mopria Scanでスキャンする	115

スキャンに必要な設定 116

スキャナーをネットワークに接続する	117
操作パネルから無線LAN (Wi-Fi) 接続する ..	117
操作パネルからのスキャン (スキャン to機 能) を設定する	117
ネットワークフォルダーを作成する	118
メールサーバーを登録する	125
メールサーバーとの接続を確認する	127
アドレス帳に宛先を登録する	128
登録ツールによる機能差	129
宛先を登録する	129
Web Configで宛先をグループに登録する	133
アドレス帳のエクスポートとインポート	134
AirPrintを設定する	137
Epson Connectを設定する	137
Web Configにユーザー定義サイズを登録す る	138

設定メニューの説明 139

起動画面	140
基本設定	140
画面の明るさ設定	140
音の設定	140
スリープ移行時間設定	140
自動電源オフ	140
日付/時刻設定	140
言語選択/Language	140
無操作タイムアウト	141
コンピューターのUSB接続	141
USBドライブ	141
スキャン動作設定	141
ユーザー設定	142
ネットワーク設定	142
無線LAN接続設定	142
有線LAN接続設定:	143
ネットワーク情報	143
詳細設定	143
Webサービス設定	143
アドレス帳管理	144
管理者用設定	144
アドレス帳管理	144
管理者設定	144
パスワード暗号化	144
起動時のプログラム検証:	144
お客様利用情報	144
購入時の設定に戻す	145
ファームウェアのアップデート:	145
機器情報	145
スキャナーのお手入れ	146
定期清掃通知設定	146

便利な機能 147

ガラス面汚れ検知機能を設定する	148
原稿保護機能を設定する	149

メンテナンス 151

スキャナーの外部をクリーニングする	152
ADFをクリーニングする	152
ADFのクリーニング (定期清掃) の後、スキャ ン枚数をリセットする	156
原稿台をクリーニングする	157

省電力設定をする	159
使用できる省電力機能	159
スキャナーを輸送する	160
ソフトウェアやファームウェアを更新する	160
操作パネルを使ってスキャナーのファームウェアを更新する	161
Web Configでファームウェアをアップデートする	162
スキャナーをインターネットに接続しないでファームウェアをアップデートする	162

困ったときは 163

スキャナー本体のトラブル	164
操作パネルのエラーメッセージを確認する	164
クリーニング（定期清掃）を案内するメッセージが表示された	165
スキャナーの電源が入らない	165
スキャナーの電源が切れる	165
ソフトウェアの接続が解除される	166
管理者パスワードを忘れた	166
ネットワークスキャンを設定するときのトラブル	166
トラブルを解決するための糸口	166
Web Configにアクセスできない	167
Epson Connectを設定できない	168
スキャンを開始するときのトラブル	169
コンピューターからスキャンできない	169
スマートデバイスからスキャンできない	175
操作パネルから共有フォルダーにスキャンできない	177
操作パネルからクラウドにスキャンできない	179
スキャンした画像をメールで送信できない	179
給紙のトラブル	180
複数枚の原稿が一度に給紙される（重送）	180
詰まった原稿を取り除く	180
紙詰まり・給紙異常・原稿保護が頻繁に発生する	185
原稿保護が正しく動作しない	187
原稿が揃って排紙されない	187
原稿が汚れる	187
連続スキャン中にスキャン速度が極端に遅くなった	187
スキャンに時間がかかる	188
スキャン品質のトラブル	188
原稿台からスキャンするとき、色ムラ、汚れ、点などが現れる	188
ADFでスキャンした画像に線（スジ）が現れる	188
スキャナー内部の汚れの通知が消えない	189
ADFでスキャンした画像に濃淡のムラが出る	189
ADFからスキャンした文字がつぶれる、ぼやける、ガタガタになる	189

ADFでスキャンした画像が伸びる、縮む	189
原稿の裏面が写る	190
スキャンした文字や画像が欠ける・ぼやける	191
モアレ（網目状の陰影）が現れる	191
原稿台で正しい範囲でスキャンできない	191
複数枚の原稿を一度にスキャンできない	193
原稿サイズを自動検知するときに原稿の端がスキャンされない	193
文字が正しく認識されない	194
冊子の綴じ部がゆがむ、ぼやける	194
スキャン品質のトラブルが解決しないときは	195

Document Capture Proのトラブル 195

ソフトウェアをアンインストールまたはインストールする	196
ソフトウェアをアンインストール（削除）する	196
ソフトウェアをインストールする	197

コンピューターや機器の追加や交換をしたときは 198

ネットワーク接続済みのスキャナーに接続する方法	199
2台目のコンピューターからネットワークスキャナーを使う	199
スマートデバイスからネットワークスキャナーを使う	200
スマートデバイスとスキャナーを直接接続する方法（Wi-Fi Direct）	200
Wi-Fi Direct（シンプルAP）とは	200
スマートデバイスでWi-Fi Direct接続する	201
Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続を切断する	201
Wi-Fi Direct（シンプルAP）のSSIDなどを変更する	201
ネットワークを再設定する方法	202
無線LANルーターを交換したとき	202
コンピューターを買い替えたとき	203
コンピューターとの接続形態を変更する	203
操作パネルから無線LAN（Wi-Fi）接続する	204
ネットワーク接続状態の確認	205
操作パネルでのネットワーク接続状態の確認	205
コンピューターのネットワークを確認する（Windowsのみ）	206

管理者向け情報 209

スキャナーをネットワークに接続する	210
ネットワーク接続の前に	210
IPアドレスを設定する	212
有線LANに接続する	213
無線LAN（Wi-Fi）に接続する	214

IEEE802.11k/vまたはIEEE802.11r機能を 設定する	216
本体のセキュリティー機能の紹介	217
管理者設定	217
管理者パスワードの設定	217
操作パネルを管理者ロックする	219
コンピューターからスキャナーのWeb Config にログオンする	221
管理者名/連絡先を設定する	222
USBドライブやコンピューターとのUSB接 続を制限する	222
起動時のプログラム検証を有効にする	223
コンピューターからのネットワークスキャン を無効にする	223
WSDスキャンを有効または無効にする	224
遠隔地にあるスキャナーを監視する	224
遠隔地にあるスキャナーの情報を確認する	224
イベント発生時にメール通知を受け取る	225
Web Configを使ってスキャナーの電源を管理 する	226
設定のバックアップ	226
設定をエクスポートする	226
設定をインポートする	227
初期設定に戻す	227
高度なセキュリティー設定	228
セキュリティー設定と防止できる脅威	228
利用するプロトコルを制御する	229
電子証明書を使う	232
スキャナーとのSSL/TLS通信	237
IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する	238
IEEE802.1X環境にスキャナーを接続する	249
トラブルを解決する	251

仕様 259

基本仕様	260
ネットワークの仕様	261
無線LANの仕様	261
有線LANの仕様	261
ネットワーク機能とIPv4/IPv6対応	262
セキュリティーのプロトコル	262
対応している他社サービス	262
USBドライブ仕様	263
スキャナーが使用するポート	263
外形寸法と質量の仕様	265
電気仕様	266
環境仕様	267

対応OS	267
------------	-----

規格と規制 268

電源高調波	269
瞬時電圧低下	269
電波障害自主規制	269
著作権	269
複製が禁止されている印刷物	269

サービスとサポートのご案内 270

エプソンサービスパック	271
お問い合わせ前の確認事項	271
保証書について	271
補修用性能部品および消耗品の保有期間	271
保守サービスの受付窓口	272
保守サービスの種類	272
アフターサポート・サービスのご案内	273

マニュアルの見方

マニュアルの種類と内容	7
マークの意味	7
マニュアル記載の前提	7
OS表記の仕方	7
マニュアルのご注意	8
商標	8

マニュアルの種類と内容

マニュアルの最新版は以下から入手できます。

www.epson.jp/support/

- 『セットアップガイド』（紙マニュアル）
スキャナーを使える状態にするまでの作業の説明、および安全に使用するための注意事項を記載しています。
- 本書『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）
スキャナーの使い方全般や、メンテナンス方法、トラブルへの対処方法などを説明しています。

上記のマニュアル以外にも、いろいろなマニュアルやヘルプがソフトウェアに用意されているのでご活用ください。

マークの意味

⚠ 注意 この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

！重要 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

参考 補足情報や参考情報を記載しています。

関連情報

➡ 関連したページにジャンプします。

マニュアル記載の前提

- ソフトウェアの画面は、Windows 10またはmacOS High Sierraでの表示画面を使用しています。表示内容は機種や状況によって異なります。
- 本書で使われているイラストは一例です。機種によって多少異なりますが操作方法は同じです。

OS表記の仕方

Windows

本書では、以下のOS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 11」「Windows 10」「Windows 8.1」「Windows 8」「Windows 7」「Windows Server 2022」「Windows Server 2019」「Windows Server 2016」「Windows Server 2012 R2」「Windows Server 2012」「Windows Server 2008 R2」「Windows Server 2008」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- Microsoft® Windows® 11 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 10 operating system日本語版

- Microsoft® Windows® 8.1 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 8 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2022 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2019 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2016 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system日本語版

Mac OS

本書では、「Mac OS X 10.9」以降、「macOS 10.12」以降の総称として「Mac OS」を使用しています。

マニュアルのご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適當に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

©2025 Seiko Epson Corporation

商標

- Microsoft、Windows、Windows Server、Microsoft Edge、SharePointは、マイクロソフト グループの企業の商標です。
- Apple、Mac、macOS、OS X、Bonjour、Safari、App Store、AirPrintは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
- Chrome、Chromebook、Google Play、Android は Google LLC の商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Direct®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。Wi-Fi Protected Setup™、WPA™、WPA2™、WPA3™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。

- The Mopria[®] word mark and the Mopria[®] Logo are registered and/or unregistered trademarks of Mopria Alliance, Inc. in the United States and other countries. Unauthorized use is strictly prohibited.
- Firefox is a trademark of the Mozilla Foundation in the U.S. and other countries.
- QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- Dropboxは、米国Dropbox Inc.の商標または登録商標です。
- Evernoteは、Evernote Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

製品のご注意

インターネットへの接続に関するご注意	11
本製品の不具合に起因する付随的損害	11
電波に関するご注意	11
無線LAN（Wi-Fi）機能に関するご注意	12
セキュリティに関するご注意	12
本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意	12
本製品の使用限定	13
本製品の譲渡と廃棄	13
管理者パスワードに関するご注意	13

インターネットへの接続に関するご注意

本製品のネットワークインターフェイスは、電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットサービスプロバイダ等）の通信回線に直接接続することができません。本製品をインターネットへ接続する際は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

セキュリティの観点から、本製品はインターネットに直接接続せず、ルーターやファイアウォールなどで保護されたネットワーク内に設置してください。

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含む。以下同じ。）の不具合によってデータの記録、またはコンピューター、その他の機器へのデータ転送が正常に行えない等、所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償いたしかねます。

電波に関するご注意

機器認定

本製品には電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けている無線設備が内蔵されています。

- 設備名：J26H005
- 認証番号：003-170261

周波数

本製品は2.4GHz帯の2.400GHzから2.4835GHzまでを使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意して使用してください。

本製品の使用上の注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上、販売店にご連絡頂き、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、エプソンのインフォメーションセンターまでお問合せください。

参考

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。採用している変調方式はDS-SS変調方式(与干渉距離40m)、OFDM変調方式(与干渉距離40m)、FHSS変調方式(与干渉距離20m)です。全帯域を使用し周波数変更が可能です。



無線LAN（Wi-Fi）機能に関するご注意

- 本製品からの電波は、医療用機器に影響を及ぼすおそれがあります。医療機関の中や、医療用機器の近くで本製品を使用する場合は、医療機関の管理者、医療用機器側の指示や注意に従ってご使用ください。
- 本製品からの電波は、自動ドアや火災報知機などの自動制御機器に影響を及ぼすおそれがあります。自動制御機器の近くで本製品を使用する場合は、自動制御機器側の指示や注意に従ってご使用ください。

セキュリティに関するご注意

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。

本製品などの無線LAN製品では、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューターなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えて全ての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下のような行為をされてしまう可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合は、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理、保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。弊社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の使用限定

本製品を航空機、列車、船舶、自動車などの運行に直接関わる装置、防災防犯装置、各種安全装置など機能、精度などにおいて高い信頼性、安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で弊社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性、安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分で確認の上、ご判断ください。

本製品の譲渡と廃棄

本製品を譲渡もしくは廃棄する際は、本製品のメモリーに保存されているお客様固有の情報の流出による、不測の事態を回避するために、ネットワーク設定などの情報を消去してください。

操作パネルの〔設定〕 - 〔管理者用設定〕 - 〔購入時の設定に戻す〕 - 〔全ての設定〕で消去できます。

一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務で使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

管理者パスワードに関するご注意

本製品はネットワーク接続時に、製品本体に保持されている本体設定やネットワーク設定が第三者から不正に参照されたり、変更されたりすることを防ぐため、管理者パスワードの設定ができます。

管理者パスワードを設定しておくことで、Web Configなどの設定ソフトウェアで設定の変更をするときにパスワードの入力が必要になります。

スキャナーに管理者パスワードが初期設定されていますが、任意のパスワードを設定することができます。

管理者パスワードの初期値

管理者パスワードの購入時の設定（初期値）は、スキャナーの製造番号（シリアルナンバー）です。製造番号は、スキャナーの背面に貼られているラベルをご確認ください。

管理者パスワードを初期値から変更することをおすすめします。

参考 ユーザー名の初期値は空欄です。

管理者パスワードの入力が必要な操作

以下の操作で管理者パスワードの入力を要求されたときは、製品本体に設定されている管理者パスワードを入力してください。

- Web Configの詳細設定にログオンするとき
- 操作パネルで管理者ロックがかかったメニューを操作するとき
- アプリケーションで本体の設定変更をするとき

- 本体のファームウェアをアップデートするとき
- 管理者パスワードの変更や初期化をするとき

管理者パスワードの変更

製品の操作パネル、およびWeb Configから変更できます。
パスワードを変更する場合は、8文字以上20文字以下の半角英数字および記号で設定してください。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの設定」217ページ](#)

管理者パスワードの初期化

製品の操作パネルおよびWeb Configで、管理者パスワードを初期設定に戻すことができます。パスワード忘れにより、初期設定に戻せない場合は修理が必要です。お住まいの地域の販売店にお問い合わせください。

 **参考** 管理者パスワードを初期化すると、ユーザー名も初期化されます。

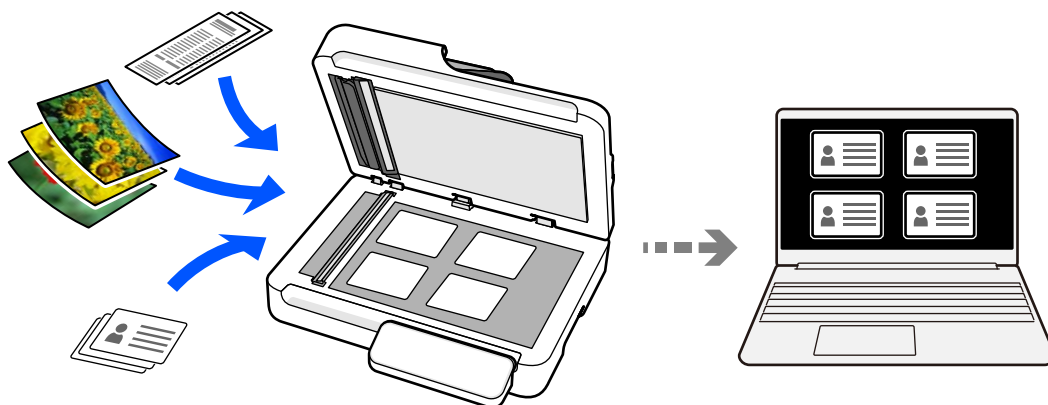
本製品の特長

複数枚の自動切り出し	16
様々な原稿をスキャン可能	16
タッチパネルの操作だけでスキャンデータを送信可能（スキャン to機能）	17
原稿のダメージを抑える原稿保護機能	18
ADF汚れのお知らせ機能	19

複数枚の自動切り出し

原稿台でスキャンするとき、一枚ずつスキャンしなくても、複数枚を一度にスキャンして別々の画像に自動で切り出して保存できます。

定形サイズ of 原稿だけでなく、レシートや伝票などの不定形な書類や、色々な大きさの写真にも対応しています。



関連情報

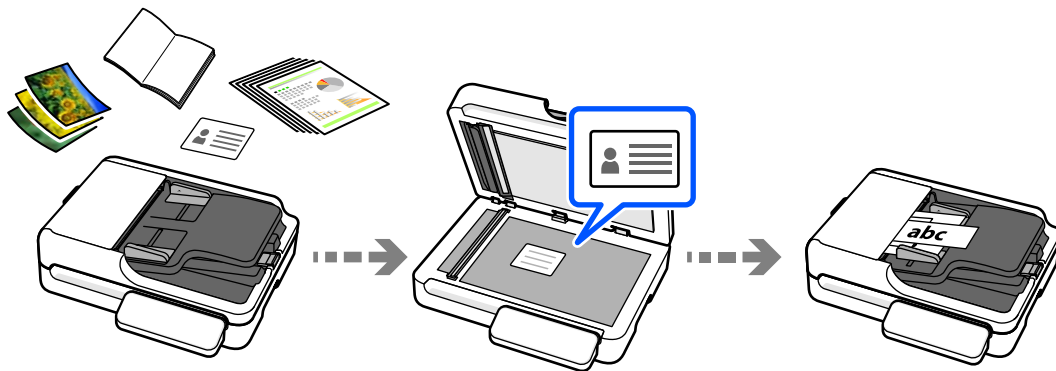
➡ [「複数枚の原稿を一度にセットする」55ページ](#)

様々な原稿をスキャン可能

ADF（オートドキュメントフィーダー）と原稿台の2通りの方法で、様々な原稿をスキャンできます。

- ADF：大量の原稿や長尺紙など
- 原稿台：ADFでスキャンできないデリケートな原稿、写真、IDカード、冊子など

また、ADFと原稿台を組み合わせることで連続スキャンが可能です。原稿の自動サイズ検知機能により、原稿に合わせたサイズで1ファイルに保存でき、効率的に原稿に適したスキャン方法を選択できます。



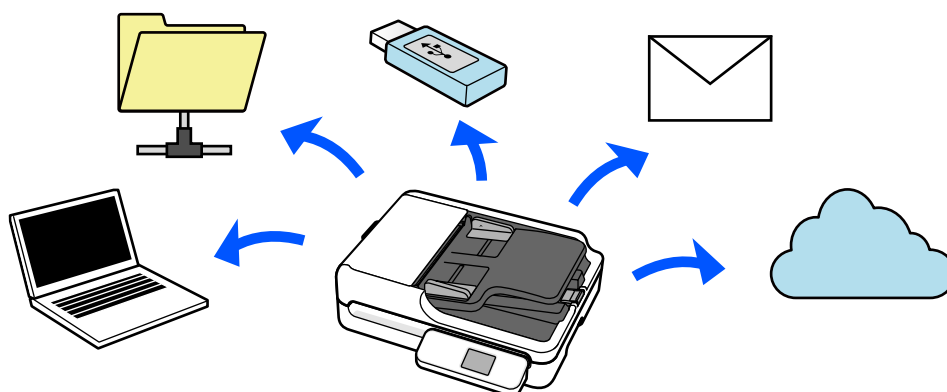
関連情報

- ➡ [「セットできる原稿とセット方法」37ページ](#)
- ➡ [「一度のスキャンでADFと原稿台を組み合わせる」60ページ](#)

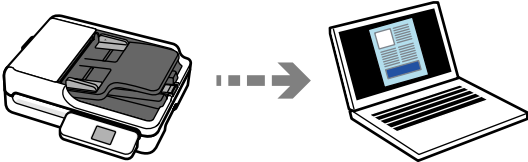
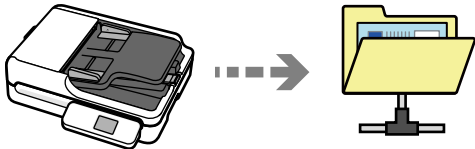
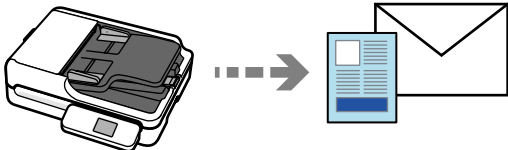
タッチパネルの操作だけでスキャンデータを送信可能（スキャン to機能）

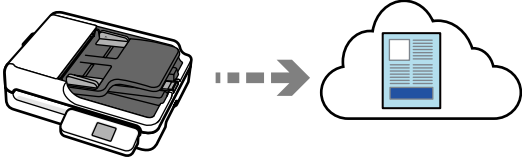
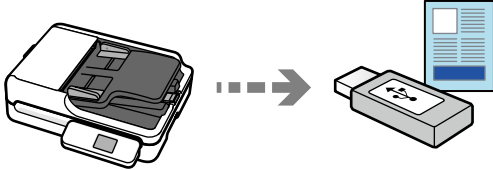
コンピューターを使用せずに、本体タッチパネルの操作のみでスキャンできます。コンピューターを操作する手間がなくなり、電子化のワークフローをシンプルにすることができます。また、コンピューターにデータを残さないため、セキュリティを向上させることができます。

スキャン to機能で指定の場所（ネットワークフォルダー、メール、クラウドサービス、USBドライブ）にスキャンデータを送信できます。



スキャンデータの送信先により、使用する機能が異なります。

スキャンデータの送信先	使用する機能
接続しているコンピューターに保存したい 	スキャン to コンピューター機能 コンピューターにインストールしたソフトウェア（Document Capture Pro）を操作パネルから起動してスキャンします。 「スキャン to コンピューター機能の流れ」 65ページ
ネットワーク上のフォルダーに保存したい 	スキャン to ネットワークフォルダー機能 スキャナーと同じネットワーク上にフォルダーを作成し、共有設定をしておく必要があります。 スキャンした画像の保存先は、ネットワークフォルダー（SMB）の他にFTP/FTPS、WebDAV（HTTPS/HTTP）を設定できます。 「スキャン to ネットワークフォルダー機能の流れ」 67ページ
スキャナーから直接メールで送信したい 	スキャンした画像をメールの添付ファイルとして送信できる機能は2つあります。詳しくは以下をご覧ください。 「メールで送るには」 73ページ

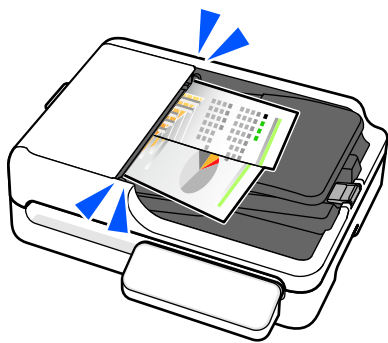
スキャンデータの送信先	使用する機能
スキャナーから直接クラウドサービスに送信したい 	スキャン to クラウド機能 エプソンのクラウドサービス『Epson Connect』を使用して、スキャンした画像をメールアドレスと他社クラウドサービスに送信できます。 Evernote、Google Drive、Dropboxなどのクラウドサービスの他、メールにも送信できます。 「スキャン to クラウド機能の流れ」 80ページ 参考 利用できるサービスは予告なく変更されることがあります。
スキャナーに接続したUSBドライブに保存したい 	スキャン to USBドライブ機能 「スキャン to USBドライブ機能の流れ」 86ページ

関連情報

➡ [「操作パネルからスキャンする」 65ページ](#)

原稿のダメージを抑える原稿保護機能

本製品には原稿保護機能が搭載されています。ADFでステープラーで留めたままの原稿をスキャンしてしまったときなど、センサーで異常を感知すると読み込みを停止し、紙詰まりによる原稿の破損を防ぎます。



関連情報

➡ [「スキャン動作設定」 141ページ](#)

➡ [「原稿保護機能を設定する」 149ページ](#)

ADF汚れのお知らせ機能

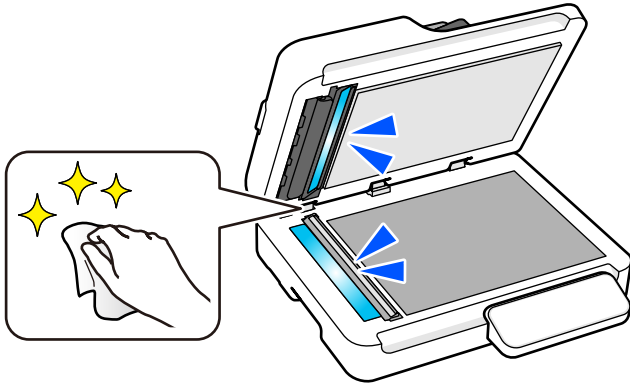
ADFのガラス面（読み取りセンサー）に付いた汚れやホコリでスキャンした画像に線（スジ）が出てしまう前に、ガラス面の汚れを自動で検出して、清掃を案内します。

本体タッチパネルに汚れがある位置が表示されるため、清掃する場所が簡単にわかります。

ガラス面を清潔に保つことで、汚れによるスキャンの品質低下を防ぎます。

購入時の設定はオフです。

本体タッチパネルまたはコンピューターから設定できます。



関連情報

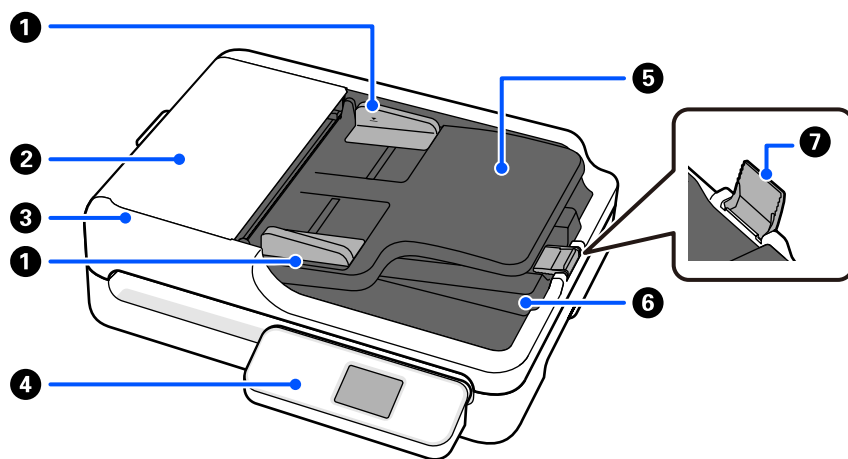
- ➡ [「スキャン動作設定」 141ページ](#)
- ➡ [「ガラス面汚れ検知機能を設定する」 148ページ](#)
- ➡ [「ADFをクリーニングする」 152ページ](#)

スキャナーの基本情報

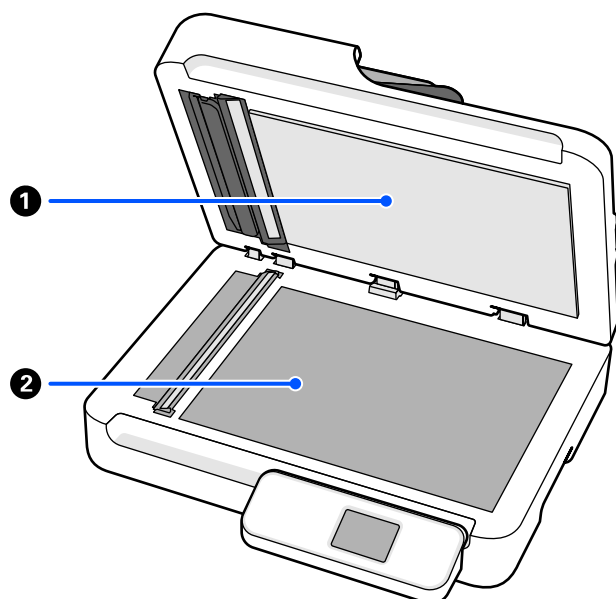
各部の名称と働き	21
USBドライブの挿入と取り出し	22
操作パネル	23
製品の管理者パスワード	30
ソフトウェアの紹介	31
オプションと消耗品の紹介	36

各部の名称と働き

前面

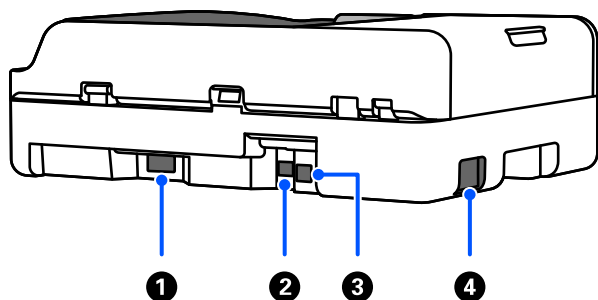


①	原稿ガイド	原稿をまっすぐ給紙するためのガイドです。原稿の両端に合わせてください。
②	ADFカバー	ADFのクリーニング時や、詰まった原稿を取り除くときに開けます。
③	ADF（オートドキュメントフィーダー）	セットした原稿を自動で給紙する装置です。
④	操作パネル	スキャナーの状態を表示したり、スキャナーを操作したりします。
⑤	給紙トレイ	原稿をセットするところです。
⑥	排紙トレイ	排紙された原稿を保持します。
⑦	ストッパー	排紙された原稿が排紙トレイから飛び出さないように受け止めます。



①	原稿カバー	スキャン時に外部の光を遮ります。
②	原稿台	ADFで給紙できない原稿をセットします。

側面・背面



①	電源コネクタ	電源コードを接続します。
②	LANポート	LANケーブルを接続します。
③	USBポート	コンピュータと接続するためのUSBケーブルを接続します。
④	外部機器接続用USBポート	USBドライブを接続します。

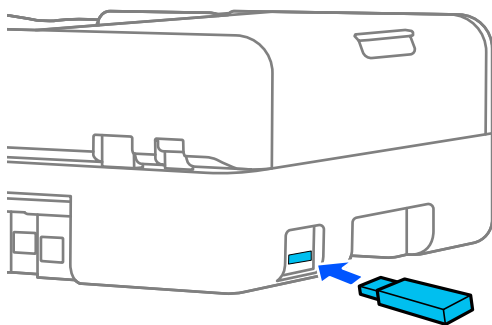
関連情報

➔ [「原稿台をクリーニングする」157ページ](#)

USBドライブの挿入と取り出し

USBドライブを挿入する

外部機器接続用USBポートにUSBドライブを挿入します。

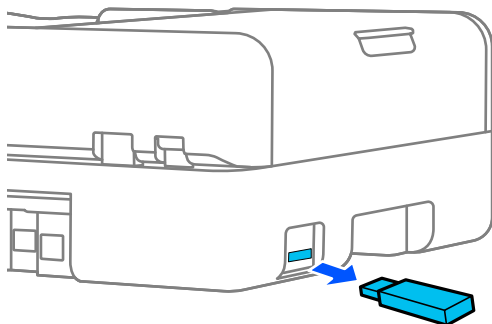


関連情報

➔ [「スキャン to USBドライブ機能の流れ」 86ページ](#)

USBドライブの取り外し

USBドライブを取り外します。



！重要

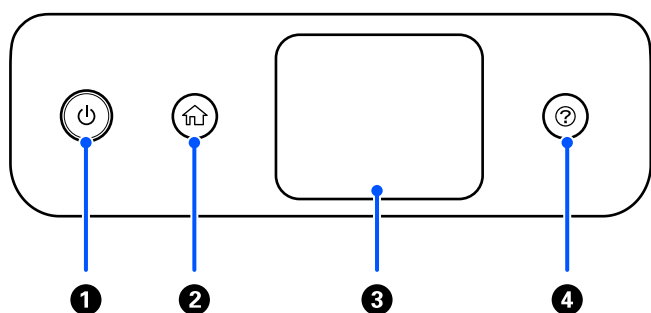
- データ転送中にUSBドライブを取り外すと、保存されているデータが壊れることがあります。
- データ転送中は操作パネルにメッセージが表示されます。

また、必要に応じて他の機器にUSBドライブのデータをバックアップしてください。
データは、次のようなときに消失または破損する可能性があります。

- 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき
- 壊れたり修理したりしたとき
- 自然災害による被害を受けたとき

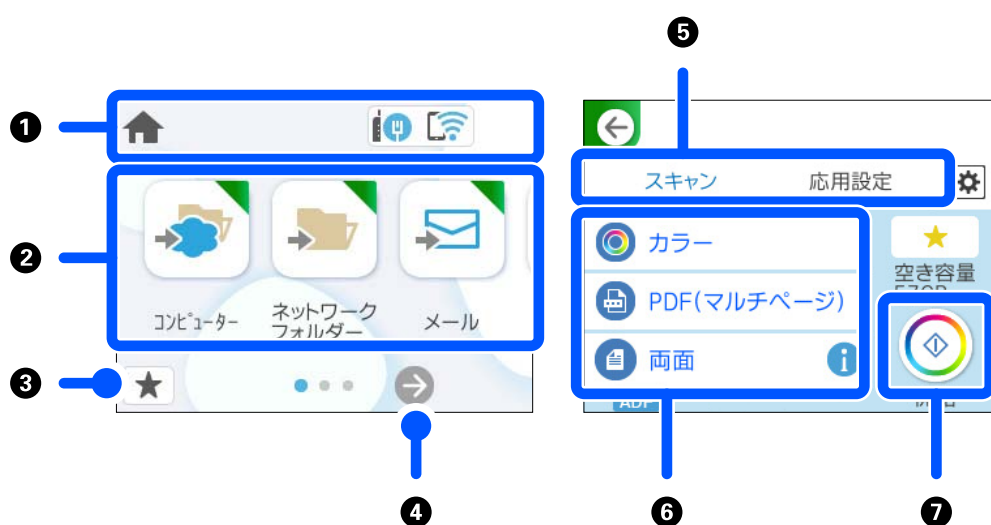
操作パネル

ボタンとランプ



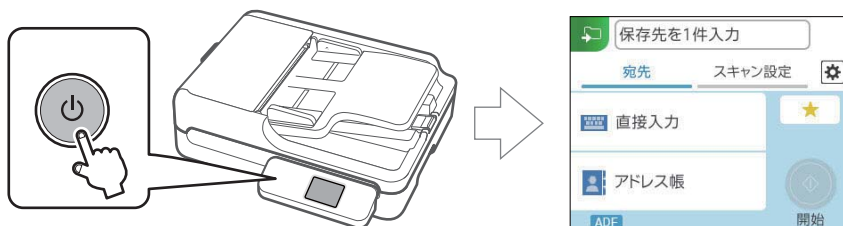
①		電源ボタン/ランプ	電源を入れたり切ったりします。 ランプの点滅時は動作中やデータ処理中のため、電源を切らないでください。
②		ホームボタン	ホーム画面を表示します。
③	-	液晶ディスプレイ（画面）	タッチ操作でメニューの選択や設定をします。
④		ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。

画面の見方と使い方



①	スキャナーの状態がアイコンで表示されます。アイコンを選択すると、現在の設定の確認や各設定のメニューにアクセスできます。
②	各メニューが表示されます。
③	お気に入りリストが表示されます。お気に入りの設定を呼び出したり、新しいお気に入り設定を登録したりできます。
④	画面を切り替えます。
⑤	タブを切り替えます。
⑥	設定項目の一覧が表示されます。設定を変更するときは、各項目を選択します。 グレー表示の項目は設定できません。
⑦	設定した内容でスキャンを開始します。

参考 スキャナーの電源を入れたときに初期画面として表示させる画面を変更できます。ホーム画面で〔設定〕メニューを選択し、〔起動画面〕で設定してください。



画面に表示されるアイコン

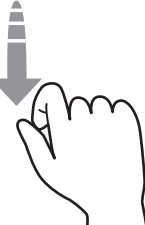
スキャナーの状況に応じたアイコンが画面に表示されます。

	ホーム画面が表示されていることを示します。
	新しいファームウェアがあると表示されます。 ファームウェアをアップデートして、スキャナーの機能を向上させる場合にタップします。最新版にしてお使いください。
	ネットワークの接続状態を示します。 アイコンを選択すると現在の設定の確認や変更ができます。以下のメニューのショートカットです。 〔設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - 〔無線LAN接続設定〕
	有線LAN非接続、ネットワーク未設定
	有線LAN接続中
	無線LAN (Wi-Fi) 無効
	SSID検索中、IPアドレス未設定、電波強度が0または弱い
	無線LAN (Wi-Fi) 接続中 線の数に電波の状態を示します。線の数が多いほど、電波の状態は良好です。
	Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続無効
	Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続有効
	前の画面に戻ります。
	補足情報があるときに表示されます。アイコンを選択すると、補足情報が確認できます。
	その項目に問題があることを示します。アイコンを選択すると、対処方法を確認できます。 〔ガラス面清掃〕：スキャナー内部のガラス面（ADFの読み取りセンサー）の汚れを検知しました。ADFをクリーニングしてください。クリーニングが完了したら、ADFに原稿をセットし直してください。 〔定期清掃〕：スキャナー内部（ADF）のクリーニング時期です。

ADF	ADFに原稿がセットされていることを示します。 ADFに原稿がないときは、グレー表示（）になります。
-----	---

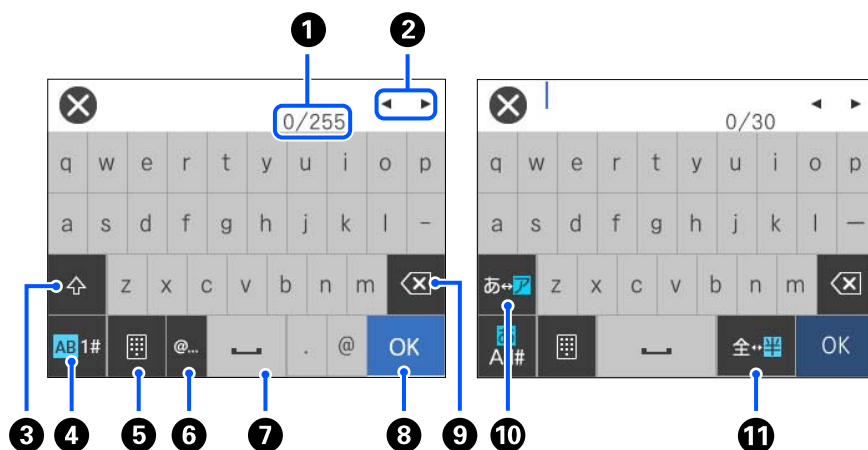
タッチパネルの操作

本製品の液晶ディスプレイは以下のタッチ操作に対応しています。

タップ		ボタンや項目を、押すまたは選びます。
フリック（はじく）		画面を素早くスクロールします。
スライド（なぞる）		項目を押したまま上下左右に移動します。

文字入力の仕方

アドレス帳やネットワーク設定などでの文字や記号の入力は、文字入力画面で行います。



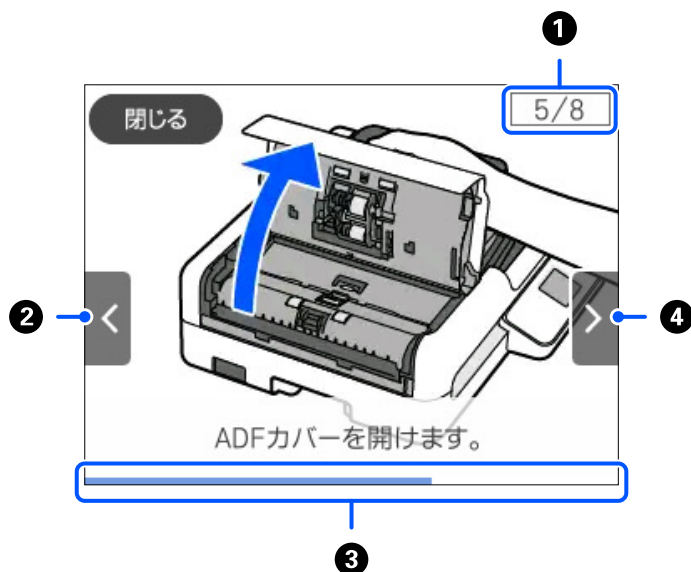
参考 設定する項目によって表示されるアイコンは異なります。

①	文字数を表します。
②	カーソル（入力位置を示す縦棒）を移動します。
③	アルファベットの大文字と小文字を切り替えます。
④	文字種を切り替えます。 あ：ローマ字入力、かな文字入力 AB：アルファベット入力 1#：数字と記号入力
⑤	キーボードの表示を切り替えます。
⑥	メールアドレスやURLでよく使われるドメイン名（@やwww.の後）を表示します。ドメイン名を選択するだけで簡単に入力できます。
⑦	スペースを入力します。ひらがな入力時は、[変換]に変わります。
⑧	入力した文字を確定します。
⑨	入力した文字を削除します。
⑩	カタカナとひらがなを切り替えます。
⑪	全角と半角を切り替えます。

操作手順を動画で見る

原稿のセット方法やメンテナンス方法などは、操作パネルの画面で動画を見ながら操作できます。

- 操作パネルで②ボタンを押す：ヘルプ画面を表示します。[操作方法が知りたい]を選択して、見たい項目を選択します。
- 操作パネルのホーム画面で[スキャナーのお手入れ]を選択し、各清掃方法で[清掃方法を見る]を選択する：清掃方法に応じた動画が表示されます。



①	動画を構成する手順の総数と、現在表示している手順が何番目かを示します。 この画面の例では、全8手順中の5番目の手順を表示していることを示します。
②	1つ前の手順に戻って再生します。
③	現在の手順の進行状況を示します。プログレスバーが右端に達すると、手順の最初に戻って再生します。
④	次の手順を再生します。

お気に入りを登録する

よく使うスキャン設定を「お気に入り」として登録できます。お気に入りは24件まで登録できます。

参考

- スキャン開始画面で★を選択して、現在の宛先やスキャン設定をお気に入りに登録できます。
- Web Configからも「お気に入り」を登録できます。
[スキャン] タブ - 「お気に入り」の順に選択します。
- 登録時に「スキャン to コンピューター」を選択すると、Document Capture Proで作成したジョブを「お気に入り」として登録できます。コンピューターがネットワークに接続されているときのみ利用できます。事前にDocument Capture Proでジョブを登録しておいてください。

1. 操作パネルのホーム画面で「お気に入り」を選択します。



2.  を選択します。



3. お気に入りとして登録したい機能を選択します。



4. 各項目を設定し、★を選択します。

参考 「スキャン to コンピューター」を選択したときは、Document Capture Proがインストールされているコンピューター、および登録済みのジョブを選択します。ネットワークに接続されたコンピューターのみ選択できます。

5. お気に入りを登録します。

- [登録名称] : 名前を設定します。
- [登録アイコン] : 表示するアイコンのデザインと色を設定します。
- [クイック送信設定] : お気に入りを選択すると、スキャン確認画面を表示せずに、すぐにスキャンを開始するようにします。
- [登録内容] : スキャン設定を確認します。



6. [OK] を選択します。

関連情報

➔ [「ジョブを登録する」112ページ](#)

お気に入りメニューの説明

各お気に入りの > を選択すると、お気に入りの登録内容を変更できたり、スキャン設定を表示したりします。

登録名称の変更:

お気に入りの名前を変更します。

アイコンの変更:

アイコンのデザインと色を変更します。

クイック送信設定:

お気に入りを選択するとすぐにスキャンを開始するようにします。

配置変更:

お気に入りの表示順を変更します。

削除:

登録したお気に入りを削除します。

詳細確認:

お気に入りのスキャン設定を表示します。[この設定を使用する]を選択してお気に入りを呼び出します。

製品の管理者パスワード

本製品はネットワーク接続時に、製品本体に保持されている本体設定やネットワーク設定が第三者から不正に参照されたり、変更されたりすることを防ぐため、管理者パスワードの設定ができます。

管理者パスワードを設定しておく、Web Configなどの設定ソフトウェアで設定の変更をするときにパスワードの入力が必要になります。

スキャナーに管理者パスワードが初期設定されていますが、任意のパスワードを設定することができます。

管理者パスワードの初期値

管理者パスワードの購入時の設定（初期値）は、スキャナーの製造番号（シリアルナンバー）です。製造番号は、スキャナーの背面に貼られているラベルをご確認ください。

管理者パスワードを初期値から変更することをおすすめします。

 ユーザー名の初期値は空欄です。

管理者パスワードの入力が必要な操作

以下の操作で管理者パスワードの入力を要求されたときは、製品本体に設定されている管理者パスワードを入力してください。

- Web Configの詳細設定にログオンするとき
- 操作パネルで管理者ロックがかかったメニューを操作するとき
- アプリケーションで本体の設定変更をするとき

- 本体のファームウェアをアップデートするとき
- 管理者パスワードの変更や初期化をするとき

管理者パスワードの変更

製品の操作パネル、およびWeb Configから変更できます。
パスワードを変更する場合は、8文字以上20文字以下の半角英数字および記号で設定してください。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの設定」217ページ](#)

管理者パスワードの初期化

製品の操作パネルおよびWeb Configで、管理者パスワードを初期設定に戻すことができます。パスワード忘れにより、初期設定に戻せない場合は修理が必要です。お住まいの地域の販売店にお問い合わせください。

 管理者パスワードを初期化すると、ユーザー名も初期化されます。

ソフトウェアの紹介

対応ソフトウェアを紹介します。最新のソフトウェアは、エプソンのウェブサイトからインストールできます。

書類をスキャンするソフトウェア (Document Capture Pro / Document Capture)

Document Capture Pro*は、書類や帳票などの原稿を目的に合わせて簡単に効率よく電子化できるソフトウェアです。

スキャン - 保存 - 送信の一連の動作を、「ジョブ」としてソフトウェアに登録できます。事前に、一連の動作をジョブとして登録しておくことで、ジョブを選ぶだけで一連の動作を実行できます。ジョブをスキャナーの操作パネルに割り当てれば、スキャナーの操作パネルからジョブを実行することもできます（ボタン割り当て）。

機能について、詳しくはエプソンのウェブサイトからもご覧いただけます。

- Document Capture Pro (Windows) の使い方は、こちらのURLからマニュアルをご覧ください。
<https://support.epson.net/dcp/>
- Document Capture (Mac OS) の使い方は、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

*Windowsでの名称です。Mac OSでの名称は「Document Capture」です。

Windowsでの起動方法

- Windows 11
スタートボタンをクリックして、[すべてのアプリ] - [Epson Software] - [Document Capture Pro] の順に選択します。
- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[Epson Software] - [Document Capture Pro] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] - [Epson Software] - [Document Capture Pro] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Document Capture] の順に選択します。

スキャナーを制御するソフトウェア (Epson Scan 2)

Epson Scan 2 (エプソン スキャン ツー) は、スキャナーを制御するソフトウェア (スキャナードライバー) です。画像のサイズや解像度の設定、画質などを調整してスキャンできます。TWAIN対応のアプリケーションソフトから起動することもできます。

詳しい使い方はEpson Scan 2のヘルプをご覧ください。

Windowsでの起動方法

 **参考** Windows Server OSをお使いの場合、[デスクトップエクスペリエンス] がインストールされていることを確認してください。

- Windows 11/Windows Server 2022
スタートボタンをクリックして、[すべてのアプリ] - [EPSON] - [Epson Scan 2] の順に選択します。
- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] または [プログラム] - [EPSON] - [Epson Scan 2] - [Epson Scan 2] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Scan 2] の順に選択します。

スマートデバイスからスキャンするアプリケーション (Epson Smart Panel)

Epson Smart Panel (エプソン スマートパネル) は、スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスから、文書をスキャンできるアプリケーションです。スキャンしたデータは、スマートデバイスやクラウドサービスに保存したり、メールで送信したりできます。

また、無線LANルーターがない場合も、Wi-Fi Direct機能を使って、Wi-Fi機能を持ったスマートデバイスとスキャナーを接続します。

App StoreまたはGoogle PlayでEpson Smart Panelを検索し、アプリケーションのページからインストールしてお使いください。

ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア (EPSON Software Updater)

EPSON Software Updaterはインターネット上で、新しいソフトウェアをインストールしたり、ファームウェアやマニュアルを更新したりするソフトウェアです。定期的に更新情報を確認したい場合は、EPSON Software Updaterの自動更新設定で、更新を確認する間隔を設定することができます。

 Windows Serverには対応していません。

Windowsでの起動方法

- Windows 11
スタートボタンをクリックして、[すべてのアプリ] - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。
- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] - [Epson Software] - [Epson Software Updater] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。

スキャナーを設定するソフトウェア (Web Config)

Web Configは、コンピューターやスマートデバイス上の、Microsoft EdgeやSafariなどのWebブラウザで起動するソフトウェアです。スキャナーの状況を確認したり、ネットワークサービスやスキャナー設定を変更したりできます。Web Configを使うためには、スキャナーとコンピューター、またはスマートデバイスを同じネットワークに接続してください。

対応しているブラウザは以下の通りです。最新バージョンをお使いください。

Microsoft Edge、Firefox、Chrome、Safari

参考 本製品を使用中に管理者パスワードの入力を求められることがあります。管理者パスワードについて、詳しくは以下を参照してください。

[「管理者パスワードに関するご注意」13ページ](#)

関連情報

➔ [「Web Configにアクセスできない」167ページ](#)

ブラウザーでWeb Configを起動する方法

スキャナーにはWeb Configというソフトウェア（設定用Webページ）が内蔵されています。ネットワーク接続されたスキャナーのIPアドレスを、ブラウザーに入力して表示します。

1. スキャナーのIPアドレスを確認します。

スキャナーの操作パネルで、[設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク情報] の順に選択します。次に、スキャナーのIPアドレスを確認するために[有線・無線接続状態] または [Wi-Fi Direct接続状態] で実行中の接続方法を選択します。

IPアドレスの例：192.168.100.201

2. コンピューターまたはスマートデバイスでブラウザーを起動して、アドレスバーにスキャナーのIPアドレスを入力します。

書式：http://スキャナーのIPアドレス/

例：http://192.168.100.201/

ブラウザー上に警告画面が表示されたときは、警告を無視してWebページ (Web Config) を表示してください。HTTPSにアクセスするときにスキャナーは自己署名証明を使うため、Web Configを起動すると警告が表示されますが、これは問題ではなく、無視しても安全です。ブラウザーによっては、Webページを表示するために[詳細設定] をクリックする必要があります。

例：Microsoft Edgeの場合



参考

- 警告画面が表示されなかったときは、次の手順に進みます。
- IPv6アドレスの場合は、次の書式で入力します。
書式：http://[スキャナーのIPアドレス]/
例：http://[2001:db8::1000:1]/

3. Web Configの管理者としてログオンして、スキャナーの設定を変更します。

画面の右上の [ログオン] をクリックします。[ユーザー名] と [現在のパスワード] を入力し、[確認] をクリックします。

Web Configの管理者情報の購入時の設定（初期値）は以下の通りです。

- ・ユーザー名：なし（空欄）
- ・パスワード：スキャナーの製造番号（シリアルナンバー）

製造番号は、スキャナー背面に貼られているラベルをご確認ください。

参考

- [ログオフ] が画面右上に表示されているときは、すでに管理者としてログオンしています。
- 何も操作しない状態が約20分続くと自動的にログオフします。

関連情報

- ➔ [「宛先を登録する（メール）」 129ページ](#)
- ➔ [「宛先を登録する（ネットワークフォルダー \(SMB\)）」 130ページ](#)
- ➔ [「宛先を登録する（FTP）」 131ページ](#)
- ➔ [「宛先を登録する（SharePoint\(WebDAV\)）」 132ページ](#)

ネットワーク上のデバイスを設定するソフトウェア（EpsonNet Config）

EpsonNet Config（エプソンネット コンフィグ）は、ネットワークインターフェイスの各種アドレスやプロトコルなどが設定できるソフトウェアです。詳しくはEpsonNet Configの操作ガイドやヘルプをご覧ください。

Windowsでの起動方法

- Windows 11/Windows Server 2022
スタートボタンをクリックして、[すべてのアプリ] - [EpsonNet] - [EpsonNet Config] の順に選択します。
- Windows 10/Windows Server 2019/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックして、[EpsonNet] - [EpsonNet Config] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] または [プログラム] - [EpsonNet] - [EpsonNet Config SE] - [EpsonNet Config] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [EpsonNet] - [EpsonNet Config SE] - [EpsonNet Config] を選択します。

ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin）

Epson Device Adminは、ネットワーク上のデバイスの管理を行う多機能なアプリケーションソフトです。以下のような機能があります。

- セグメントを越えて1台から2000台のプリンターやスキャナーの監視、管理
- 消耗品やステータスの詳細なレポート機能
- ファームアップデート機能
- デバイスのネットワークへの導入
- 複数デバイスへの同じ設定値の適用

機能について、詳しくはエプソンのウェブサイトからご覧いただけます。

Epson Device Adminはエプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。

Epson Device Adminの使い方について、詳しくはソフトウェアのヘルプおよびマニュアルをご覧ください。

ドライバーパッケージを作成するソフトウェア (EpsonNet SetupManager)

EpsonNet SetupManagerはスキャナードライバーなどを一括してインストールするためのパッケージを作成するソフトウェアです。このソフトウェアを使って、管理者は1つのソフトウェアパッケージを作成し、グループ中に配布することができます。

詳細はエプソンのウェブサイトをご覧ください。

www.epson.jp/support/

オプションと消耗品の紹介

クリーニングキットの型番

ADFの内部をクリーニングするときに使用します。クリーナーとクリーニングクロスのセットです。

品名	型番
クリーニングキット	DSCLKIT1

関連情報

➡ [「ADFをクリーニングする」152ページ](#)

セットできる原稿とセット方法

ADFに原稿をセットする	38
原稿台に原稿をセットする	51
一度のスキャンでADFと原稿台を組み合わせる	60

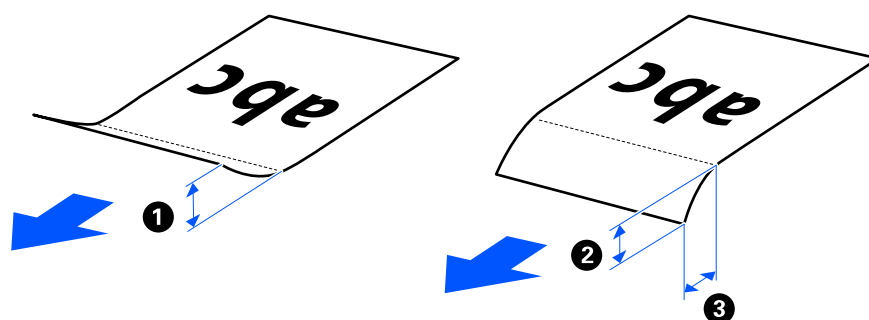
ADFに原稿をセットする

セットできる原稿の基本仕様（ADF）

- 普通紙
- 上質紙
- 再生紙
- 感熱紙

セットできるサイズは原稿の種類とスキャン解像度、スキャンする方法によって変わります。

- 参考**
- 原稿の先端は平らである必要があります。
 - 原稿の先端のカールは以下の条件を満たしていることを確認してください。
 - ①は5 mm以下であること。
 - ②は3 mm以下であること。
 - ③は、①または②が1 mm以下の場合、②以上であること。①または②が1 mmより大きい場合、②の10倍以上であること。



- ADFにセットできる原稿であっても、紙の特性や品質などによってはADFから給紙できないことがあります。また、スキャン品質に影響を及ぼすこともあります。それらの原稿は原稿台からスキャンしてください。

関連情報

- ➔ [「定形サイズの前稿」 40ページ](#)
- ➔ [「長尺紙」 43ページ](#)
- ➔ [「用紙の種類やサイズの異なる原稿」 47ページ](#)

注意が必要な原稿（ADF）

以下の原稿は、ADFからはうまくスキャンできないことがあります。スキャンできないときは、原稿台からスキャンしてください。

- 表面に凹凸のある原稿
- しわや折り目のある原稿
- ミシン目のある原稿

- ラベルやシールが貼られた原稿
- ノーカーボン紙
- カールした原稿
- コート紙

！重要 ノーカーボン紙にはスキャナー内部のローラーの性能を損なうような化学物質が含まれています。ノーカーボン紙をスキャンするときは、ADFを定期的にクリーニングしてください。

- 参考**
- しわのある原稿は、しわを伸ばしてからスキャンすることをお勧めします。
 - 破れやすい、またはしわの寄りやすい紙質の原稿は、原稿台からスキャンしてください。
 - ラベルやシールはしっかり貼り付けられていて、のりがはみ出ていないことを確認してください。ラベルやシールがはがれそうな状態の原稿をスキャンするときは、原稿台からスキャンしてください。
 - カールした原稿は、カールを伸ばして平らにしてからスキャンしてください。

関連情報

➔ [「原稿台に原稿をセットする」51ページ](#)

スキャンできない原稿（ADF）

原稿およびスキャナーの破損を防ぐため、以下の原稿はADFでスキャンしないでください。これらの原稿は原稿台からスキャンしてください。

- 写真
- 綴じられた原稿（製本物）
- クリアファイル、布、金属箔など、紙でない原稿
- のりが付いた原稿
- ひどいしわのある原稿やカールした原稿
- OHPシートなどの透明な原稿
- 裏カーボンのある原稿
- インクが乾いていない原稿
- 付箋紙が貼られた原稿
- ステープラーの針やクリップなどが付いた原稿

- 参考**
- 貴重な作品、重要な書類など、傷つけたり汚したりしてはいけない原稿は、ADFにセットしないでください。原稿にしわができたり、原稿が破損したりすることがあります。そのような原稿は原稿台からスキャンしてください。
 - 写真、裂け目やひどいしわがある原稿、またはひどくカールしている原稿も、原稿台からスキャンしてください。

関連情報

➔ [「原稿台に原稿をセットする」51ページ](#)

原稿の仕様とセット方法（ADF）

正しくセットされていないと、原稿が検知できません。

参考 Epson Smart Panelでは、長尺紙はスキャンできません。

定形サイズ of 原稿

セットできる定形サイズの原稿

ADFからスキャンができる定形サイズの原稿は以下の通りです。

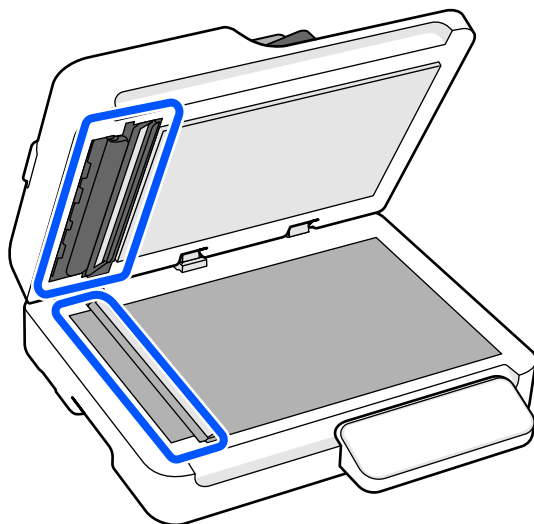
規格	サイズ	厚さ（坪量）	用紙種類	セット可能な総厚、枚数
リーガル	215.9×355.6 mm	50～120 g/m ²	普通紙 上質紙 再生紙	総厚：6.6 mmまで （80 g/m ² ：60枚） 枚数は紙種や厚さによって異なります。
レター	215.9×279.4 mm			
A4	210×297 mm			
B5	182×257 mm			
A5	148×210 mm			
A6	105×148 mm			

参考 定型サイズに適合する用紙サイズが無いときは、任意の用紙サイズをユーザー定義サイズとして設定できます。
 セット可能な総厚は、定型サイズの用紙と同じく最大6.6 mmまでです。
[「Epson Scan 2にユーザー定義サイズを登録する」109ページ](#)
[「Web Configにユーザー定義サイズを登録する」138ページ](#)

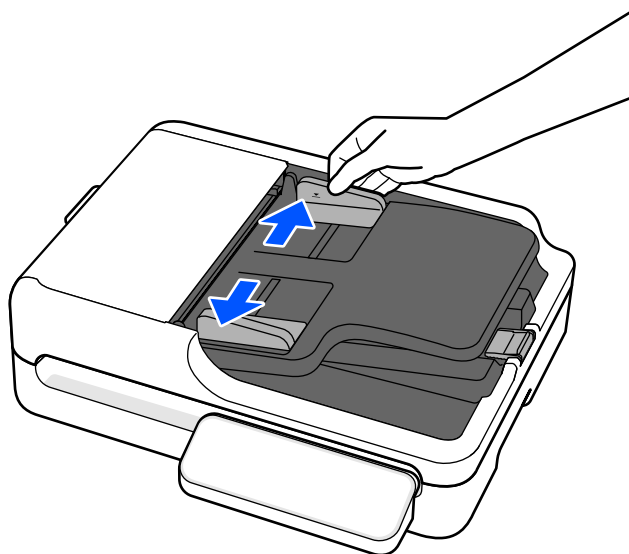
定形サイズ of 原稿をセットする

参考 スキャンする前に以下を確認します。

- 原稿台に原稿がないことを確認します。
- 以下の図で示した部分にゴミや汚れがないことを確認します。

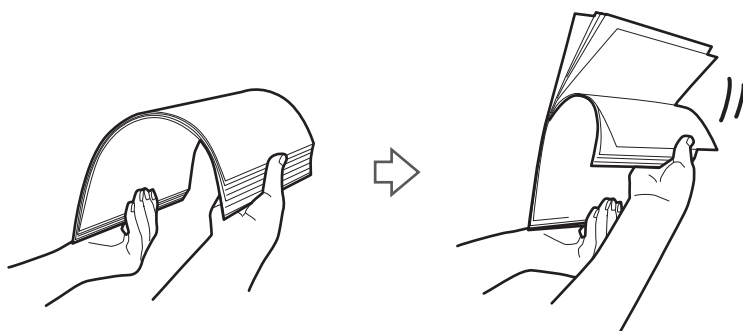


1. 給紙トレイの原稿ガイドを広げます。

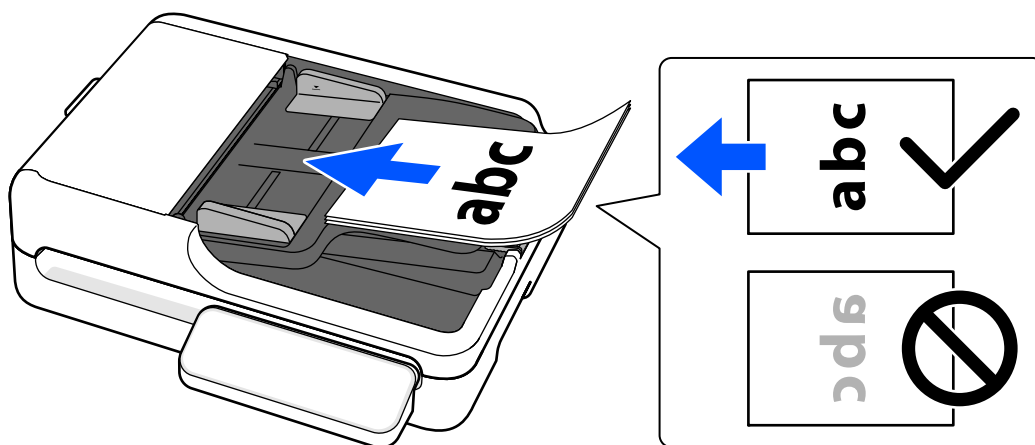


2. 原稿をさばきます。

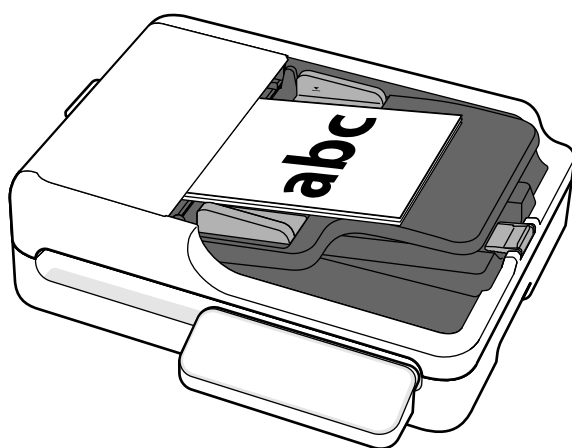
原稿の両端を持って数回さばいてから、先端を平らな面でたたいて揃えます。



3. 原稿のスキャンする面を上にして、先端をADFに向けてセットします。



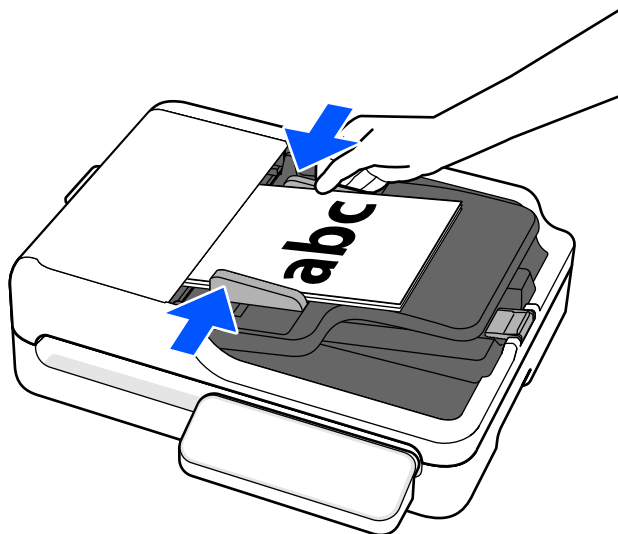
ADFに突き当たるまで挿入してください。



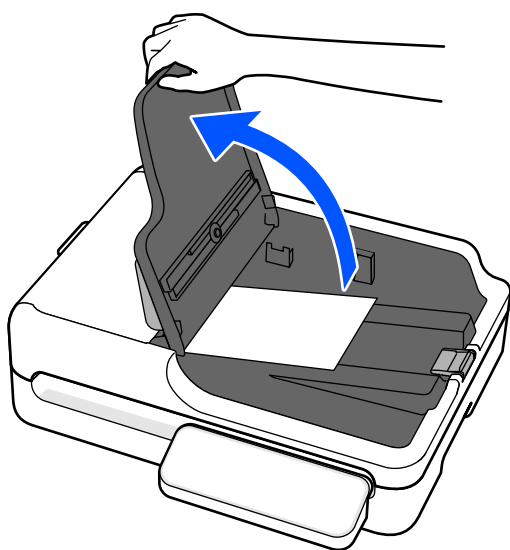
参考 ルーズリーフ用紙などのパンチ穴のある原稿をセットするときは、以下をご確認ください。

- 原稿幅の中心から左右15 mmの範囲 (30 mm幅) に穴がないこと
- パンチ穴の周りにバリや反りがないこと

4. 原稿ガイドを、原稿に隙間なく合わせます。隙間があると原稿が斜めに給紙されることがあります。



参考 小さい原稿をスキャンしたりストッパーを起こしてスキャンしたときは、給紙トレイを上げてスキャンした原稿を取り出してください。



長尺紙

セットできる長尺紙

ADFにセットできる長尺紙（垂れ幕や横断幕などの帯状の原稿）は以下の通りです。

- 参考**
- 長尺紙とは、393.8 mm以上の原稿を指します。
 - 長尺紙をスキャンするときはスキャン速度が遅くなります。

サイズ	厚さ（坪量）	用紙種類	セット可能枚数
幅：105.0～215.9 mm 最大長：5,588.0 mm	50～120 g/m ²	普通紙 上質紙 再生紙	1枚

長尺紙の最大長

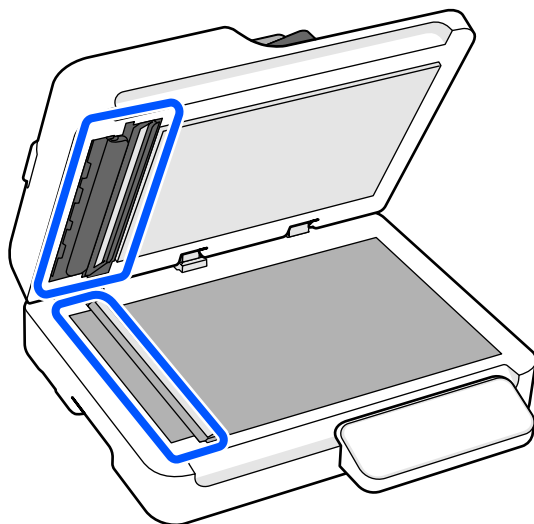
スキャン解像度とスキャン方法別の最大長は以下の通りです。

スキャン方法	スキャン解像度	最大長
- コンピューターからのスキャン - 操作パネルの「コンピューター」機能を使ったスキャン	50～200 dpi	5,588.0 mm
	201～300 dpi	5,461.0 mm
	301～600 dpi	1,346.2 mm
操作パネルの以下の機能を使ったスキャン： 「ネットワークフォルダー」 「メール」 「クラウド」 「USBドライブ」	50～300 dpi	914.4 mm
	301～600 dpi	長尺紙はサポートしていません。
Epson Smart Panelを使ったスキャン	200 dpi 300 dpi 600 dpi	長尺紙はサポートしていません。

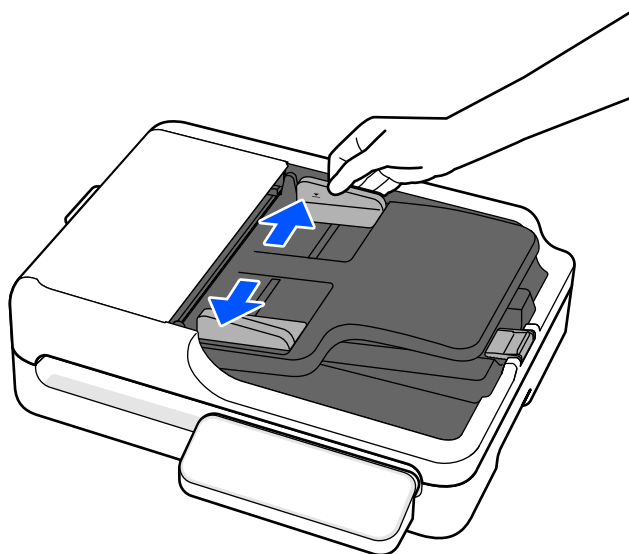
長尺紙をセットする

参考 スキャンする前に以下を確認します。

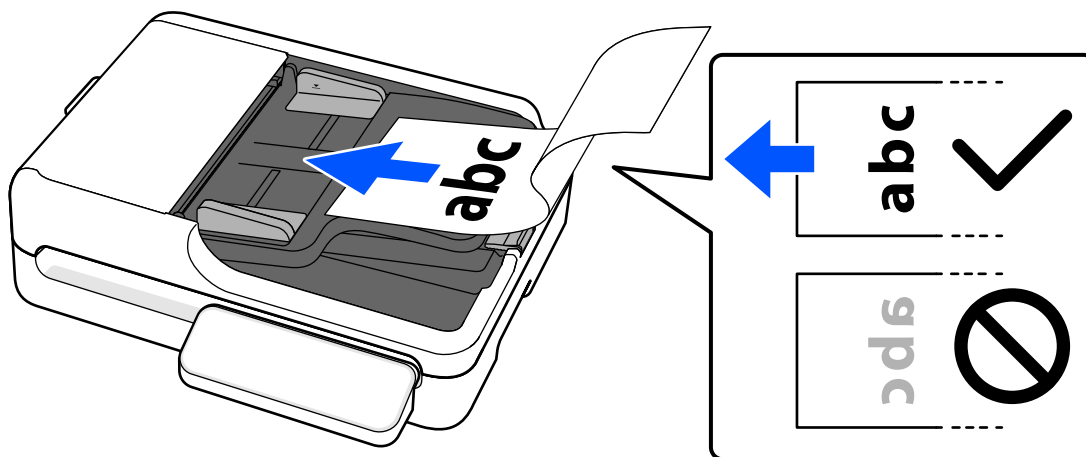
- 原稿台に原稿がないことを確認します。
- 以下の図で示した部分にゴミや汚れがないことを確認します。



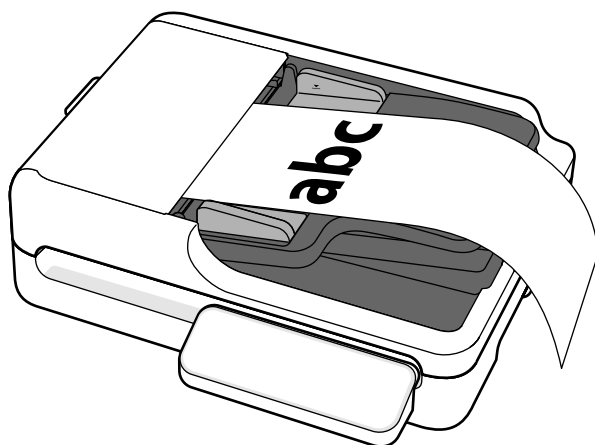
1. 給紙トレイの原稿ガイドを広げます。



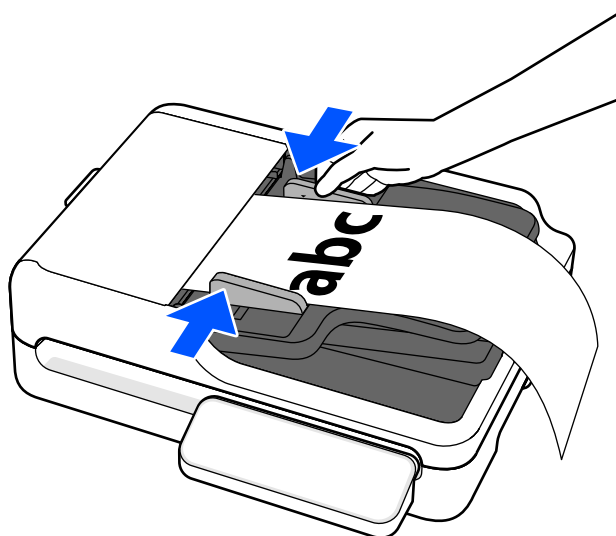
2. 原稿のスキャンする面を上にして、先端をADFに向けてまっすぐにセットします。



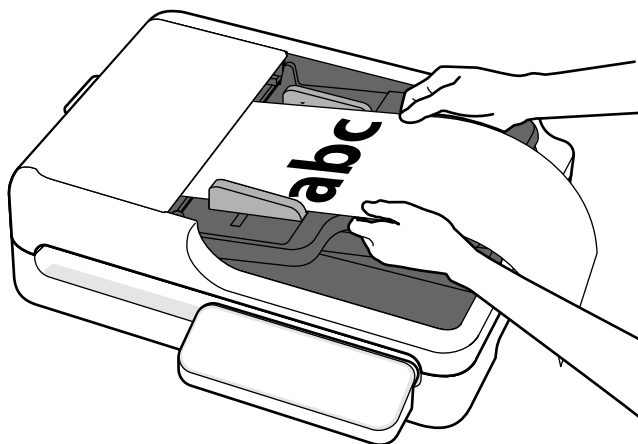
ADFに突き当たるまで挿入してください。



3. 原稿ガイドを、原稿に隙間なく合わせます。隙間があると原稿が斜めに給紙されることがあります。



参考 長尺紙のスキャン時は、長尺紙がADFから抜け落ちたり、排紙トレイにたまって詰まったり落下したりしないように、両端を手で支えてください。



スキャンするときは、原稿の長さに応じて「原稿サイズ」を設定してください。

コンピューターからのスキャン、または操作パネルの「コンピューター」機能をお使いのとき

「原稿サイズ」で「ユーザー定義サイズ」を選択し、原稿の長さを設定してください。原稿が3,048.0 mmまでの長さであれば、「原稿サイズ」を「自動検知（長尺）」に設定してスキャンできます。

- Document Capture Pro/Document Captureをお使いのとき：スキャン設定の画面で「詳細設定」ボタンを押して、Epson Scan 2の画面を開きます。「基本設定」で、「原稿サイズ」を「自動検知（長尺）」または「ユーザー定義サイズ」に設定します。
- Epson Scan 2をお使いのとき：「基本設定」で、「原稿サイズ」を「自動検知（長尺）」または「ユーザー定義サイズ」に設定します。

[「Epson Scan 2にユーザー定義サイズを登録する」109ページ](#)

スキャナーの操作パネルで「ネットワークフォルダー」、「メール」、「クラウド」、「USBドライブ」をお使いのとき

スキャン設定の「原稿サイズ」で「ユーザー定義」を選択し、原稿のサイズを設定してください。

参考 Web Configでユーザー定義サイズを登録することもできます。
登録したユーザー定義サイズは、Web Configの「お気に入り」や「ユーザーデフォルト設定」で使用できます。「原稿読み取り」で「ユーザー定義サイズ」を選択し、「ユーザー定義サイズリスト(入力原稿)から取得」をクリックして呼び出します。

[「Web Configにユーザー定義サイズを登録する」138ページ](#)

用紙の種類やサイズの異なる原稿

用紙の種類やサイズの異なる原稿をセットする

サイズの異なる原稿（105.0×148.0 mm～A4またはレターサイズまで）を、一度に総厚6.6 mmまでセットしてスキャンできます。用紙の種類や厚さが異なる原稿もまとめてセットできます。

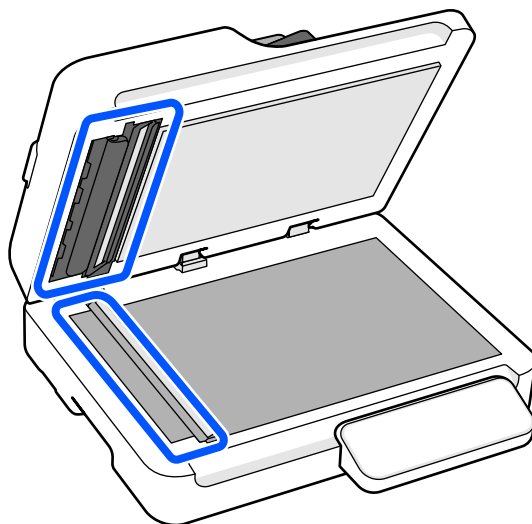
！重要

- サイズの異なる原稿を一度にセットしてスキャンするときは、全ての原稿が原稿ガイドでサポートされるわけではないため、傾いて給紙されることがあります。
- 以下の例のように、種類の異なる原稿や、サイズに大きな差がある原稿をセットしてスキャンするときは、原稿が詰まったり傾いて給紙されたりすることがあります。
 - ・薄い紙と厚い紙の組み合わせ
 - ・A4サイズの紙と小さいサイズの紙の組み合わせ
 - ・折り目やしわがある紙との組み合わせ原稿が傾いて給紙されたときはスキャン画像を確認してください。画像が傾いていた場合は、セット枚数を減らしてスキャンし直してください。

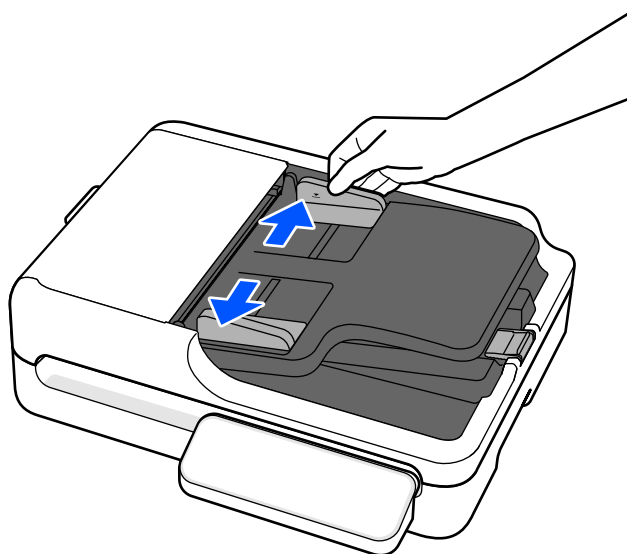
参考

スキャンする前に以下を確認します。

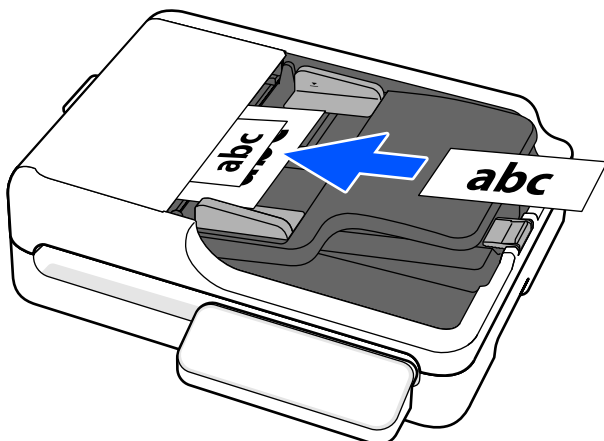
- 原稿台に原稿がないことを確認します。
- 以下の図で示した部分にゴミや汚れがないことを確認します。



1. 給紙トレイの原稿ガイドを広げます。



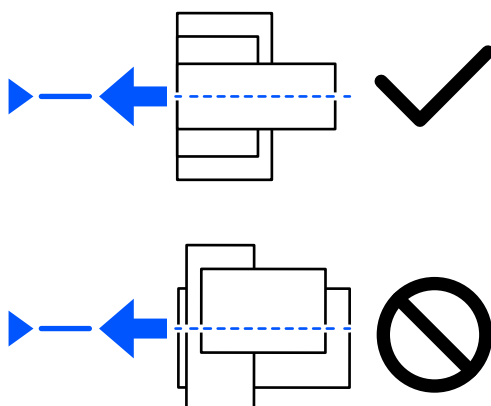
2. 原稿のスキャンする面を上にして、幅の広い原稿から順に重ねて、給紙トレイの中央にセットします。



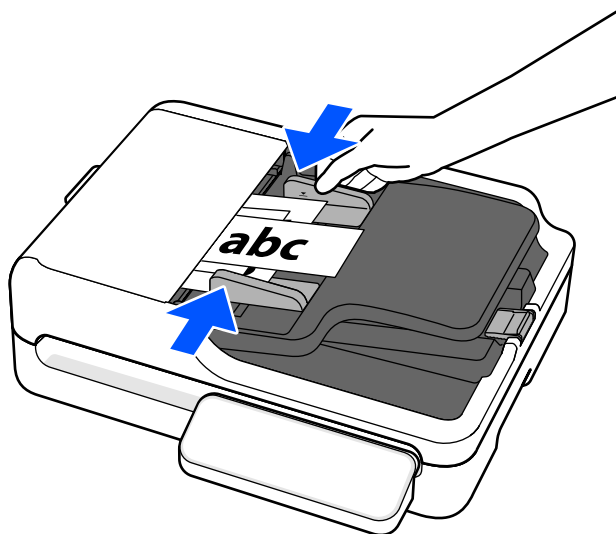
！重要 サイズの異なる原稿をセットするときは、以下の点にご注意ください。

- 原稿の先端を確実にそろえて、ADFに突き当たるまで挿入してください。
- 各原稿を給紙トレイの中心にセットしてください。
- 原稿をまっすぐセットしてください。

原稿が正しくセットされていないと、斜めに給紙されたり、詰まったりすることがあります。



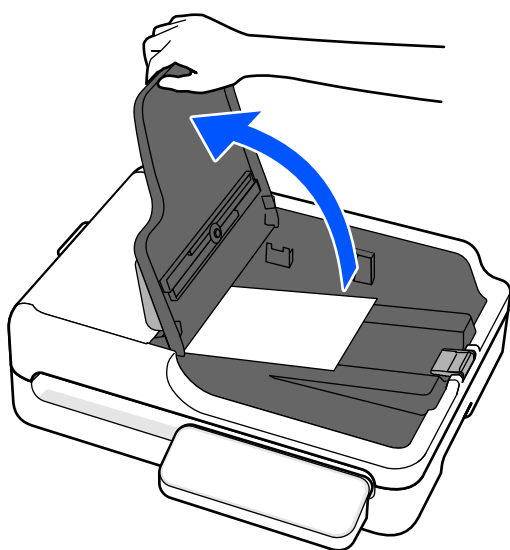
3. 原稿ガイドを最も幅の広い原稿に合わせます。



スキャンするときは、スキャン設定で「原稿サイズ」を「自動検知」に設定してください。

- Document Capture Pro/Document Captureをお使いのとき：スキャン設定の画面で「原稿サイズ」を「自動検知」に設定します。
- Epson Scan 2をお使いのとき：「基本設定」で、「原稿サイズ」を「自動検知」に設定します。
- スキャナーの操作パネルで「コンピューター」をお使いのとき：Document Capture Pro/Document Captureのジョブ編集時、スキャン設定の画面で「原稿サイズ」を「自動検知」に設定します。
- スキャナーの操作パネルで「ネットワークフォルダー」、「メール」、「クラウド」、「USBドライブ」をお使いのとき：設定項目の「原稿サイズ」を「自動検知」に設定します。

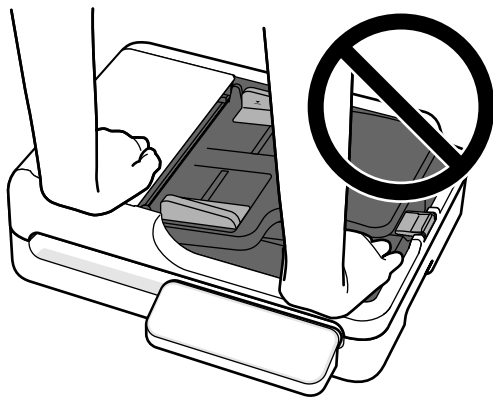
参考 小さい原稿をスキャンしたりストッパーを起こしてスキャンしたときは、給紙トレイを上げてスキャンした原稿を取り出してください。



原稿台に原稿をセットする

！重要

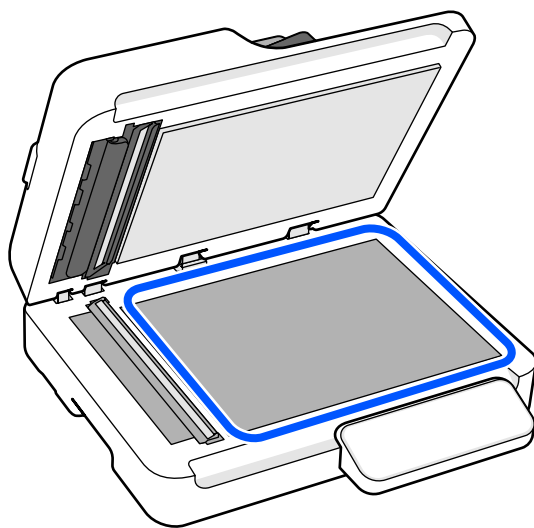
- 原稿台に重い物を置いたり、原稿台を強く押したりしないでください。スキャナーが破損するおそれがあります。



- 原稿カバーを70度より大きい角度に開けないでください。ヒンジ（ちょうつがい）が破損するおそれがあります。
- スキャンが終了したら原稿を取り出してください。長時間セットしたままにすると、原稿台に貼り付くことがあります。

参考

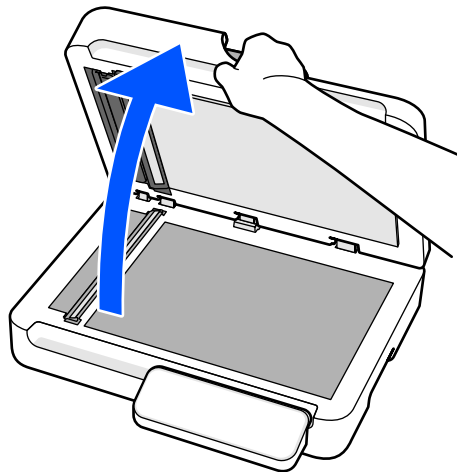
- 原稿台は汚れやゴミの無い状態にしておいてください。



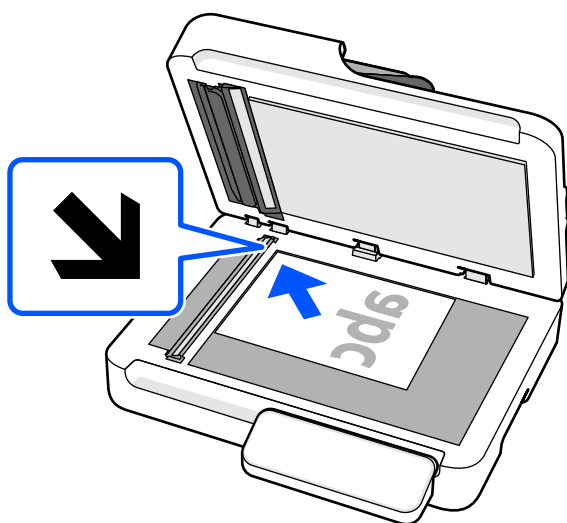
- ADFと原稿台の両方に原稿がセットされているときは、ADFのスキャンが優先されます。
Document Capture Pro/Document CaptureまたはEpson Scan 2をお使いのときは、[取り込み装置]が[自動検知]に設定されているときに適用されます。

原稿をセットする

1. 原稿カバーを開けます。



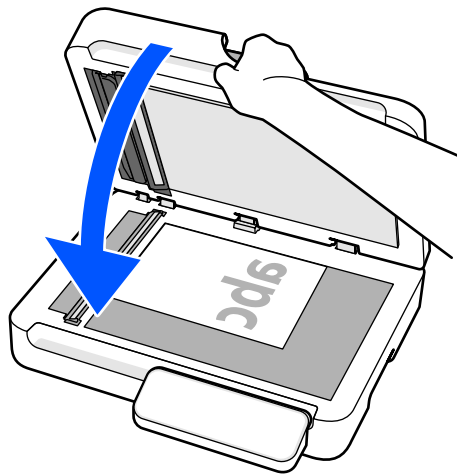
2. 読み取る面を下にして、原稿台の角（原点マーク側）に合わせて原稿を置きます。



参考

- スキャンできる最大の原稿サイズは215.9×297.1 mmです。
- 原稿台の端には上下左右に読み取れない範囲があります。
 - 上端：1.5 mm
 - 左端：1.5 mm
 - 右端：8 mm
 - 下端：15 mm

3. 原稿を動かさないように、原稿カバーを静かに閉めます。

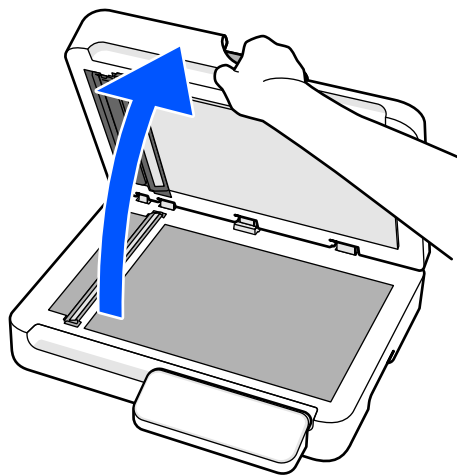


厚みのある原稿をセットする

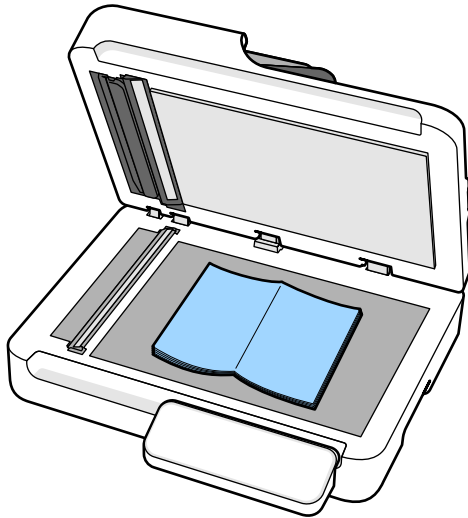
原稿台には厚さ30 mmまでの原稿をセットできます。

参考 本などの厚みのある原稿を読み取るときは、原稿台に照明などの光が直接入らないようにしてください。スキャンした画像にノイズが入ったり、原稿サイズの自動検知に失敗することがあります。

1. 原稿カバーを開けます。



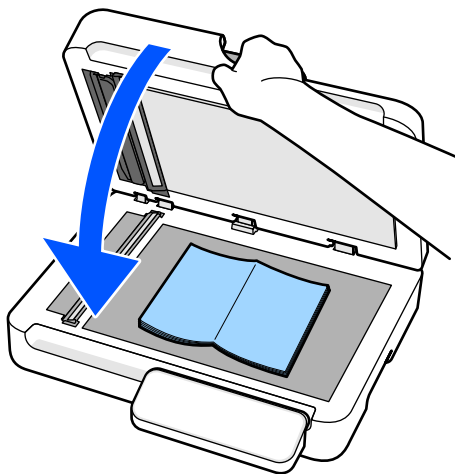
2. 読み取る面を下にして、原稿台の中央に原稿を置きます。



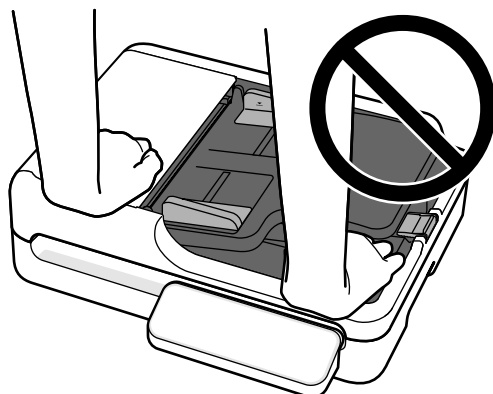
参考

- スキャンできる最大の原稿サイズは215.9×297.1 mmです。
- 原稿台の端には上下左右に読み取れない範囲があります。
 - 上端：1.5 mm
 - 左端：1.5 mm
 - 右端：8 mm
 - 下端：15 mm

3. 原稿を動かさないように、原稿カバーを静かに閉めます。



！重要 原稿台を強く押さないでください。スキャナーが破損するおそれがあります。



複数枚の原稿を一度にセットする

原稿台でスキャンするとき、一枚ずつスキャンしなくても、複数枚を一度にスキャンして別々の画像に自動で切り出して保存できます。定形サイズ of 原稿だけでなく、レシートや伝票などの不定形な書類や、色々な大きさの写真にも対応しています。

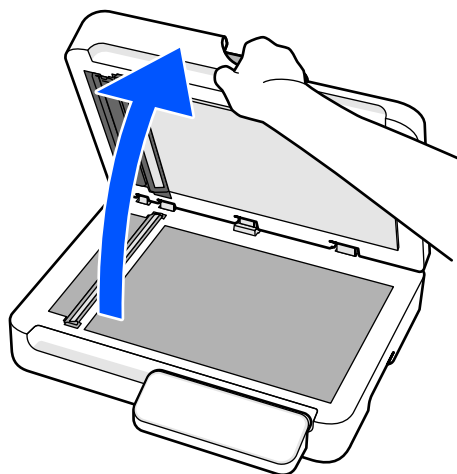
この機能は、以下の場合（コンピューターと接続してスキャンするとき）に使用できます。

- お使いのコンピューターでDocument Capture Pro（Windows）/Document Capture（Mac OS X）またはEpson Scan 2でスキャンするとき
- スキャナーの操作パネルで「コンピューター」を選択してスキャンするとき

参考

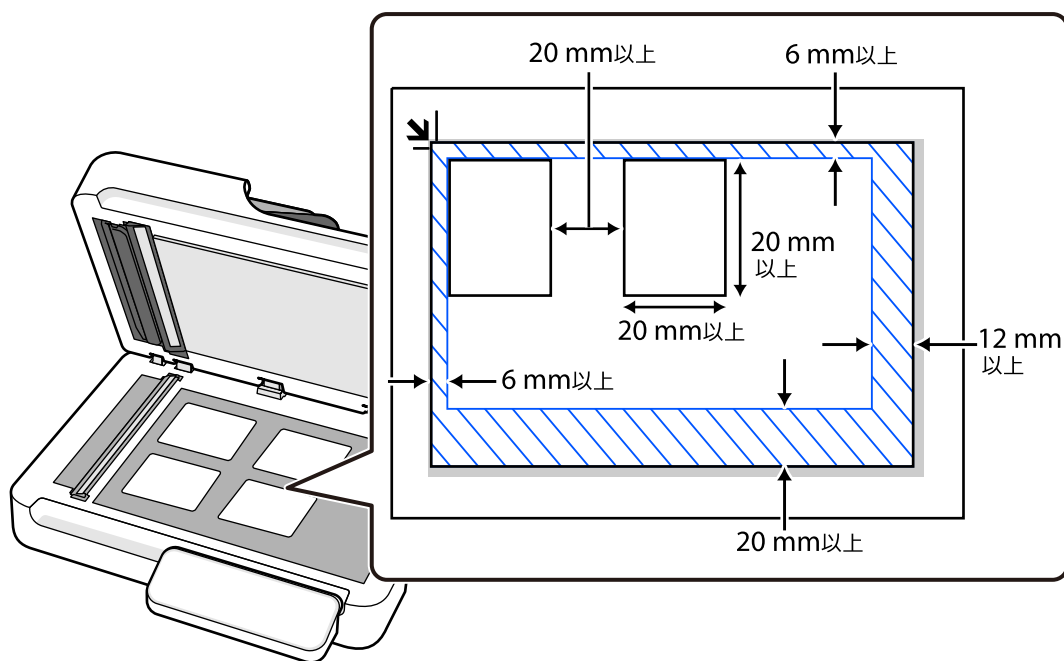
- スキャナーの操作パネルで「ネットワークフォルダー」、[メール]、[クラウド]、[USBドライブ]を選択したときは使用できません。
- 厚みのある原稿を読み取るときは、原稿台に照明などの光が直接入らないようにしてください。自動での画像の切り出しに失敗することがあります。

1. 原稿カバーを開けます。

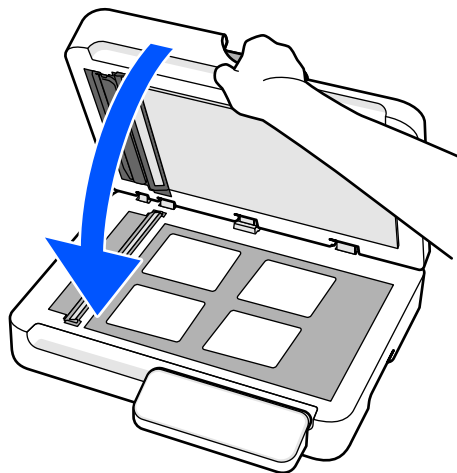


2. 読み取る面を下にして、それぞれの原稿をセットします。以下の条件に合うようにセットしてください。

- それぞれの原稿を、原稿台の端から離す
 - 上端：6 mm
 - 左端：6 mm
 - 右端：12 mm
 - 下端：20 mm
- 原稿と原稿の間を20 mm以上離す
- 原稿サイズは20×20 mm以上



3. 原稿を動かさないように、原稿カバーを静かに閉めます。



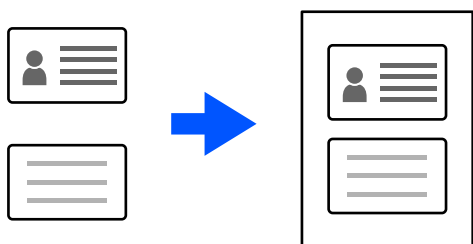
スキャンするときは、スキャン設定で「原稿サイズ」を「自動検知」に設定してください。

- Document Capture Pro/Document Captureをお使いのとき：スキャン設定の画面で「原稿サイズ」を「自動検知」に設定します。

- Epson Scan 2をお使いのとき：[基本設定] で、[原稿サイズ] を[自動検知] に設定します。プレビューしたときはスキャンできる領域全体が表示されます。[スキャン後にページを追加・編集] にチェックを入れてスキャンし、編集画面でスキャンした画像を確認してから保存することをお勧めします。
- スキャナーの操作パネルで[コンピューター]をお使いのとき：Document Capture Pro/Document Captureのジョブ編集時、スキャン設定の画面で[原稿サイズ] を[自動検知] に設定します。

IDカードをセットする

IDカードの表面と裏面を別々にスキャンし、2つの面を並べて1枚の画像として保存できます。



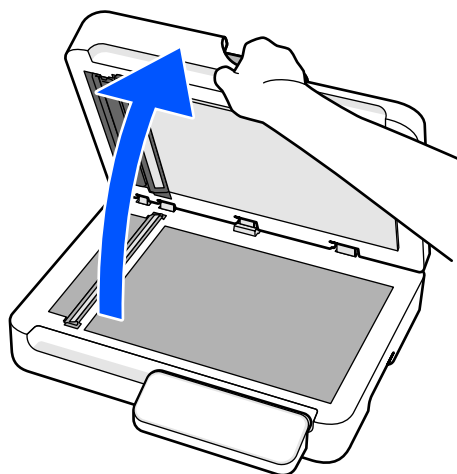
この機能は、スキャナーの操作パネルで使用できます。以下のメニューのスキャン設定で [IDカード] を [オン] にしてください。

- [ネットワークフォルダー]
- [メール]
- [クラウド]
- [USBドライブ]

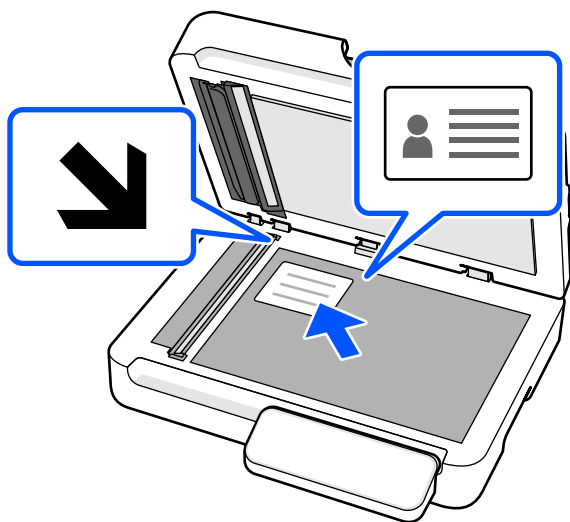
参考 以下の場合は使用できません。

- コンピューターからスキャンするとき
- スキャナーの操作パネルで[コンピューター]を選択したとき

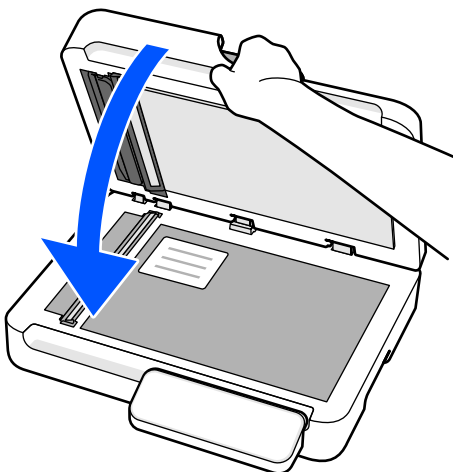
1. 原稿カバーを開けます。



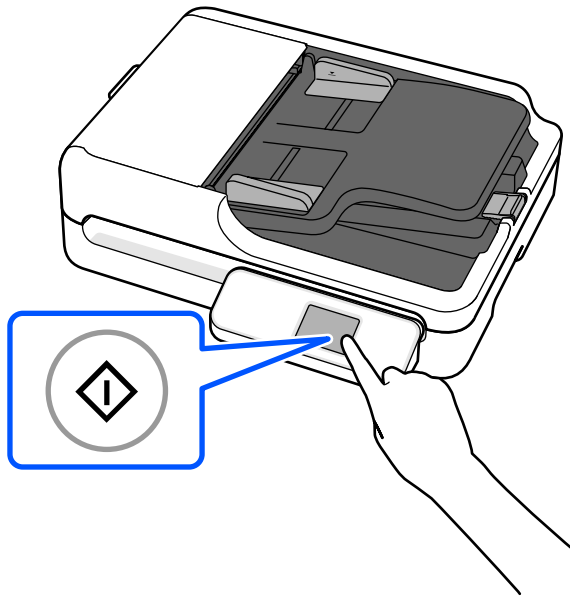
2. 表面を読み取ります。読み取る面を下にして、原稿台の角（原点マーク側）から6 mm以上離して原稿を置きます。



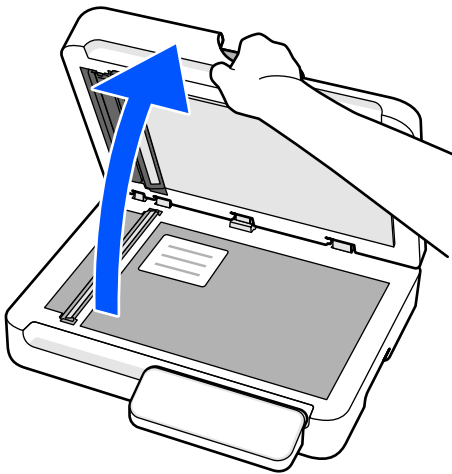
3. 原稿を動かさないように、原稿カバーを静かに閉めます。



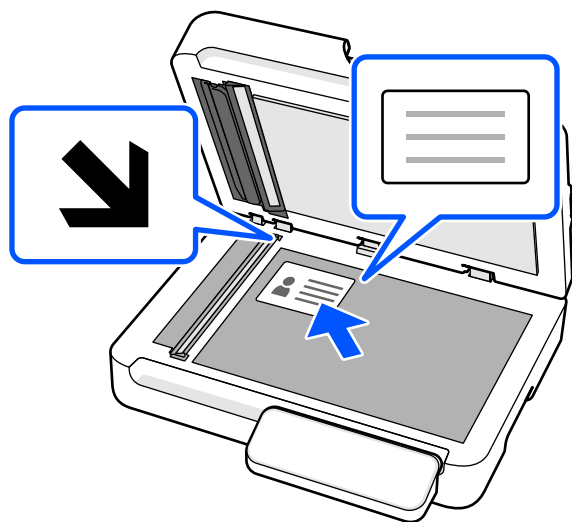
4. ◇ をタップして、スキャンを開始します。



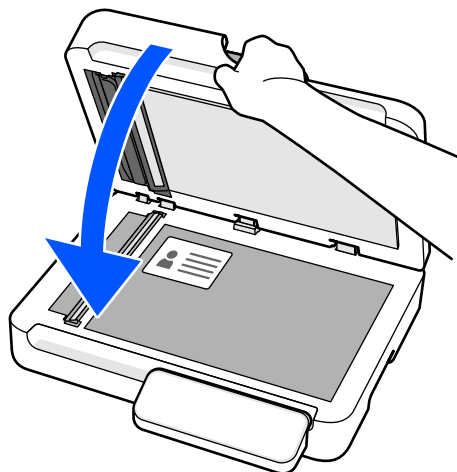
5. 表面の読み取りが完了したら、原稿カバーを開けます。



6. 裏面を読み取ります。読み取る面を下にして、原稿台の角（原点マーク側）から6 mm以上離して原稿を置きます。



7. 原稿を動かさないように、原稿カバーを静かに閉めます。



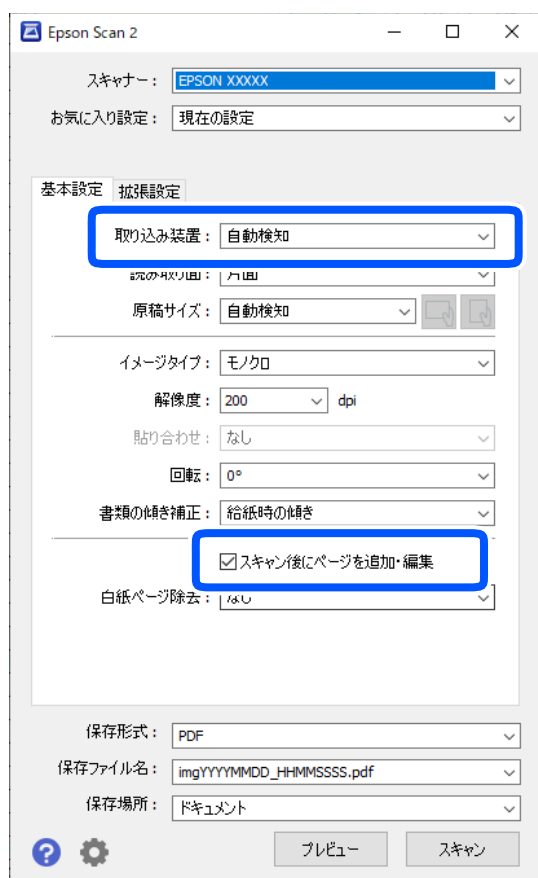
8. 「読み取り開始」をタップして、裏面のスキャンを開始します。
裏面の読み取りが完了したら、「次の原稿なし」をタップして画像を保存します。

一度のスキャンでADFと原稿台を組み合わせる

一度のスキャンでADFと原稿台の両方からスキャンするときは、一度スキャンが完了したあと、別の取込装置から追加の原稿としてスキャンします。

Epson Scan 2をお使いの場合

「取り込み装置」で「自動検知」を選択し、「スキャン後にページを追加・編集」にチェックを入れてスキャンします。



スキャンが完了すると「ページ追加」画面が表示されます。次の原稿をセットし「追加」をクリックしてスキャンします。

参考 ADFと原稿台の両方に原稿がセットされているときは、ADFのスキャンが優先されます。

Document Capture Proをお使いの場合

スキャンが完了して「スキャン結果の編集」画面が表示されたら、次の原稿をセットし「+追加」ボタンをクリックします。

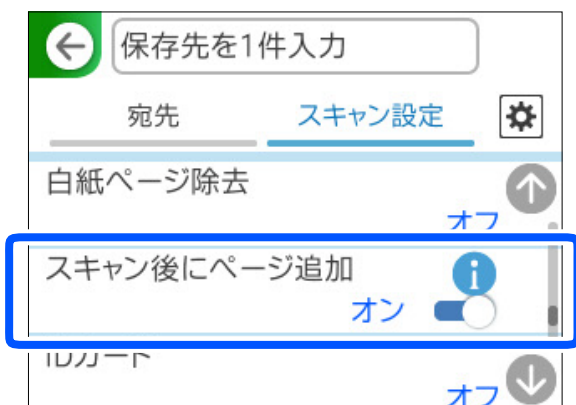


スキャン設定画面で「取込装置」を選択し、「[OK]」をクリックしてスキャンします。

- 参考**
- ジョブスキャン時に「スキャン結果の編集」画面が表示されないときは、ジョブ設定の保存設定画面で「保存前にページの編集画面を表示する」のチェックを入れてください。
 - 「スキャン結果の編集」画面をスキップすることもできます。スキャン設定画面の「取込装置」で「自動検知」を選択し、「スキャン終了後に継続確認を表示する」にチェックを入れてスキャンします。
 - 「自動検知」を選択し、ADFと原稿台の両方に原稿がセットされているときは、ADFのスキャンが優先されます。

操作パネルからスキャンする場合（スキャン to機能）

スキャン設定で「スキャン後にページ追加」を「オン」にしてスキャンします。



スキャンが完了すると「読み取り完了」画面が表示されます。次の原稿をセットし「読み取り開始」をタップしてスキャンします。

- 参考**
- 「[スキャン to コンピューター 機能]」をお使いのときは、「**Document Capture Proをお使いの場合**」を参照してジョブを設定してください。
 - ADFと原稿台の両方に原稿がセットされているときは、ADFのスキャンが優先されます。

Epson Smart Panelをお使いの場合

スキャン設定で「取り込み装置」を「自動検知」にしてスキャンします。

スキャン結果の画面が表示されたら、次の原稿をセットし「+スキャン」をタップしてスキャンします。



- 参考**
- ADFと原稿台の両方に原稿がセットされているときは、ADFのスキャンが優先されます。

スキャン

操作パネルからスキャンする	65
お気に入りの登録内容でスキャンする	93
コンピューターからスキャンする	94
ジョブを登録する	112
e-文書法および電子帳簿保存法に適合したスキャン	113
スマートデバイスからスキャンする	114

操作パネルからスキャンする

スキャナーの操作パネルからは、以下の項目を宛先にしてスキャンできます。

コンピューター

スキャンした画像を接続しているコンピューターに保存できます。

ネットワークフォルダー

事前に作成したネットワーク上のフォルダーに、スキャンした画像を保存できます。

メール

事前に設定したEメールサーバーを使用して、スキャンした画像をスキャナーから直接メールで送信できます。

クラウド

事前に設定したクラウドサービスに、スキャンした画像をそのまま転送できます。

USBドライブ

スキャナーにUSBドライブを接続して、スキャンした画像を直接保存できます。

コンピューターに保存

スキャン to コンピューター機能の流れ

スキャンした画像を、接続しているコンピューターに保存する流れを説明します。

必要な作業	作業場所	説明
1. ソフトウェアをコンピューターにインストールして、スキャナーとコンピューターを接続する (セットアップ時にソフトウェアのインストールと接続をした場合は不要)	スキャナーとコンピューター	インストーラーを使用して、以下の作業を行います。 - 必要なソフトウェアをコンピューターにインストールする - スキャナーとコンピューターを接続する 以下のウェブサイトからインストーラーを使用できます。URLへアクセスし、表示された画面で製品名を入力してください。 [セットアップ]に進んで作業を開始します。 https://epson.sn
2. Document Capture Proでジョブを作成して、操作パネルに割り当てる	コンピューター	スキャンした画像をPDFにして保存するジョブが初期設定されています。追加のジョブを登録したいときは、以下を参照してください。 Windows : 以下のURLから最新のDocument Capture Proのマニュアルをご覧ください。 https://support.epson.net/dcp/ Mac OS : 「ジョブを作成、登録する (Mac OS)」112ページ 「操作パネルにジョブを割り当てる (Mac OS)」113ページ

必要な作業	作業場所	説明
3. 操作パネルからスキャンを実行する	スキャナーの操作パネル	操作パネルからスキャンを実行します。 「 コンピューターに保存する 」66ページ

コンピューターに保存する

スキャンした画像を接続しているコンピューターに保存します。
事前に設定が必要です。設定の流れについては以下のリンクを参照してください。
「[スキャン to コンピューター機能の流れ](#)」65ページ

1. 原稿をセットします。

例：定型紙の場合

「[定形サイズの原稿をセットする](#)」41ページ

2. 操作パネルのホーム画面で「コンピューター」を選択します。

3.  を選択して、コンピューターを選択します。



- 操作パネルには、Document Capture Proがインストールされたコンピューターが最大111台表示されます。
- 操作パネルに使用したいコンピューターが表示されないときや、表示に時間がかかるときは、Document Capture Proで優先表示を設定できます。Document Capture Proを起動し、右上の （パネルに表示）ボタンを押して「このスキャナーにこのPCを優先表示する」を選択してください。

4. 「**ジョブを選択**」画面が表示された場合はジョブを選択します。



ジョブを1つしか登録していないときは、ジョブを選択する必要はありません。次の手順に進みます。

5. 選択したコンピューターとジョブを確認します。



★を選択すると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。

6.  を選択して「スキャン動作設定」の設定を確認し、必要に応じて変更します。

「**原稿保護**」などの設定を変更できます。

7. をタップします。

コンピュータでDocument Capture Proが起動してスキャンが始まります。

ネットワークフォルダーに保存

スキャン to ネットワークフォルダー機能の流れ

ここではネットワーク フォルダー(SMB)の設定を例に説明しています。

必要な作業	作業場所	説明
1. スキャナーをネットワークに接続する (セットアップ時にネットワークに接続した場合は不要)	スキャナーとコンピュータ	インストーラーを使用して、スキャナーをネットワーク接続します。以下のウェブサイトへアクセスし、表示された画面で製品名を入力してください。[セットアップ]に進んで作業を開始します。 https://epson.sn 接続方法の選択画面が表示されたら、無線LAN (Wi-Fi) または有線LAN (Ethernet) を選択して、画面の案内に従ってネットワークに接続します。 参考 - インストーラーを使用すると、ソフトウェアのインストールも同時に行われます。 - 手動でも設定できます。(管理者向け) 「スキャナーをネットワークに接続する」210ページ
2. ネットワークフォルダーを作成する	コンピュータ	スキャンした画像を保存するためのフォルダーを作成します。ネットワーク上のコンピュータにフォルダーを作成して、共有できるように設定します。 「ネットワークフォルダーを作成する」118ページ
3. フォルダーを[アドレス帳]に登録する	コンピュータ (Web Config) またはスキャナーの操作パネル	作成したネットワークフォルダーを、スキャナーの[アドレス帳]に登録します。スキャン実行時に宛先のフォルダーパスを入力しなくても、アドレス帳から選択できます。 「宛先を登録する (ネットワークフォルダー (SMB))」130ページ 参考 FTPとSharePoint (WebDAV) の設定項目については、以下を参照してください。 「宛先を登録する (FTP)」131ページ 「宛先を登録する (SharePoint(WebDAV))」132ページ
4. 操作パネルからスキャンを実行する	スキャナーの操作パネル	操作パネルからスキャンを実行します。 「ネットワークフォルダーに保存する」67ページ

ネットワークフォルダーに保存する

スキャンした画像をネットワーク上の指定フォルダーに保存します。

事前に設定が必要です。設定の流れについては以下のリンクを参照してください。

[「スキャン to ネットワークフォルダー機能の流れ」 67ページ](#)

参考 スキャンする前に、スキャナーの「日付/時刻」と「時差」が正しく設定されていることを確認してください。
変更するときは、操作パネルで「設定」 - 「基本設定」 - 「日付/時刻設定」の順に選択します。

1. 原稿をセットします。

例：定型紙の場合

[「定形サイズの前稿をセットする」 41ページ](#)

2. 操作パネルのホーム画面で「ネットワークフォルダー」を選択します。

3. 「宛先」タブで保存先を指定します。



- キーボードで入力する：「直接入力」を選択します。保存先の設定項目については以下を参照してください。
[「保存先編集の設定項目」 69ページ](#)
- アドレス帳から選択する：「アドレス帳」を選択し、宛先を選択して、「閉じる」を選択します。
アドレス帳の画面上部にある検索ボックスで、登録したフォルダーを検索することもできます。

4. 「スキャン設定」タブを選択して保存形式などの設定を確認し、必要に応じて変更します。

[「フォルダー保存のスキャン設定項目」 70ページ](#)



5.  を選択して「スキャン動作設定」の設定を確認し、必要に応じて変更します。
「原稿保護」などの設定を変更できます。

6. もう一度 [宛先] タブを選択して、 をタップします。



を選択すると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。

保存先のネットワークフォルダーにスキャンした画像が保存されます。

保存先編集の設定項目

通信モード：

フォルダーの通信モードを選択します。

保存先*：

保存先フォルダーのネットワークパスを、選択した通信モードに応じた書式で入力します。

- ネットワーク フォルダー(SMB)：¥¥ホスト名（コンピューター名）¥フォルダーパス
- FTP：ftp://ホスト名（サーバー名）/フォルダーパス
- FTPS：ftps://ホスト名（サーバー名）/フォルダーパス
- WebDAV (HTTPS)：https://ホスト名/フォルダーパス
- WebDAV (HTTP)：http://ホスト名/フォルダーパス

アルファベット、数字、記号を入力するときは、半角文字と全角文字を正しく指定してください。半角文字と全角文字の設定が間違っていると、保存先フォルダーに保存できません。



スキャナーの操作パネルからの [ネットワークフォルダー] へのスキャンは、SharePoint Online に対応していません。

スキャンした画像をSharePoint Onlineに保存したいときは、Document Capture ProにSharePoint Online Connectorをインストールしてお使いください。詳しくは、Document Capture Proのマニュアルをご覧ください。

<https://support.epson.net/dcp/>

ユーザー名：

保存先フォルダーを作成したコンピューターのログオンユーザー名を入力します。

パスワード：

保存先フォルダーを作成したコンピューターのログオンパスワードを入力します。

接続モード：

フォルダーの接続モードを選択します。

ポート番号：

フォルダーのポート番号を入力します。

プロキシサーバー使用設定：

プロキシサーバーを使うかどうかを選択します。

フォルダー保存のスキャン設定項目

参考 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

イメージタイプ：

スキャンした画像を保存するときの色を選択します。（購入時の設定は「カラー」）
以下を選択すると、スキャナーが自動で原稿の色を検出し、検出した色を使用して画像を保存します。

- カラー/グレイ/モノクロ
スキャンした画像を24 bitカラー、8 bitグレイ、またはモノクロ（白黒2値）に変換します。この項目を選択した場合、カラー以外の原稿をスキャンするときに、原稿がグレイかモノクロかを判別するための感度を設定してください。
- カラー/モノクロ：
スキャンした画像を24 bitカラーまたはモノクロ（白黒2値）に変換します。
- カラー/グレイ：
スキャンした画像を24 bitカラーまたは8 bitグレイに変換します。

使用できるイメージタイプは選択したファイル形式によって異なる場合があります。詳しくは以下を参照してください。

[「使用できるファイル形式とイメージタイプの組み合わせ」91ページ](#)

参考 e-文書のカラーモードについて、詳しくは以下を参照してください。

[「e-文書および電子帳簿保存法に適合したスキャン」113ページ](#)

ファイル形式：

スキャンした画像の保存形式を選択します。（購入時の設定は「PDF(マルチページ)」）
保存形式にPDF、PDF/A、またはTIFFを指定するときは、全ての原稿を1つのファイルに保存するか（マルチページ）、それぞれ別のファイルに保存するか（シングルページ）を選択します。

- 圧縮率：
スキャン画像の圧縮率を選択します。
- PDF設定：
保存形式をPDFにすると、PDFのセキュリティが設定できます。
開くときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、文書を開くパスワードを設定します。印刷したり編集したりするときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、権限パスワードを設定します。

解像度：

スキャン解像度を選択します。（購入時の設定は200 dpi）
選択可能な解像度について、詳しくは以下を参照してください。

[「選択可能な解像度」93ページ](#)

読み取り面：

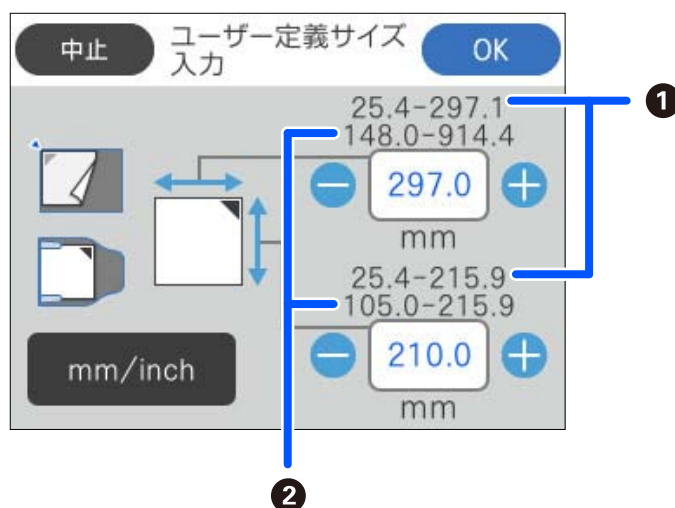
ADFでスキャンするとき、スキャンしたい原稿の面を選択します。（購入時の設定は「両面」）

- 原稿セット方向：
原稿の向きを選択します。
- 開き方向(原稿)：
原稿のとじ位置を選択します。

原稿サイズ：

セットした原稿のサイズを選択します。（購入時の設定は〔自動検知〕）

- 参考** 〔ユーザー定義〕で任意の原稿サイズを設定できます。
 原稿をセットした装置により定義できる原稿サイズが異なります。画面に表示された数値を参考にしてください。
- ①：原稿台に原稿をセットした場合
 - ②：ADFに原稿をセットした場合



- 原稿セット方向：
原稿の向きを選択します。
- 自動(サイズ)選択時の切出し位置調整：
〔自動検知〕を選択している場合に、トリミング領域を調整します。

原稿セット方向：

原稿の向きを選択します。（初期値は〔左向き〕）

- 参考** 〔原稿セット方向〕の設定は、〔読み取り面〕および〔原稿サイズ〕の設定と同期しています。いずれか一つで設定を変更すると、全てに反映されます。

文字くっきり：

ぼやけている書類の文字をくっきりシャープにできます。裏写りや背景のムラなども低減できます。（購入時の設定は〔オフ〕）

- 薄文字を強調する/背景を薄くする：
文字と背景の補正のレベルを設定できます。スライダーを〔薄文字を強調する〕に近づけるほど、スキャン画像の薄い文字が強調されます。スライダーを〔背景を薄くする〕に近づけるほど、スキャン画像の背景色、模様、しわや裏写りを除去します。
- 散在する黒い点を除去する：
背景を薄くしても取り切れない、原稿の背景にある黒い点を除去できます。効果のレベルを調整できます。

- 参考** この機能をオンにすると、背景にある黒い点以外の小さな点も除去されることがあります。

回転：

スキャンした画像を時計回りに回転します。スキャンする原稿に合わせて、画像を回転する角度を設定します。（購入時の設定は0°）

濃度：

スキャン画像の濃度を選択します。（購入時の設定は±0、最大値は±4）

背景除去：

スキャンした画像から原稿の背景色を削除します。（購入時の設定は［オフ］）
この機能は、背景色が原稿の中で最も明るく均一な色である場合に使用できます。背景色よりも明るい文字やイラストがあったり、背景に模様があったりすると、正しく適用されません。

影消し：

スキャンした画像から影を除去します。（購入時の設定は［オフ］）

- 枠幅：
スキャンした画像から、原稿のフチの影を除去します。

書類の傾き補正：

スキャンした画像の傾きを補正します。（購入時の設定は［オン］）
傾きすぎている原稿は補正できません。

白紙ページ除去：

ADFでスキャンするとき、原稿の中に白紙ページがある場合、白紙ページをスキップしてスキャンします。（購入時の設定は［オフ］）
思った通りの結果にならない場合は、検知レベルを調整します。

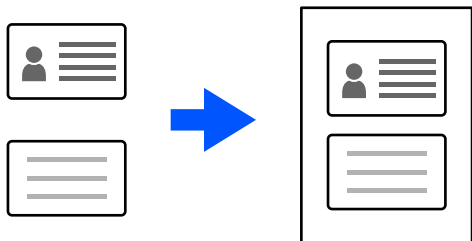
参考 白紙ページとして誤ってスキップされる場合があります。

スキャン後にページ追加：

一度スキャンした後、同じスキャン設定で追加の原稿をスキャンできます。マルチページのファイル形式を選択しているときは、ファイルを1つにまとめて保存できます。（購入時の設定は［オフ］）
スキャンが完了した後、次の原稿をADFまたは原稿台にセットして、［読み取り開始］をタップします。
全ての原稿の読み取りが完了したら、［次の原稿なし］をタップして画像を保存します。

IDカード：

原稿台を使ってIDカードの表面と裏面を別々にスキャンし、二つの面を並べて一枚の画像として保存します。（購入時の設定は［オフ］）



参考 スキャンした画像は、約3 mmの余白をとって自動で切り出されます。

スキャンするときは、以下の手順で表面と裏面を順番にスキャンします。

[「IDカードをセットする」57ページ](#)

- レイアウト：
画像を保存するときの、表面と裏面のレイアウトを選択します。

ファイル名：

- ファイルヘッダー：
画像のファイル名の先頭部分を、半角英数字および記号で入力します。（購入時の設定は［未入力］）
- 日付を入れる：
ファイル名に日付を追加します。（購入時の設定は［オン］）
- 時刻を入れる：
ファイル名に時間を追加します。（購入時の設定は［オン］）

設定クリア

スキャン設定を購入時の状態に戻します。

メールに添付して送付

メールで送るには

コンピューターを使用せずに、スキャナーのタッチパネルの操作のみでスキャンした画像をメールの添付ファイルとして送信できます。以下の2つの方法があります。

方法	エプソンのサービスで手軽に送信	メールサーバーを設定して送信
こんな方に	簡単な設定で手軽にメール送信をしたい	- 一度に複数宛先にメールを送付したい - 送信元のメールアドレスを選択したい
設定の案内	「スキャン to クラウド機能の流れ」80ページ 1. エプソンのサービス『Epson Connect』*にスキャナーを登録 2. 宛先リストにメールアドレスを追加	「スキャン to メール機能の流れ」74ページ 1. メールサーバーの情報を確認 2. サーバーアドレスなどのメールサーバー情報をスキャナーに登録 3. アドレス帳にメールアドレスを登録（任意）

* Epson Connect は、インターネットを使ってユーザーとスキャナーを結ぶサービスです。スキャナー情報とユーザー情報を登録するだけで、スキャンしたデータを指定のメールアドレスや他社クラウドサービスに送信できます。Epson Connectのサービス内容は、予告なく変更されることがあります。

使える機能の違い

方法	エプソンのサービスで手軽に送信	メールサーバーを設定して送信
送信元	Epson Connectの送信専用アドレス（変更不可）	任意のアドレスを設定
宛先の設定	事前に登録（Epson Connectの宛先リスト）	- 事前に登録（スキャナー本体のアドレス帳） - 事前登録なしで、スキャン時に宛先を直接入力

方法	エプソンのサービスで手軽に送信	メールサーバーを設定して送信
宛先の複数選択	-	設定可能 アドレス帳で宛先をグループ登録することもできます。
添付ファイル名	-	設定可能（操作パネルで編集）
メールの件名	設定可能（宛先ごとに編集）	設定可能（操作パネルで編集）
メールの本文	設定可能（宛先ごとに編集）	-
最大の添付ファイルサイズ	-	設定可能（操作パネルで編集）

スキャン to メール機能の流れ

スキャンした画像を指定したメールアドレスに送信するには、メールサーバーを設定して送信する方法と、クラウドサービスEpson Connectを使用して送信する方法の、2つの方法があります。

「メールで送るには」73ページ

以下では、メールサーバーを設定してスキャンした画像をメールで送信する流れを説明します。

必要な作業	作業場所	説明
1. スキャナーをネットワークに接続する (セットアップ時にネットワークに接続した場合は不要)	スキャナーとコンピューター	インストーラーを使用して、スキャナーをネットワーク接続します。以下のウェブサイトへアクセスし、表示された画面で製品名を入力してください。[セットアップ]に進んで作業を開始します。 https://epson.sn 接続方法の選択画面が表示されたら、無線LAN (Wi-Fi) または有線LAN (Ethernet) を選択して、画面の案内に従ってネットワークに接続します。 参考 - インストーラーを使用すると、ソフトウェアのインストールも同時に行われます。 - 手動でも設定できます。(管理者向け) 「スキャナーをネットワークに接続する」210ページ
2. メールサーバーの情報をスキャナーに登録する	コンピューター (Web Config) またはスキャナーの操作パネル	スキャン to メール機能では、スキャンした画像をメールサーバー経由で送信します。メールサーバーの情報をスキャナーに登録します。 「メールサーバーに登録する」125ページ
3. メールサーバーとの接続を確認する	コンピューター (Web Config) またはスキャナーの操作パネル	メールサーバーの接続テストを行います。 「メールサーバーとの接続を確認する」127ページ
4. 送信先のメールアドレスを [アドレス帳] に登録する	コンピューター (Web Config) またはスキャナーの操作パネル	送信先のメールアドレスを、スキャナーの [アドレス帳] に登録します。スキャン実行時に宛先のメールアドレスを入力しなくても、アドレス帳から選択できます。 「宛先に登録する (メール)」129ページ

必要な作業	作業場所	説明
5. 操作パネルからスキャンを実行する	スキャナーの操作パネル	操作パネルからスキャンを実行します。 「メールに添付して送付する」75ページ

メールに添付して送付する

スキャンしたデータを指定したメールアドレスに送信するには2つの方法があります。2つの方法の仕様については以下をご覧ください。

「メールで送るには」73ページ

スキャンするためには事前の設定が必要です。設定の流れについては以下のリンクを参照してください。

「スキャン to メール機能の流れ」74ページ

以下では、メールサーバーを使ってスキャンする手順を説明します。

参考 スキャンする前に、スキャナーの「日付/時刻」と「時差」が正しく設定されていることを確認してください。
変更するときは、操作パネルで「設定」-「基本設定」-「日付/時刻設定」の順に選択します。

1. 原稿をセットします。

例：定型紙の場合

「定型サイズの前稿をセットする」41ページ

2. 操作パネルのホーム画面で「メール」を選択します。

3. 「宛先」タブで宛先を指定します。

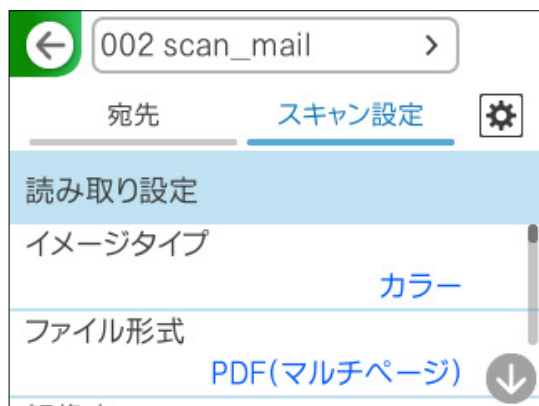


- キーボードで入力する：「直接入力」を選択し、宛先を入力して、「[OK]」を選択します。
- アドレス帳から選択する：「アドレス帳」を選択し、宛先を選択して、「[閉じる]」を選択します。
アドレス帳の画面上部にある検索ボックスで、登録したアドレスを検索することもできます。
- 履歴から選択：「履歴」を選択し、宛先を選択して、「[閉じる]」を選択します。

- 参考**
- 選択した宛先の数画面の右側に表示されます。メールは最大10件の宛先（アドレスまたはグループ）に送信できます。
宛先にグループが含まれるときは、グループ内のアドレスも合計して最大200件のアドレスに送信できます。
 - 画面上部のボックスを選択すると、選択したアドレスの一覧を確認できます。

4. 「[スキャン設定]」を選択して保存形式などの設定を確認し、必要に応じて変更します。

[「メール添付のスキャン設定項目」76ページ](#)



5.  を選択して「[スキャン動作設定]」の設定を確認し、必要に応じて変更します。

「[原稿保護]」などの設定を変更できます。

6. もう一度「宛先」タブを選択して、 をタップします。

参考



★を選択すると、ここで設定した内容をお気に入り登録できます。

宛先のメールアドレスにスキャンした画像が送信されます。

メール添付のスキャン設定項目

参考

他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

イメージタイプ：

スキャンした画像を保存するときの色を選択します。（購入時の設定は「カラー」）

以下を選択すると、スキャナーが自動で原稿の色を検出し、検出した色を使用して画像を保存します。

- カラー/グレー/モノクロ
スキャンした画像を24 bitカラー、8 bitグレー、またはモノクロ（白黒2値）に変換します。この項目を選択した場合、カラー以外の原稿をスキャンするときに、原稿がグレーかモノクロかを判別するための感度を設定してください。
- カラー/モノクロ：
スキャンした画像を24 bitカラーまたはモノクロ（白黒2値）に変換します。
- カラー/グレー：
スキャンした画像を24 bitカラーまたは8 bitグレーに変換します。

使用できるイメージタイプは選択したファイル形式によって異なる場合があります。詳しくは以下を参照してください。

[「使用できるファイル形式とイメージタイプの組み合わせ」91ページ](#)

参考

e-文書のカラーモードについて、詳しくは以下を参照してください。

[「e-文書および電子帳簿保存法に適合したスキャン」113ページ](#)

ファイル形式：

スキャンした画像の保存形式を選択します。（購入時の設定は［PDF(マルチページ)］）

保存形式にPDF、PDF/A、またはTIFFを指定するときは、全ての原稿を1つのファイルに保存するか（マルチページ）、それぞれ別のファイルに保存するか（シングルページ）を選択します。

- 圧縮率：
スキャン画像の圧縮率を選択します。
- PDF設定：
保存形式をPDFにすると、PDFのセキュリティが設定できます。
開くときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、文書を開くパスワードを設定します。印刷したり編集したりするときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、権限パスワードを設定します。

解像度：

スキャン解像度を選択します。（購入時の設定は200 dpi）

選択可能な解像度について、詳しくは以下を参照してください。

[「選択可能な解像度」93ページ](#)

読み取り面：

ADFでスキャンするとき、スキャンしたい原稿の面を選択します。（購入時の設定は［両面］）

- 原稿セット方向：
原稿の向きを選択します。
- 開き方向(原稿)：
原稿のと同じ位置を選択します。

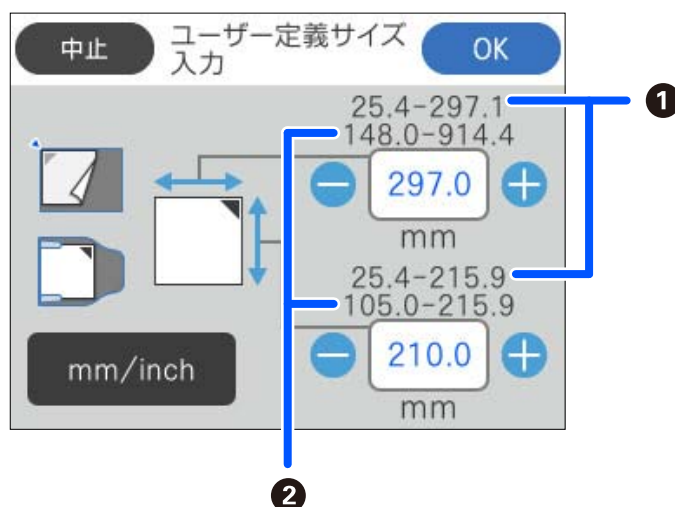
原稿サイズ：

セットした原稿のサイズを選択します。（購入時の設定は［自動検知］）

参考 [ユーザー定義] で任意の原稿サイズを設定できます。

原稿をセットした装置により定義できる原稿サイズが異なります。画面に表示された数値を参考に入力してください。

- ①：原稿台に原稿をセットした場合
- ②：ADFに原稿をセットした場合



- 原稿セット方向：
原稿の向きを選択します。
- 自動(サイズ)選択時の切出し位置調整：
[自動検知] を選択している場合に、トリミング領域を調整します。

原稿セット方向：

原稿の向きを選択します。（初期値は[左向き]）

 [原稿セット方向] の設定は、[読み取り面] および [原稿サイズ] の設定と同期しています。いずれか一つで設定を変更すると、全てに反映されます。

文字くっきり：

ぼやけている書類の文字をくっきりシャープにできます。裏写りや背景のムラなども低減できます。（購入時の設定は[オフ]）

- 薄文字を強調する/背景を薄くする：
文字と背景の補正のレベルを設定できます。スライダーを[薄文字を強調する]に近づけるほど、スキャン画像の薄い文字が強調されます。スライダーを[背景を薄くする]に近づけるほど、スキャン画像の背景色、模様、しわや裏写りを除去します。
- 散在する黒い点を除去する：
背景を薄くしても取り切れない、原稿の背景にある黒い点を除去できます。効果のレベルを調整できます。

 この機能をオンにすると、背景にある黒い点以外の小さな点も除去されることがあります。

回転：

スキャンした画像を時計回りに回転します。スキャンする原稿に合わせて、画像を回転する角度を設定します。（購入時の設定は0°）

濃度：

スキャン画像の濃度を選択します。（購入時の設定は±0、最大値は±4）

背景除去：

スキャンした画像から原稿の背景色を削除します。（購入時の設定は[オフ]）
この機能は、背景色が原稿の中で最も明るく均一な色である場合に使用できます。背景色よりも明るい文字やイラストがあったり、背景に模様があったりすると、正しく適用されません。

影消し：

スキャンした画像から影を除去します。（購入時の設定は[オフ]）

- 枠幅：
スキャンした画像から、原稿のフチの影を除去します。

書類の傾き補正：

スキャンした画像の傾きを補正します。（購入時の設定は[オン]）
傾きすぎている原稿は補正できません。

白紙ページ除去：

ADFでスキャンするとき、原稿の中に白紙ページがある場合、白紙ページをスキップしてスキャンします。
（購入時の設定は「オフ」）
思った通りの結果にならない場合は、検知レベルを調整します。

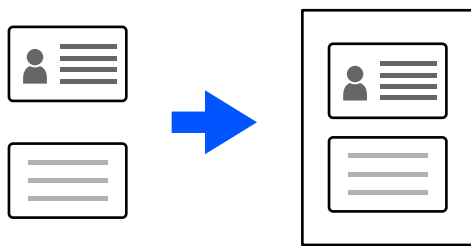
参考 白紙ページとして誤ってスキップされる場合があります。

スキャン後にページ追加：

一度スキャンした後、同じスキャン設定で追加の原稿をスキャンできます。マルチページのファイル形式を選択しているときは、ファイルを1つにまとめて保存できます。（購入時の設定は「オフ」）
スキャンが完了した後、次の原稿をADFまたは原稿台にセットして、「読み取り開始」をタップします。
全ての原稿の読み取りが完了したら、「次の原稿なし」をタップして画像を保存します。

IDカード：

原稿台を使ってIDカードの表面と裏面を別々にスキャンし、二つの面を並べて一枚の画像として保存します。（購入時の設定は「オフ」）



参考 スキャンした画像は、約3 mmの余白をとって自動で切り出されます。

スキャンするときは、以下の手順で表面と裏面を順番にスキャンします。

[「IDカードをセットする」57ページ](#)

- レイアウト：
画像を保存するときの、表面と裏面のレイアウトを選択します。

件名：

メールの件名を半角英数字または記号で入力します。

添付最大ファイルサイズ：

メールに添付するファイルの最大サイズを選択します。（初期値は5 MB、最大値は30 MB）
保存可能なファイルサイズについて、詳しくは以下を参照してください。

[「保存可能なファイルサイズ」92ページ](#)

ファイル名：

- ファイルヘッダー：
画像のファイル名の先頭部分を、半角英数字および記号で入力します。（購入時の設定は「未入力」）
- 日付を入れる：
ファイル名に日付を追加します。（購入時の設定は「オン」）
- 時刻を入れる：
ファイル名に時間を追加します。（購入時の設定は「オン」）

設定クリア

スキャン設定を購入時の状態に戻します。

クラウドに転送

スキャン to クラウド機能の流れ

エプソンのクラウドサービス『Epson Connect』を使用して、スキャンした画像を登録した宛先に転送します。

- 宛先にメールアドレスを登録すると、スキャンした画像を簡単にメールで送信できます。
- 宛先に他社のオンラインストレージサービス（Evernote、Google Drive、Dropboxなど）を登録すると、スキャンした画像を各サービスに転送できます。アカウントの登録方法など、詳しくは各サービスのWebサイトをご覧ください。利用できるサービスは予告なく変更されることがあります。

参考 Epson Connectのサービス概要を詳しく知りたいときは、以下のポータルサイトをご覧ください。
<https://www.epsonconnect.com/>

必要な作業	作業場所	説明
1. スキャナーをネットワークに接続する (セットアップ時にネットワークに接続した場合は不要)	スキャナーとコンピューター	インストーラーを使用して、スキャナーをネットワーク接続します。以下のウェブサイトへアクセスし、表示された画面で製品名を入力してください。[セットアップ]に進んで作業を開始します。 https://epson.sn 接続方法の選択画面が表示されたら、無線LAN (Wi-Fi) または有線LAN (Ethernet) を選択して、画面の案内に従ってネットワークに接続します。 参考 - インストーラーを使用すると、ソフトウェアのインストールも同時に行われます。 - 手動でも設定できます。(管理者向け) 「スキャナーをネットワークに接続する」210ページ
2. 製品をEpson Connectに登録する	スキャナーの操作パネルおよびコンピューター (Epson ConnectのWebサイト)	製品をEpson Connectに登録し、サービスを利用できるようにします。 スキャナーの操作パネルで、[設定] - [Webサービス設定] - [Epson Connect設定] - [登録する]の順に選択し、画面の指示に従って登録してください。 参考 認証コードの入力を要求されたときは、以下のURLにアクセスしてコードを入力してください。 https://www.epsonconnect.com/activation

必要な作業	作業場所	説明
3. Epson Connectのユーザーページで宛先リストを登録する	コンピューター (Epson ConnectのWebサイト)	転送したい宛先を、Epson Connectのユーザーページで宛先リストに登録します。 以下のURLからユーザーページにアクセスし、[スキャン to クラウド機能 (スキャンしてクラウドへ)] - [スキャン宛先リスト] - [追加] *をクリックして、画面の指示に従って宛先を追加してください。 https://www.epsonconnect.com/user  参考 メールアドレスを登録するときは、宛先の種別で「メールアドレス」を選択してください。
4. 操作パネルからスキャンを実行する	スキャナーの操作パネル	操作パネルからスキャンを実行します。 「クラウドに転送する」 81ページ

*Epson Connectサービスの内容は、予告なく変更されることがあります。

クラウドに転送する

スキャンした画像を『Epson Connect』に登録した宛先に転送します。
事前に設定が必要です。設定の流れについては以下のリンクを参照してください。

[「スキャン to クラウド機能の流れ」 80ページ](#)

1. 原稿をセットします。
例：定型紙の場合
[「定形サイズ原稿をセットする」 41ページ](#)
2. 操作パネルのホーム画面で「クラウド」を選択します。
3. 画面上部の  を選択して、宛先を選択します。

4. 「スキャン」タブで保存形式などを設定します。

[「クラウド保存のスキャン設定項目」82ページ](#)



5. 「応用設定」タブを選択して設定を確認し、必要に応じて変更します。

[「クラウド保存の応用設定項目」83ページ](#)



6.  を選択して「スキャン動作設定」の設定を確認し、必要に応じて変更します。

「原稿保護」などの設定を変更できます。

7. もう一度「スキャン」タブを選択して、 をタップします。



を選択すると、ここで設定した内容をお気に入り登録できます。

スキャンした画像が登録した宛先に転送されます。

クラウド保存のスキャン設定項目

イメージタイプ：

スキャンした画像を保存するときの色を選択します。（購入時の設定は「カラー」）

以下を選択すると、スキャナーが自動で原稿の色を検出し、検出した色を使用して画像を保存します。

- カラー/グレー：
スキャンした画像を24 bitカラーまたは8 bitグレーに変換します。

使用できるイメージタイプは選択したファイル形式によって異なる場合があります。詳しくは以下を参照してください。

[「使用できるファイル形式とイメージタイプの組み合わせ」91ページ](#)

ファイル形式：

スキャンした画像の保存形式を選択します。（購入時の設定は [PDF(マルチページ)] ）
PDF形式で保存したい場合は、全ての原稿を1つのファイルに保存するか（マルチページ）、それぞれ別のファイルに保存するか（シングルページ）を選択できます。

- 圧縮率：
スキャン画像の圧縮率を選択します。

読み取り面：

ADFでスキャンするとき、スキャンしたい原稿の面を選択します。（購入時の設定は [両面] ）

- 原稿セット方向：
原稿の向きを選択します。
- 開き方向(原稿)：
原稿のとじ位置を選択します。

クラウド保存の応用設定項目

参考 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

解像度:

スキャン解像度を選択します。（購入時の設定は200 dpi）
選択可能な解像度について、詳しくは以下を参照してください。

[「選択可能な解像度」93ページ](#)

原稿サイズ：

セットした原稿のサイズを選択します。（購入時の設定は [自動検知] ）

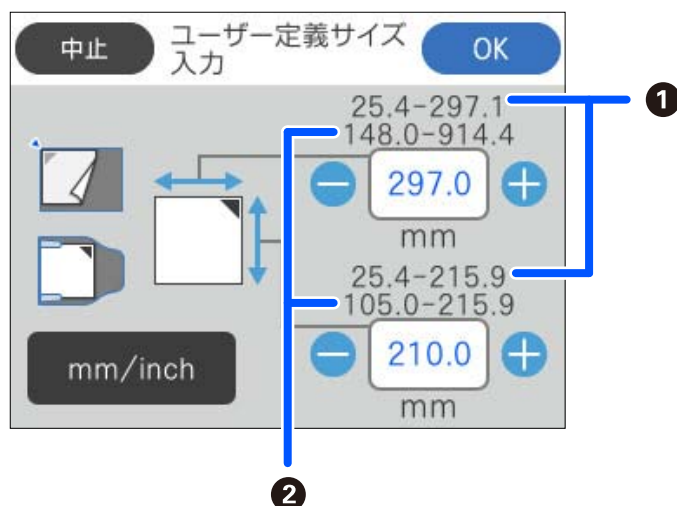


【ユーザー定義】で任意の原稿サイズを設定できます。

原稿をセットした装置により定義できる原稿サイズが異なります。画面に表示された数値を参考に入力してください。

①：原稿台に原稿をセットした場合

②：ADFに原稿をセットした場合



- 原稿セット方向：
原稿の向きを選択します。
- 自動(サイズ)選択時の切出し位置調整：
【自動検知】を選択している場合に、トリミング領域を調整します。

原稿セット方向：

原稿の向きを選択します。（初期値は【左向き】）



【原稿セット方向】の設定は、【読み取り面】および【原稿サイズ】の設定と同期しています。いずれか一つで設定を変更すると、全てに反映されます。

文字くっきり：

ぼやけている書類の文字をくっきりシャープにできます。裏写りや背景のムラなども低減できます。（購入時の設定は【オフ】）

- 薄文字を強調する/背景を薄くする：
文字と背景の補正のレベルを設定できます。スライダーを【薄文字を強調する】に近づけるほど、スキャン画像の薄い文字が強調されます。スライダーを【背景を薄くする】に近づけるほど、スキャン画像の背景色、模様、しわや裏写りを除去します。
- 散在する黒い点を除去する：
背景を薄くしても取り切れない、原稿の背景にある黒い点を除去できます。効果のレベルを調整できます。



この機能をオンにすると、背景にある黒い点以外の小さな点も除去されることがあります。

回転：

スキャンした画像を時計回りに回転します。スキャンする原稿に合わせて、画像を回転する角度を設定します。（購入時の設定は0°）

濃度：

スキャン画像の濃度を選択します。（購入時の設定は±0、最大値は±4）

背景除去：

スキャンした画像から原稿の背景色を削除します。（購入時の設定は［オフ］）

この機能は、背景色が原稿の中で最も明るく均一な色である場合に使用できます。背景色よりも明るい文字やイラストがあったり、背景に模様があったりすると、正しく適用されません。

影消し：

スキャンした画像から影を除去します。（購入時の設定は［オフ］）

- 枠幅：
スキャンした画像から、原稿のフチの影を除去します。

書類の傾き補正：

スキャンした画像の傾きを補正します。（購入時の設定は［オン］）

傾きすぎている原稿は補正できません。

白紙ページ除去：

ADFでスキャンするとき、原稿の中に白紙ページがある場合、白紙ページをスキップしてスキャンします。

（購入時の設定は［オフ］）

思った通りの結果にならない場合は、検知レベルを調整します。

参考 白紙ページとして誤ってスキップされる場合があります。

スキャン後にページ追加：

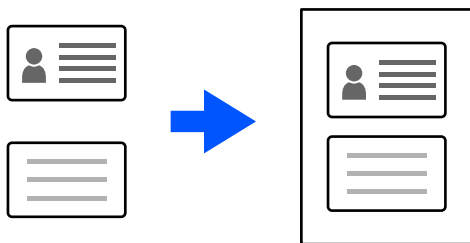
一度スキャンした後、同じスキャン設定で追加の原稿をスキャンできます。マルチページのファイル形式を選択しているときは、ファイルを1つにまとめて保存できます。（購入時の設定は［オフ］）

スキャンが完了した後、次の原稿をADFまたは原稿台にセットして、［読み取り開始］をタップします。

全ての原稿の読み取りが完了したら、［次の原稿なし］をタップして画像を保存します。

IDカード：

原稿台を使ってIDカードの表面と裏面を別々にスキャンし、二つの面を並べて一枚の画像として保存します。（購入時の設定は［オフ］）



参考 スキャンした画像は、約3 mmの余白をとって自動で切り出されます。

スキャンするときは、以下の手順で表面と裏面を順番にスキャンします。

[「IDカードをセットする」57ページ](#)

- レイアウト：
画像を保存するときの、表面と裏面のレイアウトを選択します。

設定クリア

スキャン設定を購入時の状態に戻します。

USBドライブに保存

スキャン to USBドライブ機能の流れ

スキャンした画像を、スキャナーに接続したUSBドライブに保存する流れを説明します。

必要な作業	作業場所	説明
1. スキャナーにUSBドライブをセットする	スキャナー	スキャナーの外部機器接続用USBポートにUSBドライブを挿入します。 「USBドライブを挿入する」 22ページ
2. 操作パネルからスキャンを実行する	スキャナーの操作パネル	操作パネルからスキャンを実行します。 「USBドライブに保存する」 86ページ

USBドライブに保存する

スキャンした画像をUSBドライブに保存できます。

1. 原稿をセットします。

例：定型紙の場合

[「定型サイズの前稿をセットする」 41ページ](#)

2. スキャナーの外部機器接続用USBポートにUSBドライブを挿入します。

[「USBドライブを挿入する」 22ページ](#)

3. 操作パネルのホーム画面で「USBドライブ」を選択します。

すでにスキャンメニューの画面が表示されているときは、次の手順に進みます。

4. 「スキャン」タブで保存形式などを設定します。
「USBドライブ保存のスキャン設定項目」 87ページ



5. 「応用設定」タブを選択して設定を確認し、必要に応じて変更します。
「USBドライブ保存の応用設定項目」 88ページ



6.  を選択して「スキャン動作設定」の設定を確認し、必要に応じて変更します。
「原稿保護」などの設定を変更できます。

7. もう一度「スキャン」タブを選択して、 をタップします。

参考  を選択すると、ここで設定した内容をお気に入り登録できます。

保存先のUSBドライブにスキャンした画像が保存されます。

USBドライブ保存のスキャン設定項目

参考 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

イメージタイプ：

スキャンした画像を保存するときの色を選択します。（購入時の設定は「カラー」）
以下を選択すると、スキャナーが自動で原稿の色を検出し、検出した色を使用して画像を保存します。

- カラー/グレイ/モノクロ
スキャンした画像を24 bitカラー、8 bitグレイ、またはモノクロ（白黒2値）に変換します。この項目を選択した場合、カラー以外の原稿をスキャンするときに、原稿がグレイかモノクロかを判別するための感度を設定してください。
- カラー/モノクロ：
スキャンした画像を24 bitカラーまたはモノクロ（白黒2値）に変換します。
- カラー/グレイ：
スキャンした画像を24 bitカラーまたは8 bitグレイに変換します。

使用できるイメージタイプは選択したファイル形式によって異なる場合があります。詳しくは以下を参照してください。

[「使用できるファイル形式とイメージタイプの組み合わせ」91ページ](#)

参考 e-文書のカラーモードについて、詳しくは以下を参照してください。
[「e-文書および電子帳簿保存法に適合したスキャン」113ページ](#)

ファイル形式：

スキャンした画像の保存形式を選択します。（購入時の設定は［PDF(マルチページ)］）
保存形式にPDF、PDF/A、またはTIFFを指定するときは、全ての原稿を1つのファイルに保存するか（マルチページ）、それぞれ別のファイルに保存するか（シングルページ）を選択します。

- 圧縮率：
スキャン画像の圧縮率を選択します。
- PDF設定：
保存形式をPDFにすると、PDFのセキュリティが設定できます。
開くときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、文書を開くパスワードを設定します。印刷したり編集したりするときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、権限パスワードを設定します。

読み取り面：

ADFでスキャンするとき、スキャンしたい原稿の面を選択します。（購入時の設定は［両面］）

- 原稿セット方向：
原稿の向きを選択します。
- 開き方向(原稿)：
原稿のと同じ位置を選択します。

USBドライブ保存の応用設定項目

参考 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

解像度：

スキャン解像度を選択します。（購入時の設定は200 dpi）
選択可能な解像度について、詳しくは以下を参照してください。
[「選択可能な解像度」93ページ](#)

原稿サイズ：

セットした原稿のサイズを選択します。（購入時の設定は［自動検知］）

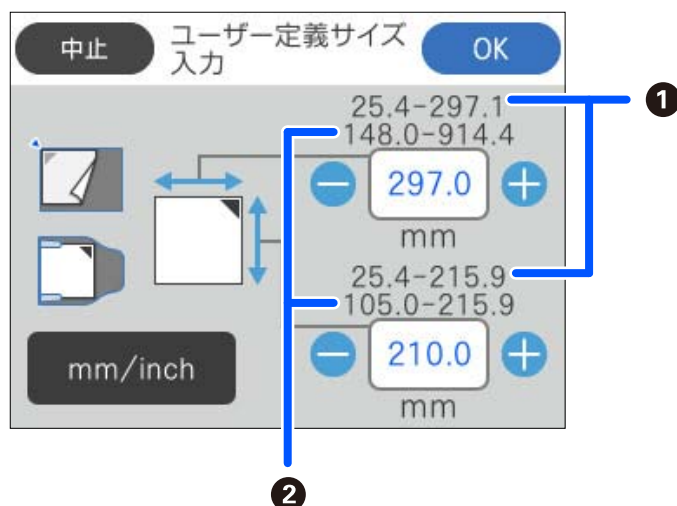


【ユーザー定義】で任意の原稿サイズを設定できます。

原稿をセットした装置により定義できる原稿サイズが異なります。画面に表示された数値を参考に入力してください。

①：原稿台に原稿をセットした場合

②：ADFに原稿をセットした場合



- 原稿セット方向：
原稿の向きを選択します。
- 自動(サイズ)選択時の切出し位置調整：
【自動検知】を選択している場合に、トリミング領域を調整します。

原稿セット方向：

原稿の向きを選択します。（初期値は【左向き】）



【原稿セット方向】の設定は、【読み取り面】および【原稿サイズ】の設定と同期しています。いずれか一つで設定を変更すると、全てに反映されます。

文字くっきり：

ぼやけている書類の文字をくっきりシャープにできます。裏写りや背景のムラなども低減できます。（購入時の設定は【オフ】）

- 薄文字を強調する/背景を薄くする：
文字と背景の補正のレベルを設定できます。スライダーを【薄文字を強調する】に近づけるほど、スキャン画像の薄い文字が強調されます。スライダーを【背景を薄くする】に近づけるほど、スキャン画像の背景色、模様、しわや裏写りを除去します。
- 散在する黒い点を除去する：
背景を薄くしても取り切れない、原稿の背景にある黒い点を除去できます。効果のレベルを調整できます。



この機能をオンにすると、背景にある黒い点以外の小さな点も除去されることがあります。

回転：

スキャンした画像を時計回りに回転します。スキャンする原稿に合わせて、画像を回転する角度を設定します。（購入時の設定は0°）

濃度：

スキャン画像の濃度を選択します。（購入時の設定は±0、最大値は±4）

背景除去：

スキャンした画像から原稿の背景色を削除します。（購入時の設定は［オフ］）

この機能は、背景色が原稿の中で最も明るく均一な色である場合に使用できます。背景色よりも明るい文字やイラストがあったり、背景に模様があったりすると、正しく適用されません。

影消し：

スキャンした画像から影を除去します。（購入時の設定は［オフ］）

- 枠幅：
スキャンした画像から、原稿のフチの影を除去します。

書類の傾き補正：

スキャンした画像の傾きを補正します。（購入時の設定は［オン］）

傾きすぎている原稿は補正できません。

白紙ページ除去：

ADFでスキャンするとき、原稿の中に白紙ページがある場合、白紙ページをスキップしてスキャンします。（購入時の設定は［オフ］）

思った通りの結果にならない場合は、検知レベルを調整します。

参考 白紙ページとして誤ってスキップされる場合があります。

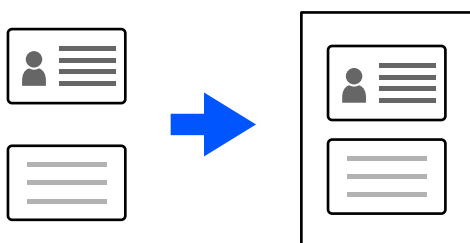
スキャン後にページ追加：

一度スキャンした後、同じスキャン設定で追加の原稿をスキャンできます。マルチページのファイル形式を選択しているときは、ファイルを1つにまとめて保存できます。（購入時の設定は［オフ］）

スキャンが完了した後、次の原稿をADFまたは原稿台にセットして、［読み取り開始］をタップします。全ての原稿の読み取りが完了したら、［次の原稿なし］をタップして画像を保存します。

IDカード：

原稿台を使ってIDカードの表面と裏面を別々にスキャンし、二つの面を並べて一枚の画像として保存します。（購入時の設定は［オフ］）



参考 スキャンした画像は、約3 mmの余白をとって自動で切り出されます。

スキャンするときは、以下の手順で表面と裏面を順番にスキャンします。

[「IDカードをセットする」57ページ](#)

- レイアウト：
画像を保存するときの、表面と裏面のレイアウトを選択します。

ファイル名：

- ファイルヘッダー：
画像のファイル名の先頭部分を、半角英数字および記号で入力します。（購入時の設定は［未入力］）
- 日付を入れる：
ファイル名に日付を追加します。（購入時の設定は［オン］）
- 時刻を入れる：
ファイル名に時間を追加します。（購入時の設定は［オン］）

設定クリア

スキャン設定を購入時の状態に戻します。

機能と設定の組み合わせ

使用できるファイル形式とイメージタイプの組み合わせ

使用する機能と保存するファイル形式によって以下のイメージタイプが選択できます。

スキャン to コンピューター機能

Document Capture Proの設定によります。

スキャン to USBドライブ機能/スキャン to ネットワークフォルダー機能

✓：選択できます。-：選択できません。

イメージタイプ	ファイル形式			
	JPEG	PDF(シングルページ) PDF(マルチページ) PDF/A(シングルページ) PDF/A(マルチページ)	TIFF(シングルページ)	TIFF(マルチページ)
カラー e-文書(カラー)	✓	✓	✓	-
モノクロ	-	✓	✓	✓
グレー e-文書(グレー)	✓	✓	✓	-
カラー/グレー/モノクロ	-	✓	✓	-
カラー/モノクロ	-	✓	✓	-
カラー/グレー	✓	✓	✓	-

スキャン to クラウド機能

✓：選択できます。 -：選択できません。

イメージタイプ	ファイル形式			
	JPEG	PDF(シングルページ) PDF(マルチページ)	TIFF(シングルページ)	TIFF(マルチページ)
カラー e-文書(カラー)	✓	✓	-	-
モノクロ	-	✓	-	-
グレー e-文書(グレー)	✓	✓	-	-
カラー/グレー/モノクロ	-	-	-	-
カラー/モノクロ	-	-	-	-
カラー/グレー	✓	✓	-	-

スキャン to メール機能

✓：選択できます。 -：選択できません。

イメージタイプ	ファイル形式			
	JPEG	PDF(シングルページ) PDF(マルチページ) PDF/A(シングルページ) PDF/A(マルチページ)	TIFF(シングルページ)	TIFF(マルチページ)
カラー e-文書(カラー)	✓	✓	-	-
モノクロ	-	✓	✓	✓
グレー e-文書(グレー)	✓	✓	-	-
カラー/グレー/モノクロ	-	✓	-	-
カラー/モノクロ	-	✓	-	-
カラー/グレー	✓	✓	-	-

保存可能なファイルサイズ

保存可能なファイルサイズは以下の通りです。

機能	最大容量
スキャン to コンピューター機能	保存先の空き容量によります。
スキャン to USBドライブ機能	保存先の空き容量によります。 「USBドライブ仕様」263ページ
スキャン to クラウド機能	オンラインサービスとメールの受け付け可能な容量によります。
スキャン to メール機能	送信先のサーバー容量によります。 メールに添付するファイルの最大サイズを、1MB/2MB/5MB/10MB/20MB/30MB から設定できます。
スキャン to ネットワークフォルダー機能	保存先の空き容量によります。

選択可能な解像度

使用する機能により以下の解像度が選択できます。

スキャン to コンピューター機能はDocument Capture Proの設定によります。

✓：選択できます。 -：選択できません。

機能	設定できる解像度		
	200 dpi	300 dpi	600 dpi
スキャン to USBドライブ機能	✓	✓	✓
スキャン to クラウド機能	✓	✓	-
スキャン to メール機能	✓	✓	✓
スキャン to ネットワークフォルダー機能	✓	✓	✓

お気に入りの登録内容でスキャンする

事前に「お気に入り」に登録した内容でスキャンします。

1. 以下のいずれかの方法で「お気に入り」を呼び出します。

- 操作パネルのホーム画面で  を選択して、一覧からお気に入りの登録内容を選択します。
- スキャンメニューの画面で  を選択し、「お気に入りの呼び出し」を選択して、一覧からお気に入りの登録内容を選択します。

参考 「クイック送信」を有効にしているときは、以降の手順を飛ばしてすぐにスキャンが始まります。

2. 呼び出したお気に入りの名称が表示されます。確認して「閉じる」を選択します。

3. お気に入りの宛先やスキャン設定を確認します。

4. ◇ をタップします。

関連情報

➡ [「お気に入り登録する」28ページ](#)

コンピューターからスキャンする

Document Capture Proでスキャンする (Windows)

Document Capture Pro (ドキュメント キャプチャー プロ) は、書類や帳票などの原稿を目的に合わせて簡単に効率よく電子化して整理できるソフトウェアです。

Document Capture Proには以下の機能があります。

- スキャンして、保存するという一連の作業を「ジョブ」として管理、実行できます
- スキャンした画像をさまざまな形式 (PDF/BMP/JPEG/JPEG2000/TIFF/Multi-TIFF/PNG/DOCX/XLSX/PPTX) で保存するよう「ジョブ」を設定できます
- 仕切り紙を原稿の間に挟んだり、原稿のバーコード情報を利用したりして、自動で仕分け処理ができます
- スキャン時の情報、またはスキャンした内容について必要な項目を、インデックスデータとして出力できます
- 複数の転送先を設定できます
- ジョブを作成せずに簡単な操作でスキャンを実行できます

これらの機能を活用することにより、大量の文書の読み取りや、ネットワークでの利用など、紙文書の電子化業務をより効率化できます。



- 詳しいDocument Capture Proの使い方は、こちらのURLからご覧ください。
<https://support.epson.net/dcp/>
- Document Capture ProはWindows Serverには対応していません。

ジョブスキャンとは

事前に、よく使う一連の動作をジョブとして登録しておくことで、ジョブを選ぶだけで一連の動作を実行できます。ジョブをスキャナーの操作パネルに割り当てれば、操作パネルからジョブを実行することもできます。

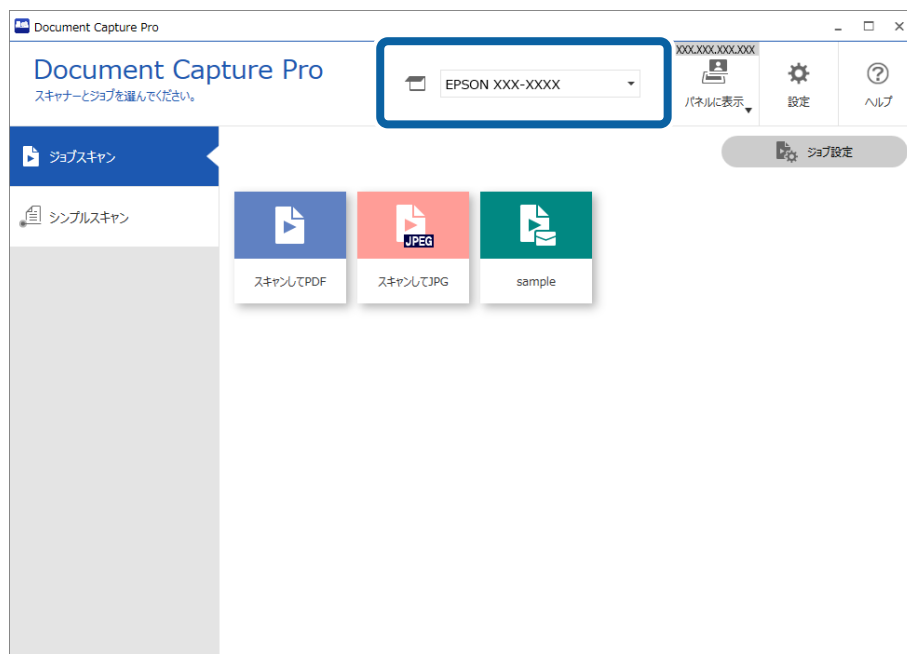
関連情報

➡ [「ジョブを登録する」112ページ](#)

ジョブスキャンを実行する

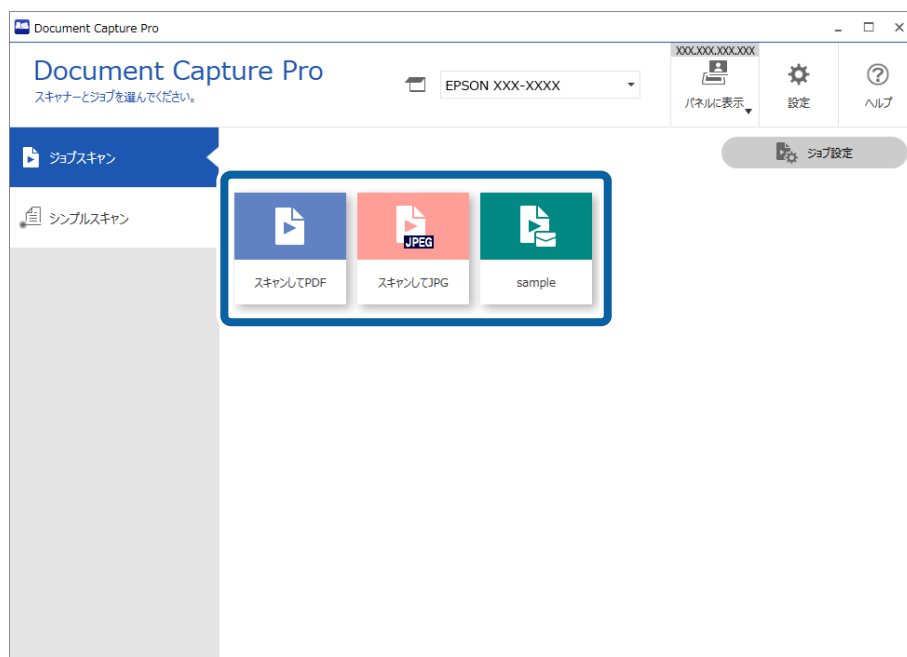
ここでは既存のジョブを使ってスキャンする流れを説明します。

1. Document Capture Proのトップ画面で、使用するスキャナーを選択します。起動時は、前回使用したスキャナーに自動で接続します。



スキャナーの操作パネルにこのコンピューターが表示されないときや、表示に時間がかかるときは、右上の  (パネルに表示) ボタンを押して「このスキャナーにこのPCを優先表示する」を選択してください。

2. 「ジョブスキャン」タブをクリックして、実行したいジョブのアイコンをクリックします。



選択したジョブが実行されます。

スキャン設定で「スキャン中にプレビューを表示する」にチェックが入っているジョブの実行時は、スキャン中にプレビュー画面が表示されます。

3. 保存設定のファイル名設定や仕分け機能、ユーザー定義インデックスに以下の要素が入っているジョブを実行し、スキャンしたページ内にその要素が含まれているときは、画像上にマーキーで検出領域が表示されます。必要に応じて、認識結果を手動で修正したり、領域を変更したりして再度認識します。

- OCR
- バーコード
- 帳票
- パスポートのMRZ
- 旅行証書のMRZ



4. 保存設定で、[保存前にページの編集画面を表示する] にチェックが入っているジョブでは、スキャン終了後に[スキャン結果の編集]画面でスキャン結果を確認し、必要に応じて編集をします。

[スキャン結果の編集]画面では以下の確認と編集ができます。

- 仕分け結果
- スキャン画像

- インデックスデータ



5. 「完了」をクリックしてジョブスキャンの実行を終了します。



シンプルスキャンとは

ジョブを作成せずにスキャンできます。スキャン後に結果を確認し、保存または転送先を指定します。シンプルスキャン設定をスキャナーの操作パネルに割り当てれば、操作パネルからシンプルスキャンを実行することもできます。

シンプルスキャンを実行する

ここではジョブを使わずにスキャンする流れを説明します。

1. Document Capture Proのトップ画面で、使用するスキャナーを選択します。起動時は、前回使用したスキャナーに自動で接続します。



2. 「シンプルスキャン」タブをクリックし、「原稿サイズ」を選択して、「スキャン両面」か「スキャン片面」のアイコンをクリックします。



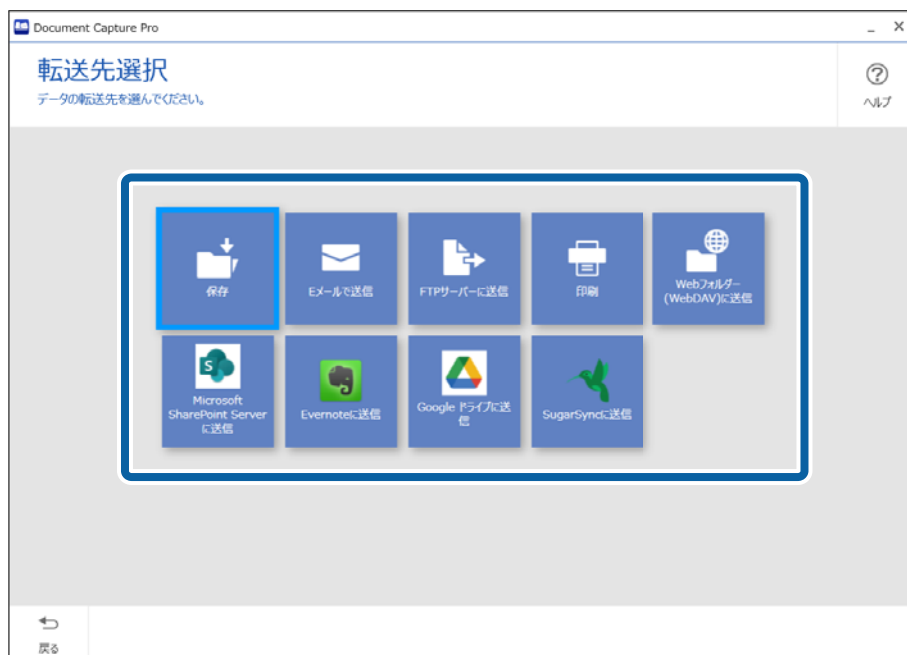
参考 「スキャン設定」をクリックすると、解像度などを設定できます。Epson Scan 2でより詳細な設定ができます。

スキャン中のスキャン画像が表示されます。

3. 「スキャン結果の編集」画面でスキャン結果を確認し、必要に応じて編集を行い、「次へ」をクリックします。



4. 「転送先選択」画面でスキャンデータの転送先を選択します。



5. 「転送先の詳細設定」画面で、保存するファイルや保存形式を設定します。あわせて、転送先に応じた詳細な設定を行います。

表示される項目は転送先によって異なります。以下の画面は「保存」を選択したときの画面です。



6. 「完了」をクリックして、シンプルスキャンの手順を終了します。

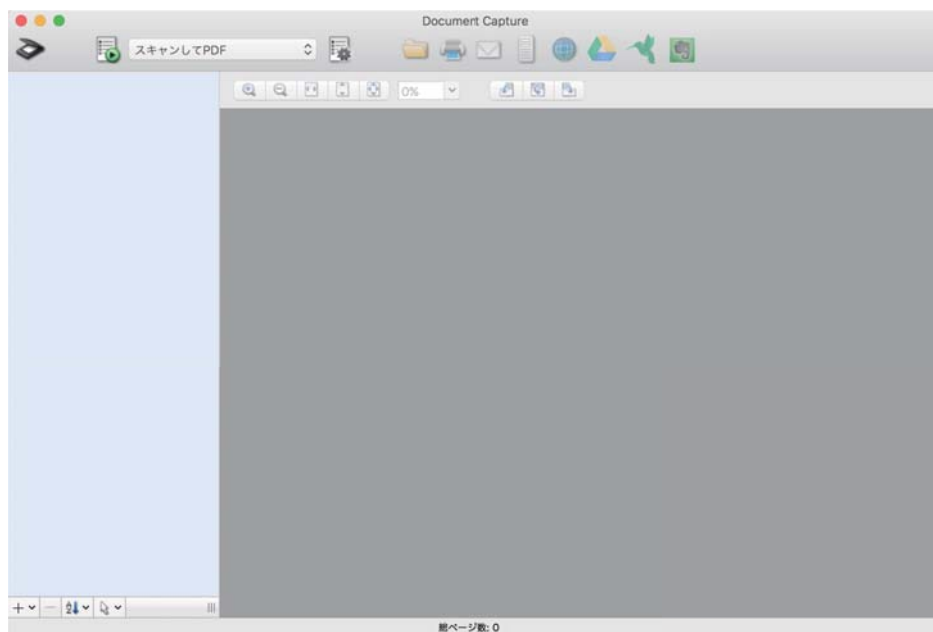
Document Captureでスキャンする (Mac OS)

このソフトウェアは、スキャンした画像をメールに添付したり、プリンターで印刷したり、サーバーやクラウドサービスなどに転送したりすることができます。また、スキャン処理の設定をジョブとして登録して使うことができます。詳しくはDocument Captureのヘルプをご覧ください。

参考 ファストユーザスイッチ機能には対応していません。

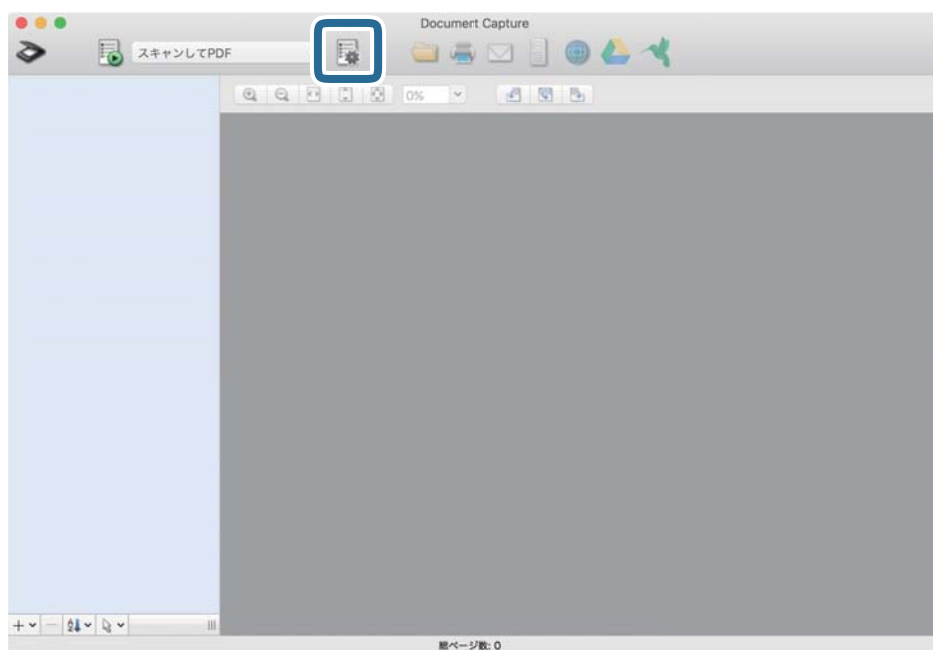
1. Document Captureを起動します。

[Finder] - [移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Document Capture] の順に選択します。



参考 スキャナーのリストが表示されたら、使いたいスキャナーを選択してください。

2. をクリックします。



[ジョブリスト] 画面が表示されます。

参考 スキャンした画像をPDF形式で保存するジョブが、あらかじめ用意されています。このジョブを使うときは、この手順を飛ばして手順10に進みます。

3. +アイコンをクリックします。



ジョブ設定の画面が表示されます。

4. [ジョブ名] を設定します。



5. 「スキャン」タブでスキャン設定をします。



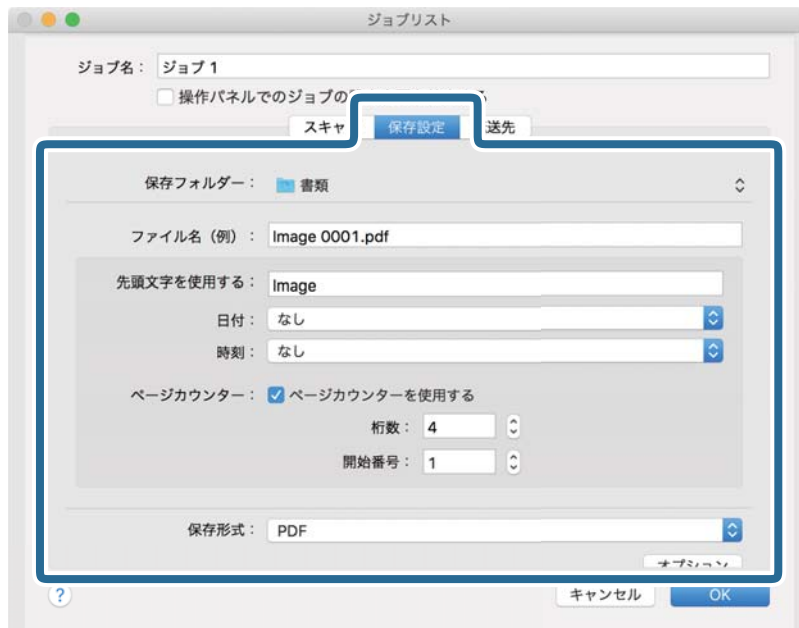
- 「取込装置」：原稿をセットした装置を選択します。原稿の両面をスキャンするときは、両面スキャンを選択します。
- 「原稿サイズ」：セットした原稿のサイズを選択します。
- 「イメージタイプ」：スキャンした画像を保存するときの色を選択します。
- 「回転」：スキャンする原稿に合わせて、画像を回転する角度を設定します。
- 「解像度」：解像度を設定します。

参考

以下の画像調整ができます。

- 「文字くっきり」：ぼやけている書類の文字をくっきりとさせます。
- 「傾き補正」：原稿の傾きを補正してスキャンします。
- 「白紙ページ除去」：原稿の中に白紙ページがある場合、白紙ページをスキップしてスキャンします。

6. 「保存設定」をクリックして、保存設定をします。



- 「保存フォルダー」：スキャンした画像の保存場所を選択します。
- 「ファイル名(例)」：現在の設定での、ファイル名の例が表示されます。
- 「先頭文字を使用する」：ファイル名の先頭部分の文字を設定します。
- 「日付」：ファイル名に日付を追加します。
- 「時刻」：ファイル名に時間を追加します。
- 「ページカウンター」：ファイル名にページ数を追加します。
- 「保存形式」：スキャンした画像の保存形式を選択します。詳細な設定をするときは、「オプション」をクリックします。

7. 「転送先」をクリックして、「転送先」を選択します。

転送先に応じた設定項目が表示されます。必要な設定をします。各項目の詳細は、? (ヘルプ) アイコンをクリックして説明をご覧ください。



参考

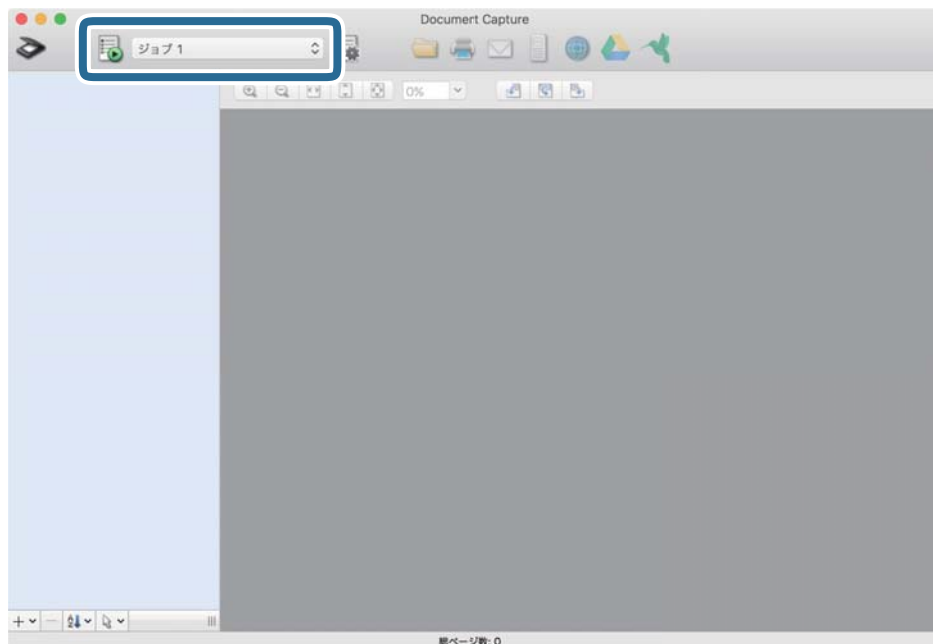
- クラウドサービスにアップロードするには、事前にクラウドサービスのアカウントを作成しておいてください。
- Evernoteにアップロードするには、事前にEvernote社のウェブサイトからEvernoteアプリケーションをダウンロードし、インストールしておいてください。

8. 「OK」をクリックして、ジョブの設定画面を閉じます。

9. 「OK」をクリックして、「ジョブリスト」画面を閉じます。

10. 原稿をセットします。

11. リストからジョブを選択して、 アイコンをクリックします。



選択したジョブが実行されます。

12. 画面の指示に従って操作します。

ジョブの設定に従ってスキャンした画像が保存されます。



ジョブを使用しなくても、原稿をスキャンして転送できます。 をクリックしスキャン設定をして、[スキャン] をクリックします。次に、スキャンした画像の転送先アイコンをクリックします。

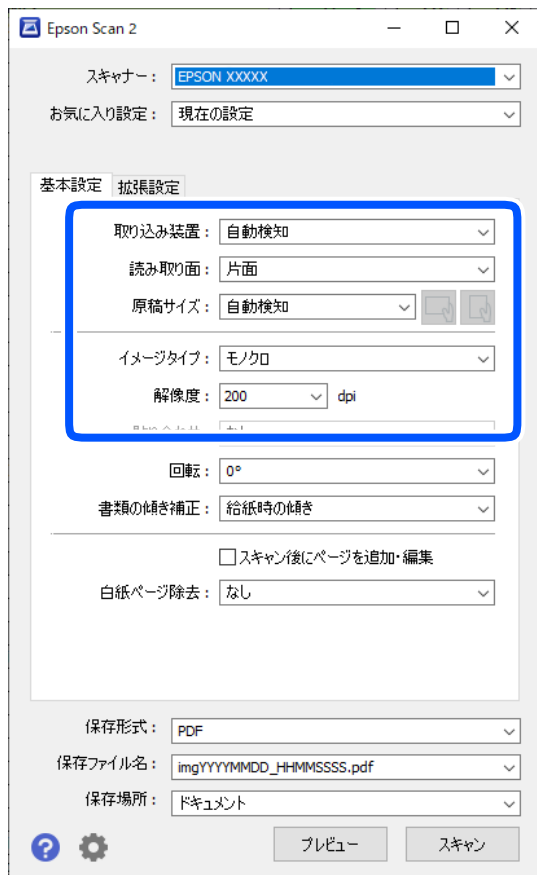
Epson Scan 2でスキャンする

書類に適した画質調整機能を使って原稿をスキャンできます。

1. 原稿をセットします。
2. Epson Scan 2を起動します。
 - Windows 11
スタートボタンをクリックして、[すべてのアプリ] - [EPSON] - [Epson Scan 2] の順に選択します。
 - Windows 10/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2] の順に選択します。
 - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
 - Windows 7/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] または [プログラム] - [EPSON] - [Epson Scan 2] - [Epson Scan 2] の順に選択します。

- Mac OS
[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Scan 2] の順に選択します。

3. [基本設定] タブで以下の設定をします。



- [取り込み装置] : 原稿をセットした装置を選択します。[自動検知] を選択し、ADFと原稿台の両方に原稿をセットしているときは、ADFのスキャンが優先されます。
- [読み取り面] : ADFでスキャンするとき、スキャンしたい原稿の面を選択します。原稿の両面をスキャンするときは、[両面] を選択します。
- [原稿サイズ] : セットした原稿のサイズを選択します。
特殊なサイズの原稿をセットするときは、以下を参照して設定してください。
 - 原稿台に複数枚の原稿を一度にセットするとき : [自動検知] を選択します。
 - ADFに長尺紙をセットするとき : [自動検知 (長尺)] を選択するか、[ユーザー定義サイズ] を選択して手動でサイズを作成してください。
 - スキャンしたい原稿のサイズが一覧にないとき : [自動検知] を選択するか、[ユーザー定義サイズ] を選択して手動でサイズを作成してください。

-  (原稿のセット方向) ボタン : 原稿のセット方向を選択します。原稿のサイズによっては自動的に選択され、変更できません。
- [イメージタイプ] : スキャンした画像を保存するときの色を選択します。
- [解像度] : 解像度を設定します。

参考

〔基本設定〕タブでは以下の設定もできます。

- 〔貼り合わせ〕：両面スキャンをするときに、表面と裏面の画像を貼り合わせます。
- 〔回転〕：原稿を時計回りに回転させてスキャンします。
- 〔書類の傾き補正〕：原稿の傾きを補正してスキャンします。
- 〔スキャン後にページを追加・編集〕：一度スキャンした後に別の原稿を追加してスキャンしたり、スキャンしたページを編集（回転・移動・削除）したりします。
- 〔白紙ページ除去〕：ADFでスキャンするとき、原稿の中に白紙ページがある場合、白紙ページをスキップしてスキャンします。

他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

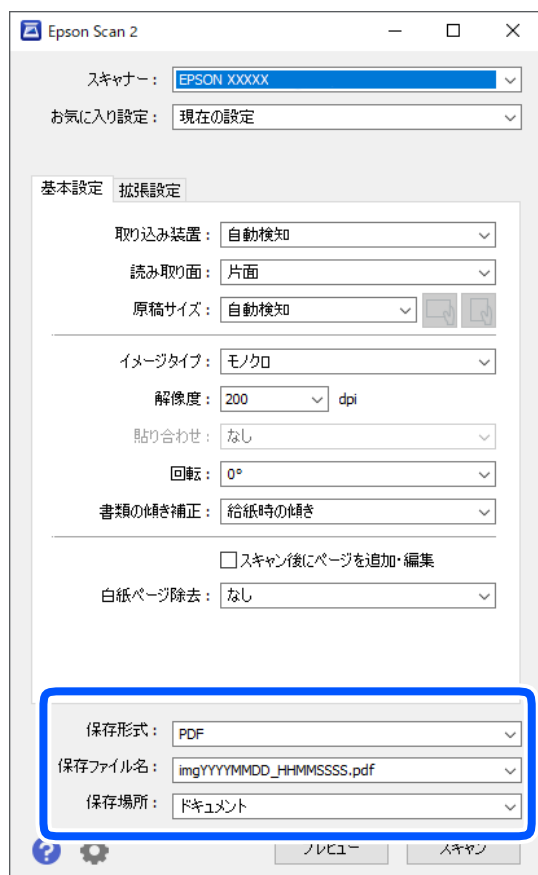
4. 必要に応じて、その他のスキャン設定をします。

- 〔プレビュー〕ボタンをクリックすると画像をプレビューできます。プレビュー画面が開き、プレビュー画像が表示されます。
ADFでプレビューしたときは、ADFから原稿が排紙されます。原稿をセットし直してください。
- 〔拡張設定〕タブでは、書類に適した以下のような画像調整ができます。
 - 〔背景除去〕：原稿の背景を除去します。
 - 〔文字くっきり〕：ぼやけている書類の文字をくっきりとさせます。
 - 〔画像はっきり〕：画像付きの書類をモノクロでスキャンするときに、文字部分をくっきりとした白黒に、画像部分をなめらかな白黒にします。
 - 〔ドロップアウト〕：スキャンした画像から指定の色を消去して、グレーまたはモノクロで保存します。例えば、マーカーの色や余白に色ペンで書いた文字を消去してスキャンできます。
 - 〔色強調〕：スキャンした画像を指定の色だけ強調して、グレーまたはモノクロで保存します。例えば、薄い色の文字や罫線をくっきりとさせることができます。

参考

他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

5. ファイルの保存設定をします。



- [保存形式] : スキャンした画像の保存形式を選択します。
BITMAPとPNG以外は、詳細な設定ができます。保存形式を選択した後に、リストから[詳細設定]を選択してください。
- [保存ファイル名] : 表示されているファイル名を確認します。
[設定]を選択すると、ファイル名の設定を変更できます。
- [保存場所] : スキャンした画像の保存場所を選択します。
[その他]を選択すると、別のフォルダーの選択や新しいフォルダーの作成ができます。

6. [スキャン] をクリックします。

参考 スキャナーの操作パネルで  をタップしてもスキャンを開始できます。

スキャンした画像が指定したフォルダーに保存されます。

Epson Scan 2にユーザー定義サイズを登録する

Epson Scan 2では、スキャンする原稿のユーザー定義サイズを登録できます。
Document Capture Proをお使いのときは、スキャン設定画面で[詳細設定] ボタンを押して、画面を開きます。

1. Epson Scan 2で、[基本設定] タブ - [原稿サイズ] で [ユーザー定義サイズ] を選択します。

2. [ユーザー定義サイズ] 画面で [＋] ボタンをクリックします。

3. ユーザー定義サイズの保存名称を入力します。

4. 登録したいサイズの [幅] と [長さ] を入力します。

[原稿の長さに合わせる] を選択すると、原稿の長さを自動で判別します。この機能を使うときは、[長さ] は入力できません。

参考 [原稿の長さに合わせる] を使用すると、スキャン速度が遅くなる場合があります。

5. [OK] をクリックします。

登録したユーザー定義サイズは、[原稿サイズ] のリストに追加されます。

目的に合わせた解像度の設定

解像度を上げるメリットとデメリット

解像度とは、1インチ（25.4mm）あたりの画素（画像を構成する最小要素）の密度を表す数値で、「dpi」（dot per inch）という単位で表します。解像度を上げると、画像がきめ細やかになるメリットがあります。一方でファイルサイズが大きくなるデメリットもあります。

- ファイルサイズが大きくなる
（解像度を2倍にすると、ファイルサイズは約4倍になります）
- 画像のスキャン、保存、読み込み、印刷に時間がかかる
- メールやファクスの送受信に時間がかかる
- 画像がディスプレイや印刷用紙からはみ出る

目的別推奨解像度一覧

表を参考にして、スキャン画像の用途に合う適切な解像度を設定してください。

用途	解像度（目安）
ディスプレイ上に表示させる Eメールで送信する	～200 dpi
OCR（光学文字認識）を使用する テキスト検索可能なPDFを作成する	200～300 dpi
プリンターで印刷する ファクスで送信する	200～300 dpi

ソフトウェアの画質調整機能

Epson Scan 2（スキャナードライバー）の機能を使うと、画質を調整してスキャンできます。Document Capture Proをお使いのときは、スキャン設定画面で「詳細設定」ボタンをクリックして、Epson Scan 2の画面を開きます。

「拡張設定」タブの機能でスキャンした画像の画質を調整できます。各機能について、詳しくは表示された画面のヘルプをご覧ください。

 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

AirPrintを使う

AirPrintを使うと、ドライバーのインストールやソフトウェアのダウンロードをしなくてもMacから簡単にスキャンできます。



1. 原稿をセットします。
2. Macが接続されているネットワークにスキャナーを接続するか、USBケーブルでMacとスキャナーを接続します。
3. Macの「システム環境設定」画面で、「プリンタとスキャナ」をクリックします。
4. スキャナーを選択して、「スキャナを開く」をクリックします。
5. 必要に応じて項目を設定してスキャンします。

 詳細は、macOSのユーザガイドを参照してください。

Chromebookを使ってスキャンする

Chromebookを使ってスキャンすることができます。

1. 原稿をセットします。
2. Chromebookが接続されているネットワークにスキャナーを接続するか、USBケーブルでChromebookと接続します。
3. Chromebookでスキャンアプリを開きます。
画面右下の時刻 - 「設定」ボタン - 「詳細設定」 - 「印刷とスキャン」 - 「スキャン」の順に選択します。
4. スキャナーを選択して、必要に応じて他の項目を設定します。

5. Chromebookからスキャンします。

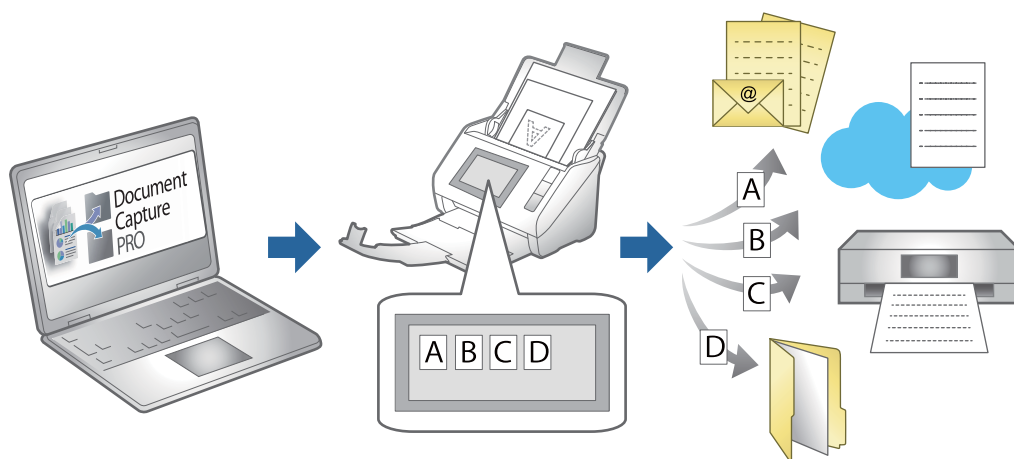
参考 詳しくは、<https://www.google.com/chromebook/>で使い方をご覧ください。

ジョブを登録する

スキャン - 保存 - 送信の一連の動作を、「ジョブ」としてソフトウェアに登録できます。

事前に、Document Capture Pro (Windows) またはDocument Capture (Mac OS) で、よく使う一連の動作をジョブとして登録しておくことで、ジョブを選ぶだけで一連の動作を実行できます。

参考 登録したジョブは、[お気に入り] としてスキャナーの操作パネルで使用できます。コンピューターがネットワークに接続されているときのみ利用できます。



ジョブを作成し、操作パネルに割り当てる (Windows)

詳しくはDocument Capture Proのマニュアルをご覧ください。以下のURLから最新のマニュアルをご覧ください。

<https://support.epson.net/dcp/>

参考 スキャンした画像をPDFにして保存するジョブが初期設定されています。

ジョブを作成、登録する (Mac OS)

Document Captureでジョブを設定する手順を説明します。詳しくはDocument Captureのヘルプをご覧ください。

1. Document Captureを起動します。
2. メイン画面で  アイコンをクリックします。
[ジョブリスト] 画面が表示されます。

3. **+アイコンをクリックします。**
[ジョブ設定] 画面が表示されます。
4. **[ジョブ設定] 画面でジョブを作成します。**
 - [ジョブ名] : 登録するジョブの名前を入力します。
 - [スキャン] : 原稿サイズや解像度など、スキャンの設定をします。
 - [保存設定] : 保存場所や保存形式の指定、ファイル名の付け方などを設定します。
 - [転送先] : スキャンした画像の転送先を選択します。メールに添付して送信したり、FTPサーバーやWebサーバーに転送したりできます。
5. **[OK] をクリックして [ジョブリスト] 画面に戻ります。**
作成したジョブが [ジョブリスト] に登録されます。
6. **[OK] をクリックして、メイン画面に戻ります。**

操作パネルにジョブを割り当てる (Mac OS)

Document Captureで、スキャナーの操作パネルにジョブを割り当てる手順を説明します。詳しくはDocument Captureのヘルプをご覧ください。

1. **Document Captureを起動します。**
2. **メイン画面で  アイコンをクリックします。**
[ジョブリスト] 画面が表示されます。
3. ** アイコンから [ジョブの割り当て] を選択します。**
4. **プルダウンメニューから、スキャナーの操作パネルから実行したいジョブを選択します。**
5. **[OK] をクリックして [ジョブリスト] 画面に戻ります。**
スキャナーの操作パネルにジョブが割り当てられます。
6. **[OK] をクリックして、メイン画面に戻ります。**

e-文書法および電子帳簿保存法に適合したスキャン

本製品では、以下のe-文書法および電子帳簿保存法の要件を満たした設定でスキャンできます。

解像度	200 dpi以上	
階調	重要書類	24 bit (RGB各色8 bit)
	一般書類	24 bit (RGB各色8 bit) または8 bitグレースケール

保存形式	PDF、JPEG、TIFF、BMP
画質	- 改ざん痕を検出できる階調 4ポイントの文字を認識できる

スキャンの設定方法

操作パネルからスキャンする場合：

［イメージタイプ］で、［e-文書(カラー)］または［e-文書(グレー)］を選択してからスキャンしてください。



操作パネルの各スキャンメニューで★を選択し、［e-文書(カラー)の呼び出し］または［e-文書(グレー)の呼び出し］を選択して、スキャン設定を呼び出すこともできます。

コンピューターからスキャンする場合：

Epson Scan 2の画面の［お気に入り設定］で、［e-文書（カラー）］または［e-文書（グレー）］を選択してからスキャンしてください。Document Capture Proをお使いのときは、スキャン設定画面で［詳細設定］ボタンを押して、Epson Scan 2の画面を開きます。



保存形式などを変更するときは、e-文書法または電子帳簿保存法の要件を満たしていることを確認してください。

電子化文書作成時の注意

電子化文書作成時には、以下の点を必ずご確認ください。

- 本製品は、e-文書法および電子帳簿保存法に適合した設定でスキャンできますが、スキャンしただけでは適正な電子化文書として認められません。必ず各法令およびガイドラインに従ってスキャンしたデータを管理、運用してください。
- スキャンした画像を必ず目視で確認してください。
 - 文字や画像などが欠けたりぼやけたりしていないこと
 - ページ抜けがないこと
- スキャンした画像データの加工・修正は行わないでください。
- 国税関係書類を電子化文書として保存して紙原本を廃棄するためには、法令に従い、対応するシステム、業務規程作成、運用管理などの法的要件を満たした上で、事前に所轄税務署の承認を得る必要があります。
- 法令などは予告なく変更される場合があります。必ず事前にご自身で確認してください。

スマートデバイスからスキャンする

Epson Smart Panelでスキャンする

お使いのスマートデバイスからスキャンするには、App Store か Google PlayからEpson Smart Panelを検索して、インストールします。



スキャンする前に、スキャナーをスマートデバイスに接続してください。

1. 原稿をセットします。

2. Epson Smart Panelを起動します。

3. 画面の指示に従ってスキャンします。

参考 スキャンしたい原稿のサイズが表示されないときは、[自動] を選択してください。

スキャンした画像をお使いのスマートデバイスに保存したり、クラウドサービスにアップロードしたり、メールで送信したりします。

Mopria Scanでスキャンする

Mopria Scanを使うと、Androidスマートフォンやタブレットから簡単にネットワークでスキャンできます。



1. Google PlayからMopria Scanをインストールします。

2. 原稿をセットします。

3. スキャナーをネットワークに接続します。以下のリンクをご覧ください。

<https://epson.sn>

4. お使いの機器を無線LAN（Wi-Fi）でスキャナーと同じネットワークに接続します。

5. 機器からスキャンします。

参考 詳しくは<https://mopria.org>の使い方のページをご覧ください。

スキャンに必要な設定

スキャナーをネットワークに接続する	117
操作パネルから無線LAN (Wi-Fi) 接続する	117
操作パネルからのスキャン (スキャン to機能) を設定する	117
ネットワークフォルダーを作成する	118
メールサーバーを登録する	125
アドレス帳に宛先を登録する	128
AirPrintを設定する	137
Epson Connectを設定する	137
Web Configにユーザー定義サイズを登録する	138

スキャナーをネットワークに接続する

スキャナーがネットワークに接続されていないときは、インストーラーを使用してスキャナーをネットワークに接続します。

インストーラーを起動するには、以下のウェブサイトへアクセスし、製品名を入力してください。［セットアップ］に進んで作業を開始します。

<https://epson.sn>

操作手順はWeb動画マニュアルで見られます。以下のURLからご覧ください。

<https://support.epson.net/publist/vlink.php?code=NPD7508>

インストーラーを使わなくても、操作パネルから手動でネットワーク設定できます。以下をご覧ください。

「ネットワーク接続の前に」 210ページ

「IPアドレスを設定する」 212ページ

「有線LANに接続する」 213ページ

「無線LAN（Wi-Fi）に接続する」 214ページ

関連情報

➡ 「ネットワーク接続状態の確認」 205ページ

操作パネルから無線LAN（Wi-Fi）接続する

スキャナーの操作パネルからネットワーク設定する方法はいくつかあります。お使いの環境や条件に合わせて接続方法を選択してください。

無線LANルーター（アクセスポイント）の情報（SSID、パスワード）がわかれば、手動で設定するのが確実です。

AOSSやWPS対応の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、プッシュボタンで自動設定ができます。

スキャナーがネットワークに接続できたら、使用する機器（コンピューターやスマートデバイスなど）をスキャナーに接続してください。

関連情報

➡ 「スキャナーにSSIDとパスワードを入力して設定する」 214ページ

➡ 「プッシュボタンで自動設定する（AOSS/WPS）」 215ページ

➡ 「PINコードで設定する（WPS）」 216ページ

操作パネルからのスキャン（スキャン to機能）を設定する

スキャン to機能を使用するには、事前に複数の設定が必要です。

各機能の設定の流れについては、以下を参照してください。

「スキャン to コンピューター機能の流れ」 65ページ

「スキャン to USBドライブ機能の流れ」 86ページ

「スキャン to クラウド機能の流れ」 80ページ

「スキャン to メール機能の流れ」 74ページ

「スキャン to ネットワークフォルダー機能の流れ」 67ページ

ネットワークフォルダーを作成する

コンピューター上にネットワークフォルダーを作成します。コンピューターは、スキャナーと同じネットワークに接続されている必要があります。

ネットワークフォルダーの設定方法は環境によって異なります。ここでは、以下の環境でコンピューターのデスクトップにネットワークフォルダーを作成する例を説明します。

- オペレーティングシステム：Windows 10
- フォルダー作成場所：デスクトップ
- フォルダーパス：C:¥Users¥xxxx¥Desktop¥scan_folder（デスクトップに"scan_folder"というネットワークフォルダーを作成）

1. ネットワークフォルダーを作成するコンピューターへ、管理者権限のあるユーザーアカウントでログオンします。

参考 管理者権限のあるユーザーアカウントがわからないときは、コンピューターの管理者に確認してください。

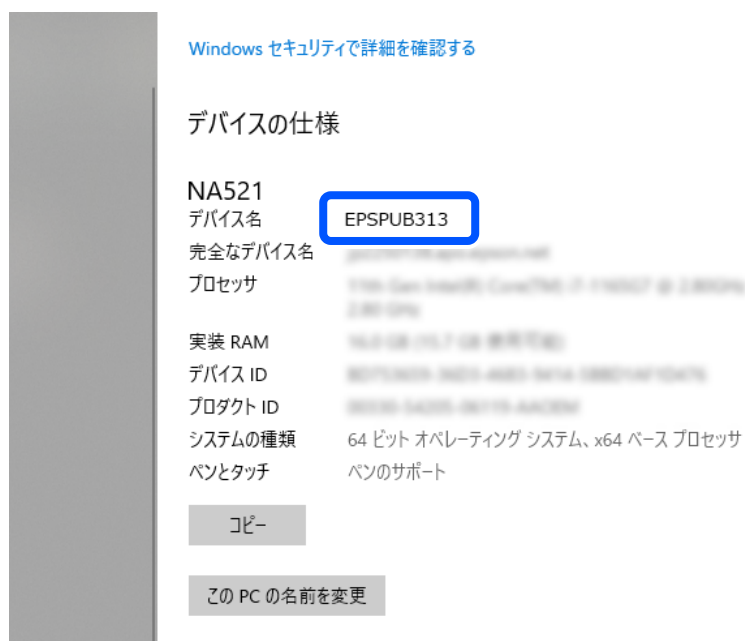
2. デバイス名（コンピューター名）に全角文字が含まれていないかを確認します。Windowsのスタートボタンをクリックし、**設定** - **システム** - **詳細情報** を選択します。

参考 デバイス名に全角文字が含まれていると、ファイルの保存が失敗する可能性があります。

3. **【デバイスの仕様】 - 【デバイス名】** に表示されている文字列に、全角文字が含まれていないかを確認します。

デバイス名が半角文字だけで構成されていれば問題ありません。画面を閉じてください。

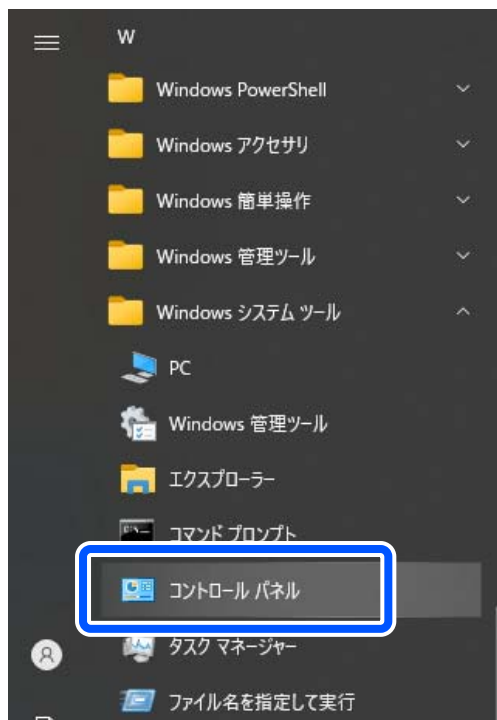
例：EPSPUB313



！重要 デバイス名に全角文字が含まれているときは、含まれていないコンピューターを使用するか、デバイス名を変更してください。
デバイス名を変更する場合、コンピューターの管理やリソースへのアクセスに影響が出る可能性があるため、必ずコンピューターの管理者に確認してください。

次に、コンピューターの設定を確認します。

4. Windowsのスタートボタンをクリックし、[Windows システムツール] - [コントロールパネル] を選択します。



5. コントロールパネルで、[ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] [共有の詳細設定の変更] をクリックします。

ネットワークプロファイルが表示されます。

6. (現在のプロファイル) とあるネットワークプロファイルの [ファイルとプリンターの共有] で [ファイルとプリンターの共有を有効にする] が選択されているか確認します。

選択されている場合は、[キャンセル] をクリックして画面を閉じます。

変更した場合は、[変更の保存] をクリックして画面を閉じます。

次に、ネットワークフォルダーを作成します。

7. デスクトップにフォルダーを作成し、名前を付けます。

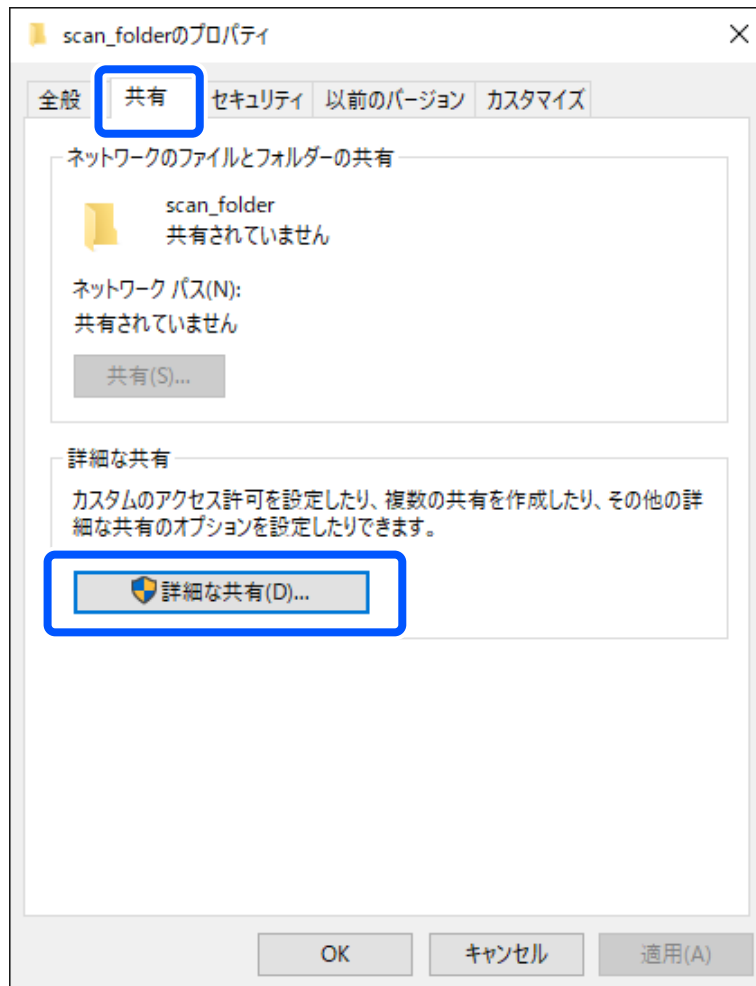
フォルダー名は、半角英数字12文字以内で入力してください。文字数を超えると、お使いの環境によっては正常にアクセスできないことがあります。

例：scan_folder

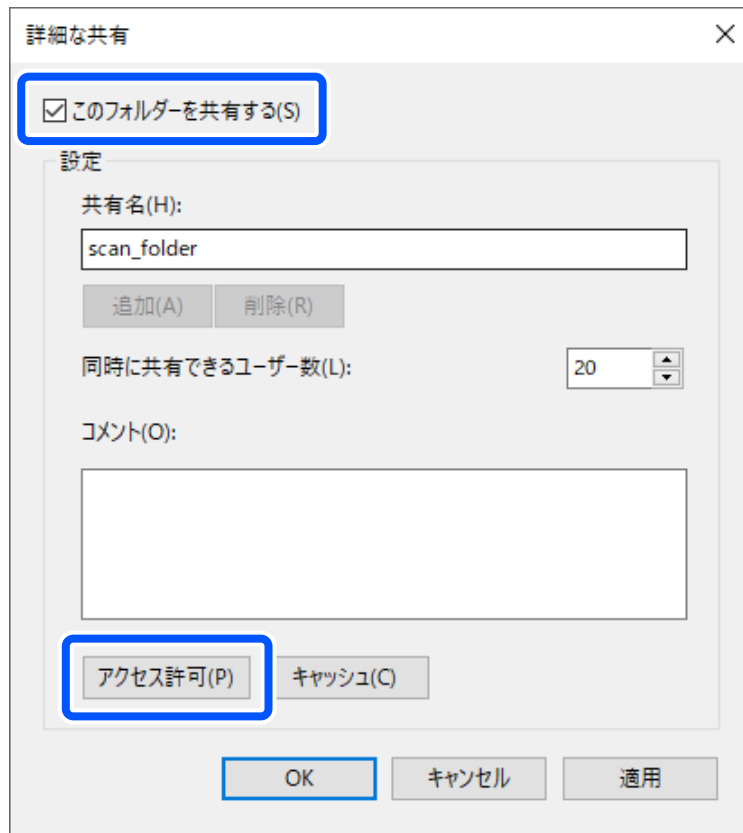
8. フォルダーを右クリックして「プロパティ」を選択します。



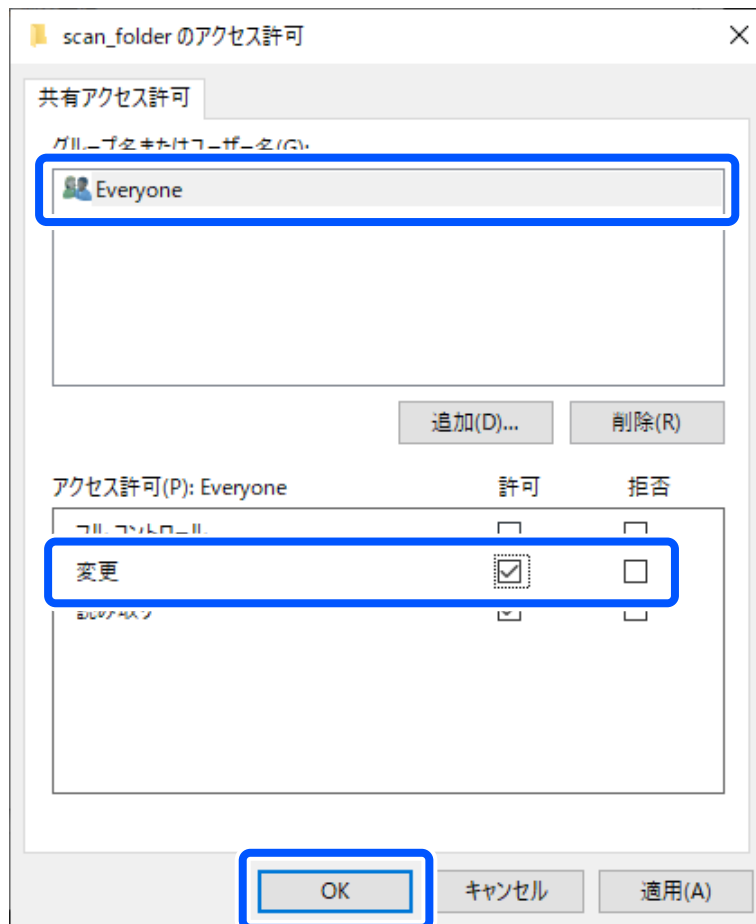
9. 「共有」タブの画面で「詳細な共有」をクリックします。



10. 「このフォルダーを共有する」にチェックを入れ、「アクセス許可」をクリックします。

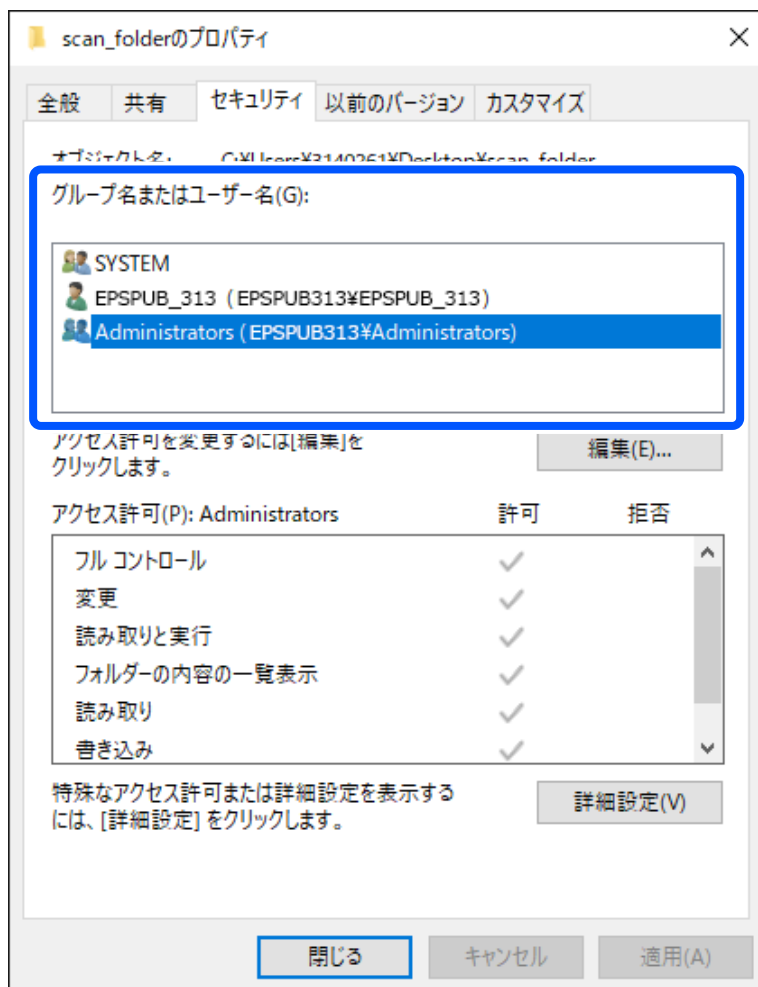


11. [グループ名またはユーザー名] の [Everyone] グループを選択し、[変更] の [許可] にチェックを入れて [OK] をクリックします。



12. [OK] をクリックして画面を閉じ、プロパティ画面に戻ります。

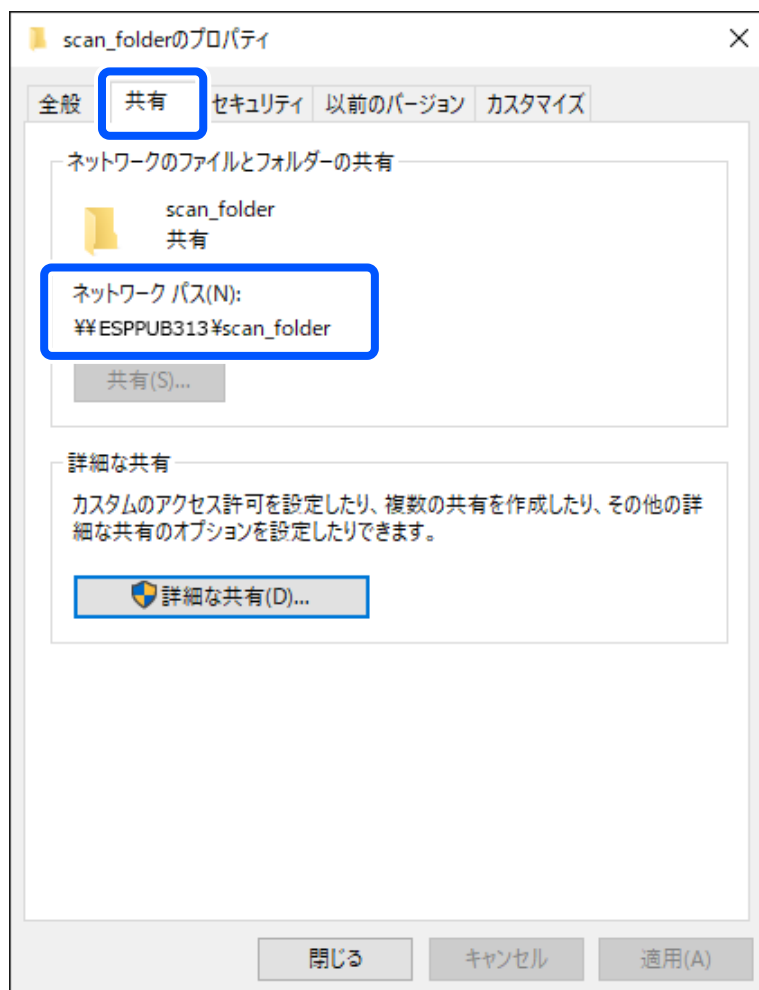
- 参考** ネットワークフォルダーにアクセスできるグループまたはユーザーは、[セキュリティ] タブ - [グループ名またはユーザー名] で確認できます。
 例：コンピューターにログオンしているユーザーとAdministrators（管理者）がネットワークフォルダーにアクセスできる場合



13. [共有] タブを選択します。

ネットワークフォルダーのネットワークパスが表示されます。このパスをスキャナーのアドレス帳の登録で使います。メモやコピーをしておいてください。

例：¥¥EPSPUB313¥scan_folder



14. [閉じる] または [OK] をクリックして、画面を閉じます。

以上でネットワークフォルダーの作成は完了です。

"スキャン to ネットワークフォルダー機能"の流れを確認したいときは、以下のリンクをクリックしてください。

[「スキャン to ネットワークフォルダー機能の流れ」 67ページ](#)

メールサーバーを登録する

設定の前に以下を確認してください。

- スキャナーがネットワークに接続されているか
- メールサーバーの設定情報
インターネット上のメールサーバーを利用する場合は、サービスを提供しているプロバイダーやウェブサイトから設定情報を確認してください。

参考 メールサーバーの設定をしなくても、エプソンのクラウドサービス『Epson Connect』を経由して、スキャンした画像をメールで送信できます。詳しくは、[スキャン to クラウド機能の流れ 80ページ](#)

登録方法

WebConfigを起動し、[ネットワーク] タブ - [メールサーバー] - [基本] の順に選択します。

[「ブラウザでWeb Configを起動する方法」34ページ](#)

スキャナーの操作パネルでも設定できます。[設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [メールサーバー] - [サーバー設定] の順に選択します。

メールサーバーの設定項目

項目	設定値と説明	
認証方式	スキャナーがメールサーバーにアクセスする際の認証方式を指定します。	
	認証しない（オフ）	メールサーバーとの通信時に認証をしません。
	SMTP認証	メールサーバーがSMTP認証に対応している必要があります。
	POP before SMTP	選択した場合はPOP3サーバーの設定をしてください。
認証用アカウント	[認証方式] に [SMTP認証] または [POP before SMTP] を選択した場合、認証用のアカウント名を入力します。入力できる文字は、ASCII (0x20-0x7E) の255文字以内です。	
認証用パスワード	[認証方式] に [SMTP認証] または [POP before SMTP] を選択した場合、認証用のパスワードを入力します。入力できる文字はASCII (0x20-0x7E) の20文字以内です。	
送信元アドレス	スキャナーからメールを送信する際、送信者となるメールアドレスを設定します。既存のメールアドレスも設定可能ですが、スキャナーから送信されたメールと判別できるように、専用のメールアドレスを取得して設定することをお勧めします。 入力できる文字は、: () < > [] ; ¥ を除くASCII (0x20-0x7E) で表せる255文字以内です。ただし、ピリオド (.) は先頭文字にできません。	
SMTPサーバーアドレス	A～Z a～z 0～9 . - を使用し、255文字以内で入力します。IPv4形式とFQDN形式での入力が可能です。	
SMTPサーバー ポート番号	1～65535までの範囲で、半角数字で入力します。	
セキュア接続	メールサーバーのセキュア接続方式を指定します。	
	なし	[認証方式] で [POP before SMTP] を選択した場合は [なし] になります。
	SSL/TLS	[認証方式] で [認証しない] または [SMTP認証] を選択したときに選択できます。
	STARTTLS	[認証方式] で [認証しない] または [SMTP認証] を選択したときに選択できます。
証明書の検証 (Web Configのみ)	有効にするとメールサーバーの証明書の正当性をチェックします。[セキュア接続] で [なし] 以外を選択したときは、[有効] にすることをお勧めします。	
POP3サーバーアドレス	[認証方式] に [POP before SMTP] を選択した場合、POP3サーバーアドレスを入力します。入力できる文字は、A～Z a～z 0～9 . - で、255文字以内です。IPv4形式とFQDN形式での入力が可能です。	
POP3サーバー ポート番号	[認証方式] で [POP before SMTP] を選択した場合にポート番号を指定します。入力できる文字は、1～65535の範囲で、半角数字で入力します。	

"スキャン to メール機能"の流れを確認したいときは、以下のリンクをクリックしてください。

[「スキャン to メール機能の流れ」74ページ](#)

メールサーバーとの接続を確認する

1. 接続確認のメニューを選択します。

- **Web Configで設定する場合：**
[ネットワーク] タブ - [メールサーバー] - [接続確認] - [確認開始] を選択します。
- **操作パネルで設定する場合：**
[設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [メールサーバー] - [コネクションテスト] を選択します。

メールサーバーとの接続診断が開始されます。

2. テストの結果を確認します。

- [接続に成功しました。] が表示されたら成功です。
- エラーが表示されたときは、メッセージに従ってエラーを解決してください。
[「メールサーバー接続確認結果」 127ページ](#)

"スキャン to メール機能"の設定の流れを確認したいときは、以下のリンクをクリックしてください。

[「スキャン to メール機能の流れ」 74ページ](#)

メールサーバー接続確認結果

メッセージ	原因
SMTPサーバーとの通信でエラーが発生しました。以下を確認してください。・ネットワーク設定	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 • スキャナーがネットワークに接続されていない • SMTPサーバーがダウンしている • 通信中にネットワークが切断された • 異常なデータを受信した
POP3サーバーとの通信でエラーが発生しました。以下を確認してください。・ネットワーク設定	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 • スキャナーがネットワークに接続されていない • POP3サーバーがダウンしている • 通信中にネットワークが切断された • 異常なデータを受信した
SMTPサーバーとの接続に問題があります。以下を確認してください。・SMTPサーバーアドレス・DNSサーバー	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 • DNSサーバーとの接続に失敗した • SMTPサーバーアドレスの名前解決に失敗した
POP3サーバーとの接続に問題があります。以下を確認してください。・POP3サーバーアドレス・DNSサーバー	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 • DNSサーバーとの接続に失敗した • POP3サーバーアドレスの名前解決に失敗した
SMTPサーバーの認証に失敗しました。以下を確認してください。・認証方式・認証用アカウント・認証用パスワード	SMTPサーバーでの認証処理に失敗したときに表示されます。

メッセージ	原因
POP3サーバーの認証に失敗しました。以下を確認してください。・認証方式・認証用アカウント・認証用パスワード	POP3サーバーでの認証処理に失敗したときに表示されます。
サポートしていない通信方式です。以下を確認してください。・SMTPサーバーアドレス・SMTPサーバーポート番号	スキャナーがサポートしていないプロトコルで通信しようとした場合に表示されます。
SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をなしに変更してください。	サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続（SSL接続）をサポートしていない場合に表示されます。
SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をSSL/TLSに変更してください。	サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続にSSL/TLS接続することを要求してきている場合に表示されます。
SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をSTARTTLSに変更してください。	サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続にSTARTTLS接続することを要求してきている場合に表示されます。
サーバーの安全性が確認できませんでした。以下を確認してください。・日付/時刻	スキャナーの日時設定が正しくない、またはサーバーに対応するルート証明書は保有しているが、期限切れの場合に表示されます。
サーバーの安全性が確認できませんでした。以下を確認してください。・相手サーバー検証用CA証明書	サーバーに対応するルート証明書をスキャナーが保有していない、または相手サーバー検証用CA証明書がインポートされていない場合に表示されます。
サーバーの安全性が確認できませんでした。	サーバーから取得した証明書が壊れている場合などに表示されます。
SMTPサーバーの認証に失敗しました。認証方式をSMTP認証に変更してください。	サーバーとクライアントで認証方式が一致していない場合に表示されます。サーバーはSMTP認証をサポートしているのに、スキャナーはSMTP認証を実行していません。
SMTPサーバーの認証に失敗しました。認証方式をPOP before SMTPに変更してください。	サーバーとクライアントで認証方式が一致していない場合に表示されます。サーバーはSMTP認証をしていないのに、スキャナーはSMTP認証を実行しようとしています。
送信元アドレスが正しくありません。お使いのメールサービスで取得したアドレスに変更してください。	送信元アドレスの指定が間違っていた場合に表示されます。
製品は処理動作中のためアクセスできません。	スキャナーが動作中で接続設定ができなかったときに表示されます。

アドレス帳に宛先を登録する

スキャンの宛先をスキャナーのアドレス帳に登録しておくと、簡単に宛先を入力できます。アドレス帳には以下の送信先を登録できます。300件まで登録できます。

メール	メールの送信先です。 メールサーバーの設定が必要です。
ネットワークフォルダー	スキャンデータの保存先 あらかじめネットワークフォルダーの準備が必要です。

登録ツールによる機能差

スキャナーのアドレス帳を設定する機能は3種類あります：Web Config、Epson Device Admin、操作パネルの3つです。ただし、設定できる項目が異なります。

✓：設定できます。 -：設定できません。

機能	Web Config*	Epson Device Admin	操作パネル
宛先登録	✓	✓	✓
宛先編集	✓	✓	✓
グループ登録	✓	✓	✓
グループ編集	✓	✓	✓
宛先やグループの削除	✓	✓	✓
宛先の一括削除	✓	✓	-
ファイルのインポート	✓	✓	-
ファイルへエクスポート	✓	✓	-

* 設定には管理者ログオンが必要です。

宛先を登録する

登録したい宛先の種別によって、設定項目が異なります。

宛先を登録する（メール）

登録方法

Web Configを起動して、[スキャン] タブ - [アドレス帳] の順に選択します。アドレス帳に登録する番号を選択して、[編集] をクリックします。

[「ブラウザでWeb Configを起動する方法」34ページ](#)

スキャナーの操作パネルでも設定できます。[設定] - [アドレス帳管理] - [アドレス帳登録・変更] - [宛先登録] - [宛先を作成] - [メール] の順に選択します。

アドレス帳の設定項目

項目	設定値と説明
番号（登録番号）	宛先をアドレス帳に登録する番号を設定します。
登録名	アドレス帳に表示する名称を、Unicode（UTF-16）で表せる30文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
よみがな(検索名)	アドレス帳の索引や検索に使われる名称を、Unicode（UTF-16）で表せる30文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
種別（Web Configのみ）	〔メール〕を選択します。
Eメールアドレス	送信先のEメールアドレスを入力します。 半角文字でA～Z a～z 0～9 ! # \$ % & ' * + - . / = ? ^ _ { } ~ @を使用し、1～255文字以内で入力します。
適用ボタン（Web Configのみ）	入力した内容で宛先を登録します。
OKボタン（操作パネルのみ）	

"スキャン to メール機能"の流れを確認したいときは、以下のリンクをクリックしてください。

[「スキャン to メール機能の流れ」 74ページ](#)

宛先を登録する（ネットワークフォルダー（SMB））

登録方法

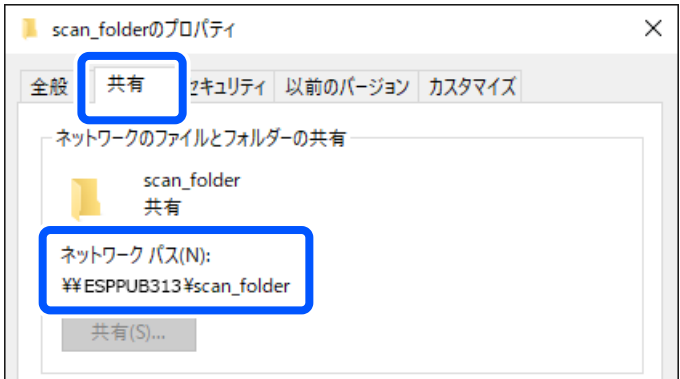
Web Configを起動して、〔スキャン〕タブ - 〔アドレス帳〕の順に選択します。アドレス帳に登録する番号を選択して、〔編集〕をクリックします。

[「ブラウザでWeb Configを起動する方法」 34ページ](#)

スキャナーの操作パネルでも設定できます。〔設定〕 - 〔アドレス帳管理〕 - 〔アドレス帳登録・変更〕 - 〔宛先登録〕 - 〔宛先を作成〕 - 〔ネットワークフォルダー〕の順に選択します。

アドレス帳の設定項目

項目	設定値と説明
番号（登録番号）	宛先をアドレス帳に登録する番号を設定します。
登録名	アドレス帳に表示する名称を、Unicode（UTF-16）で表せる30文字以内で入力します。入力したときは、〔検索名〕も入力します。 指定しない場合は空白にします。
よみがな(検索名)	アドレス帳の索引や検索に使われる名称を、Unicode（UTF-16）で表せる30文字以内で入力します。 指定しない場合は空白にします。
種別（Web Configのみ）	〔ネットワークフォルダー（SMB）〕を選択します。
通信モード（操作パネルのみ）	

項目	設定値と説明
保存先	保存先ネットワークフォルダーのパスを、Unicode (UTF-16) で表せる1～253文字以内で入力します。 先頭の"¥¥"は入力済みです。 ブラウザーによっては、円マークがバックスラッシュ (\\) で表示されることがあります。 参考 ネットワークフォルダーのプロパティを開き、[共有] タブに表示されるネットワークパスを入力します。 例：¥¥EPSPUB313¥scan_folder 
ユーザー名	保存先フォルダーを作成したコンピューターの、ログオンユーザー名（ユーザーアカウント）を入力します。 ユーザー名はUnicode (UTF-16) で表せる30文字以内で入力します。ただし、制御文字（0x00～0x1f、0x7F）は除きます。
パスワード	保存先フォルダーを作成したコンピューターの、ログオンパスワード（ユーザーアカウントのパスワード）を入力します。 パスワードは、Unicode (UTF-16) で表せる0～20文字以内で入力します。ただし、制御文字（0x00～0x1f、0x7F）は除きます。
適用ボタン（Web Configのみ）	入力した内容で宛先を登録します。
OKボタン（操作パネルのみ）	

"スキャン to ネットワークフォルダー機能"の流れを確認したいときは、以下のリンクをクリックしてください。
[「スキャン to ネットワークフォルダー機能の流れ」 67ページ](#)

宛先を登録する（FTP）

登録方法

Web Configを起動して、[スキャン] タブ - [アドレス帳] の順に選択します。アドレス帳に登録する番号を選択して、[編集] をクリックします。

[「ブラウザーでWeb Configを起動する方法」 34ページ](#)

スキャナーの操作パネルでも設定できます。[設定] - [アドレス帳管理] - [アドレス帳登録・変更] - [宛先登録] - [宛先を作成] - [ネットワークフォルダー] の順に選択します。

アドレス帳の設定項目

項目	設定値と説明
番号（登録番号）	宛先をアドレス帳に登録する番号を設定します。
登録名	アドレス帳に表示する名称を、Unicode（UTF-16）で表せる30文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
よみがな(検索名)	アドレス帳の索引や検索に使われる名称を、Unicode（UTF-16）で表せる30文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
種別（Web Configのみ）	[FTP] を選択します。
セキュア接続（Web Configのみ）	FTPサーバーがサポートしているプロトコルに従って、FTPまたはFTPSを選択します。[FTPS] を選択するとセキュアで通信します。
通信モード（操作パネルのみ）	
保存先	保存先のサーバー名を、Unicode（UTF-16）で表せる1～253文字以内（"ftp://"や"ftps://"を除く）で入力します。
ユーザー名	FTPサーバーにアクセスするユーザー名を、Unicode（UTF-16）で表せる30文字以内で入力します。ただし、制御文字（0x00～0x1f, 0x7F）は除きます。匿名による接続を認めているサーバーでは、AnonymousやFTPなどを入力します。指定しない場合は空白にします。
パスワード	FTPサーバーにアクセスするパスワードを、Unicode（UTF-16）で表せる0～20文字以内で入力します。ただし、制御文字（0x00～0x1f, 0x7F）は除きます。指定しない場合は空白にします。
接続モード	メニューから接続モードを選択します。スキャナーとFTPサーバーの間にファイアウォールがある場合は、[パッシブモード] を選択します。
ポート番号	FTPサーバーのポート番号を1～65535以内の数字で入力します。
証明書の検証（Web Configのみ）	有効にするとFTPサーバーの証明書の正当性をチェックします。[セキュア接続] が[FTPS] のときに選択できます。 設定の前に相手サーバー検証用CA証明書をスキャナーにインポートしておいてください。
適用ボタン（Web Configのみ）	入力した内容で宛先を登録します。
OKボタン（操作パネルのみ）	

"スキャン to ネットワークフォルダー機能"の流れを確認したいときは、以下のリンクをクリックしてください。
[「スキャン to ネットワークフォルダー機能の流れ」 67ページ](#)

宛先を登録する（SharePoint(WebDAV)）

登録方法

Web Configを起動して、[スキャン] タブ - [アドレス帳] の順に選択します。アドレス帳に登録する番号を選択して、[編集] をクリックします。

[「ブラウザでWeb Configを起動する方法」 34ページ](#)

スキャナーの操作パネルでも設定できます。[設定] - [アドレス帳管理] - [アドレス帳登録・変更] - [宛先登録] - [宛先を作成] - [ネットワークフォルダー] の順に選択します。

アドレス帳の設定項目

項目	設定値と説明
番号（登録番号）	宛先をアドレス帳に登録する番号を設定します。
登録名	アドレス帳に表示する名称を、Unicode（UTF-16）で表せる30文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
よみがな(検索名)	アドレス帳の索引や検索に使われる名称を、Unicode（UTF-16）で表せる30文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
種別（Web Configのみ）	〔SharePoint(WebDAV)〕を選択します。
セキュア接続（Web Configのみ）	サーバーがサポートしているプロトコルに従って、HTTPS（WebDAV (HTTPS)）またはHTTP（WebDAV (HTTP)）を選択します。〔HTTPS〕を選択するとセキュアで通信します。
通信モード（操作パネルのみ）	
保存先	保存先のサーバー名を、Unicode（UTF-16）で表せる1～253文字以内（"http://"や"https://"を除く）で入力します。
ユーザー名	サーバーにアクセスするユーザー名を、Unicode（UTF-16）で表せる30文字以内で入力します。ただし、制御文字（0x00～0x1f、0x7f）は除きます。指定しない場合は空白にします。
パスワード	サーバーにアクセスするパスワードを、Unicode（UTF-16）で表せる0～20文字以内で入力します。ただし、制御文字（0x00～0x1f、0x7f）は除きます。指定しない場合は空白にします。
証明書の検証（Web Configのみ）	有効にするとサーバーの証明書の正当性をチェックします。〔セキュア接続〕が〔HTTPS〕のときに選択できます。 設定の前に相手サーバー検証用CA証明書をスキャナーにインポートしておいてください。
プロキシサーバー使用設定	プロキシサーバーを使うかどうかを選択します。
適用ボタン（Web Configのみ）	入力した内容で宛先を登録します。
OKボタン（操作パネルのみ）	

参考 スキャナーの操作パネルからの〔ネットワークフォルダー〕へのスキャンは、SharePoint Online に対応していません。スキャンした画像をSharePoint Onlineに保存したいときは、Document Capture ProにSharePoint Online Connectorをインストールしてお使いください。詳しくは、Document Capture Proのマニュアルをご覧ください。
<https://support.epson.net/dcp/>

"スキャン to ネットワークフォルダー機能"の流れを確認したいときは、以下のリンクをクリックしてください。
[「スキャン to ネットワークフォルダー機能の流れ」 67ページ](#)

Web Configで宛先をグループに登録する

種別が〔メール〕の場合、複数の宛先をまとめてグループとして登録できます。

1. Web Configで〔スキャン〕タブ - 〔アドレス帳〕を選択します。

[「ブラウザでWeb Configを起動する方法」 34ページ](#)

2. 登録したい番号を選択して【編集】をクリックします。
 3. 【種別】で登録したいグループを選択します。
 4. 【グループに入れる宛先】の【選択】をクリックします。
登録できる宛先が一覧表示されます。
 5. グループに登録する宛先を選択して、【選択】をクリックします。
-  参考 アドレスは複数のグループに登録できます。
6. 【登録名】と【検索名】を入力します。
 7. 【適用】をクリックします。

アドレス帳のエクスポートとインポート

アドレス帳は、Web Configや他のツールを使用してエクスポートやインポートができます。

Web Configの場合

アドレス帳を含めてスキャナー設定をエクスポートするとバックアップできます。エクスポートされたファイルはバイナリーファイルのため編集できません。

アドレス帳を含むスキャナー設定をインポートすると、アドレス帳は上書きされます。

Epson Device Adminの場合

デバイスのプロパティ画面からアドレス帳だけをエクスポートできます。

パスワードなどセキュリティー項目を含めずにエクスポートするとSYLK形式やcsv形式に保存できるので、編集してからインポートできます。

複数台のスキャナーに一括で登録できます。アドレス帳だけをバックアップする場合や、スキャナーの置き替え時に置き替え前のスキャナーからアドレス帳を引き継ぐような場合に役立ちます。

詳細はEpson Device Adminのマニュアルやヘルプをご覧ください。

Web Configを使ってアドレス帳をエクスポートまたはインポートする

Web Configからアドレス帳をエクスポートする

スキャナーの故障などでアドレス帳のデータが消失する可能性があります。アドレス帳の更新時にバックアップすることをお勧めします。本製品の保証期間内であっても、データの消失または破損について弊社はいかなる責も負いません。スキャナーに登録されているアドレス帳は、Web Configでコンピューターにエクスポートしてバックアップできます。

1. Web Configを起動し、【デバイス管理】タブ - 【設定のエクスポート/インポート】 - 【エクスポート】の順に選択します。
2. 【スキャン】カテゴリーの【アドレス帳】にチェックを付けます。

3. エクスポートするファイルを暗号化するための、任意のパスワードを入力します。
ここで指定したパスワードはインポートするときに必要になります。パスワードを指定しない場合は空白にします。
4. [エクスポート] をクリックします。

Web Configからアドレス帳をインポートする

本スキャナーにインポートできるアドレス帳を持った別のスキャナーをお持ちの場合、そのスキャナーのバックアップデータをインポートすることで、アドレス帳に登録できます。

参考 別のスキャナーのアドレス帳からバックアップデータを作成するには、そのスキャナーのマニュアルをご覧ください。

バックアップデータをインポートする手順は以下です。

1. Web Configで[デバイス管理] タブ - [設定のエクスポート/インポート] - [インポート] の順に選択します。
2. [ファイル] でバックアップデータファイルを選択し、暗号化パスワードを入力して、[次へ] をクリックします。
3. [アドレス帳] を選択して、[次へ] をクリックします。

Epson Device Adminを使ってアドレス帳のエクスポートまたはインポートする

Epson Device Adminからアドレス帳をエクスポートする

アドレス帳の情報をファイルに保存します。

SYLK形式やcsv形式で保存したファイルは表計算ソフトやテキストエディターなどで編集できます。情報の削除や追加などをしてから一括で登録できます。

パスワードや個人情報などセキュリティ項目を含む情報は、パスワードを設定したバイナリー形式で保存できます。このファイルは編集できません。セキュリティ項目を含む情報のバックアップとして活用できます。

1. Epson Device Adminを起動します。
2. サイドバータスクメニューで[デバイス] を選択します。
3. デバイスリストで設定するデバイスを選択します。
4. リボンメニューの[ホーム] タブから[デバイスの設定] をクリックします。
管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して[OK] をクリックします。
5. [共通] - [アドレス帳] をクリックします。

6. 【エクスポート】 - 【エクスポートする項目】 からエクスポート形式を選択します。

- 全ての項目
暗号化したバイナリーファイルをエクスポートします。パスワードや個人情報などセキュリティ項目を含めたい場合に選択します。このファイルは編集できません。こちらを選択した場合はパスワードの設定が必要です。【設定】をクリックしてパスワードをASCII文字（8～63文字）で設定します。このパスワードはバイナリーファイルのインポート時に入力が求められます。
- セキュリティ情報を除く項目
SYLK形式またはcsv形式のファイルをエクスポートします。エクスポートした情報を編集したい場合に選択します。

7. 【エクスポート】 をクリックします。

8. ファイルを保存する場所を指定し、ファイルの種類を選択して【保存】 をクリックします。

パスワード変更の完了メッセージが表示されます。

9. 【OK】 をクリックします。

指定した場所にファイルが保存されていることを確認してください。

Epson Device Adminからアドレス帳をインポートする

アドレス帳の情報をファイルからインポートします。

SYLK形式やcsv形式で保存したファイルや、セキュリティ項目を含む情報をバックアップしたバイナリーファイルをインポートできます。

1. Epson Device Adminを起動します。

2. サイドバータスクメニューで【デバイス】 を選択します。

3. デバイスリストで設定するデバイスを選択します。

4. リボンメニューの【ホーム】 タブから【デバイスの設定】 をクリックします。

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して【OK】 をクリックします。

5. 【共通】 - 【アドレス帳】 をクリックします。

6. 【インポート】 の【参照】 をクリックします。

7. インポートするファイルを選択して【開く】 をクリックします。

バイナリーファイルを選択した場合、【パスワード】 にファイルをエクスポートしたときに設定したパスワードを入力します。

8. 【インポート】 をクリックします。

確認画面が表示されます。

9. 【OK】 をクリックします。

読み込み内容の検証が始まり、結果を表示します。

- 読み込んだ情報を編集する
読み込んだ情報を個別に編集したい場合にクリックします。
- 更にファイルを読み込む
複数のファイルをインポートしたい場合にクリックします。

10. [インポート] をクリックし、インポート完了画面で [OK] をクリックします。

デバイスのプロパティ画面に戻ります。

11. [送信] をクリックします。

12. 確認メッセージで [OK] をクリックします。

設定がスキャナーに送信されます。

13. 送信完了画面で [OK] をクリックします。

スキャナーの情報が更新されます。

Web Configや操作パネルからアドレス帳を開き、更新されていることを確認してください。

AirPrintを設定する

Web Configで [ネットワーク] タブ - [AirPrint設定] の順に選択します。

項目	説明
Bonjourサービス名	Bonjourのサービス名をASCII（0x20-0x7E）で表せる41文字以内で入力します。
ロケーション	スキャナーの設定場所など任意のロケーション情報を、UTF-8で表せる127バイト以内の文字列で入力します。
Wide-Area Bonjour	Wide-Area Bonjourを使用するかどうか設定します。使用する場合、セグメントを越えた検索ができるように、スキャナーがDNSサーバーに登録されている必要があります。
AirPrintを有効にする	BonjourとAirPrint（Scan Service）が有効になります。AirPrintが無効になっているときに表示されます。  参考 AirPrintが無効なときは、ChromebookまたはWindowsからのMopriaでのスキャン、およびMopria Scanでのスキャンも無効になります。

Epson Connectを設定する

エプソンのクラウドサービス『Epson Connect』を使用して、スキャンした画像を登録した宛先に転送できます。

 **参考** Epson Connectのサービス概要を詳しく知りたいときは、以下のポータルサイトをご覧ください。
<https://www.epsonconnect.com/>

1. スキャナーをネットワークに接続します。セットアップ時にネットワークに接続した場合は不要です。

「スキャナーをネットワークに接続する」210ページ

2. 製品をEpson Connectに登録し、サービスを利用できるようにします。

スキャナーの操作パネルで、[設定] - [Webサービス設定] - [Epson Connect設定] - [登録する] の順に選択し、画面の指示に従って登録してください。



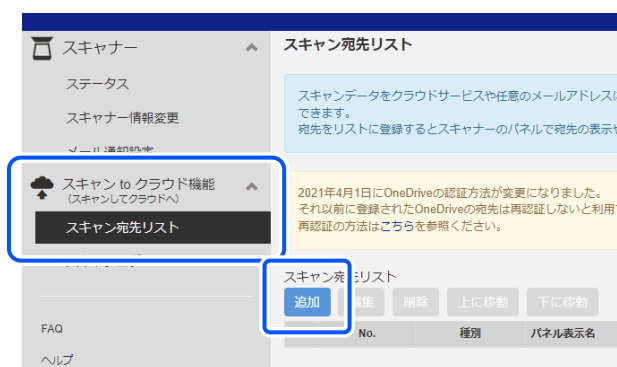
認証コードの入力を要求されたときは、以下のURLにアクセスしてコードを入力してください。

<https://www.epsonconnect.com/activation>

3. 転送したい宛先を、Epson Connectのユーザーページで宛先リストに登録します。

以下のURLからユーザーページにアクセスし、[スキャン to クラウド機能（スキャンしてクラウドへ）] - [スキャン宛先リスト] - [追加] *をクリックして、画面の指示に従って宛先を追加してください。

<https://www.epsonconnect.com/user>



*Epson Connectサービスの内容は、予告なく変更されることがあります。

Web Configにユーザー定義サイズを登録する

Web Configでは、スキャンする原稿のユーザー定義サイズをスキャナーに登録できます。

登録したユーザー定義サイズは、Web Configの[お気に入り]や[ユーザーデフォルト設定]で[ユーザー定義サイズリスト(入力原稿)から取得]をクリックして呼び出します。

1. Web Configで[スキャン]タブ - [ユーザー定義サイズリスト(入力原稿)]を選択します。

2. 登録したい番号を選択して[編集]をクリックします。

3. 各項目を設定します。

- 登録名：Unicode（UTF-8）で表せる10文字以内で名前を設定します。
- 単位：単位を選択します。
- X：原稿の幅を指定します。
- Y：原稿の長さを指定します。

4. [適用]をクリックします。

設定メニューの説明

起動画面	140
基本設定	140
スキャン動作設定	141
ユーザー設定	142
ネットワーク設定	142
Webサービス設定	143
アドレス帳管理	144
管理者用設定	144
機器情報	145
スキャナーのお手入れ	146
定期清掃通知設定	146

起動画面

スキャナーの電源を入れたときや無操作タイムアウトを有効にしたときに、初期画面として表示させる項目を設定します。（購入時の設定は「ホーム」）

- ホーム
- お気に入り
- スキャン to ネットワークフォルダー機能
- スキャン to メール機能
- スキャン to クラウド機能
- スキャン to USBドライブ機能
- スキャン to コンピューター機能

基本設定

画面の明るさ設定

画面の明るさを調整します。（購入時の設定は9）

音の設定

- 操作音：操作パネルをタップしたときの音量を設定します。（購入時の設定は「中」）
- エラー音：エラーが発生したときの音量を設定します。（購入時の設定は「中」）

スリープ移行時間設定

スキャナーが動作していない状態が続いたときに、自動でスリープ（省電力）モードに移行する時間を設定します。設定した時間が過ぎると液晶ディスプレイが暗くなります。（購入時の設定は5分）

参考 Web Configでも設定できます。[デバイス管理] - [省電力] - [スリープ移行時間設定] の順に選択します。

自動電源オフ

自動的にスキャナーの電源を切ります。（購入時の設定は「2時間後」）

参考 Web Configでも設定できます。[デバイス管理] - [省電力] - [自動電源オフ時間] の順に選択します。

日付/時刻設定

- 日付/時刻：現在の日時と時間を入力します。
- 時差：協定世界時（UTC）との時差を設定します。

言語選択/Language

画面に表示する言語を選択します。

無操作タイムアウト

無操作タイマー設定を［オン］にすると、何も操作しない状態で設定時間が経過したときにホーム画面に戻ります。この設定は、ホーム画面以外の画面が表示されている時に適用されます。（購入時の設定は［オン］、設定時間は3分）

コンピューターのUSB接続

コンピューターからのUSB接続を制限できます。制限する場合は［無効］に設定します。（購入時の設定は［有効］）

USBドライブ

この設定を[無効]にすると、USBドライブを本体に挿入しても認識されません。USBドライブへのデータ保存を制限したいときに[無効]に設定してください。（購入時の設定は［有効］）

スキャン動作設定

原稿保護

ADFでスキャンして以下の状態になったとき、ADFへの負荷を検知しすぐにスキャンを停止して、原稿の破損を軽減します。

- 給紙エラーが発生した
- 原稿が傾いて給紙された

この機能を有効にするには、検知のレベルを選択します。各レベルの詳細は、以下の表をご覧ください。（購入時の設定は［オン(中感度)］）

レベル	説明
オン(低感度)	感度を下げて原稿の傾きを検知します。
オン(中感度)	ステープラーで留めたままの原稿の傾きや、［オン(低感度)］で検知できなかった傾きを検知します。
オン(高感度)	感度を上げて原稿の傾きを検知します。

！重要

- この機能は全ての原稿の破損を防止できるものではありません。
- 給紙の状態によっては、給紙エラーを検知できないことがあります。

参考

原稿、給紙の状態、およびセットしたレベルによっては、この機能は正しく動作しないことがあります。

- 誤検知が頻繁に起こるときは、レベルを下げてください。
- 原稿が不定形だったり、斜めにスキャンされたりした場合は、給紙エラーと誤って検知することがあります。
- 複数枚の原稿をセットする場合は、原稿の先端を確実にそろえてください。原稿の先端がそろっていないと、正しくスキャンされていても、給紙エラーと誤って検知することがあります。
- 原稿が斜めにスキャンされないように、必ず原稿ガイドを原稿に合わせてください。

ガラス面汚れ検知

ADFでスキャンするとき、スキャナー内部のガラス面（ADFの読み取りセンサー）の汚れを検知します。検知のレベルを選択できます。（購入時の設定は［オフ］）
汚れによっては、この機能は正しく動作しないことがあります。

スキャン後にページ追加のタイムアウト時間

［スキャン後にページ追加］を使用するときのタイムアウト時間を設定します。
［ネットワークフォルダー］、［メール］、［クラウド］、［USBドライブ］からスキャンするときだけ有効な設定です。［スキャン後にページ追加］が［オン］のときに、自動でスキャンを終了する時間を設定できます。（購入時の設定は180秒）

読み取り前宛先確認

スキャンする前に宛先を確認します。（購入時の設定は［オフ］）

ユーザー設定

以下の項目の、読み取り設定の初期値を変更することができます。

- スキャン to ネットワークフォルダー機能
- スキャン to メール機能
- スキャン to クラウド機能
- スキャン to USBドライブ機能

ネットワーク設定

無線LAN接続設定

無線LANでスキャナーをネットワークに接続します。接続方法を選択し、画面の指示に従って設定してください。

ルーター

- 無線LANルーターを検索
- プッシュボタンで設定(AOSS/WPS)
- その他

- PINコード自動設定(WPS)
- カンタン自動設定
- 無線LANを無効にする

Wi-Fiの設定を無効または再設定することで、ネットワークエラーなどが解消できる場合があります。



ります。 - [ルーター] - [設定を変更する] - [その他] - [無線LANを無効にする] - [設定を開始する] の順にタップします。

Wi-Fi Direct

スマートデバイスと接続するための情報を表示します。
設定する場合は「設定に進む」をタップします。



をタップすると、以下の項目を設定できます。

- 接続名を変更する
- パスワードを変更する
- 周波数帯を変更する
地域によっては、この設定が表示されないことがあります。
- Wi-Fi Directを無効にする
- 購入時の設定に戻る

有線LAN接続設定：

LANケーブルでスキャナーとハブを接続してネットワークに接続します。このとき、無線LAN接続は無効になります。

ネットワーク情報

以下の項目の、現在のネットワーク設定を表示します。

- 有線・無線接続状態
- Wi-Fi Direct接続状態
- メールサーバー設定確認

詳細設定

設定項目は次の通りです。

- デバイス名
- TCP/IP
- プロキシサーバー
- メールサーバー
 - サーバー設定
 - コネクションテスト
- IPv6アドレス
- Link Speed & Duplex
- HTTPをHTTPSにリダイレクト
- IPsec/IPフィルタリングの無効化
- IEEE802.1Xの無効化

Webサービス設定

Epson Connect設定：

Epson Connectサービスへの登録状態を表示します。
「登録する」を選択すると表示される画面の指示に従って登録できます。

登録すると以下の設定ができます。

- サービスの一時停止/再開
- 登録削除

詳細は、以下のサイトをご覧ください。

<https://www.epsonconnect.com/>

アドレス帳管理

アドレス帳登録・変更：

スキャン to メール機能、スキャン to ネットワークフォルダー機能で使うアドレスを登録、削除します。

アドレス帳検索設定：

アドレス帳の検索方法を変更します。

管理者用設定

アドレス帳管理

アドレス帳登録・変更：

スキャン to メール機能、スキャン to ネットワークフォルダー機能で使うアドレスを登録、削除します。

アドレス帳検索設定：

アドレス帳の検索方法を変更します。

管理者設定

- 管理者パスワード：管理者だけがスキャナーの設定を変更できるように、管理者用のパスワードを設定します。パスワードは8文字以上20文字以下で設定してください。
- 管理者ロック：管理者以外のユーザーがスキャナーの設定を変更できないように、ロックを掛けます。

パスワード暗号化

パスワードを暗号化します。（購入時の設定は［オフ］）

再起動中に電源を切ると、データが損傷して、スキャナーの設定が初期化されるおそれがあります。その場合は、パスワードを再設定してください。

起動時のプログラム検証：

起動時にスキャナーのプログラムを検証します。（初期値は［オフ］）

この機能をオンにすると、スキャナーの起動に時間がかかる場合があります。

お客様利用情報

〔許可〕を選択するとスキャン枚数など製品の利用情報をセイコーエプソン株式会社に提供します。（購入時の設定は［拒否］）

購入時の設定に戻す

- ネットワーク設定：ネットワークに関する設定を購入時の状態に戻します。
- ネットワーク設定以外：ネットワークに関する設定を除いて、その他の設定を購入時の状態に戻します。
- 全ての設定：全ての設定を購入時の状態に戻します。

！重要 [全ての設定] を選択した場合、スキャナーに登録されたアドレス帳も全て消去されます。削除した設定情報は元に戻せません。

ファームウェアのアップデート：

現在のバージョンやアップデート可能なファームウェアなど、スキャナーのファームウェア情報を確認できます。

アップデート：

ネットワーク上に最新のファームウェアがあるか確認します。ファームウェアのアップデートが可能なときは、アップデートをするかどうか選択できます。

定期通知設定：

[オン] にすると、最新のファームウェアがあるかどうか定期的に確認してお知らせします。（購入時の設定は [オン] ）

機器情報

製造番号

スキャナーの製造番号を表示します。

現在のバージョン

スキャナーのファームウェアのバージョンを表示します。

原稿台総スキャン枚数

原稿台での総スキャン枚数を表示します。

ADF総スキャン枚数

ADFでの総スキャン枚数を表示します。

ADF片面スキャン枚数

ADFでの片面スキャンの枚数を表示します。

ADF両面スキャン枚数

ADFでの両面スキャンの枚数を表示します。

定期清掃後のスキャン枚数

ADFのクリーニング（定期清掃）後のスキャンの枚数を表示します。



(スキャン枚数リセット)

ADFのクリーニング（定期清掃）後のスキャン枚数をリセットします。

スキャナーのお手入れ

定期清掃

スキャナー内部（ADF）の定期的なクリーニング方法を表示します。クリーニングした後、スキャン枚数をリセットできます。

ガラス面清掃

スキャナー内部のガラス面（ADFの読み取りセンサー）の清掃方法を表示します。

定期清掃通知設定

ワーニング通知設定

スキャナー内部（ADF）のクリーニング時期をお知らせします。（購入時の設定は［オン］）

通知枚数設定

クリーニング時期をお知らせするスキャン枚数を変更します。（購入時の設定は5,000シート）

便利な機能

ガラス面汚れ検知機能を設定する	148
原稿保護機能を設定する	149

ガラス面汚れ検知機能を設定する

スキャナー内部のガラス面（ADFの読み取りセンサー）に付いているゴミや汚れが原因で、画像に線（スジ）が出る場合があります。

［ガラス面汚れ検知］をオンに設定すると、スキャナー内部のガラス面の汚れを検知してコンピューターの画面にお知らせを表示します。

お知らせが表示されたときは、スキャナー内部のガラス面を専用のクリーニングキットまたは柔らかい布で清掃してください。

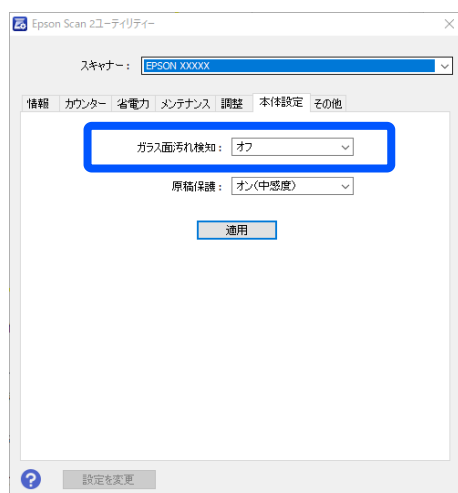
工場出荷時設定は［オフ］です。

1. Epson Scan 2ユーティリティを起動します。

- Windows 11/Windows Server 2022
スタートボタンをクリックして、［すべてのアプリ］ - ［EPSON］ - ［Epson Scan 2ユーティリティ］の順に選択します。
- Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックして、［EPSON］ - ［Epson Scan 2ユーティリティ］の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックして、［すべてのプログラム］（または［プログラム］） - ［EPSON］ - ［Epson Scan 2］ - ［Epson Scan 2ユーティリティ］の順に選択します。
- Mac OS
［移動］ - ［アプリケーション］ - ［Epson Software］ - ［Epson Scan 2ユーティリティ］の順に選択します。

2. 〔本体設定〕タブで以下の設定をします。

［ガラス面汚れ検知］を［オン（低感度）］または［オン（高感度）］に設定します。



参考

- 汚れによっては正しく検知できません。
- 正しく検知できないときは、設定を変更してみてください。
汚れを検知できないときは、［オン（高感度）］を選択します。汚れが誤って検知されるときは、［オン（低感度）］または［オフ］を選択します。

3. [適用] をクリックして、設定をスキャナーに適用します。

参考 操作パネルで設定する場合は、[設定] - [スキャン動作設定] - [ガラス面汚れ検知] の順にタップして、検知レベルを選択します。

関連情報

➡ [「スキャン動作設定」141ページ](#)

原稿保護機能を設定する

ADFでスキャンして以下の状態になったとき、ADFへの負荷を検知しすぐにスキャンを停止して、原稿の破損を軽減します。

- 給紙エラーが発生した
- 原稿が傾いて給紙された

工場出荷時設定は[オン(中感度)]です。

- ！重要**
- この機能は全ての原稿の破損を防止できるものではありません。
 - 給紙の状態によっては、給紙エラーを検知できないことがあります。

1. Epson Scan 2ユーティリティを起動します。

- Windows 11/Windows Server 2022
スタートボタンをクリックして、[すべてのアプリ] - [EPSON] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
- Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] (または[プログラム]) - [EPSON] - [Epson Scan 2] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
- Mac OS
[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。

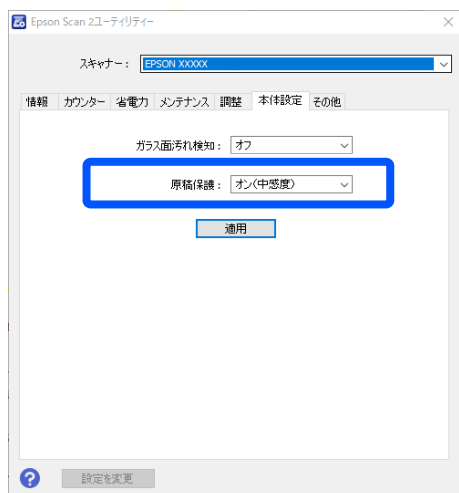
2. [本体設定] タブで以下の設定をします。

[原稿保護] を[オン(低感度)] または[オン(中感度)]、[オン(高感度)] に設定します。
この機能を有効にするには、検知のレベルを選択します。各レベルの詳細は、以下の表をご覧ください。

レベル	説明
オン(低感度)	感度を下げて原稿の傾きを検知します。
オン(中感度)	ステーブラーで留めたままの原稿の傾きや、[オン(低感度)] で検知できなかった傾きを検知します。

レベル	説明
オン（高感度）	感度を上げて原稿の傾きを検知します。

機能をオフにすることもできます。



参考

- 原稿、給紙の状態、およびセットしたレベルによっては、この機能は正しく動作しないことがあります。
- 誤検知が頻繁に起こるときは、レベルを下げてください。
- 原稿が不定形だったり、斜めにスキャンされたりした場合は、給紙エラーと誤って検知することがあります。
- 複数枚の原稿をセットする場合は、原稿の先端を確実にそろえてください。原稿の先端がそろっていないと、正しくスキャンされていても、給紙エラーと誤って検知することがあります。
- 原稿が斜めにスキャンされないように、必ず原稿ガイドを原稿に合わせてください。

3. **【適用】** をクリックして、設定をスキャナーに適用します。

参考

操作パネルで設定する場合は、**【設定】** - **【スキャン動作設定】** - **【原稿保護】** の順にタップして、原稿保護のレベルを選択します。

関連情報

➡ [「スキャン動作設定」141ページ](#)

メンテナンス

スキャナーの外部をクリーニングする	152
ADFをクリーニングする	152
原稿台をクリーニングする	157
省電力設定をする	159
スキャナーを輸送する	160
ソフトウェアやファームウェアを更新する	160

スキャナーの外部をクリーニングする

スキャナーの外側のケースが汚れたときは、乾いた布や、中性洗剤や水に浸してよく絞った布で拭き取ります。

- ！重要**
- アルコールやシンナーなどの揮発性薬品は使用しないでください。変形や変色のおそれがあります。
 - スキャナーの内部に水分が入らないように注意してください。正常に動作しなくなるおそれがあります。
 - スキャナーを絶対に分解しないでください。

1.  ボタンを押してスキャナーの電源を切ります。
2. スキャナーから電源コードを取り外します。
3. 中性洗剤や水に浸してよく絞った布で、外側のケースの汚れを拭き取ります。

 **参考** タッチパネルは乾いた柔らかい布でから拭きしてください。

ADFをクリーニングする

スキャンを繰り返していると、ADFの給紙経路やガラス部品などに紙粉やホコリが付着して、給紙不良やスキャン品質不良の原因となります。5,000枚のスキャンを目安に、ADFをクリーニングしてください。

現在のスキャン枚数は、操作パネルまたはEpson Scan 2ユーティリティで確認できます。

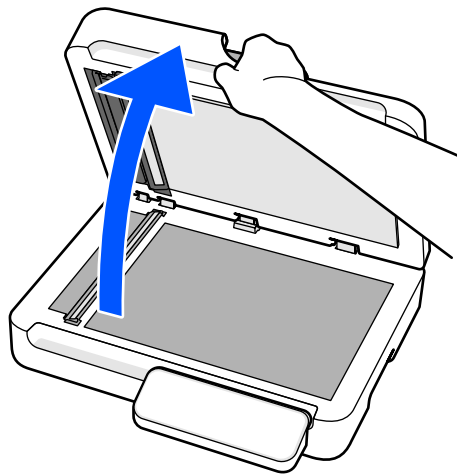
汚れがひどいときは、専用のクリーニングキットを使用してください。クリーニングクロスに少量のクリーナーを含ませて汚れを拭き取ります。

- △ 注意** ADFのクリーニング中は、手や髪の毛などが、歯車やローラーに巻き込まれないように注意してください。けがをすることがあります。

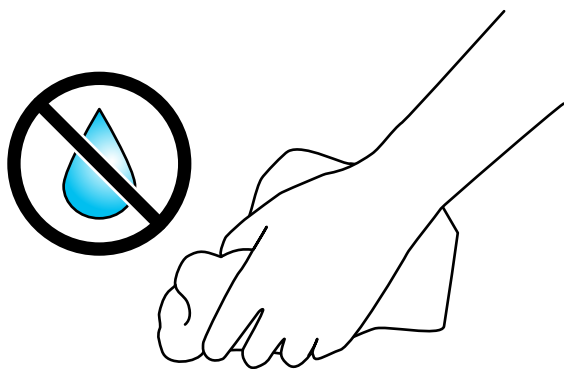
- ！重要**
- アルコールやシンナーなどの揮発性薬品は使用しないでください。変形や変色のおそれがあります。
 - スキャナーに液体をかけたり、潤滑剤などを直接スプレーしたりしないでください。装置や回路が損傷して、正常に動作しなくなるおそれがあります。
 - スキャナーを絶対に分解しないでください。

 **参考** クリーニング時期の通知設定および通知枚数は、操作パネルまたはEpson Scan 2ユーティリティで設定できます。購入時の設定では5,000枚ごとに通知されます。

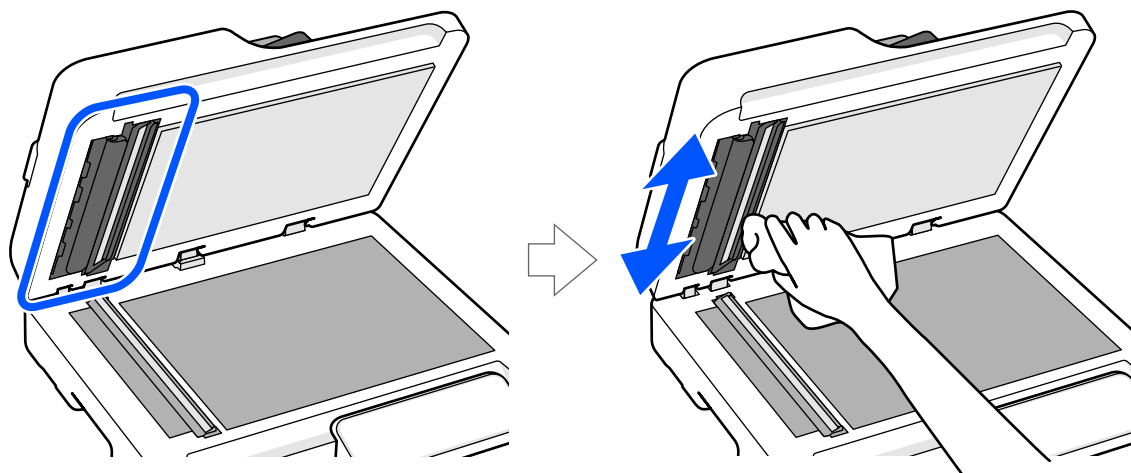
1. 原稿カバーを開けます。



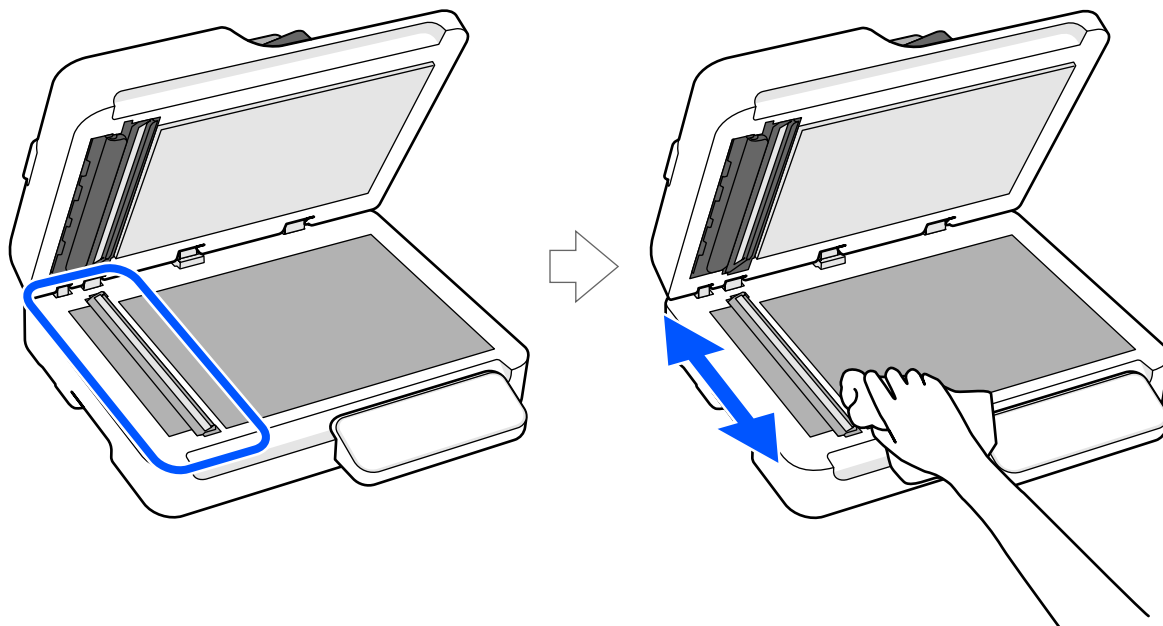
2. 乾いた柔らかい布を用意します。



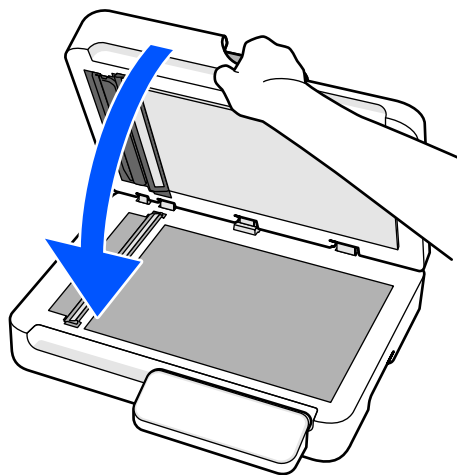
3. 上側のセンサーおよび給紙経路の汚れを拭き取ります。



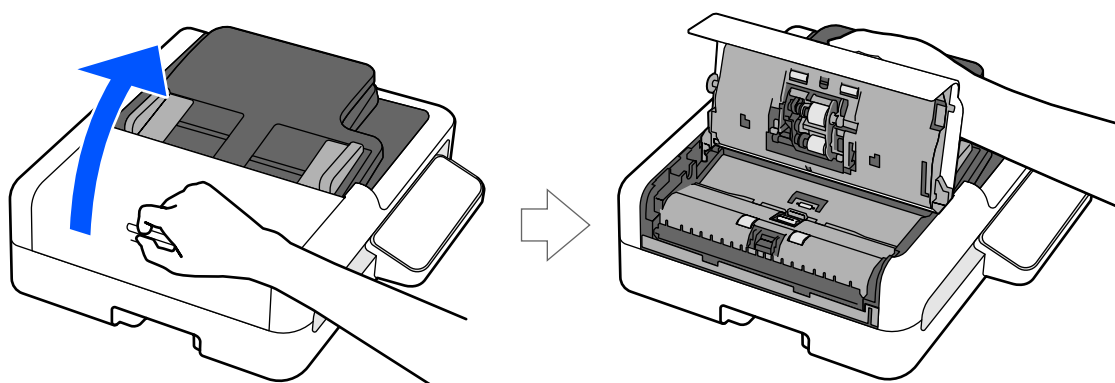
4. 下側のセンサーおよび給紙経路の汚れを拭き取ります。



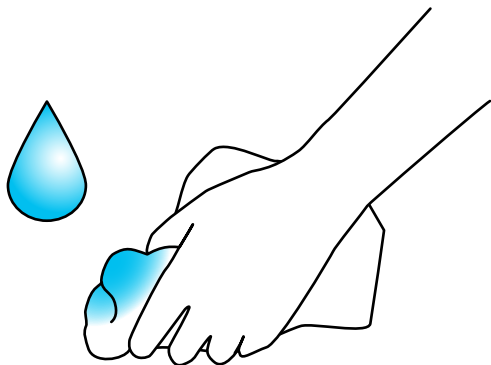
5. 原稿カバーを閉めます。



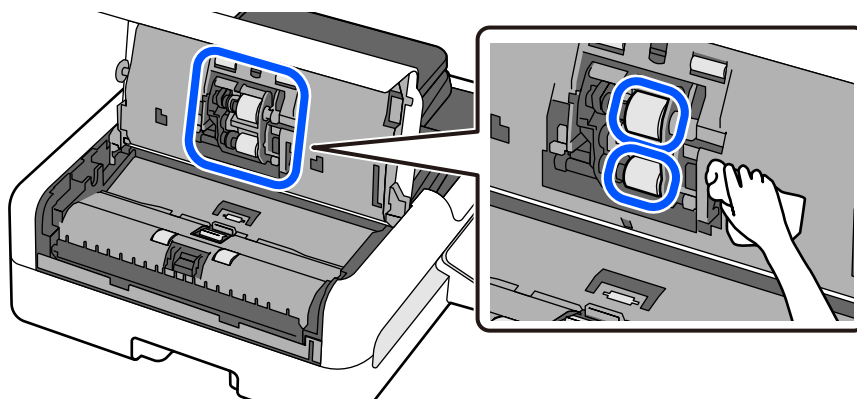
6. ADFカバーを開けます。



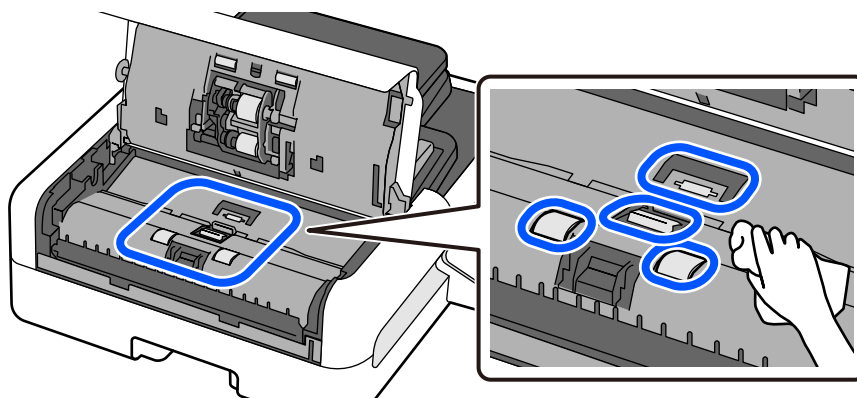
7. 水を少し含ませた柔らかい布を用意します。



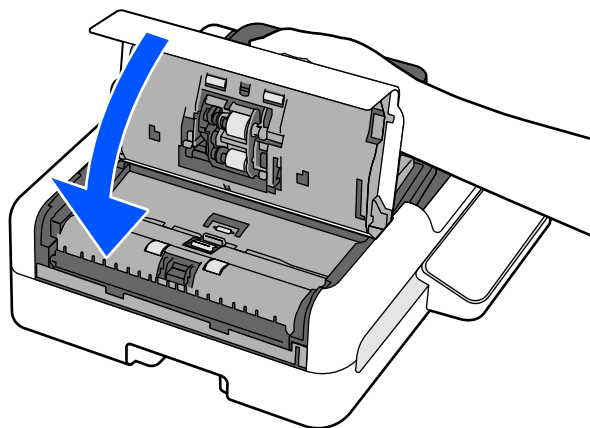
8. 上側のローラー（2カ所）の汚れを拭き取ります。



9. 下側のローラー（2カ所）と、パッド（2カ所）の汚れを拭き取ります。



10. ADFカバーを閉めます。



11. 操作パネルまたはEpson Scan 2ユーティリティでスキャン枚数をリセットします。

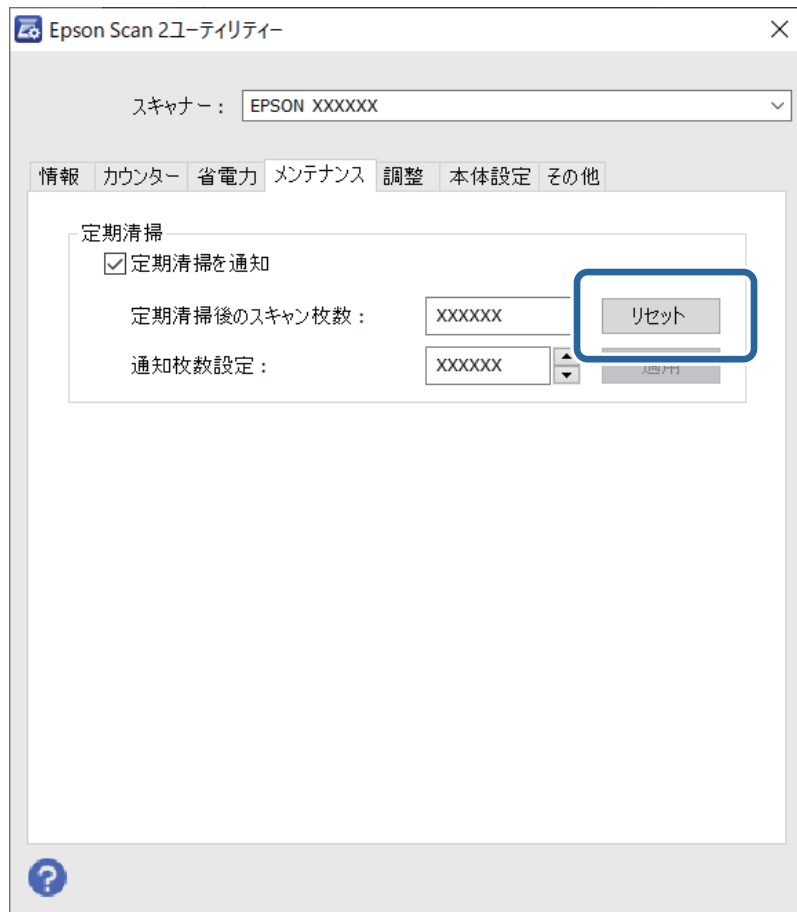
ADFのクリーニング（定期清掃）の後、スキャン枚数をリセットする

ADFのクリーニング（定期清掃）後は、操作パネルまたはEpson Scan 2ユーティリティでスキャン枚数をリセットします。

ここでは操作パネルでリセットする方法を説明します。

1. ホーム画面で「スキャナーのお手入れ」をタップします。
2. 「定期清掃」をタップします。
3. 「スキャン枚数リセット」をタップします。
4. 「はい」をタップします。

参考 Epson Scan 2ユーティリティでリセットする場合は、Epson Scan 2ユーティリティを起動して、[メンテナンス] タブをクリックし、[定期清掃] の [リセット] をクリックします。[リセット] をクリックできないときは、[定期清掃を通知] のチェックを入れてください。



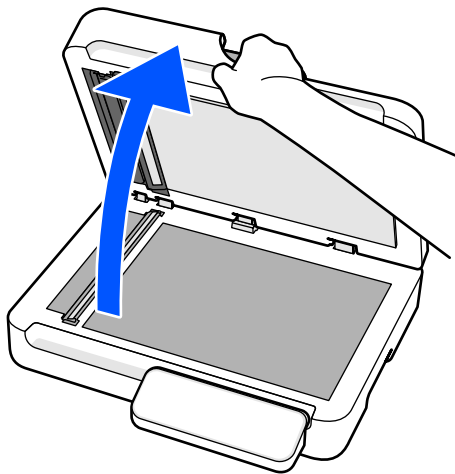
原稿台をクリーニングする

スキャンした画像にムラやシミなどがあるときは、原稿台をクリーニングしてください。

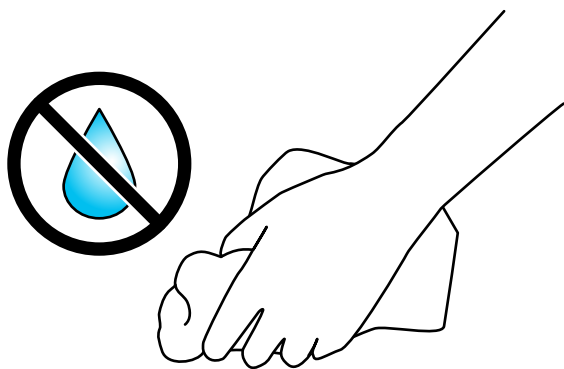
！重要

- アルコールやシンナーなどの揮発性薬品は使用しないでください。変形や変色のおそれがあります。
- スキャナーに液体をかけたり、潤滑剤などを直接スプレーしたりしないでください。装置や回路が損傷して、正常に動作しなくなるおそれがあります。
- スキャナーを絶対に分解しないでください。

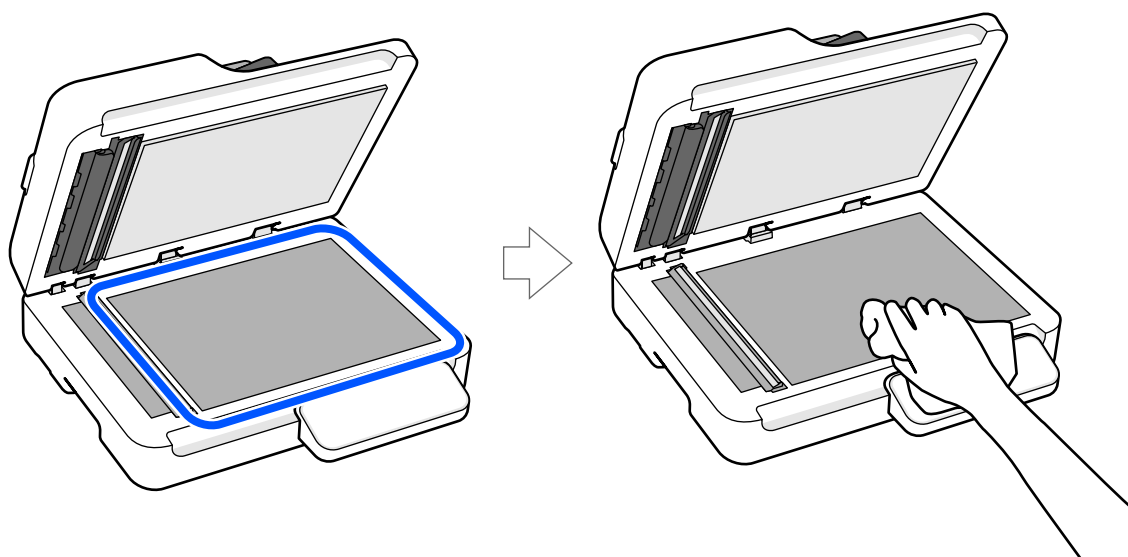
1. 原稿カバーを開けます。



2. 乾いた柔らかい布を用意します。



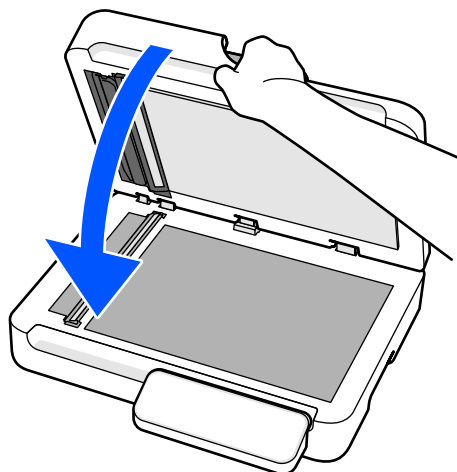
3. 原稿台の汚れを拭き取ります。



！重要

- ガラス面に強い力をかけないでください。
- ブラシや硬いものを使用しないでください。ガラス面に傷が付くと、スキャン品質に影響します。
- ガラス面に油脂や頑固な汚れが付いたときは、柔らかい布に少量のガラスクリーナーを付けて拭いてください。汚れを落とした後は水分が残らないようによく拭き取ってください。
- エプソンのクリーニングキットを使って、原稿台をクリーニングしないでください。

4. 原稿カバーを閉めます。



省電力設定をする

スキャナーが動作していない状態が続いたときに、省電力のスリープモードに移行する、または自動で電源が切れる設定にできます。スリープモードに移行するまでの時間、電源が切れるまでの時間も設定できます。設定によってエネルギー効率に影響します。環境にご配慮ください。

1. ホーム画面で「設定」を選択します。
2. 「基本設定」を選択します。
3. 「スリープ移行時間設定」または「自動電源オフ」を選択して、時間を設定します。

使用できる省電力機能

本製品は以下の省電力機能を搭載しています。
スキャン動作中やデータ送信中、エラーやメンテナンスなどの動作をしているときは移行しません。

機能名	説明	購入時の設定
スリープ移行時間設定	スキャナーが動作していない状態が続いたときに、自動でスリープ（省電力）モードに移行します。設定した時間が過ぎると液晶ディスプレイが暗くなります。	5分

機能名	説明	購入時の設定
自動電源オフ	スキャナーが動作していない状態が続いたときに、自動的にスキャナーの電源を切ります。	120分

参考 「無操作タイムアウト」で「無操作タイマー設定」がオンになっているときは、何も操作しない状態で設定時間が経過すると、パネル表示をホーム画面に戻します。
(購入時の設定は「3分」)

スキャナーを輸送する

スキャナーを修理に出すときや、引っ越しなどで輸送するときは、以下の手順で梱包します。

注意 本製品を移動する際は、左右の下部を両手で持ち、水平な状態で移動してください。傾けたり立てたりすると、ADFが開いて、けがをするおそれがあります。

1. 電源ボタンを押してスキャナーの電源を切ります。
2. スキャナーから電源コードを取り外します。
3. USBケーブルを取り外します。
4. 原稿の取り忘れがないことを確認します。
5. 保護材を取り付け、購入時の梱包箱か丈夫な箱に入れて梱包します。

ソフトウェアやファームウェアを更新する

ソフトウェアやファームウェアを更新すると、今まで起こっていたトラブルの解消、機能の改善や追加などができます。最新版のソフトウェアやファームウェアをお使いください。

重要 ・ 更新中は、コンピューターやスキャナーの電源を切らないでください。

参考 スキャナーがインターネットに接続できると、Web Configからファームウェアをアップデートできます。[デバイス管理] タブ - [ファームウェアアップデート] の順に選択し、画面に表示されるメッセージを確認して、[確認開始] をクリックします。

1. スキャナーとコンピューターが通信可能な状態で、コンピューターがインターネットに接続されていることを確認します。
2. EPSON Software Updaterを起動して、ソフトウェアまたはファームウェアを更新します。

参考 Windows Server OSには対応していません。

- Windows 11
スタートボタンをクリックして、[すべてのアプリ] - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。
- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム]（または [プログラム]） - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。
- Mac OS
[Finder] - [移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。

参考 一覧に表示されないソフトウェアはEPSON Software Updaterでは更新できません。エプソンのウェブサイトで最新版のソフトウェアを確認してください。
www.epson.jp/support/

操作パネルを使ってスキャナーのファームウェアを更新する

スキャナーがインターネットに接続されていると、操作パネルでスキャナーのファームウェアを更新できます。新しいファームウェアがあるかどうかを定期的に確認して、ある場合には通知するようにも設定できます。

1. ホーム画面で「設定」を選択します。
2. 「管理者用設定」 - 「ファームウェアのアップデート」 - 「アップデート」の順に選択します。

参考 新しいファームウェアがあるかどうか定期的に確認したいときは、「定期通知設定」 - 「オン」の順に選択します。

3. 画面に表示されるメッセージを確認して、利用可能なアップデートの検索を開始します。
4. 新しいファームウェアが見つかったというメッセージが表示されたら、画面の指示に従ってファームウェアを更新します。

！重要

- 更新中はスキャナーの電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。スキャナーが故障するおそれがあります。
- ファームウェアの更新に失敗すると、次回電源を入れたときに「Recovery Mode」（リカバリーモード）と表示され、スキャナーが動かなくなります。コンピューターでファームウェアの更新をし直してください。
リカバリーモードになるとネットワーク接続での更新ができないため、以下の手順で作業してください。
 1. エプソンのホームページからファームウェアをダウンロードする
 2. コンピューターとスキャナーをUSBケーブルで接続する
 3. ファームウェアを更新するwww.epson.jp/support/

Web Configでファームウェアをアップデートする

スキャナーがインターネットに接続できると、Web Configからファームウェアをアップデートできます。

1. Web Configで【デバイス管理】タブ-【ファームウェアアップデート】を選択します。

2. 【確認開始】をクリックして、画面に従って操作します。

ファームウェアの確認が始まり、更新されたファームウェアがあるとファームの情報が表示されます。

参考 Epson Device Adminを使ってもファームウェアをアップデートできます。デバイス一覧でファームウェアの情報が確認ができます。この方法は、複数のデバイスのファームウェアをアップデートするのに便利です。詳細はEpson Device Adminのマニュアルやヘルプをご覧ください。

関連情報

➡ [「スキャナーを設定するソフトウェア（Web Config）」33ページ](#)

スキャナーをインターネットに接続しないでファームウェアをアップデートする

コンピューターでエプソンのウェブサイトから機種用のファームウェアをダウンロードし、USBケーブルで接続してアップデートできます。ネットワーク経由でアップアップデートができない場合に、この方法をお使いください。

参考 アップデートする前に、お使いのコンピューターに必ずEpson Scan 2をインストールしてください。Epson Scan 2がインストールされていないときは、再インストールしてください。

1. エプソンのウェブサイトで最新ファームウェアのリリースを確認します。

www.epson.jp/support/

- お使いのスキャナーのファームウェアがあれば、ダウンロードして、次の手順に進みます。
- ウェブサイトにお使いのスキャナーのファームウェア情報がなければ、すでに最新のファームウェアになっています。

2. ファームウェアをダウンロードしたコンピューターとスキャナーをUSBケーブルで接続します。

3. ダウンロードしたexeファイルをダブルクリックします。

Epson Firmware Updaterが起動します。

4. 画面の指示に従って操作します。

困ったときは

スキャナー本体のトラブル	164
ネットワークスキャンを設定するときのトラブル	166
スキャンを開始するときのトラブル	169
給紙のトラブル	180
スキャン品質のトラブル	188
Document Capture Proのトラブル	195
ソフトウェアをアンインストールまたはインストールする	196

スキャナー本体のトラブル

操作パネルのエラーメッセージを確認する

操作パネルにエラーメッセージが表示されたら、画面の指示または以下の対処方法に従ってエラーを解決してください。

参考 ネットワークフォルダーにスキャンして保存するときにエラーメッセージが表示された場合は、以下をご覧ください。
[「ネットワークフォルダーへのスキャン時に操作パネルにメッセージが表示される」 177ページ](#)

エラーメッセージ	対処方法
原稿を保護するために給紙を停止しました。スキャナーカバーを開け、原稿を取り除いてください。	ADFから原稿を取り出し、原稿の状態を確認してください。 「詰まった原稿を取り除く」 180ページ
原稿が詰まりました。スキャナーカバーを開け、原稿を取り除いてください。	ADFから原稿を取り出してください。 「詰まった原稿を取り除く」 180ページ
コンピューターが見つからないときは、以下をご確認ください。 ・ スキャナーとコンピューターの接続(USBまたはネットワーク)・ 必要なソフトウェアのインストール・ コンピューターの電源・ ファイアウォールなどの設定・ 再探索の実行詳しくはマニュアルをご覧ください。	- スキャナーがコンピューターに接続されているか確認してください。 - お使いのコンピューター（サーバー）にEpson Scan 2とDocument Capture Pro（またはDocument Capture）をインストールしてください。 - 最新バージョンのアプリケーションソフトをインストールしてください。 - 電源コードがスキャナーとコンセントに接続されているか確認してください。 コンセントが正常に使用できることを確認してください。 コンセントにほかの機器を接続し、電源が入るか確認してください。 - エプソン製ソフトウェアに対するファイアウォール設定を確認してください。 - スキャナーとコンピューターを同じグループに設定してください。 - コンピューターを再度検索してください。
スキャナー内部が汚れている可能性があります。クリーニングしてください。	スキャナーの内部（ADF）をクリーニングする方法について、以下のページを参照してください。 「ADFをクリーニングする」 152ページ
原稿やスキャナー内部が汚れている可能性があります。原稿の汚れを取り除いたら、スキャナー内部をクリーニングしてください。	クリーニングが完了したら、ADFに原稿をセットし直してください。 クリーニングしても解決しないときは、エプソンの修理窓口にお問い合わせください。
アドレスとサブネットマスクの組み合わせが有効ではありません。詳しくはマニュアルをご覧ください。	IPアドレス、またはデフォルトゲートウェイに正しい値を入力してください。正しい値がわからない場合は、ネットワーク設定をした方に確認してください。

エラーメッセージ	対処方法
Recovery Mode	ファームウェアのアップデート（更新）に失敗したため、リカバリーモードで起動しました。以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。 1. コンピューターとスキャナーをUSBケーブルで接続します。（リカバリーモード中のアップデートは、ネットワーク接続ではできません。） 2. エプソンのホームページから最新のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。

関連情報

- ➡ [「ソフトウェアやファームウェアを更新する」160ページ](#)
- ➡ [「詰まった原稿を取り除く」180ページ](#)
- ➡ [「ソフトウェアをインストールする」197ページ](#)

クリーニング（定期清掃）を案内するメッセージが表示された

定期清掃通知設定がオンになっていて、設定したスキャン枚数に達したときに表示されます。

ADFをクリーニングして、操作パネルまたはEpson Scan 2ユーティリティで清掃後のスキャン枚数をリセットしてください。

関連情報

- ➡ [「ADFをクリーニングする」152ページ](#)
- ➡ [「ADFのクリーニング（定期清掃）の後、スキャン枚数をリセットする」156ページ](#)

スキャナーの電源が入らない

- 電源コードがスキャナーとコンセントに接続されているか確認してください。
- お使いのコンセントが機能しているか確認してください。別の機器をコンセントに接続し、電源が入るか確認してください。

スキャナーの電源が切れる

〔自動電源オフ〕の設定を確認してください。〔自動電源オフ〕が有効になっている場合、設定された時間が過ぎると自動的に電源がオフになります。

関連情報

- ➡ [「省電力設定をする」159ページ](#)

ソフトウェアの接続が解除される

ネットワーク接続でコンピューターからスキャンするとき、15分以上操作しないと自動的に接続が解除されます。スキャンするときは、もう一度ソフトウェアを起動してください。

接続を解除するまでの時間は、15分から変更できません。操作パネルでの「スリープ移行時間設定」および「自動電源オフ」の設定は適用されません。

管理者パスワードを忘れた

サービスマンによる対応が必要です。エプソンの修理窓口にご相談ください。

参考 Web Configの管理者の購入時の設定（初期値）は以下の通りです。

- ユーザー名：なし（空欄）
- パスワード：スキャナーの製造番号（シリアルナンバー）
製造番号は、スキャナー背面に貼られているラベルをご確認ください。

管理者パスワードを初期化すると、購入時の設定に戻ります。

ネットワークスキャンを設定するときのトラブル

トラブルを解決するための糸口

- エラーメッセージの確認
何らかのトラブルが発生した場合、始めにスキャナーの操作パネルやドライバーの画面などにメッセージが出ていないか確認してください。通知メールを送信するように設定してあると、イベントが発生した場合に素早く状態を把握できます。
- 通信状態を確認する
サーバーやクライアントコンピューターの通信状態をpingやipconfigなどのコマンドを使って確認します。
- 接続テスト
メールサーバーとの接続は、スキャナーから接続テストをすることで確認できます。また、クライアントコンピューターからサーバーへのアクセステストをして通信状態を確認します。
- 設定を初期化する
設定や通信状態に問題がない場合、スキャナーのネットワーク設定を無効にしたり、初期状態に戻して設定をやり直したりするとトラブルが解消する場合があります。

関連情報

- ➡ [「メールサーバーを登録する」125ページ](#)
- ➡ [「操作パネルのエラーメッセージを確認する」164ページ](#)
- ➡ [「イベント発生時にメール通知を受け取る」225ページ](#)

Web Configにアクセスできない

■ スキャナーのIPアドレスが設定されていない

対処方法

スキャナーに有効なIPアドレスが設定されていない可能性があります。スキャナーの操作パネルでIPアドレスを設定してください。スキャナーの操作パネルから現在の設定情報が確認できます。

➡ [「IPアドレスを設定する」212ページ](#)

■ WebブラウザがSSL/TLSの暗号強度に対応していない

対処方法

SSL/TLSには暗号強度があります。Web Configは以下のメッセージ暗号化をサポートしているブラウザで起動できます。使用しているブラウザが対応しているか確認してください。

- 80bit : AES256/AES128/3DES
- 112bit : AES256/AES128/3DES
- 128bit : AES256/AES128
- 192bit : AES256
- 256bit : AES256

■ CA署名証明書の有効期限が切れた

対処方法

証明書の有効期限に問題がある場合、Web ConfigにSSL/TLS通信 (https) で接続したときに「有効期限が切れている」と表示されます。証明書の有効期限内に表示されるときは、スキャナーの時刻が正しく設定されているか確認してください。

■ 証明書とスキャナーのコモンネームが一致していない

対処方法

コモンネームの不一致が起こると、Web ConfigにSSL/TLS通信 (https) で接続したときに「セキュリティ証明書の名前が一致しません...」と表示されます。これは以下のIPアドレスが一致していないために発生します。

- 自己署名証明書の作成や更新時、CSRの作成時にコモンネームで記述したスキャナーのIPアドレス
- Web Configの起動時にブラウザに入力したIPアドレス

自己署名証明書の場合は証明書を更新してください。

CA署名証明書の場合は該当のスキャナー用に証明書を取得し直してください。

■ ブラウザーにローカルアドレスのプロキシサーバー設定がされていない

対処方法

スキャナーでプロキシサーバーを使用する設定にしている場合、ブラウザーでローカルアドレスへの接続にプロキシサーバーを経由しないよう設定します。

- Windows :
[コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [インターネットオプション] - [接続] - [LANの設定] の [プロキシ サーバー] で、LAN (ローカルアドレス) にプロキシサーバーを使わない設定にします。
- Mac OS :
[システム環境設定] (または [システム設定]) - [ネットワーク] - [詳細] - [プロキシ] で [プロキシ設定を使用しないホストとドメイン] にローカルアドレスを登録します。

記入例 :

192.168.1.* : ローカルアドレス 192.168.1.XXX、サブネットマスク 255.255.255.0の場合

192.168.*.* : ローカルアドレス 192.168.XXX.XXX、サブネットマスク 255.255.0.0の場合

■ コンピューターの設定でDHCPが無効になっている

対処方法

コンピューターの設定で、IPアドレスを自動的に取得するDHCPが無効になっている場合は、Web Configにアクセスできないことがあります。DHCPを有効にしてください。

Windows 10の設定例 :

コントロールパネルを開き、[ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] - [アダプターの設定の変更] の順にクリックします。お使いの接続のプロパティ画面を起動し、[インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] または [インターネットプロトコルバージョン6 (TCP/IPv6)] のプロパティ画面を開きます。表示された画面で [IPアドレスを自動的に取得する] が選択されていることを確認します。

Epson Connectを設定できない

以下の原因が考えられます。

■ スキャナーがネットワークに接続していません。

対処方法

Epson Connectをご利用になるには、スキャナーがネットワークに接続している必要があります。スキャナーをネットワークに接続していないときは、接続してください。

[「スキャナーをネットワークに接続する」210ページ](#)

ネットワークに接続できないときは、以下を参照してください。

[「ネットワークに接続できない」171ページ](#)

■ ネットワークの設定に問題があります。

対処方法

ネットワークの設定によっては、Epson Connectが利用できないことがあります。以下を確認してください。

- IPアドレスやDNSの設定が正しいか確認してください。
[「IPアドレスを設定する」212ページ](#)
- プロキシサーバーを設定してください。
[「プロキシサーバーを設定する」213ページ](#)
- XMPPの通信プロトコルを使用するため、5222ポートを開放してください。

■ ネットワークの速度に問題があります。

対処方法

Epson Connectご利用時のインターネットの推奨回線速度を満たしているか確認してください。

- 最低速度環境：下り 512 Kbps
- 推奨速度環境：下り 1 Mbps

スキャンを開始するときのトラブル

コンピューターからスキャンできない

コンピューターとスキャナーが接続できているか確認してください。
接続している場合としていない場合で原因と対処方法が異なります。

接続状態を確認する（Windows）

Epson Scan 2ユーティリティを起動して、スキャナーとコンピューターの接続状態を確認します。

参考 Epson Scan 2ユーティリティは、スキャンソフトウェアに付属してインストールされるソフトウェアです。

1. Epson Scan 2ユーティリティを起動します。

- Windows 11
スタートボタンをクリックして、[すべてのアプリ] - [EPSON] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム]（または [プログラム]） - [EPSON] - [Epson Scan 2] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。

2. [Epson Scan 2ユーティリティ] 画面で [スキャナー] リストを開き [設定] をクリックして [スキャナーの設定] 画面を開きます。
すでに [スキャナーの設定] 画面が表示されているときは、次の手順に進みます。
3. お使いのスキャナーが [スキャナーの設定] 画面に表示されないときは、スキャナーが検出されていません。
[編集を許可] をクリックして、設定に変更を加えることを許可してください。
4. [追加] をクリックして、お使いのスキャナーを [ネットワークスキャナーの追加] 画面に追加してください。
[ネットワークを検索] にお使いのスキャナーが表示されないときは、[アドレスを入力] にスキャナーのIPアドレスを入力してください。無線と有線が混在しているネットワーク環境の場合、セグメントが異なり検索で表示されないことがあります。

スキャナーを検索できないときや、正しいスキャナーを選択してもスキャンできないときは、関連情報を確認してください。

関連情報

- ➔ [「ネットワークに接続できない」 171ページ](#)
- ➔ [「USB接続できない」 174ページ](#)
- ➔ [「接続できているのにスキャンできない」 174ページ](#)

接続状態を確認する (Mac OS)

Epson Scan 2ユーティリティを起動して、スキャナーとコンピューターの接続状態を確認します。

 **参考** Epson Scan 2ユーティリティは、スキャンソフトウェアに付属してインストールされるソフトウェアです。

1. Epson Scan 2ユーティリティを起動します。
[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
2. [Epson Scan 2ユーティリティ] 画面で [スキャナー] リストを開き [設定] をクリックして [スキャナーの設定] 画面を開きます。
すでに [スキャナーの設定] 画面が表示されているときは、次の手順に進みます。
3. お使いのスキャナーが [スキャナーの設定] 画面に表示されないときは、スキャナーが検出されていません。
 アイコンをクリックして、ソフトウェアに変更を加えることを許可してください。
4.  アイコンをクリックして、お使いのスキャナーを [ネットワークスキャナーの追加] 画面に追加してください。
[ネットワークを検索] にお使いのスキャナーが表示されないときは、[アドレスを入力] にスキャナーのIPアドレスを入力してください。無線と有線が混在しているネットワーク環境の場合、セグメントが異なり検索で表示されないことがあります。

スキャナーを検索できないときや、正しいスキャナーを選択してもスキャンできないときは、関連情報を確認してください。

関連情報

- ➡ [「ネットワークに接続できない」 171ページ](#)
- ➡ [「USB接続できない」 174ページ](#)
- ➡ [「接続できているのにスキャンできない」 174ページ](#)

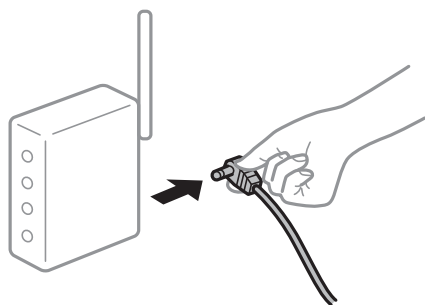
ネットワークに接続できない

以下の原因が考えられます。

- 無線LAN接続でネットワーク機器に何らかの問題があります。

対処方法

ネットワークに接続したい各デバイスの電源を切ってください。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、スキャナーの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線LANルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。



- 機器と無線LANルーターが離れていて電波が届いていません。

対処方法

コンピューターまたはスマートデバイスとスキャナーを無線LANルーターの近くに移動して、無線LANルーターの電源を入れ直してください。

- 無線LANルーターを交換した場合、設定が新しいルーターに合っていない。

対処方法

新しい無線LANルーターに合うように、接続設定をやり直してください。

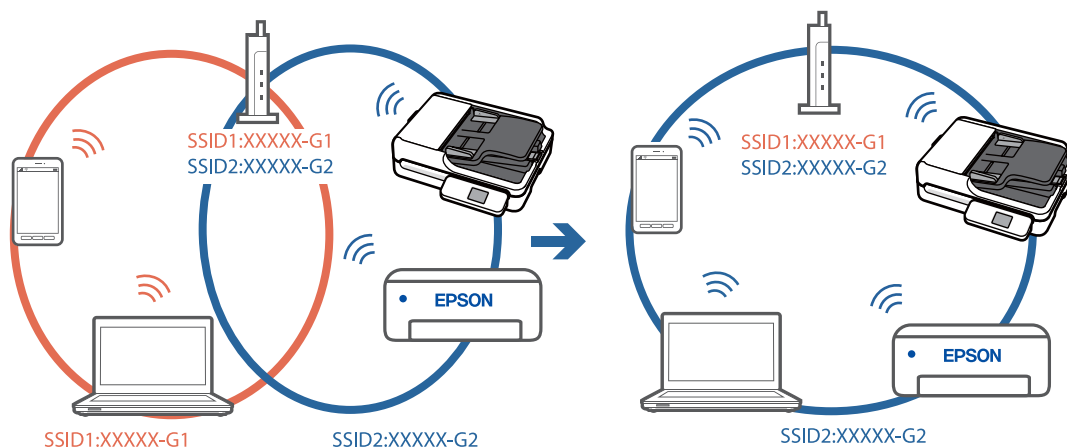
- ➡ [「無線LANルーターを交換したとき」 202ページ](#)

■ 接続しているSSIDがコンピューターやスマートデバイスとスキャナーで異なります。

対処方法

複数の無線LANルーターを使用している場合や、1台で複数のSSIDを使用できる無線LANルーターの場合、コンピューターやスマートデバイスが接続しているSSIDとスキャナーが接続しているSSIDが異なっていると接続できません。

コンピューターやスマートデバイスをスキャナーと同じSSIDに接続してください。



■ ワイヤレスルーターのプライバシーセパレーター機能が有効です。

対処方法

多くの無線LANルーター（アクセスポイント）やモバイルルーターには、機器間の通信を遮断するプライバシーセパレーター機能があります。同じSSIDに接続されていてもスキャナーとコンピューターまたはスマートデバイス間で通信できない場合は、無線LANルーター（アクセスポイント）のプライバシーセパレーター機能を無効にしてください。詳しくは無線LANルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。

■ IPアドレスが正しく割り当てられていません。

対処方法

IPアドレスが「169.254.XXX.XXX」、サブネットマスクが「255.255.0.0」の場合は、IPアドレスが正しく割り当てられていない可能性があります。

スキャナーの操作パネルで、[設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [TCP/IP] の順に選択して、スキャナーに割り当てられているIPアドレスとサブネットマスクを確認してください。

ワイヤレスルーターを再起動するか、スキャナーのネットワーク設定をリセットします。

➡ [「ネットワークを再設定する方法」202ページ](#)

■ コンピューターのネットワーク設定に問題があります。

対処方法

コンピューターからウェブサイトを開覧できるか確認してください。閲覧できない場合はコンピューターのネットワーク設定に問題があります。

コンピューターのネットワーク接続を確認してください。詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。

■ IEEE 802.3az（省電力イーサネット）に対応した機器を使って有線LAN接続しています。

対処方法

IEEE 802.3az（Energy Efficient Ethernet、省電力イーサネット）に対応した機器を使って有線LAN接続する場合、一部のハブやルーターを使用したときに以下の現象が発生することがあります。

- 接続したりしなかったりして不安定になる
- 接続できなくなる
- 通信速度が遅くなる

以下の手順で、スキャナーのIEEE 802.3azを無効にして接続してください。

1. コンピューターとスキャナーそれぞれにつながっているLANケーブルを外します。
 2. コンピューターのIEEE 802.3azが有効になっている場合は、無効にします。
詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。
 3. LANケーブルでコンピューターとスキャナーを直接接続します。
 4. スキャナーでネットワーク設定を確認します。
[設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態] の順に選択します。
 5. スキャナーのIPアドレスを確認します。
 6. コンピューターで、Web Configを起動します。
Webブラウザを起動し、スキャナーのIPアドレスを入力してください。
[「ブラウザでWeb Configを起動する方法」 34ページ](#)
 7. [ネットワーク] タブ- [有線LAN] の順に選択します。
 8. [IEEE 802.3az] で [オフ] を選択します。
 9. [次へ] をクリックします。
 10. [設定] をクリックします。
 11. コンピューターとスキャナーそれぞれにつながっているLANケーブルを外します。
 12. 手順2でコンピューターのIEEE 802.3azを無効にした場合は、有効にします。
 13. 手順1で外したLANケーブルをコンピューターとスキャナーにつなぎます。
- 上記の手順をしてもこの現象が発生する場合は、スキャナー以外の機器が原因となっている可能性があります。

■ スキャナーの電源が入っていません。

対処方法

スキャナーの電源が入っているか確認してください。

また、スキャナーの電源ランプの点滅が点灯に変わり、使用できる状態になるまでお待ちください。

USB接続できない

以下の原因が考えられます。

■ USBケーブルがしっかりと差し込まれていません。

対処方法

スキャナーとコンピューターを接続しているUSBケーブルを、しっかりと差し込んでください。

■ USBハブに問題があります。

対処方法

USBハブ使用時は、スキャナーとコンピューターを直接接続してみてください。

■ USBケーブルが差し込み口に問題があります。

対処方法

USBケーブルの差し込み口を変えてみてください。それでも解決しないときはUSBケーブルを変えてみてください。

■ スキャナーの電源が入っていません。

対処方法

スキャナーの電源が入っているか確認してください。

また、スキャナーの電源ランプの点滅が点灯に変わり、使用できる状態になるまでお待ちください。

接続できているのにスキャンできない

■ コンピューターに必要なソフトウェアがインストールされていません。

対処方法

以下のソフトウェアがインストールされていることを確認してください。

- Document Capture Pro (Windows) またはDocument Capture (Mac OS)
- Epson Scan 2

ソフトウェアがインストールされていないときは、再インストールしてください。

➡ [「ソフトウェアをインストールする」197ページ](#)

■ スキャナーの操作パネルにジョブが割り当てられていない

対処方法

Document Capture Pro (Windows) またはDocument Capture (Mac OS) で、スキャナーの操作パネルにジョブが割り当てられているか確認してください。

➡ [「ジョブを作成し、操作パネルに割り当てる \(Windows\)」112ページ](#)

■ TWAIN準拠のソフトウェアを使用しているとき、正しいスキャナーを選択していません。
(Windows)

対処方法

お使いのソフトウェアで正しいスキャナーが選択されているか確認してください。

■ ネットワークスキャンの設定が無効になっています

対処方法

Web Configで [スキャン] タブ- [ネットワークスキャン] の順に選択して、 [Epson Scan 2] の [スキャン機能を有効にする] にチェックを入れてください。

■ AirPrintの設定が無効になっています。

対処方法

Web ConfigでAirPrintの設定を有効にしてください。

スマートデバイスからスキャンできない

スマートデバイスとスキャナーが接続できているか確認してください。
接続している場合としていない場合で原因と対処方法が異なります。

接続状態を確認する（スマートデバイス）

Epson Smart Panelを使って、スマートデバイスとスキャナーの接続状態を確認してください。

1. スマートデバイスでEpson Smart Panelを起動します。
2. Epson Smart Panelにお使いのスキャナー名が表示されるかどうかを確認します。
スキャナー名が表示されている場合は、スマートデバイスとスキャナーは接続しています。
スキャナーが選択されていないメッセージが表示された場合は、スマートデバイスとスキャナーは接続していません。
Epson Smart Panelの案内に従って、スマートデバイスとスキャナーを接続してください。

お使いのスキャナーがネットワークに接続されていないときは、関連情報を確認してください。

関連情報

➡ [「ネットワークに接続できない」 175ページ](#)

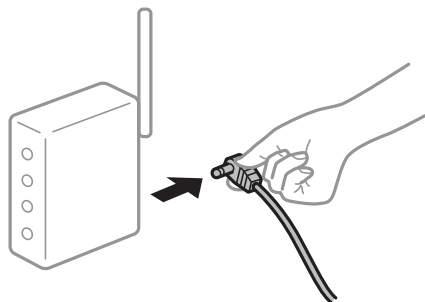
ネットワークに接続できない

以下の原因が考えられます。

■ 無線LAN接続でネットワーク機器に何らかの問題があります。

対処方法

ネットワークに接続したい各デバイスの電源を切ってください。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、スキャナーの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線LANルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。



■ 機器と無線LANルーターが離れていて電波が届いていません。

対処方法

コンピューターまたはスマートデバイスとスキャナーを無線LANルーターの近くに移動して、無線LANルーターの電源を入れ直してください。

■ 無線LANルーターを交換した場合、設定が新しいルーターに合っていない。

対処方法

新しい無線LANルーターに合うように、接続設定をやり直してください。

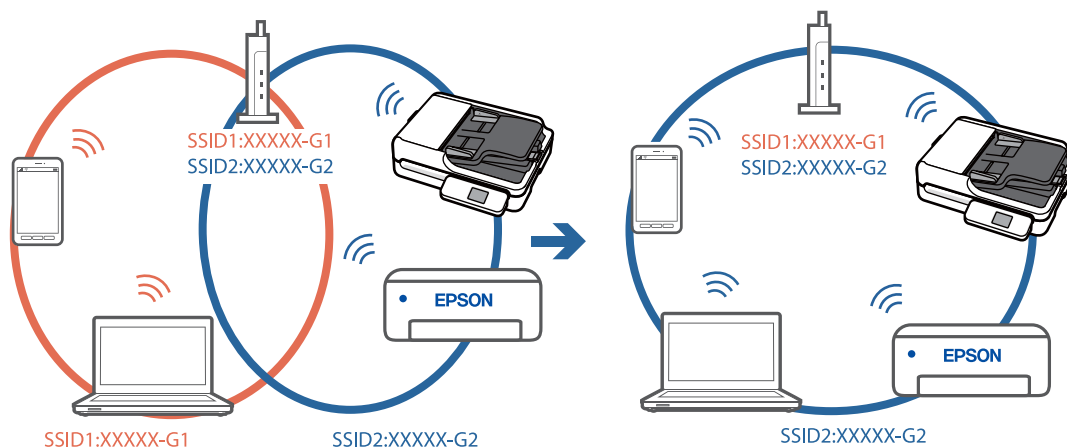
➡ [「無線LANルーターを交換したとき」202ページ](#)

■ 接続しているSSIDがコンピューターやスマートデバイスとスキャナーで異なります。

対処方法

複数の無線LANルーターを使用している場合や、1台で複数のSSIDを使用できる無線LANルーターの場合、コンピューターやスマートデバイスが接続しているSSIDとスキャナーが接続しているSSIDが異なっていると接続できません。

コンピューターやスマートデバイスをスキャナーと同じSSIDに接続してください。



■ ワイヤレスルーターのプライバシーセパレーター機能が有効です。

対処方法

多くの無線LANルーター（アクセスポイント）やモバイルルーターには、機器間の通信を遮断するプライバシーセパレーター機能があります。同じSSIDに接続されていてもスキャナーとコンピューターまたはスマートデバイス間で通信できない場合は、無線LANルーター（アクセスポイント）のプライバシーセパレーター機能を無効にしてください。詳しくは無線LANルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。

■ IPアドレスが正しく割り当てられていません。

対処方法

IPアドレスが「169.254.XXX.XXX」、サブネットマスクが「255.255.0.0」の場合は、IPアドレスが正しく割り当てられていない可能性があります。

スキャナーの操作パネルで、[設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [TCP/IP] の順に選択して、スキャナーに割り当てられているIPアドレスとサブネットマスクを確認してください。

ワイヤレスルーターを再起動するか、スキャナーのネットワーク設定をリセットします。

➡ [「ネットワークを再設定する方法」202ページ](#)

■ スマートデバイスのネットワーク設定に問題があります。

対処方法

スマートデバイスからウェブサイトを開覧できるか確認してください。閲覧できない場合はスマートデバイスのネットワーク設定に問題があります。

スマートデバイスのネットワーク接続を確認してください。詳しくはスマートデバイスのマニュアルをご覧ください。

■ スキャナーの電源が入っていません。

対処方法

スキャナーの電源が入っているか確認してください。

また、スキャナーの電源ランプの点滅が点灯に変わり、使用できる状態になるまでお待ちください。

操作パネルから共有フォルダーにスキャンできない

ネットワークフォルダーへのスキャン時に操作パネルにメッセージが表示される

操作パネルにメッセージが表示されたら、画面の指示または以下の対処方法に従ってエラーを解決してください。

メッセージ	対処方法
DNSエラーが発生しました。DNS設定を確認してください。	コンピューターに接続できません。以下を確認してください。 - スキャナーのアドレス帳に登録しているアドレスと、共有フォルダーのアドレスが同じに設定されているか確認してください。 - コンピューター名にひらがな、カタカナ、漢字、全角英数字の2バイト文字が使用されているときは、半角英数字に直して設定し、アドレス帳に登録し直してください。 - コンピューターのIPアドレスが手動で固定設定されているときは、ネットワークパスのコンピューター名をコンピューターのIPアドレスに置き換えてみてください。 記入例：\\EPSON02\SCAN → \\192.168.xxx.xxx\SCAN - 保存先コンピューターの電源が入っているか、またはスリープ状態になっていないか確認をしてください。スリープ状態のときは、共有フォルダーに保存できません。 - 保存先のコンピューターのファイアウォール、セキュリティソフトを一時的に停止して確認してください。エラーが解決したら、セキュリティソフトの設定を確認してください。 - ネットワークの場所が「パブリックネットワーク」になっているときは、共有フォルダーに保存できません。ポートの解放設定などを個別に設定してください。 - IPアドレスがDHCPのとき、一度LANを切断すると、次にLANに接続したときにIPアドレスが変わることがあります。IPアドレスの取得をやり直してください。 - DNSの設定に問題がないか確認してください。DNSの設定値は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。 - DNSサーバーの管理テーブルが更新されていないときは、コンピューター名とIPアドレスが一致していないことがあります。DNSサーバーの管理者に問い合わせてください。
認証エラーが発生しました。保存先、ユーザー名、パスワードを確認してください。	フォルダーの共有アクセスを許可しているユーザーのログオン名/パスワードと、アドレス帳に登録しているユーザー名/パスワードが一致しているか確認してください。また、パスワードの有効期限が切れていないか確認してください。
通信エラーが発生しました。ネットワーク接続状態を確認してください。	アドレス帳に登録されたネットワークフォルダーと通信できません。以下を確認してください。 - スキャナーのアドレス帳に登録しているアドレスと、共有フォルダーのアドレスが同じに設定されているか確認してください。 - アドレス帳に登録しているユーザーのアクセス許可が、共有フォルダーのプロパティの「共有」タブと「セキュリティ」タブの両方に追加されている必要があります。また、変更の「許可」にチェックが入っている必要があります。
同じ名前のファイルがあります。ファイル名を変更してスキャンし直してください。	ファイル名の設定を変更してください。または、共有フォルダーのファイルを移動したり、名前を変更したり、削除したりしてください。
スキャンしたファイルが大きすぎます。XXページが送信済みです。保存先を確認してください。	コンピューターにファイルを保存できる容量がありません。コンピューターのハードディスクの空き容量を増やしてください。

エラーの発生箇所を確認する

共有フォルダーに保存するとき、以下の項目を上から順に行います。エラーが発生したとき、エラーの発生箇所を判断できます。

項目	動作内容	エラーメッセージ
接続	スキャナーから保存先コンピューターに接続する。	DNSエラーが発生しました。DNS設定を確認してください。
コンピューターへのログオン	ユーザー名とパスワードを入れてログオンする。	認証エラーが発生しました。保存先、ユーザー名、パスワードを確認してください。
保存場所の確認	共有フォルダーのネットワークパスを確認する。	通信エラーが発生しました。ネットワーク接続状態を確認してください。
ファイル名の確認	フォルダー内に同じ名前のファイルがないかを確認する。	同じ名前のファイルがあります。ファイル名を変更してスキャンし直してください。
ファイルの書き込み	フォルダーにファイルを書き込む。	スキャンしたファイルが大きすぎます。XXページが送信済みです。保存先を確認してください。

保存に時間がかかる

■ 「ドメインネーム」と「IPアドレス」を対応させる名前解決に時間がかかっています。

対処方法

以下の設定を確認してください。

- DNSの設定に問題がないか確認してください。
- Web Configで確認するとき、各DNSの設定が正しくされているか確認してください。
- DNSドメイン名が正しく設定されているか確認してください。

操作パネルからクラウドにスキャンできない

- スキャン to クラウド機能を使用する時のトラブルについて、詳細はEpson Connectのウェブサイトでトラブルシューティングのページをご覧ください。
<https://www.epsonconnect.com/> - スキャン to クラウド機能（スキャンしてクラウドへ）の [Learn More] - もくじのプルダウンリスト - Epson Connectサービスのトラブルシューティング - スキャン to クラウド機能（スキャンしてクラウドへ）
- クラウドサービスに正しいログイン情報を入力しているか確認してください。
- クラウドサービスが稼働しているか確認してください。システムメンテナンスなどのためにサービスが停止することがあります。詳細は、各サービスのウェブサイトをご覧ください。

スキャンした画像をメールで送信できない

- 有効なメールアドレスを入力しているか確認してください。
- メールサーバーの設定が正しいか確認してください。
- メールサーバーが稼働しているかメールサーバーの管理者に確認してください。

関連情報

➡ [「メールサーバーとの接続を確認する」127ページ](#)

給紙のトラブル

複数枚の原稿が一度に給紙される（重送）

重送が発生したときは、以下を確認してください。

- 原稿が詰まったときは、ADFカバーを開けて原稿を取り除いてください。
- スキャンした画像を確認して、必要に応じてもう一度スキャンします。

頻繁に重送される場合は、以下を試してください。

- セット時に注意が必要な（保証されていない）原稿をセットすると、重送されることがあります。
- 一度にセットする原稿の枚数を少なくしてください。
- ADFをクリーニングしてください。
[「ADFをクリーニングする」152ページ](#)

関連情報

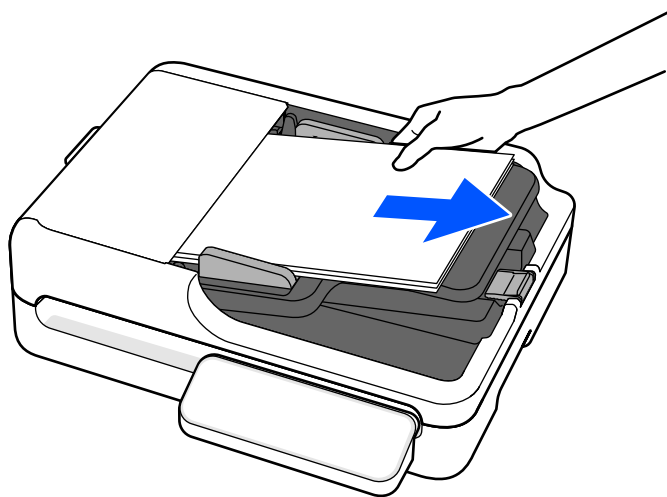
➡ [「ADFをクリーニングする」152ページ](#)

➡ [「詰まった原稿を取り除く」180ページ](#)

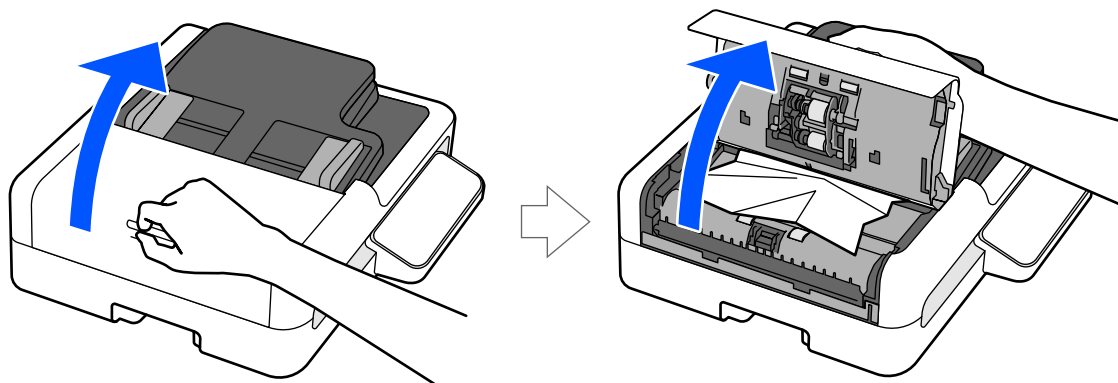
詰まった原稿を取り除く

ADFに原稿が詰まったときは、以下の手順で詰まった原稿を取り除きます。

1. 給紙されていない原稿を取り除いてください。

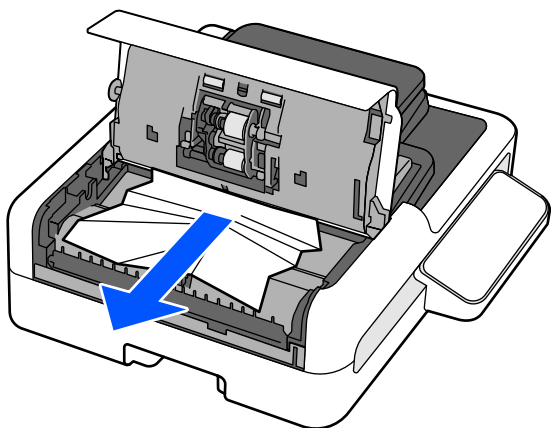


2. ADFカバーを開けます。

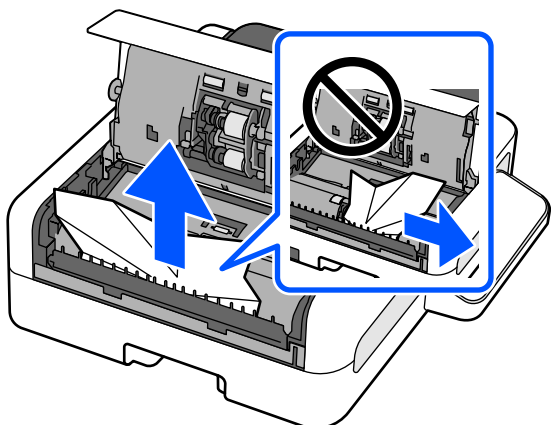


3. 詰まった原稿があるときは取り除きます。

- 給紙トレイ側に原稿があるときは、図のように引き抜きます。

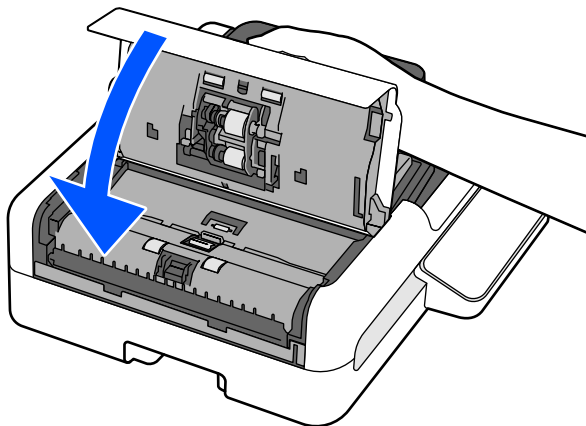


- 排紙トレイ側に原稿があるときは、図のように引き抜きます。

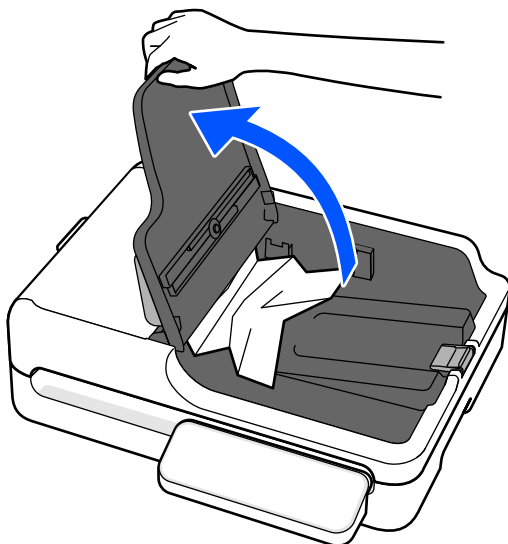


！重要 横方向に引き抜かないでください。原稿やADFが破損することがあります。

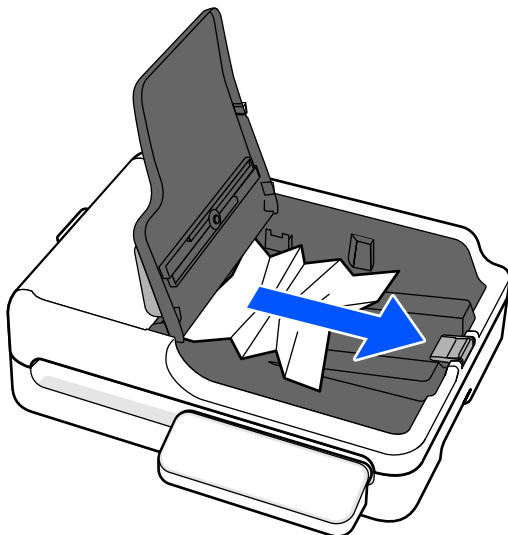
4. ADFカバーを閉めます。



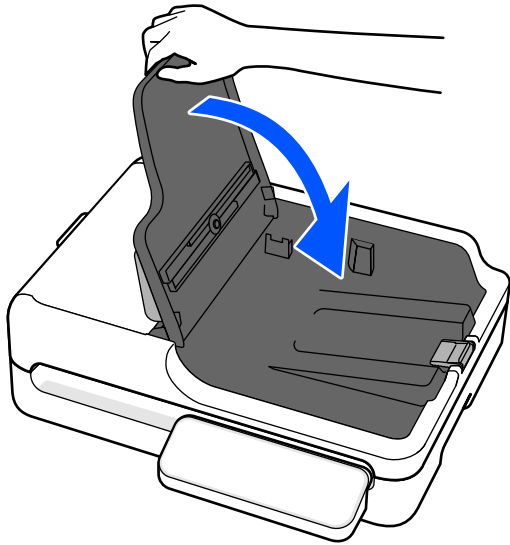
5. 給紙トレイを上げます。



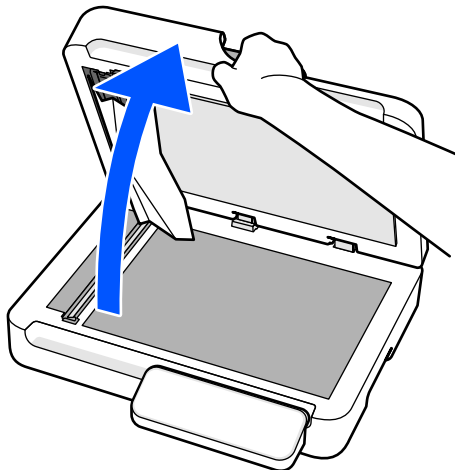
6. 詰まった原稿があるときは取り除きます。



7. 給紙トレイを下げます。

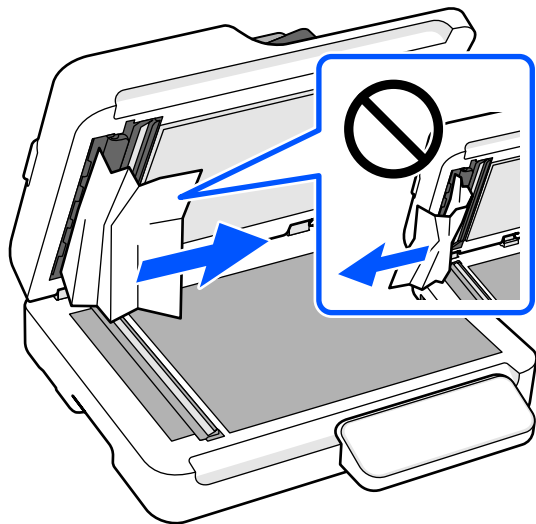


8. 原稿カバーを開けます。

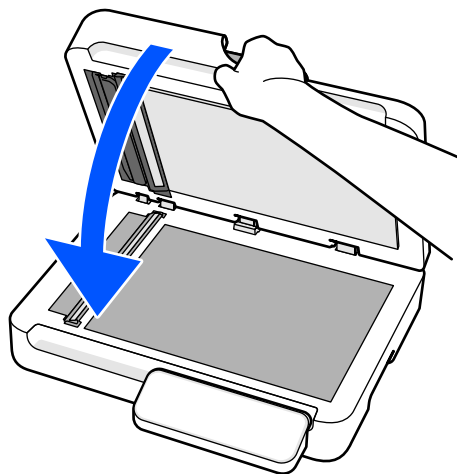


9. 詰まった原稿があるときは取り除きます。

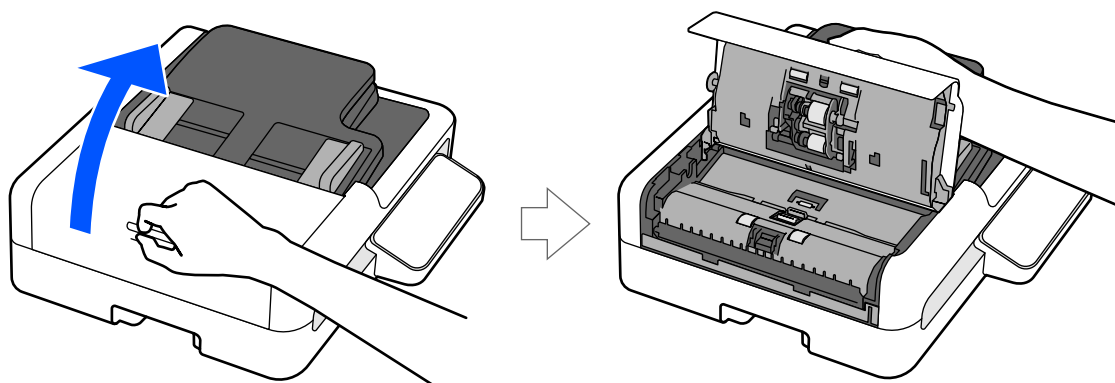
！重要 詰まった原稿は、図で示した向きに取り除いてください。原稿やADFが破損することがあります。



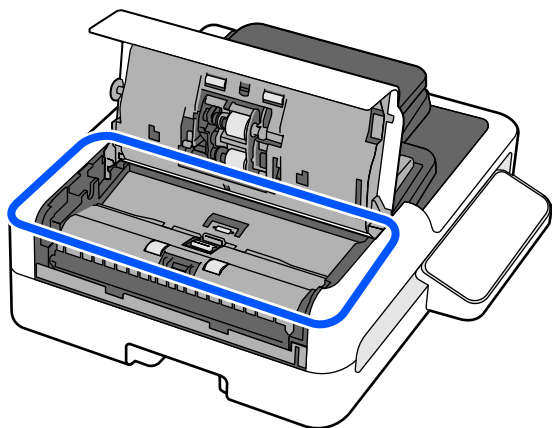
10. 原稿カバーを閉めます。



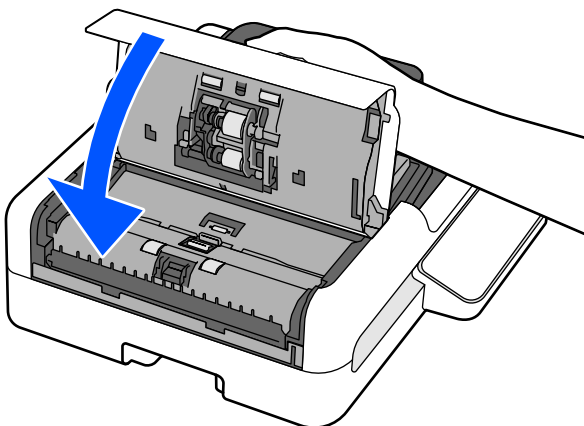
11. ADFカバーを開けます。



12. 図で示した部分に用紙（紙片）が残っていないことを確認します。



13. ADFカバーを閉めます。



- 参考**
- 詰まった原稿を取り除いてもエラーの状態が続くときは、ADFカバーを開けてもう一度紙片が残っていないか確認してください。
 - ADFでスキャンするときは、原稿が正しくセットされていることを確認してください。またADFからスキャン可能な原稿の状態や種類であることをご確認ください。

関連情報

- ➡ 「複数枚の原稿が一度に給紙される（重送）」 180ページ
- ➡ 「紙詰まり・給紙異常・原稿保護が頻繁に発生する」 185ページ
- ➡ 「原稿保護が正しく動作しない」 187ページ
- ➡ 「注意が必要な原稿（ADF）」 38ページ
- ➡ 「スキャンできない原稿（ADF）」 39ページ
- ➡ 「原稿の仕様とセット方法（ADF）」 40ページ

紙詰まり・給紙異常・原稿保護が頻繁に発生する

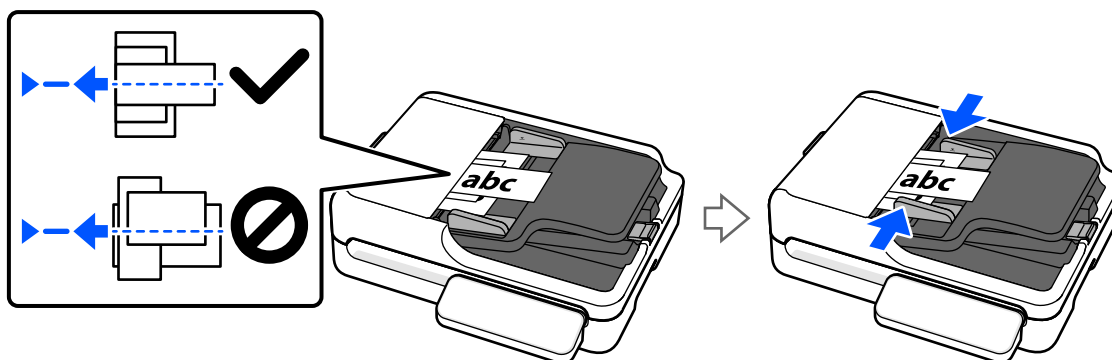
以下のような問題が発生する場合は、原稿やスキャナー本体の状態を確認してください。

- 紙詰まりが頻繁に発生する

- 給紙異常が頻繁に発生する
- 原稿保護機能が頻繁に動作する

原稿をセットするときの確認事項

- 折り目やカールのついた原稿をセットするときは、原稿を平らにしてからセットしてください。
- サイズの異なる原稿をセットするときは、原稿のスキャンする面を上にし、幅の広い原稿から順に重ねて、給紙トレイの中央にセットしてください。次に、原稿ガイドを最も幅の広い原稿に合わせてください。



「用紙の種類やサイズの異なる原稿をセットする」47ページ

もし解決しない場合は、同じ紙幅の原稿ごとに分けてスキャンするか、原稿を1枚ずつスキャンしてください。原稿をセットしたら、原稿ガイドをそれぞれの原稿の幅に合わせてください。

参考

原稿を複数回に分けてスキャンし、1つのファイルにまとめて保存するには、以下の方法があります。

- Epson Scan 2をお使いの場合は、[スキャン後にページを追加・編集]にチェックを入れてスキャンします。一度スキャンした後に別の原稿を追加してスキャンしたり、スキャンしたページを編集（回転・移動・削除）したりできます。詳しくはEpson Scan 2のヘルプをご覧ください。
 - Document Capture Proをお使いの場合は、[スキャン結果の編集]画面で、原稿を追加してスキャンしたり、スキャンしたページを編集（回転・移動・削除）したりできます。または、スキャン設定画面で[スキャン終了後に継続確認を表示する]のチェックを入れると、設定を変更せずすぐに追加でスキャンできます。詳しくはDocument Capture Proのヘルプをご覧ください。
 - 操作パネルからスキャンする場合（スキャン to機能）は、[スキャン後にページ追加]を[オン]にすると、一度スキャンした後に別の原稿を追加してスキャンできます。
 - Epson Smart Panelをお使いの場合は、一度スキャンして編集画面が表示された後に、次の原稿をセットして[＋スキャン]をタップします。編集画面では、他にもページの回転・移動・削除ができます。
- スキャンが終わったら、排紙トレイから原稿を取り除いてください。

スキャナー本体の確認事項

ADFをクリーニングしてください。

「ADFをクリーニングする」152ページ

関連情報

- ➡ 「注意が必要な原稿（ADF）」38ページ
- ➡ 「用紙の種類やサイズの異なる原稿をセットする」47ページ
- ➡ 「ADFをクリーニングする」152ページ
- ➡ 「複数枚の原稿が一度に給紙される（重送）」180ページ
- ➡ 「原稿保護が正しく動作しない」187ページ

原稿保護が正しく動作しない

スキャンする原稿およびセットしたレベルによっては、この機能は正しく動作しないことがあります。

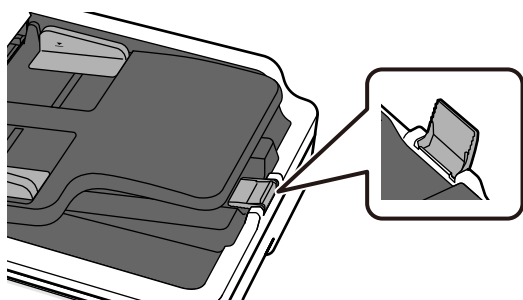
- 誤検知が頻繁に起こるときは、レベルを下げてください。
- 原稿が破損したときは、この機能が有効になっているか確認してください。すでに有効になっているときは、保護のレベルを上げてください。

関連情報

- ➡ [「スキャン動作設定」 141ページ](#)
- ➡ [「原稿保護機能を設定する」 149ページ](#)
- ➡ [「詰まった原稿を取り除く」 180ページ](#)

原稿が揃って排紙されない

スキャンした原稿がバラバラと不揃いになったり、排紙トレイから飛び出るときは、ストッパーを起こしてください。



原稿が汚れる

スキャナーの内部をクリーニングしてください。

関連情報

- ➡ [「ADFをクリーニングする」 152ページ](#)

連続スキャン中にスキャン速度が極端に遅くなった

ADFで連続スキャンしていると、高温によるスキャナーの損傷を防ぐための機能が働き、スキャンの速度が遅くなります。スキャンは継続できます。

スキャン速度を回復させるには、電源を入れたままスキャンしない状態で30分以上放置してください。電源を切って放置しても回復しません。

スキャンに時間がかかる

- 高解像度や、画像調整機能、ファイル形式などのスキャン条件や通信モードによっては、スキャン速度が遅くなる場合があります。
- USBハブ使用時は、スキャナーとコンピューターを直接接続してみてください。
- セキュリティーソフトを使用している場合は、TWAIN.logファイルを監視対象から外すか、TWAIN.logファイルを読み取り専用にしてください。セキュリティーソフトの設定方法については、ソフトウェアのヘルプなどをご覧ください。TWAIN.logファイルは、以下の場所に保存されています。
C:\ユーザー\（ユーザー名）\AppData\Local\Temp

関連情報

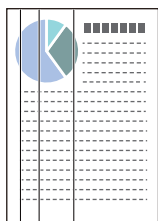
➔ [「目的に合わせた解像度の設定」110ページ](#)

スキャン品質のトラブル

原稿台からスキャンするとき、色ムラ、汚れ、点などが現れる

- 原稿台をクリーニングしてください。
- 原稿に付いているゴミや汚れを取り除いてください。
- 原稿や原稿カバーを強く押さえ付けしないでください。強く押さえ付けると、ムラ、シミ、斑点が出る場合があります。

ADFでスキャンした画像に線（スジ）が現れる



- ADFをクリーニングしてください。
ADFに付いているゴミや汚れが原因で、画像に線（スジ）が出る場合があります。
- 原稿に付いているゴミや汚れを取り除いてください。
- [ガラス面汚れ検知] 機能を使うと、スキャナー内部のガラス面（ADFの読み取りセンサー）の汚れを検知してお知らせします。
ホーム画面から[設定]を選択し、[スキャン動作設定] - [ガラス面汚れ検知]の順に選択して、[オン(低感度)]または[オン(高感度)]を選択します。
警告が表示されたときは、スキャナー内部のガラス面を専用のクリーニングキットまたは柔らかい布で清掃してください。

[「ADFをクリーニングする」152ページ](#)

参考

- 汚れによっては正しく検知できません。
- 正しく検知できないときは、設定を変更してください。
汚れを検知できないときは、[オン(高感度)]を選択します。汚れが誤って検知されるときは、[オン(低感度)]または[オフ]を選択します。

関連情報

- ➔ [「ADFをクリーニングする」152ページ](#)
- ➔ [「ガラス面汚れ検知機能を設定する」148ページ](#)

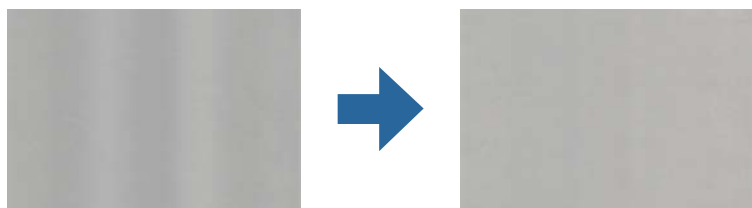
スキャナー内部の汚れの通知が消えない

スキャナー内部をクリーニングしても通知が消えないときは、部品の交換が必要なことがあります。エプソンの修理窓口にお問い合わせください。

関連情報

- ➔ [「ADFをクリーニングする」152ページ](#)

ADFでスキャンした画像に濃淡のムラが出る



直射日光などの強い光に当たる場所でスキャナーを使用すると、内部のセンサーが光を誤検知して、スキャンした画像に濃淡のムラが出ることがあります。

- スキャナーの側面に強い光が当たらないように、スキャナーの向きを変えてください。
- 強い光が当たらない場所にスキャナーを移動してください。

ADFからスキャンした文字がつぶれる、ぼやける、ガタガタになる

- 原稿のスキャンする面を上に向けたまま、原稿の上下を逆にセットしてみてください。改善する場合があります。
- 原稿によっては、ADFからきれいに読み取れない場合があります。原稿台に原稿をセットしてください。

ADFでスキャンした画像が伸びる、縮む

ADFでスキャンした画像が伸びたり縮んだりするときは、Epson Scan 2ユーティリティの[調整]機能で画像の伸縮率を調整できます。この機能はWindowsのみで使用できます。

参考 Epson Scan 2ユーティリティは、お使いのスキャナーソフトウェアに付属してインストールされる設定ソフトウェアです。

1. Epson Scan 2ユーティリティを起動します。

- Windows 11/Windows Server 2019/Windows Server 2022
スタートボタンをクリックして、[すべてのアプリ] - [EPSON] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
- Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] または [プログラム] - [EPSON] - [Epson Scan 2] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。

2. [調整] タブを選択します。

3. [画像の伸縮率] で、スキャンした画像の伸縮率を調整します。

4. [適用] をクリックして、設定をスキャナーに適用します。

原稿の裏面が写る

原稿の裏面の画像も読み取られ、スキャンした画像に写ることがあります。

- 原稿台で薄手の原稿をスキャンするときは、原稿の裏側に黒い紙を重ねてセットしてください。
- [イメージタイプ] で、[自動]、[カラー]、または[グレー]を選択したとき：
 - [背景除去] が選択されているか確認してください。
操作パネル：スキャン設定で[背景除去]を有効にしてください。
Document Capture Pro (Windows) / Document Capture (Mac OS X)：スキャン設定画面で[詳細設定] ボタンを押して、Epson Scan 2の画面を開きます。[拡張設定] タブで[背景除去]を選択します。
Epson Scan 2：[拡張設定] タブで[背景除去]を選択します。
 - 明るさや濃度を調整してください。
操作パネル：スキャン設定の[濃度]を調整します。
Epson Scan 2：[拡張設定] タブで[明るさ]を調整します。
- [イメージタイプ] で[モノクロ]を選択したとき：
 - [文字くっきり] が選択されているか確認してください。
操作パネル：スキャン設定で[文字くっきり]を有効にしてください。
Document Capture Pro (Windows) / Document Capture (Mac OS X)：スキャン設定画面で[文字くっきり]を選択します。
Epson Scan 2：[拡張設定] タブで[文字くっきり]を選択します。
スキャン画像の状態によっては、[設定] をクリックし、[背景を薄くする]の方にスライダーを動かしてください。

スキャンした文字や画像が欠ける・ぼやける

解像度を上げたり、画質調整をしたりすることでスキャンした文字や画像を改善できます。

- 解像度を変更してスキャンし直してください。
スキャン画像の用途に合う適切な解像度を設定してください。
- 「文字くっきり」が選択されているか確認してください。
操作パネル：スキャン設定で「文字くっきり」を有効にしてください。
Document Capture Pro (Windows) / Document Capture (Mac OS X)：スキャン設定画面で「文字くっきり」を選択します。
Epson Scan 2：「拡張設定」タブで「文字くっきり」を選択します。
「イメージタイプ」で「モノクロ」を選択したとき、スキャン画像の状態によっては、「設定」をクリックし、「薄文字を強調する」 / 「背景を薄くする」のスライダーを調整するか、「散在する黒い点を除去する」をオフにするか、レベルを「弱」にしてください。
- 保存形式をJPEGでスキャンする場合は、圧縮レベルを変更してください。
Document Capture Pro (Windows) / Document Capture (Mac OS X)：保存設定画面で「保存設定」をクリックして、JPEGの品質を変更してください。
Epson Scan 2：「保存形式」 - 「詳細設定」の順にクリックして、「画質」を変更してください。

また、原稿台からスキャンするときは以下を確認してください。

- 原稿が平らにセットされていることを確認してください。また、原稿にしわや反りが無いことを確認してください。
- スキャン中に原稿を動かさないでください。
- スキャナーが平らで安定した場所に設置されていることを確認してください。

関連情報

➡ [「目的に合わせた解像度の設定」110ページ](#)

モアレ（網目状の陰影）が現れる

原稿が印刷物のとき、スキャンした画像にモアレ（網目状の陰影）が現れることがあります。

- Epson Scan 2の画面で、「拡張設定」タブの「モアレ除去」を選択してください。
Document Capture Proをお使いのときは、スキャン設定画面で「詳細設定」ボタンを押して、Epson Scan 2の画面を開きます。「拡張設定」タブの「モアレ除去」を選択してください。



- 解像度を変更してスキャンし直してください。

原稿台で正しい範囲でスキャンできない

- 原稿を原点マークに合わせて正しくセットしてください。

- スキャンした画像の端が切れたときは、原稿を原稿台のフチから少し離してセットしてください。
- 原稿に厚みがあるときは、原稿台の中央に原稿をセットしてください。原稿台に照明などの光が直接入らないようにしてください。
- スキャンできる最大の原稿サイズは215.9×297.1 mmです。
- 原稿台の端には上下左右に読み取れない範囲があります。
 - 上端：1.5 mm
 - 左端：1.5 mm
 - 右端：8 mm
 - 下端：15 mm
- [エッジ補正] の設定を確認してください。有効になっているときは画像のフチが補正されます。設定を変更してみてください。

Document Capture Pro (Windows) /Document Capture (Mac OS X) : スキャン設定画面で [詳細設定] ボタンを押して、Epson Scan 2の画面を開きます。[拡張設定] タブで [エッジ補正] の [なし] を選択します。

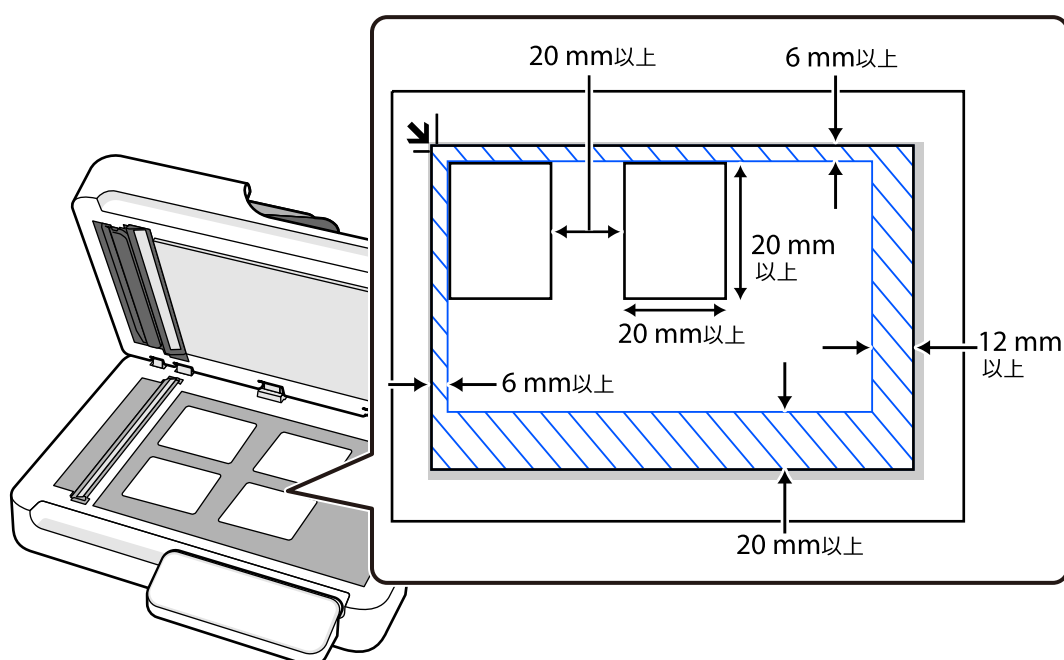
Epson Scan 2 : [拡張設定] タブで [エッジ補正] の [なし] を選択します。

関連情報

➡ [「原稿をセットする」52ページ](#)

複数枚の原稿を一度にスキャンできない

- 原稿台に複数の原稿をセットするときは、以下の条件に合うようにセットしてください。
 - それぞれの原稿を、原稿台の端から離す
 - 上端：6 mm
 - 左端：6 mm
 - 右端：12 mm
 - 下端：20 mm
 - 原稿と原稿の間を20 mm以上離す
 - 原稿サイズは20×20 mm以上



- 原稿がまっすぐセットされているか確認してください。
- コンピューターからスキャンするときのみ、複数枚の原稿を別々の画像に保存できます。スキャンするときは、スキャン設定の画面で「原稿サイズ」を「自動検知」に設定してください。
- 原稿によっては複数枚を一度にスキャンできないことがあります。一枚ずつスキャンしてください。

関連情報

➡ [「複数枚の原稿を一度にセットする」55ページ](#)

原稿サイズを自動検知するときに原稿の端がスキャンされない

原稿によっては、原稿サイズを自動検知するときに原稿の端がスキャンされないことがあります。

- Epson Scan 2の画面で〔自動（サイズ）選択時の切出し位置調整〕を調整してください。Document Capture Proをお使いのときは、スキャン設定画面で〔詳細設定〕ボタンを押して、Epson Scan 2の画面を開きます。
〔基本設定〕タブ-〔原稿サイズ〕-〔設定〕の順にクリックします。〔原稿サイズの設定〕画面で、〔自動（サイズ）選択時の切出し位置調整〕を調整してください。
- 原稿によっては、〔自動検知〕機能を使うときに範囲を正しく検知できないことがあります。〔原稿サイズ〕で適切なサイズを選択してください。

参考 セットしたい原稿サイズがリストに表示されていないときは、Epson Scan 2の画面で、手動でサイズを作成してください。Document Capture Proをお使いのときは、スキャン設定画面で〔詳細設定〕ボタンを押して、Epson Scan 2の画面を開きます。
〔基本設定〕タブ-〔原稿サイズ〕の順にクリックして、〔ユーザー定義サイズ〕を選択します。

文字が正しく認識されない

OCR（光学文字認識）の認識率を上げるために、以下の点を確認してください。

- 原稿がまっすぐセットされているか確認してください。
- 文字がくっきりしている原稿を使用してください。以下のような原稿は、認識率が下がることがあります。
 - 何度もコピーした原稿
 - ファクスで受信した原稿（解像度が低い原稿）
 - 文字間や行間が狭すぎる原稿
 - 文字に罫線や下線がかかっている原稿
 - 手書き文字の原稿
 - 折り跡やしわがある原稿
 - 草書体、行書体、毛筆体、斜体などのフォントや、小さな文字が使われている原稿
- レシートなど感熱紙を使用している場合、劣化や摩擦により読み取りづらい状態になることがあります。できるだけ早いうちにスキャンしてください。
- Microsoft® Office形式または〔テキスト検索可能PDF〕としてファイルを保存するときは、正しい言語が選択されているか確認してください。
- Epson Scan 2で〔イメージタイプ〕を〔カラー〕または〔グレー〕に設定している場合、〔文字くっきり〕の設定を調整してみてください。
〔拡張設定〕タブ-〔文字くっきり〕-〔設定〕をクリックして、〔モード〕の〔薄文字強調（OCR向け）〕を選択します。

参考 〔検索可能なPDF〕に保存するためには、EPSON Scan OCRコンポーネントが必要です。インストーラーでスキャナーを設定したときは、自動的にインストールされます。

冊子の綴じ部がゆがむ、ぼやける

原稿台で冊子をスキャンすると、綴じ部の文字がゆがんだりぼやけたりすることがあります。この場合、〔検索可能PDF〕で保存しても、文字が正しく認識されず検索できません。

綴じ部のゆがみやぼやけを低減するには、スキャンが終わるまで、冊子が平らになるように、原稿カバーを上から軽く押さえてください。また、スキャン中に冊子が動かないようにしてください。

！重要 原稿カバーを強く押さえないでください。冊子およびスキャナーが破損することがあります。

スキャン品質のトラブルが解決しないときは

全ての対処方法を試してもトラブルを解決できないときは、Epson Scan 2ユーティリティを使ってスキャナードライバー（Epson Scan 2）の設定を初期化します。

参考 Epson Scan 2ユーティリティは、お使いのスキャナーソフトウェアに付属してインストールされる設定ソフトウェアです。

1. Epson Scan 2ユーティリティを起動します。

- Windows 11/Windows Server 2019/Windows Server 2022
スタートボタンをクリックして、[すべてのアプリ] - [EPSON] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
- Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] または [プログラム] - [EPSON] - [Epson Scan 2] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。
- Mac OS
[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Scan 2ユーティリティ] の順に選択します。

2. [その他] タブを選択します。

3. [初期化] をクリックします。

参考 設定を初期化してもトラブルを解決できないときは、スキャナードライバー（Epson Scan 2）をアンインストールして、再インストールしてください。

Document Capture Proのトラブル

Document Capture Proでスキャンするときに発生したトラブルについては、以下のウェブサイトアクセスしてDocument Capture Proのマニュアルをご覧ください。

<https://support.epson.net/dcp/>

ソフトウェアをアンインストールまたはインストールする

ソフトウェアをアンインストール（削除）する

問題が発生したときや、OS（オペレーティングシステム）をアップグレードするときに、ソフトウェアのアンインストールや再インストールが必要になることがあります。管理者権限のあるアカウント（ユーザー）でコンピューターにログインしてください。また、管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する - Windows

1. 起動している全てのソフトウェアを終了させます。
2. スキャナーとコンピューターとの接続を外します。
3. コントロールパネルを表示させます。
 - Windows 11/Windows Server 2022
スタートボタンをクリックして、[すべてのアプリ] - [Windowsツール] - [コントロールパネル] の順に選択します。
 - Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019
スタートボタンをクリックして、[Windows システム ツール] - [コントロールパネル] を選択します。
 - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] の順に選択します。
 - Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックして、[コントロールパネル] を選択します。
4. [プログラム] の [プログラムのアンインストール] を選択します。
5. 削除するソフトウェアを選択します。
6. [アンインストールと変更] または [アンインストール] をクリックします。

 ユーザーアカウント制御画面が表示されたら続行をクリックします。
7. 画面の指示に従って操作します。

 コンピューターの再起動を促すメッセージが表示されることがあります。表示されたら、[はい、今すぐコンピューターを再起動します。] を選択して [完了] をクリックします。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する - Mac OS

 EPSON Software Updaterがインストールされているか確認してください。

1. EPSON Software Updaterを使ってUninstallerをダウンロードしてください。
一度Uninstallerをダウンロードすれば、再度ダウンロードする必要はありません。
2. スキャナーとコンピューターとの接続を外します。
3. スキャナードライバーを削除するときはAppleメニューの[システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または[プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、使用できるスキャナーのリストからスキャナーを削除します。
4. 起動している全てのソフトウェアを終了させます。
5. [移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Uninstaller] の順に選択します。
6. 削除するソフトウェアをチェックして、アンインストールをクリックします。

！重要 Uninstallerはコンピューターにインストールされているエプソン製スキャナーのドライバーを全て削除します。複数のエプソン製スキャナーをご使用の方で、一部のスキャナードライバーのみを削除したい場合は、一旦全てのスキャナードライバーを削除した後、使いたいスキャナーのドライバーを再インストールしてください。

参考 一覧に表示されないソフトウェアは、Uninstallerでは削除できません。[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] の順に選択し、削除するソフトウェアを選択して、ゴミ箱アイコンにドラッグ&ドロップしてください。

ソフトウェアをインストールする

以下の手順でソフトウェアをインストールできます。

- 参考**
- 管理者権限のあるアカウント（ユーザー）でコンピューターにログオンしてください。管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。
 - 再インストール時は、インストール済みの古いソフトウェアをアンインストールしてから行ってください。

1. 起動している全てのソフトウェアを終了させます。
2. スキャナードライバー（Epson Scan 2）のインストール時は、スキャナーとコンピューターの接続を一旦解除します。

参考 コンピューター画面に指示が出るまでスキャナーとコンピューターを接続しないでください。

3. 以下をクリックして、指示に従ってソフトウェアをインストールします。

<https://epson.sn>

コンピューターや機器の追加や交換をしたときは

ネットワーク接続済みのスキャナーに接続する方法	199
スマートデバイスとスキャナーを直接接続する方法（Wi-Fi Direct）	200
ネットワークを再設定する方法	202
ネットワーク接続状態の確認	205

ネットワーク接続済みのスキャナーに接続する方法

すでにスキャナーがネットワークに接続していれば、コンピューターやスマートデバイスからネットワーク経由でスキャナーに接続できます。

2台目のコンピューターからネットワークスキャナーを使う

スキャナーとコンピューターを接続設定するにはインストーラーを使うと便利です。

インストーラーを起動するには、以下のウェブサイトへアクセスし、製品名を入力してください。〔セットアップ〕に進んで作業を開始します。

<https://epson.sn>

操作手順はWeb動画マニュアルで見られます。以下のURLからご覧ください。

<https://support.epson.net/publist/vlink.php?code=NPD7508>

スキャナーを選択する

以下の画面が表示されるまで、画面の指示に従って操作し、接続したいスキャナーを選択して〔次へ〕をクリックします。

スキャナーの接続方法を選択してください

✓ 使用許諾契約書

✓ 環境チェック

接続

インストール

動作確認

完了

ネットワーク上に以下のスキャナーが見つかりました。ネットワークスキャナーを使用する場合は、リストからスキャナーを選択して[次へ]をクリックしてください。該当のスキャナーが見つからない場合は電源が入っているか確認してください。

更新

モデル名	MACアドレス	IPアドレス
XX-XXX	XXXXXXXXXX	XXX.XXX.XXX.XXX

戻る 次へ

キャンセル 次へ

画面の指示に従って操作します。

スマートデバイスからネットワークスキャナーを使う

スマートデバイスからスキャナーに接続するには、以下のいずれかの方法があります。

無線LANルーター経由で接続

無線LANルーターを介して、スキャナーが接続しているWi-Fiと同じネットワーク（SSID）に接続します。
詳しくは以下を参照してください。

[「スマートデバイスとの接続設定をする」203ページ](#)

Wi-Fi Directで接続

無線LANルーター（アクセスポイント）を介さず、直接スキャナーと接続します。
詳しくは以下を参照してください。

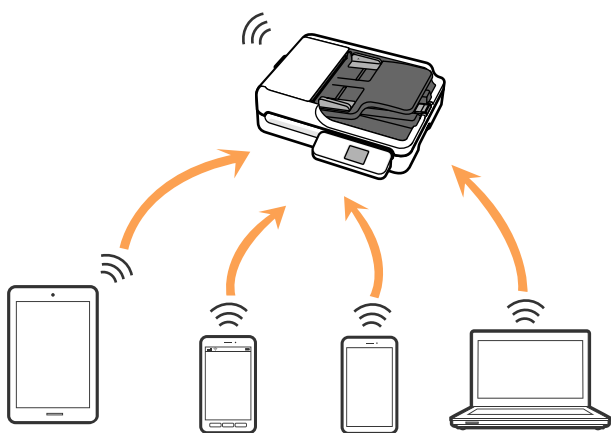
[「スマートデバイスとスキャナーを直接接続する方法（Wi-Fi Direct）」200ページ](#)

スマートデバイスとスキャナーを直接接続する方法（Wi-Fi Direct）

Wi-Fi Direct（シンプルAP）を使うと、無線LANルーターを使わずにスマートデバイスとスキャナーを直接接続してスキャンできます。

Wi-Fi Direct（シンプルAP）とは

家庭またはオフィスで無線LAN（Wi-Fi）を利用していない、無線LANルーター（アクセスポイント）がない場合や、スキャナーとコンピューターやスマートデバイスを直接接続したい場合の接続方法です。この接続方法はスキャナーが無線LANルーター（アクセスポイント）として動作し、複数台（最大8台）の機器と接続できます。ただし、スキャナーに直接接続された機器の間では、スキャナー経由での通信はできません。



スキャナーは無線LAN（Wi-Fi）または有線LANと、Wi-Fi Direct（シンプルAP）の同時接続ができます。ただし、無線LAN（Wi-Fi）で接続中にWi-Fi Direct（シンプルAP）設定を開始すると、無線LAN（Wi-Fi）接続は一時切断されます。

スマートデバイスでWi-Fi Direct接続する

無線LANルーター（アクセスポイント）を介さず、直接スキャナーと機器を接続する方法です。

1. ホーム画面で  を選択します。
2. [Wi-Fi Direct] を選択します。
3. [設定に進む] を選択します。
4. スマートデバイスでEpson Smart Panelを起動します。
5. Epson Smart Panelの案内に従って、スマートデバイスとスキャナーを接続します。
スマートデバイスがスキャナーと接続されたら、次の手順に進みます。
6. スキャナーの画面で[完了] を選択します。

Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続を切断する

Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続を無効にする方法は、操作パネルから全ての接続を無効にする方法と、コンピューターやスマートデバイスからそれぞれの接続を無効にする方法があります。

全ての接続を無効にするには、 - [Wi-Fi Direct] - [設定に進む] -  [Wi-Fi Directを無効にする] の順に選択します。

！重要 Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続で複数のコンピューターやスマートデバイスがスキャナーと接続されていた場合、Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続を無効にすると、全ての接続が切断されます。

参考 特定の機器だけを切断したいときは、スマートデバイス側から接続を切断してください。以下の方法で、スマートデバイスからスキャナーへのWi-Fi Direct接続を切断します。

- スキャナーの接続名（SSID）とのWi-Fi接続を切断
- 他のネットワーク（SSID）に接続

Wi-Fi Direct（シンプルAP）のSSIDなどを変更する

Wi-Fi Direct（シンプルAP）が有効なとき、 - [Wi-Fi Direct] - [設定に進む] -  を選択すると、以下のメニューが表示され設定を変更できます。

接続名を変更する

スキャナーに接続するWi-Fi Direct（シンプルAP）の接続名（SSID）を任意の値に変更します。接続名（SSID）に設定できるのは、操作パネルのソフトキーボードに表示されたASCII文字です。22文字まで入力できます。

接続名（SSID）を変更すると接続しているデバイスは全て切断されます。接続名を変更した場合は、接続する機器から新しい接続名（SSID）で接続し直してください。

パスワードを変更する

スキャナーに接続するWi-Fi Direct（シンプルAP）のパスワードを変更します。パスワードに設定できるのは、操作パネルのソフトキーボードに表示されたASCII文字です。8～22文字以内で入力してください。
パスワードを変更すると接続しているデバイスは全て切断されます。パスワードを変更した場合は、接続する機器から新しいパスワードで接続し直してください。

周波数帯を変更する

スキャナーに接続するWi-Fi Direct（シンプルAP）の周波数帯を変更します。2.4 GHzまたは5 GHzに設定できます。
周波数帯を変更すると接続しているデバイスは全て切断されます。再度接続してください。
周波数帯を5 GHzに設定した場合、5 GHz非対応のデバイスからは再接続できなくなります。
お住まいの国や地域によってはこの設定がないことがあります。

Wi-Fi Directを無効にする

Wi-Fi Direct（シンプルAP）を無効にします。無効にすると接続しているデバイスは全て切断されます。

購入時の設定に戻す

Wi-Fi Direct（シンプルAP）設定の全てを購入時の設定に戻します。
また、スキャナーが保持しているスマートデバイスのWi-Fi Direct機能を使った接続情報の登録を削除します。

 以下の設定項目は、Web Configの［ネットワーク］タブ -［Wi-Fi Direct］からも設定できます。

- Wi-Fi Direct（シンプルAP）を有効または無効にする
- ネットワーク名（SSID）を変更する
- パスワードを変更する
- 周波数帯を変更する
お住まいの国や地域によってはこの設定がないことがあります。
- Wi-Fi Direct（シンプルAP）の設定を初期の状態に戻す

ネットワークを再設定する方法

無線LANルーターを交換したときやコンピューターを買い替えたときなどの接続設定や、接続方法の変更などについて説明します。

無線LANルーターを交換したとき

無線LANルーターを交換したときは、コンピューターやスマートデバイスとスキャナーとの接続設定をします。
プロバイダーを変更した場合などでこの設定が必要です。

コンピューターとの接続設定をする

スキャナーとコンピューターを接続設定するにはインストーラーを使うと便利です。
インストーラーを起動するには、以下のウェブサイトへアクセスし、製品名を入力してください。［セットアップ］に進んで作業を開始します。

<https://epson.sn>

操作手順はWeb動画マニュアルで見られます。以下のURLからご覧ください。

<https://support.epson.net/publist/vlink.php?code=NPD7508>

画面の指示に従って操作します。

スマートデバイスとの接続設定をする

スマートデバイスが接続しているWi-Fiと同じネットワーク（SSID）にスキャナーを接続すると、スマートデバイスからスキャナーが使えるようになります。スマートデバイスからスキャナーを利用するには、以下のウェブサイトアクセスして、製品名を入力します。〔セットアップ〕に進んで作業を開始します。

<https://epson.sn>

なお、ウェブサイトにはスキャナーに接続したい機器からアクセスしてください。

コンピューターを買い替えたとき

コンピューターを買い替えたときは、コンピューターとスキャナーとの接続設定をします。

コンピューターとの接続設定をする

スキャナーとコンピューターを接続設定するにはインストーラーを使うと便利です。

インストーラーを起動するには、以下のウェブサイトへアクセスし、製品名を入力してください。〔セットアップ〕に進んで作業を開始します。

<https://epson.sn>

操作手順はWeb動画マニュアルで見られます。以下のURLからご覧ください。

<https://support.epson.net/publist/vlink.php?code=NPD7508>

画面の指示に従って操作します。

コンピューターとの接続形態を変更する

すでにコンピューターとスキャナーが接続されている場合に、接続形態を変更する方法について説明します。

USB接続からネットワーク接続に変更する

インストーラーを使って別の接続形態に設定し直します。

以下のウェブサイトへアクセスし、製品名を入力してください。〔セットアップ〕に進んで作業を開始します。

<https://epson.sn>

接続方法の変更を選択する

画面の指示に従って操作します。

〔無線LAN（Wi-Fi）で接続する〕または〔有線LAN（Ethernet）で接続する〕から使用する接続方法を選択して、〔次へ〕をクリックします。

画面の指示に従い、セットアップを完了してください。

有線LAN接続から無線LAN接続に変更する

スキャナーの操作パネルで有線LAN接続から無線LAN接続に変更します。変更方法は操作パネルを使った無線LAN接続設定と同じです。

関連情報

- ➡ [「操作パネルから無線LAN（Wi-Fi）接続する」 117ページ](#)

無線LAN接続から有線LAN接続に変更する

無線LAN（Wi-Fi）接続時に有線LAN接続に変更するには以下の手順で操作します。

1. 接続に必要な設定情報を確認します。
[「ネットワーク接続の前に」 210ページ](#)
2. スキャナーの操作パネルで〔設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - 〔詳細設定〕の順に選択して、必要な情報を設定します。
[「IPアドレスを設定する」 212ページ](#)
[「プロキシサーバーを設定する」 213ページ](#)
3. 〔ネットワーク設定〕で〔有線LAN接続設定〕を選択して、画面の指示に従って無線LAN接続を無効にします。
4. LANケーブルでネットワークに接続して、接続の確認をします。
[「有線LANに接続する」 213ページ](#)

操作パネルから無線LAN（Wi-Fi）接続する

スキャナーの操作パネルからネットワーク設定する方法はいくつかあります。お使いの環境や条件に合わせて接続方法を選択してください。

無線LANルーター（アクセスポイント）の情報（SSID、パスワード）がわかれば、手動で設定するのが確実です。

AOSSやWPS対応の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、プッシュボタンで自動設定ができます。

スキャナーがネットワークに接続できたら、使用する機器（コンピューターやスマートデバイスなど）をスキャナーに接続してください。

関連情報

- ➡ [「スキャナーにSSIDとパスワードを入力して設定する」 214ページ](#)
- ➡ [「プッシュボタンで自動設定する（AOSS/WPS）」 215ページ](#)
- ➡ [「PINコードで設定する（WPS）」 216ページ](#)

ネットワーク接続状態の確認

ネットワーク接続状態を確認するには、いくつかの方法があります。

操作パネルでのネットワーク接続状態の確認

操作パネルに表示されるネットワークアイコンやネットワーク情報で接続状態を確認できます。

ネットワークアイコンで接続状態を確認する

スキャナーのホーム画面にあるネットワークアイコンでネットワークの接続状態と電波強度を確認できます。



	ネットワークの接続状態を示します。 アイコンを選択すると現在の設定の確認や変更ができます。以下のメニューのショートカットです。 [設定] - [ネットワーク設定] - [無線LAN接続設定]
	無線LAN (Wi-Fi) 無効
	SSID検索中、IPアドレス未設定、電波強度が0または弱い
	無線LAN (Wi-Fi) 接続中 線の数電波の状態を示します。線の数が多いほど、電波の状態は良好です。
	Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続無効
	Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続有効
	有線LAN非接続、ネットワーク未設定
	有線LAN接続中

操作パネルにネットワーク状態を表示する

スキャナーがネットワーク接続されていると、確認したい項目を選択することでその他ネットワーク関連の情報も確認できます。

1. ホーム画面で「設定」を選択します。
2. 「ネットワーク設定」 - 「ネットワーク情報」の順に選択します。
3. 確認したいメニューを選択します。
 - 有線・無線接続状態
有線または無線接続時のネットワーク情報（デバイス名、接続状態、電波状態など）が表示されます。
 - Wi-Fi Direct接続状態
Wi-Fi Directの有効状態、SSID、パスワードなどが表示されます。
 - メールサーバー設定確認
メールサーバーのネットワーク情報が表示されます。

コンピューターのネットワークを確認する (Windowsのみ)

Windowsのコマンドプロンプトからコマンドを使って、コンピューターの接続情報やスキャナーとの接続経路などを確認します。トラブル解決につながります。

- ipconfigコマンド

コンピューターが現在使用しているネットワークインターフェースの接続状況を表示します。

実際に通信している情報と設定情報の差がないかを比較して、正常に接続されているかを確認できます。同じネットワークに複数のDHCPサーバーがあるような場合、コンピューターに割り当てられている実際のアドレスや、参照しているDNSサーバーなどを知ることができます。

- 書式: ipconfig /all
- 例:

```

c:\>ipconfig /all

Windows IP 構成

ホスト名 . . . . .: WIN2012R2
プライマリ DNS サフィックス . . . . .: pubs.net
ノード タイプ . . . . .: ハイブリッド
IP ルーティング有効 . . . . .: いいえ
WINS プロキシ有効 . . . . .: いいえ
DNS サフィックス検索一覧 . . . . .: pubs.net

イーサネット アダプター イーサネット:

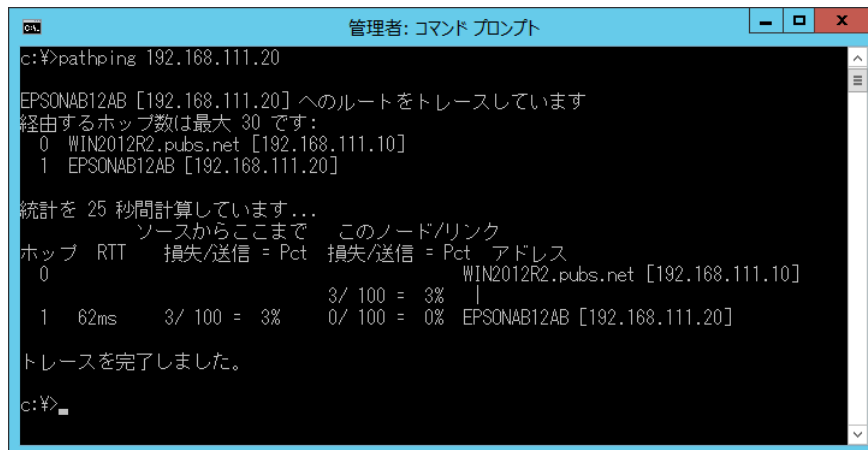
接続固有の DNS サフィックス . . . . .:
説明 . . . . .: Gigabit Network Connection
物理アドレス . . . . .: xx-xx-xx-xx-xx-xx
DHCP 有効 . . . . .: いいえ
自動構成有効 . . . . .: はい
リンクローカル IPv6 アドレス . . . . .: fe80::38fb:7546:18a8:d20e%13(優先)
IPv4 アドレス . . . . .: 192.168.111.10(優先)
サブネット マスク . . . . .: 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . .: 192.168.111.1
DHCPv6 IAID . . . . .: 283142549
DHCPv6 クライアント DUID . . . . .: 00-01-00-01-21-0A-D4-46-E0-69-95-3C-91-49
DNS サーバー . . . . .: 192.168.111.2
NetBIOS over TCP/IP . . . . .: 有効

Tunnel adapter isatap.{12345678-ABCD-EFGH-IJKL-MNOPQRSTUVWXYZ}:

メディアの状態 . . . . .: メディアは接続されていません
接続固有の DNS サフィックス . . . . .:
説明 . . . . .: Microsoft ISATAP Adapter #2
物理アドレス . . . . .: 00-00-00-00-00-00-E0
DHCP 有効 . . . . .: いいえ
自動構成有効 . . . . .: はい

c:\>
    
```

- pathpingコマンド
宛先ホストまでに通過するルーターのリストや通信のルーティングを確認できます。
- 書式：pathping xxx.xxx.xxx.xxx
- 例：pathping 192.0.2.222



```
c:\¥>pathping 192.168.111.20

EPSONAB12AB [192.168.111.20] へのルートをトレースしています
経由するホップ数は最大 30 です:
  0  WIN2012R2.pubs.net [192.168.111.10]
  1  EPSONAB12AB [192.168.111.20]

統計を 25 秒間計算しています...
      ソースからここまで      このノード/リンク
ホップ  RTT      損失/送信 = Pct  損失/送信 = Pct  アドレス
  0                               WIN2012R2.pubs.net [192.168.111.10]
  1  62ms      3/ 100 = 3%      0/ 100 = 0%  EPSONAB12AB [192.168.111.20]

トレースを完了しました。

c:\¥>
```

管理者向け情報

スキャナーをネットワークに接続する	210
本体のセキュリティー機能の紹介	217
管理者設定	217
USBドライブやコンピューターとのUSB接続を制限する	222
起動時のプログラム検証を有効にする	223
コンピューターからのネットワークスキャンを無効にする	223
WSDスキャンを有効または無効にする	224
遠隔地にあるスキャナーを監視する	224
設定のバックアップ	226
初期設定に戻す	227
高度なセキュリティー設定	228

スキャナーをネットワークに接続する

スキャナーの操作パネルを使って、スキャナーをネットワークに接続する手順を説明します。

- 参考** スキャナーとコンピューターが同じセグメントにあるときは、インストーラーを使っても接続できます。インストーラーを起動するには、以下のウェブサイトへアクセスし、製品名を入力してください。[セットアップ]に進んで作業を開始します。
- <https://epson.sn>
- 操作手順はWeb動画マニュアルで見られます。以下のURLからご覧ください。
- <https://support.epson.net/publist/vlink.php?code=NPD7508>

ネットワーク接続の前に

ネットワーク接続するには、接続方法と接続のための設定情報を事前に確認してください。

接続設定情報の収集

接続に必要な設定情報を用意します。事前に以下の情報を確認してください。

区分	項目	参考
デバイス接続方法	- 有線LAN - 無線LAN (Wi-Fi)	スキャナーをネットワークに接続する方法を決定します。 有線LANは、LANスイッチ (ハブ) に接続します。 無線LANはアクセスポイントのSSIDに接続します。
LAN接続情報	- IPアドレス - サブネットマスク - デフォルトゲートウェイ	スキャナーに割り当てるIPアドレスを決定します。 静的にIPアドレスを割り当てる場合は、全ての項目の値が必要です。 DHCP機能で動的にIPアドレスを割り当てる場合は、自動設定されるのでLAN接続の情報は不要です。
Wi-Fi接続情報	- SSID - パスワード	スキャナーを接続するアクセスポイントのSSID (ネットワークの名称)、パスワードです。 MACアドレスフィルタリング設定がされている場合は、スキャナーを登録できるように事前にMACアドレスの登録をしておいてください。 対応している規格は以下をご覧ください。 「ネットワークの仕様」261ページ
DNSサーバー情報	- プライマリーDNSのIPアドレス - セカンダリーDNSのIPアドレス	DNSサーバーを指定する場合に必要です。セカンダリーDNSはシステムを冗長構成にしてセカンダリーDNSサーバーがある場合に設定します。 小規模なネットワークでDNSサーバーを構築していない場合は、ルーターのIPアドレスを設定します。

区分	項目	参考
プロキシサーバー情報	プロキシサーバー名	イントラネットからインターネットへの接続にプロキシサーバーを利用しているネットワーク環境において、スキャナーが直接インターネットにアクセスする機能を使用する場合は設定してください。 以下のような機能はスキャナーが直接インターネットにアクセスします。 - Epson Connectサービス - 他社のクラウドサービス - ファームウェア更新 - スキャンした画像をSharePoint(WebDAV)に送る
ポート番号情報	開放するポート番号	スキャナーやコンピューターが各機能で使用するポート番号を確認して、ファイアウォールでブロックされているポートを、必要に応じて開放してください。 スキャナーが使用するポート番号の情報は以下をご覧ください。 「スキャナーが使用するポート」 263ページ

IPアドレスの割り当て

IPアドレス（IPv4）の割り当てには、以下のタイプがあります。

固定IPアドレス：

あらかじめ決めたIPアドレスを手動でスキャナー（ホスト）に割り当てます。

ネットワークに接続するための情報（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバー設定など）を手動で設定する必要があります。

デバイスの電源を切ってもIPアドレスは変更されないので、IPアドレスの変更を追従できない環境やIPアドレスでデバイスを管理したい場合に利用できます。多数のコンピューターがアクセスする、スキャナーやサーバーなどへの設定をお勧めします。また、IPsec/IPフィルタリングなどのセキュリティ機能を利用する場合は、IPアドレスが変更されないよう固定IPアドレスを割り当ててください。

DHCP機能による自動割り当て（動的IPアドレス）：

DHCPサーバーやルーターのDHCP機能を使って自動でIPアドレスをスキャナー（ホスト）に割り当てます。

ネットワークに接続するための情報（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバー設定など）も自動で設定されるので、デバイスのネットワークへの接続が容易にできます。

デバイスやルーターの電源を切る、または、DHCPサーバーの設定により、再接続の際にIPアドレスが変更になる場合があります。

IPアドレス以外でのデバイス管理やIPアドレスを追従できるプロトコルでの通信をお勧めします。

参考 DHCPのIPアドレス予約機能を使用すると、常にデバイスに同じIPアドレスを割り当てることができます。

DNSサーバー、プロキシサーバーについて

DNSサーバーは、ホスト名やメールアドレスのドメイン名などとIPアドレスの情報を関連付けて持っています。

コンピューターやスキャナーがIP通信をするときに、ホスト名やドメイン名などで相手先を記述すると通信ができません。

その情報をDNSサーバーに問い合わせ、相手先のIPアドレスを取得します。この処理を名前解決と言います。

これによりコンピューターやスキャナーなどのデバイスは、IPアドレスを使って通信できるようになります。

スキャナーがメールを使ったり、インターネット接続をして通信したりするには、名前解決が必要です。

これらの機能を使用するには、DNSサーバーの設定をしてください。

スキャナーのIPアドレスをDHCPサーバーやルーターのDHCP機能で割り当てる場合は自動設定されます。

プロキシサーバーはネットワークとインターネットとの出入口に配置され、コンピューターやスキャナーとインターネット（相手サーバー）の代理でそれぞれのデバイスと通信します。相手側のサーバーはプロキシサーバーのみと通信します。よって、スキャナーに設定されているIPアドレスやポート番号などの情報を読み取れなくなり、セキュリティの向上が期待できます。

プロキシサーバーを介してインターネット接続をしている場合は、スキャナーにプロキシサーバーの設定をしてください。

IPアドレスを設定する

ホストアドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなど、基本的なIPアドレス設定をします。

ここでは固定IPアドレスを設定する手順を説明します。

1. スキャナーの電源を入れます。
2. 操作パネルのホーム画面で「設定」を選択します。
3. 「ネットワーク設定」 - 「詳細設定」 - 「TCP/IP」の順に選択します。

4. 「TCP/IP設定方法」で「手動設定」を選択します。

IPアドレスをルーターなどのDHCP機能で自動設定する場合は「自動設定」にします。この場合は、手順5、6の「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」も自動設定になるので入力できません。手順7へ進んでください。

5. IPアドレスを入力します。

◀または▶を選択すると、ピリオドで区切られた前後の区切りにフォーカスが移動します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

6. 同様に「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を設定します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

！重要 IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの組み合わせが不正の場合、「設定を開始する」が有効にならず、設定を続けることができません。入力に間違いがないか確認してください。

7. プライマリーDNSサーバーのIPアドレスを入力します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

参考 IPアドレスを「自動設定」にすると、DNSサーバー設定は「手動設定」、「自動設定」を選択できます。DNSサーバーのアドレスを自動取得できない場合に「手動設定」を選択して、DNSサーバーのIPアドレスを入力してください。引き続き、セカンダリーDNSサーバーのアドレスを直接入力します。「自動設定」を選択した場合は、手順9へ進んでください。

8. セカンダリーDNSサーバーのIPアドレスを入力します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

9. 「設定を開始する」をタップします。

プロキシサーバーを設定する

以下の両方に当てはまる場合は、プロキシサーバーを設定してください。

- インターネット接続用にプロキシサーバーを構築している
- Epson Connectサービスや他社クラウドサービスなど、スキャナーが直接インターネットに接続する機能を使用する

1. ホーム画面で「設定」を選択します。
IPアドレスの設定に続いて設定するときは、「詳細設定」画面が表示されています。手順3に進んでください。
2. 「ネットワーク設定」 - 「詳細設定」の順に選択します。
3. 「プロキシサーバー」を選択します。
4. 「プロキシサーバー使用設定」で「使用する」を選択します。
5. プロキシサーバーのアドレスを、IPv4アドレスまたはFQDN形式で入力します。
戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。
6. プロキシサーバーのポート番号を入力します。
戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。
7. 「設定を開始する」をタップします。

有線LANに接続する

LANケーブルでネットワークに接続して、接続の確認をします。

1. スキャナーとハブ（LANスイッチ）をLANケーブルで接続します。
2. ホーム画面で  を選択します。
3. 「ルーター」を選択します。
4. 接続状態やIPアドレスが正しいことを確認します。
5. 「閉じる」をタップします。

無線LAN (Wi-Fi) に接続する

スキャナーと無線LAN(Wi-Fi)を接続する方法はいくつかあります。お使いの環境や条件に合わせて接続方法を選択してください。

無線LANルーター（アクセスポイント）の情報（SSID、パスワード）がわかれば、手動で設定するのが確実です。

AOSSやWPS対応の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、プッシュボタンで自動設定ができます。

スキャナーがネットワークに接続できたら、使用する機器（コンピューターやスマートデバイスなど）をスキャナーに接続してください。

Wi-Fi 5GHz使用時の注意事項

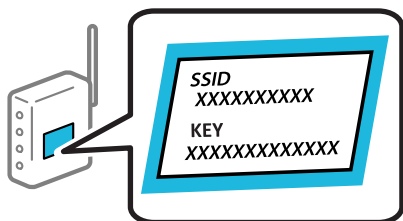
本製品はWi-Fi Direct（シンプルAP）接続時に基本的にW52(36ch)を使用します。無線LAN（Wi-Fi）接続時のチャンネルは自動選択のため、Wi-Fi Direct接続との同時利用の場合、使用チャンネルが異なることがあります。チャンネルが異なるとスキャナーとのデータ通信が遅くなることがあります。使用に差し支えなければ2.4GHz帯のSSIDに接続してご利用ください。2.4GHzの周波数帯では、使用チャンネルは一致します。

5GHzで無線LAN設定する場合は、Wi-Fi Directを無効にして設定することをお勧めします。

スキャナーにSSIDとパスワードを入力して設定する

無線LANルーター（アクセスポイント）に接続するための情報をスキャナーの操作パネルから入力して設定する方法です。手動で設定するには、無線LANルーター（アクセスポイント）のSSIDとパスワードの情報が必要です。

参考 無線LANルーター（アクセスポイント）をメーカー設定値のまま利用している場合は、ラベルなどに書かれているSSIDとパスワードが設定されています。SSIDとパスワードがわからない場合は、無線LANルーターを設定した人に確認するか、無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。



1. ホーム画面で  をタップします。

2. [ルーター] を選択します。

3. [設定に進む] をタップします。

すでにネットワーク接続している場合は、接続状態の詳細が表示されます。設定を変更する場合は[無線LAN接続に変更する]または[設定を変更する]をタップします。

4. [無線LANルーターを検索] を選択します。

5. 画面の指示に従って、SSIDを選択し、パスワードを入力して、設定を開始します。

設定完了後に接続状態を確認したい場合は、「関連情報」をご覧ください。

- 参考**
- SSIDがわからない場合は無線LANルーター（アクセスポイント）のラベルに書かれていないかを確認してください。無線LANルーター（アクセスポイント）をメーカー設定値のまま利用している場合は、ラベルに書かれているSSIDを使用します。情報が見つからない場合は、無線LANルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。
 - パスワードは大文字と小文字を区別して入力してください。
 - パスワードがわからない場合は無線LANルーター（アクセスポイント）本体のラベルに書かれていないかを確認してください。ラベルには、「暗号化キー」「XXXX Key」などと書かれています。無線LANルーター（アクセスポイント）をメーカー設定値のまま利用している場合は、ラベルに書かれているパスワードを使用します。
 - 接続したいSSIDが表示されない場合は、コンピューター、またはスマートフォン、タブレット端末などのスマートデバイスからソフトウェアやアプリを使用してWi-Fi設定をしてください。詳しくは、ブラウザで「<https://epson.sn>」と入力してウェブサイトを開き、お使いの製品名を入力して [セットアップ] にお進みください。

関連情報

➔ 「ネットワーク接続状態の確認」205ページ

プッシュボタンで自動設定する (AOSS/WPS)

無線LANルーター（アクセスポイント）のプッシュボタンで無線LAN (Wi-Fi) を自動設定する方法です。以下の条件に当てはまる場合は、この方法で設定できます。

- 無線LANルーター（アクセスポイント）がAOSSやWPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応している
- 既存の無線LAN (Wi-Fi) をプッシュボタンで設定している

参考 プッシュボタンの位置がわからない、またはプッシュボタンがなくソフトウェアで操作する場合は、無線LANルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。



1. ホーム画面で  をタップします。

2. [ルーター] を選択します。

3. [設定に進む] をタップします。

すでにネットワーク接続している場合は、接続状態の詳細が表示されます。設定を変更する場合は [無線LAN接続に変更する] または [設定を変更する] をタップします。

4. [プッシュボタンで設定(AOSS/WPS)] を選択します。

5. 画面の指示に従って操作します。

設定完了後に接続状態を確認したい場合は、「関連情報」をご覧ください。

参考 接続に失敗した場合は無線LANルーター（アクセスポイント）を再起動し、無線LANルーター（アクセスポイント）とスキャナーを近づけてから再度設定してください。

関連情報

➡ [「ネットワーク接続状態の確認」 205ページ](#)

PINコードで設定する (WPS)

PINコードを使って無線LANルーター（アクセスポイント）に接続する方法です。無線LANルーター（アクセスポイント）がWPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応している場合は、この方法で設定できます。PINコードを無線LANルーター（アクセスポイント）に入力するときに、コンピューターを使います。



1. ホーム画面で  をタップします。

2. [ルーター] を選択します。

3. [設定に進む] をタップします。

すでにネットワーク接続している場合は、接続状態の詳細が表示されます。設定を変更する場合は[無線LAN接続に変更する]または[設定を変更する]をタップします。

4. [その他] - [PINコード自動設定(WPS)] の順に選択します。

5. 画面の指示に従って操作します。

設定完了後に接続状態を確認したい場合は、「関連情報」をご覧ください。



参考 PINコードの入力方法は、無線LANルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。

関連情報

➡ [「ネットワーク接続状態の確認」 205ページ](#)

IEEE802.11k/vまたはIEEE802.11r機能を設定する

1. Web Configで[ネットワーク] タブ - [ネットワーク基本] を選択します。

2. [IEEE802.11k/v] または [IEEE802.11r] を、有効または無効に設定します。

3. [次へ] をクリックします。

確認画面が表示されます。

4. [設定] をクリックします。

関連情報

➡ [「ブラウザでWeb Configを起動する方法」 34ページ](#)

本体のセキュリティー機能の紹介

エプソンデバイスのセキュリティー機能を紹介します。

機能名	どんな機能か	何を設定するのか	何を防止できるのか
管理者パスワードの設定	ネットワークやUSBの接続設定など、システムに関わる設定をロックし、管理者以外は変更ができないようにします。	システム管理者がデバイスにパスワードを設定します。 Web Config、スキャナーの操作パネルのどちらからも設定や変更ができます。	デバイスに保持されているIDやパスワード、ネットワーク設定などの情報が不正に参照または変更されるのを防ぎます。また、ネットワーク環境やセキュリティーポリシー、またはそれらに類する情報の漏えいなど、広範囲のセキュリティーリスクにつながる危険性を低減します。
外部インターフェイス設定	デバイスへ接続するインターフェイスを制御できます。	以下の接続の有効、無効を設定します。 - 外部機器接続用USBポートへのUSBドライブの接続 - コンピューターのUSB接続	ネットワークを経由しないスキャンを禁止することで、デバイスの不正使用を防止できます。

管理者設定

管理者パスワードの設定

管理者パスワードを設定すると、ユーザーがシステム管理に関する設定を変更することを防ぎます。購入時に初期値が設定されています。必要に応じて変更してください。

参考 管理者情報の購入時の設定（初期値）は以下です。

- ユーザー名（Web Configのみで使用）：なし（空欄）
- パスワード：スキャナーの製造番号（シリアルナンバー）
製造番号は、スキャナー背面に貼られているラベルをご確認ください。

管理者パスワードはWeb Config、スキャナーの操作パネル、Epson Device Adminのいずれからでも変更ができます。Epson Device Adminの操作方法については、Epson Device Adminのヘルプやマニュアルをご覧ください。

Web Configで管理者パスワードを変更する

Web Configで管理者パスワードを変更します。

- Web Configで「本体セキュリティー」タブ - 「管理者パスワード変更」を選択します。

2. 「現在のパスワード」、「ユーザー名」、「新しいパスワード」、「新しいパスワードの確認」を入力します。

新しいパスワードは、8文字以上20文字以下の半角英数字および記号で設定してください。



管理者情報の購入時の設定（初期値）は以下です。

- ユーザー名：なし（空欄）
- パスワード：スキャナーの製造番号（シリアルナンバー）
製造番号は、スキャナー背面に貼られているラベルをご確認ください。



設定した管理者パスワードは忘れないように管理してください。パスワードを忘れると再設定できず、サービスマンによる対応が必要になります。

3. 「設定」を選択します。

関連情報

- ➡ [「管理者パスワードに関するご注意」 13ページ](#)
- ➡ [「ブラウザーでWeb Configを起動する方法」 34ページ](#)

スキャナーの操作パネルで管理者パスワードを変更する

スキャナーの操作パネルで管理者パスワードを変更します。

1. スキャナーの操作パネルで「設定」を選択します。
2. 「管理者用設定」 - 「管理者設定」の順に選択します。
3. 「管理者パスワード」 - 「変更」の順に選択します。
4. 現在のパスワードを入力します。



管理者パスワードの購入時の設定（初期値）は、スキャナーの製造番号（シリアルナンバー）です。製造番号は、スキャナー背面に貼られているラベルをご確認ください。

5. 新しいパスワードを入力します。

新しいパスワードは、8文字以上20文字以下の半角英数字および記号で設定してください。



設定した管理者パスワードは忘れないように管理してください。パスワードを忘れると再設定できず、サービスマンによる対応が必要になります。

6. 確認のためもう一度新しいパスワードを入力します。

完了メッセージが表示されます。

操作パネルを管理者ロックする

システム設定に関する項目をユーザーが変更できないように、操作パネルを管理者ロックできます。

操作パネルで管理者ロックを設定する

1. [設定] を選択します。
2. [管理者用設定] - [管理者設定] の順に選択します。
 管理者ロックが設定されているときは、パスワード入力が求められます。
3. [管理者ロック] で、[オン] または [オフ] を選択します。

Web Configで管理者ロックを設定する

1. [デバイス管理] タブ - [パネル] の順に選択します。
2. [パネルロック] で [オン] または [オフ] を選択します。
3. [設定] をクリックします。

関連情報

➡ [「ブラウザでWeb Configを起動する方法」 34ページ](#)

設定メニューの管理者ロック項目

管理者ロックによって、操作パネルの [設定] メニューでロックされる項目一覧です。
✓：ロックされます。 -：ロックされません。

設定メニュー	管理者ロック
起動画面	✓
基本設定	-

設定メニュー		管理者ロック
	画面の明るさ設定	-
	音の設定	-
	スリープ移行時間設定	✓
	自動電源オフ	✓
	日付/時刻設定	✓
	言語選択/Language	✓
	キーボード (製品を購入された地域により搭載されていないことがあります。)	-
	無操作タイムアウト	✓
	コンピューターのUSB接続	✓
	USBドライブ	✓
スキャン動作設定		-
	原稿保護	✓
	ガラス面汚れ検知	✓
	スキャン後にページ追加のタイムアウト時間	✓
	読み取り前宛先確認	-
ユーザー設定		✓
ネットワーク設定		✓
Webサービス設定		✓
アドレス帳管理		-
	アドレス帳登録・変更	✓
	アドレス帳検索設定	-
管理者用設定		✓
機器情報		-

設定メニュー		管理者ロック
	製造番号	-
	現在のバージョン	-
	原稿台総スキャン枚数	-
	ADF総スキャン枚数	-
	ADF片面スキャン枚数	-
	ADF両面スキャン枚数	-
	定期清掃後のスキャン枚数	-
	 スキャン枚数リセット	✓
スキャナーのお手入れ		-
	定期清掃	-
	 スキャン枚数リセット	✓
	ガラス面清掃	-
定期清掃通知設定		✓

コンピューターからスキャナーのWeb Configにログインする

管理者としてWeb Configにログインすると、スキャナーの設定を変更できます。

1. ブラウザーにスキャナーのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
2. 画面の右上の「ログイン」をクリックします。「ユーザー名」と「現在のパスワード」を入力し、「確認」をクリックします。

Web Configの管理者情報の購入時の設定（初期値）は以下の通りです。

- ・ユーザー名：なし（空欄）
- ・パスワード：スキャナーの製造番号（シリアルナンバー）

製造番号は、スキャナー背面に貼られているラベルをご確認ください。

管理者としてログインすると設定項目が表示されます。

ログオフするには、画面の右上の「ログオフ」をクリックします。

関連情報

- ➡ [「管理者パスワードに関するご注意」13ページ](#)
- ➡ [「ブラウザーでWeb Configを起動する方法」34ページ](#)

管理者名/連絡先を設定する

Web Configでは、管理者の名前と連絡先をスキャナーに設定できます。設定した管理者名/連絡先は、Web Configの [製品情報] ページに表示され、管理者ログオンしなくても参照できます。

1. Web Configで [デバイス管理] タブ - [管理者名/連絡先] を選択します。
2. 管理者の名前と連絡先を、Unicode (UTF-8) で255バイト以内で入力します。
半角英数字は1文字につき1バイト、それ以外の文字は1文字のバイト数が異なります。
3. [設定] をクリックします。

USBドライブやコンピューターとのUSB接続を制限する

スキャナーにデバイスを接続するインターフェイスを無効にできます。ネットワーク経由以外のスキャンを制限する場合に設定します。

参考 スキャナーの操作パネルからも設定できます。

- 外部メモリー： [設定] - [基本設定] - [USBドライブ]
- コンピューターのUSB接続： [設定] - [基本設定] - [コンピューターのUSB接続]

1. Web Configで [本体セキュリティ] タブ- [外部インターフェイス] を選択します。
2. 制限したい機能で [無効] を選択します。
[有効] を選択すると制限を解除します。
 - 外部メモリー
外部機器接続用USBポート経由でのUSBドライブへのスキャンを制限します。
 - コンピューターのUSB接続
コンピューターとのUSB接続を制限します。
3. [設定] をクリックします。
4. 無効にしたポートが使用できなくなっているか確認します。
 - 外部メモリー
USBドライブを外部機器接続用USBポートに接続し、反応がないことを確認します。

- コンピューターのUSB接続

確認するコンピューターにドライバーがインストールされている場合：

スキャナーとコンピューターをUSBケーブルで接続し、スキャンができないことを確認します。

確認するコンピューターにドライバーがインストールされていない場合：

Windows：

デバイスマネージャーを表示したままスキャナーをコンピューターにUSBケーブルで接続し、デバイスマネージャーの表示内容が変化しないことを確認します。

Mac OS：

スキャナーをコンピューターにUSBケーブルで接続し、[プリンターとスキャナー] からスキャナーを追加しようとしてもスキャナーがリストに表示されないことを確認します。

関連情報

➔ [「ブラウザでWeb Configを起動する方法」 34ページ](#)

起動時のプログラム検証を有効にする

プログラム検証機能を有効にすると、起動時に不正なサードパーティーのプログラムに改ざんされていなかどうかを確認します。問題が検出された場合、スキャナーは起動しません。

参考 機能を有効にすると、スキャナーの起動時間が長くなります。

1. Web Configを起動し、[本体セキュリティ] タブ - [起動時のプログラム検証] の順に選択します。

参考 スキャナーの操作パネルからも設定できます。
[設定] - [管理者用設定] - [起動時のプログラム検証]

2. [オン] を選択すると、[起動時のプログラム検証] が有効になります。

3. [設定] をクリックします。

コンピューターからのネットワークスキャンを無効にする

Web Configで以下の設定をすると、ユーザーによるコンピューターからEpson Scan 2を使ったネットワークスキャンを無効にできます。

1. Web Configで [スキャン] タブ - [ネットワークスキャン] を選択します。

2. [Epson Scan 2] で [スキャン機能を有効にする] のチェックを外します。

3. [次へ] をクリックします。

確認画面が表示されます。

4. [設定] をクリックします。

関連情報

➡ [「ブラウザでWeb Configを起動する方法」 34ページ](#)

WSDスキャンを有効または無効にする

WSDスキャンを有効または無効にできます。（購入時の設定は有効）

コンピューターにWSDスキャンデバイスとしてスキャナーを設定させたくない場合は、WSD設定を無効にしてください。

1. Web Configで【ネットワークセキュリティー】タブ - 【プロトコル】を選択します。

2. 【WSD設定】で【WSDを有効にする】のチェックを変更します。

3. 【次へ】をクリックします。

確認画面が表示されます。

4. 【設定】をクリックします。

参考 WSDスキャンを無効にしてもコンピューターが自動でスキャナーを設定するときは、Web Configで【スキャン】タブ - 【ネットワークスキャン】の順に選択して、【AirPrint】で【スキャン機能を有効にする】のチェックを外します。
AirPrintが無効なときは、ChromebookまたはWindowsからのMopriaでのスキャン、およびMopria Scanでのスキャンも無効になります。

関連情報

➡ [「ブラウザでWeb Configを起動する方法」 34ページ](#)

遠隔地にあるスキャナーを監視する

遠隔地にあるスキャナーの情報を確認する

Web Configの【情報確認】から、運用しているスキャナーの以下の情報を確認できます。

- 製品情報
ステータス、製造番号、MACアドレスなどが確認できます。
- ネットワーク情報
ネットワーク接続状態、IPアドレス、DNSなどネットワークに関する情報が確認できます。
- 使用状況
初回のスキャン日、スキャン回数などを確認できます。
- ハードウェア情報
スキャナーの各機能のステータスを確認できます。
- パネルのスナップショット
スキャナーの操作パネルに表示されている画面が表示されます。

イベント発生時にメール通知を受け取る

メール通知の概要

スキャンの停止やスキャナーエラーなど、スキャナーにイベントが発生したときに、指定したアドレスにメールで通知する機能です。

宛先は5つまで登録でき、それぞれに受け取りたい通知を設定できます。

この機能を使うには、設定前にメールサーバーの設定が必要です。

メール通知を設定する

Web Configを使ってメール通知の設定をします。

1. Web Configで【デバイス管理】タブ-【メール通知】を選択します。
2. メール通知の件名を設定します。
2つのプルダウンメニューで件名に表示する内容を選択します。
 - 選択された内容が【件名】の横に表示されます。
 - 左右に同じ内容は設定できません。
 - 【ロケーション】の文字数が多い場合は、32バイト以降の文字が省略されます。
3. 通知メールを送信するメールアドレスを入力します。
A-Z a-z 0-9 ! # \$ % & ' * + - . / = ? ^ _ { | } ~ @を使用し、1～255文字以内で入力します。
4. メール通知の言語を選択します。
5. 通知を受け取りたいイベントの行で、通知する宛先番号と重なるチェックボックスにチェックを付けます。
【通知設定】の番号は【宛先設定】の宛先の番号に対応しています。
例：
管理者のパスワードが変更された通知を【宛先設定】の1に設定したアドレスに送信したいときは、【管理者パスワード変更】の行にある【1】の列のチェックボックスにチェックを付けます。
6. 【設定】をクリックします。
何らかのイベントを作って、メール通知が送信されることを確認してください。
例：管理者パスワードが変更されました。

関連情報

➔ [「ブラウザでWeb Configを起動する方法」34ページ](#)

メール通知の設定項目

項目	設定値と説明
管理者パスワード変更	管理者パスワードが変更された場合に通知します。
スキャナーエラー	スキャナーエラーが発生した場合に通知します。
無線LAN故障	無線LANインターフェイスにエラーが発生した場合に通知します。

Web Configを使ってスキャナーの電源を管理する

コンピューターがスキャナーから離れた場所にある場合でも、Web Configを使用してスキャナーの電源をオフにしたり、再起動したりできます。

1. Web Configを起動し、[デバイス管理] タブ - [電源] の順に選択します。
2. [電源オフ] または [電源再起動] を選択します。
3. [実行] をクリックします。

設定のバックアップ

Web Configで設定した設定値をファイルにエクスポートできます。設定値のバックアップ、スキャナーの置き換え時などに利用できます。

バイナリーファイルでエクスポートされるので編集できません。

設定をエクスポートする

スキャナーの設定値をエクスポートします。

1. Web Configで [デバイス管理] タブ - [設定のエクスポート/インポート] - [エクスポート] を選択します。
2. エクスポートしたい設定を選択します。
チェックが付いた項目の設定値がエクスポートされます。親のカテゴリを選択すると、子のカテゴリが同時に選択されます。ただし、IPアドレスなどネットワーク内に同じ設定値が複数あるとエラーになる項目は選択できないようになっています。
3. エクスポートファイルを暗号化するために任意のパスワードを入力します。
ここで指定したパスワードはインポートするときに必要になります。パスワードを指定しない場合は空白にします。

4. 「エクスポート」をクリックします。

！重要 デバイス名やIPv6アドレスなどのネットワーク情報を含めてエクスポートしたいときは「本体ごとの個別設定を選択可能にする」にチェックを付けて、項目を選択してください。なお、この項目をチェックしてから選択した設定値は、スキャナーの置き換え時のみにお使いください。

関連情報

➡ [「ブラウザでWeb Configを起動する方法」 34ページ](#)

設定をインポートする

Web Configの設定ファイルをスキャナーにインポートします。

！重要 スキャナー名やIPアドレスなどの個別情報を含む設定値をインポートするときは、同一のネットワーク内に同じIPアドレスを持つスキャナーが存在しないことを確認してください。

1. Web Configで「デバイス管理」タブ - 「設定のエクスポート/インポート」 - 「インポート」を選択します。
2. エクスポートされたファイルを選択し、暗号化パスワードを入力します。
3. 「次へ」をクリックします。
4. インポートする設定を選択して「次へ」をクリックします。
5. 「設定」をクリックします。

設定がスキャナーに反映されます。

関連情報

➡ [「ブラウザでWeb Configを起動する方法」 34ページ](#)

初期設定に戻す

スキャナーに保存されているネットワーク設定またはその他の設定を選択して、これらの設定を初期状態に戻すことができます。

1. Web Configを起動し、「デバイス管理」タブ - 「購入時の設定に戻す」の順に選択します。

参考 スキャナーの操作パネルからも設定できます。
「設定」 - 「管理者用設定」 - 「購入時の設定に戻す」

2. 初期化する項目を選択します。

3. 【実行】をクリックします。

この後は、画面の指示に従って操作してください。

高度なセキュリティ設定

ここでは、高度なセキュリティ機能を説明しています。

セキュリティ設定と防止できる脅威

ネットワークにスキャナーを接続すると、離れた場所からアクセスして使用できます。また、スキャナーを共有してたくさんの方が使用でき、業務効率や利便性の向上に役立ちます。反面、不正アクセスや不正使用、データの改ざんなどのリスクも高くなります。インターネットにアクセスできる環境の場合はさらにリスクが高まります。

外部からのアクセスの保護を施していないスキャナーは、本体に記憶しているアドレス帳などをインターネットから読み取ることができてしまいます。

リスクを回避するため、エプソン製スキャナーにはさまざまなセキュリティ技術を搭載しています。

お客様の情報環境での条件に合わせて、スキャナーに必要なセキュリティ設定をしてください。

機能名	どんな機能が	何を設定するのか	何を防止できるのか
プロトコルの制御	スキャナーやコンピューター間の通信で使用するプロトコルやサービスを制御して、機能を有効、無効にします。	機能に対応したプロトコルやサービスを個別に許可、禁止します。	不要な機能を使用できなくすることで、意図されない利用によるセキュリティリスクを軽減できます。
SSL/TLS通信	ブラウザー経由でのコンピューターとの通信やEpson Connect、ファームウェアアップデートなどスキャナーからインターネット上のエプソンサーバーにアクセスするような場合に通信内容がSSL/TLS通信で暗号化されます。	CA署名証明書をCA局から取得し、スキャナーにインポートします。	CA署名証明書によってスキャナーの身分が明確になることで、なりすましや不正アクセスを防げます。また、通信内容がSSL/TLSによって保護されるため、スキャンしたデータの内容や設定情報の漏えいが防げます。
IPsec/IPフィルタリング	特定のクライアントからのデータや、特定の種類のデータだけを通過、遮断する設定ができます。IPsecはIP パケット単位で保護（暗号化および認証）するため、セキュアでないプロトコルも安全に通信できます。	基本ポリシー、個別ポリシーを作成し、スキャナーにアクセスできるクライアントやデータの種類を設定します。	スキャナーへの不正アクセス、通信データの傍受や改ざんを防止できます。
IEEE802.1X	許可された利用者だけがネットワークに接続できるようにします。許可された利用者だけがスキャナーを使用できるようにします。	RADIUSサーバー（認証サーバー）への認証設定をします。	不正なスキャナーへのアクセスや使用を防止できます。

セキュリティ機能の設定

IPsec/IPフィルタリングやIEEE802.1Xなどの設定は、改ざん、傍受などセキュリティのリスク低減のために、SSL/TLS通信でWeb Configにアクセスして設定することをお勧めします。

必ず管理者パスワードを設定してから、IPsec/IPフィルタリングやIEEE802.1Xの設定をしてください。

利用するプロトコルを制御する

スキャンする場合、いろいろな経路やプロトコルからスキャンできます。また、ネットワークスキャンが不特定多数のコンピュータから利用可能になります。

使わない機能やプロトコル、サービスを無効にすることで意図しない経路からの不正なアクセスやスキャンなどのセキュリティリスクを軽減できます。

プロトコルを制御する

スキャナーが対応しているプロトコルの設定をします。

1. Web Configで【ネットワークセキュリティ】タブ - 【プロトコル】を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. 【次へ】をクリックします。
4. 【設定】をクリックします。
設定がスキャナーに反映されます。

関連情報

➡ [「ブラウザでWeb Configを起動する方法」 34ページ](#)

有効・無効が設定可能なプロトコル

プロトコル	特徴
Bonjour設定	Bonjourを使用するかを指定できます。Bonjourは機器の検索やスキャンなどに使われます。
SLP設定	SLP機能の有効・無効が設定できます。SLPはエプソンスキャナーではブッシュスキャン機能やEpsonNet Configでのネットワーク探索に使われます。
WSD設定	WSD機能の有効・無効が設定できます。有効にすると、WSDデバイスの追加やWSDポートからのスキャンができるようになります。
LLTD設定	LLTDの有効・無効が設定できます。有効にするとWindowsのネットワークマップに表示されるようになります。
LLMNR設定	LLMNRの有効・無効が設定できます。有効にするとDNSが使えない状況でもNetBIOSを使用せずに名前解決ができるようになります。

プロトコル	特徴
SNMPv1/v2c設定	SNMPv1/v2cの有効・無効を指定できます。エプソンスキャナーでは機器の設定や監視などに使われます。
SNMPv3設定	SNMPv3の有効・無効を指定できます。エプソンスキャナーでは暗号化した機器の設定や監視などの通信で使われます。

プロトコルの設定項目

Bonjour設定

項目	設定値と説明
Bonjourを使用する	チェックを入れるとBonjourで機器を検索または使用することを許可します。
Bonjour名	Bonjour名が表示されます。
Bonjourサービス名	Bonjourサービス名が表示されます。
ロケーション	Bonjourのロケーションが表示されます。
Wide-Area Bonjour	Wide-Area Bonjourを使用するかどうか設定します。

SLP設定

項目	設定値と説明
SLP機能を有効にする	チェックを入れるとSLP機能が有効になります。 EpsonNet Configでのネットワーク探索に使われます。

WSD設定

項目	設定値と説明
WSDを有効にする	チェックを入れるとWSDを使って、WSDポートからスキャンができます。
スキャンタイムアウト (秒)	WSDスキャンの通信タイムアウト時間を3～3600秒の範囲で入力します。
デバイス名	WSDのデバイス名が表示されます。
ロケーション	WSDのロケーションが表示されます。

LLTD設定

項目	設定値と説明
LLTDを有効にする	チェックを入れるとLLTDが有効になります。有効にするとWindowsのネットワークマップに表示されるようになります。

項目	設定値と説明
デバイス名	LLTDのデバイス名が表示されます。

LLMNR設定

項目	設定値と説明
LLMNRを有効にする	チェックを入れるとLLMNRが有効になります。有効にするとDNSが使えない状況でもNetBIOSを使用せずに名前解決ができるようになります。

SNMPv1/v2c設定

項目	設定値と説明
SNMPv1/v2cを有効にする	チェックを入れるとSNMPv1/v2cを有効にします。
アクセス権限	SNMPv1/v2cを有効にした場合にアクセス権限を設定します。[読み込み専用] または [読み書き可能] を選択します。
コミュニティ名 (読み込み専用)	ASCII (0x20~0x7E) で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
コミュニティ名 (読み書き可能)	ASCII (0x20~0x7E) で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
Epsonツールからのアクセスを許可する	Epson Device AdminなどのEpsonツールからの書き込みを許可するかどうかを設定します。

SNMPv3設定

項目		設定値と説明
SNMPv3を有効にする		チェックを入れるとSNMPv3が有効になります。
ユーザー名		1バイト文字を使って1～32文字以内で入力します。
認証設定		
	アルゴリズム	SNMPv3の認証用のアルゴリズムを選択します。
	パスワード	SNMPv3の認証パスワードを入力します。 ASCII (0x20-0x7E)で表せる8～32文字以内で入力します。 指定しないときは空白にします。
	パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。
暗号化設定		

項目		設定値と説明
	アルゴリズム	暗号化アルゴリズムを選択します。
	パスワード	暗号化パスワードを入力します。 ASCII (0x20-0x7E)で表せる8～32文字以内で入力します。 指定しないときは空白にします。
	パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。
コンテキスト名		Unicode (UTF-8) で表せる32文字以内で入力します。指定しないときは空白にします。言語によって扱える文字数は異なります。

電子証明書を使う

使用できる電子証明書

- CA署名証明書**
 認証機関（CA局）によって署名された証明書です。CA局に申請して取得します。この証明書はスキャナーの実在性を証明し、SSL/TLS通信に使用されるため、データ通信の安全が確保できます。
 SSL/TLS通信に使用する場合は、サーバー証明書として利用されます。
 IPsec/IPフィルタリング、IEEE802.1Xに設定する場合は、クライアント証明書として利用されます。
- CA証明書**
 CA署名証明書のチェーン内の証明書で、中間CA証明書とも呼ばれます。相手サーバーまたはWeb Configにアクセスするブラウザが、スキャナーの証明書パスを検証するために使用されます。
 相手サーバー検証用のCA証明書は、スキャナーからアクセスするサーバーの証明書パスを検証する場合に設定します。スキャナーでは、SSL/TLS通信用のCA署名証明書の証明書パスを証明するために設定します。
 スキャナーのCA証明書は、CA署名証明書を発行したCA局から入手できます。
 また、相手サーバー検証に使用するCA署名証明書は、相手サーバーのCA署名証明書を発行したCA局から入手できます。
- 自己署名証明書**
 スキャナー自らが署名し、発行した証明書です。ルート証明書とも呼ばれます。発行者が自分自身を証明しているので、証明書として信頼性がなく、なりすましは防げません。
 セキュリティー設定をする際にCA署名証明書なしで簡易的にSSL/TLS通信を行う場合に使用してください。
 ブラウザーに証明書の登録がないために、SSL/TLS通信でスキャナーにアクセスするとセキュリティー警告が出ることがあります。自己署名証明書はSSL通信のみで使用できます。

CA署名証明書を設定する

CA署名証明書を取得する

CA署名証明書を取得するにはCSR（証明書発行要求）を生成し、CA局に申請します。CSRはWeb Configかコンピューターで生成してください。

ここではWeb Configから取得する方法を説明します。Web Configで生成したCSRの証明書はPEM/DER形式です。

1. Web Configで[ネットワークセキュリティー] タブを選択し、[SSL/TLS] - [証明書] または [IPsec/IPフィルタリング] - [クライアント証明書] または [IEEE802.1X] - [クライアント証明書] を選択します。

どれを選択しても同じ証明書が取得でき、共通で使用できます。

2. [CSR] の[生成] をクリックします。

CSR生成画面が開きます。

3. 各項目を設定します。

参考 対応している公開鍵長や省略の可否はCA局によって異なる場合があります。申請するCA局のルールに従って記載してください。

4. [設定] をクリックします。

生成されると完了メッセージが表示されます。

5. [ネットワークセキュリティー] タブを選択し、[SSL/TLS] - [証明書] または [IPsec/IPフィルタリング] - [クライアント証明書] または [IEEE802.1X] - [クライアント証明書] を選択します。

6. CA局規定のファイル形式に従い[CSR] のダウンロードボタンをクリックして、CSRをコンピューターにダウンロードします。

！重要 再度CSRを生成しないでください。交付されたCA署名証明書がインポートできなくなります。

7. 保存したCSRをCA局に送付し、CA署名証明書を入手します。

送付方法や送付形態は、CA局の規定に従ってください。

8. 入手したCA署名証明書を、スキャナーに接続しているコンピューターに保存します。

指定場所にCA署名証明書ファイルが保存されたら完了です。

関連情報

➔ [「ブラウザでWeb Configを起動する方法」 34ページ](#)

CSRの設定項目

項目	設定値と説明
公開鍵長	CSRに使用する公開鍵長を選択します。
コモンネーム	1～128文字以内で入力できます。IPアドレスを指定するときは、固定のIPアドレスを設定します。IPv4アドレス、IPv6アドレス、ホスト名、FQDNを「.」カンマで区切って1～5個入力できます。 先頭の要素がコモンネームに格納され、その他の要素は証明書のサブジェクトの別名フィールドに格納されます。 記入例： スキャナーのIPアドレス：192.0.2.123、スキャナー名：EPSONA1B2C3 コモンネーム：EPSONA1B2C3,EPSONA1B2C3.local,192.0.2.123

項目	設定値と説明
組織名/ 部署名/ 市町村名/ 都道府県名	ASCII (0x20-0x7E)で表せる0～64文字以内で入力できます。識別名 (CN) はカンマで分割できます。
国コード	ISO-3166で規定している2文字の国コードを入力します。
送信元アドレス	メールサーバー設定の送信元アドレスを入力できます。[ネットワーク] タブ - [メールサーバー] - [基本] の [送信元アドレス] と同じメールアドレスを入力してください。

CA署名証明書をインポートする

取得したCA署名証明書をスキャナーにインポートします。

- ！重要**
 - スキャナーの日付と時刻が正しく設定されていることを確認してください。証明書が無効である可能性があります。
 - Web Configで生成したCSRで証明書を取得した場合、証明書をインポートできるのは一度だけです。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティー] タブを選択し、次に、[SSL/TLS] - [証明書]、または [IPsec/IPフィルタリング] - [クライアント証明書] または [IEEE802.1X] - [クライアント証明書] を選択します。

2. [インポート] をクリックします。

証明書インポート設定画面が開きます。

3. 各項目に値を入力します。[CA証明書1]、[CA証明書2] はスキャナーにアクセスするブラウザで証明書のパスを検証する場合に設定してください。

インポートの設定内容は、CSRの生成場所や証明書のファイル形式によって異なります。以下を参考にして入力が必要な項目を設定してください。

- Web Configから取得したPEM/DER形式の証明書
 - [秘密鍵] : スキャナーで保持しているため設定しない
 - [パスワード] : 設定しない
 - [CA証明書1] / [CA証明書2] : オプション
- コンピューターから取得したPEM/DER形式の証明書
 - [秘密鍵] : 設定する
 - [パスワード] : 設定しない
 - [CA証明書1] / [CA証明書2] : オプション
- コンピューターから取得したPKCS#12形式の証明書
 - [秘密鍵] : 設定しない
 - [パスワード] : オプション
 - [CA証明書1] / [CA証明書2] : 設定しない

4. 「設定」をクリックします。

インポートされると完了メッセージが表示されます。

参考 「表示」をクリックして証明書情報を検証します。

関連情報

➡ [「ブラウザでWeb Configを起動する方法」 34ページ](#)

CA署名証明書のインポート設定項目

項目	設定値と説明
サーバー証明書 または クライアント証明書	取得したCA署名証明書のファイル形式を選択し、ファイルを指定します。 SSL/TLSの場合、サーバー証明書になります。 IPsec/IP フィルタリング、IEEE802.1Xの場合はクライアント証明書になります。
秘密鍵	コンピュータで生成したCSRでPEM/DER形式の証明書を取得した場合、証明書と対になった秘密鍵ファイルを指定します。
パスワード	ファイル形式が「秘密鍵付き証明書 (PKCS#12)」の場合、証明書取得時に設定した秘密鍵暗号化のパスワードを入力します。
CA証明書1	ファイル形式が「証明書 (PEM/DER)」の場合、サーバー証明書として使うCA署名証明書を発行したCA局の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。
CA証明書2	ファイル形式が「証明書 (PEM/DER)」の場合、CA証明書1を発行した機関の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。

CA署名証明書を削除する

サービスが無効になった証明書や使用していない証明書は削除できます。

！重要 Web Configで生成したCSRで取得した証明書は、一度削除すると再インポートができません。必要な場合はCSRを再生成して取得し直してください。

1. Web Configで「ネットワークセキュリティー」タブを選択します。[SSL/TLS] - 「証明書」または [IPsec/IPフィルタリング] - 「クライアント証明書」または [IEEE802.1X] - 「クライアント証明書」を選択します。
2. 「削除」をクリックします。
3. 確認のメッセージを確認して、削除します。

関連情報

➡ [「ブラウザでWeb Configを起動する方法」 34ページ](#)

自己署名証明書を更新する

自己署名証明書はスキャナーが発行しているので、有効期限が切れた場合や記載している内容に変更があった場合などに更新できます。

1. Web Configで[ネットワークセキュリティ] タブ - [SSL/TLS] - [証明書] を選択します。

2. [更新] をクリックします。

3. [コモンネーム] を入力します。

IPv4アドレス、IPv6アドレス、ホスト名、FQDNを「,」カンマで区切って5個まで、1～128文字以内で入力できます。先頭の要素がコモンネームに格納され、その他の要素は証明書のサブジェクトの別名フィールドに格納されます。

記入例：

スキャナーのIPアドレス：192.0.2.123、スキャナー名：EPSONA1B2C3

コモンネーム：EPSONA1B2C3,EPSONA1B2C3.local,192.0.2.123

4. 証明書の有効期間を選択します。

5. [次へ] をクリックします。

確認画面が表示されます。

6. [設定] をクリックします。

設定がスキャナーに反映されます。

 **参考** [ネットワークセキュリティ] タブ - [SSL/TLS] - [証明書] - [自己署名証明書] にある[表示] をクリックすると証明書の情報が確認できます。

関連情報

➔ [「ブラウザでWeb Configを起動する方法」34ページ](#)

相手サーバー検証用CA証明書を設定する

相手サーバー検証用CA証明書を設定すると、スキャナーがアクセスするサーバーのCA証明書のパスを検証できます。これによってなりすましを防止できます。

相手サーバー検証用CA証明書は相手サーバーのCA署名証明書を発行したCA局から入手できます。

相手サーバー検証用CA証明書をインポートする

相手サーバー検証用CA証明書をスキャナーにインポートします。

1. Web Configで[ネットワークセキュリティ] タブ - [相手サーバー検証用CA証明書] を選択します。

2. [インポート] をクリックします。

3. インポートする相手サーバー検証用CA証明書ファイルを指定します。

4. 「設定」をクリックします。

インポートされると「相手サーバー検証用CA証明書」に戻り、インポートされた相手サーバー検証用CA証明書の情報が表示されます。

関連情報

➡ [「ブラウザでWeb Configを起動する方法」34ページ](#)

相手サーバー検証用CA証明書を削除する

インポート済みの相手サーバー検証用CA証明書を削除します。

1. Web Configで「ネットワークセキュリティ」タブ - 「相手サーバー検証用CA証明書」を選択します。
2. 削除したい相手サーバー検証用CA証明書の「削除」をクリックします。
3. 確認のメッセージを確認して、削除します。
4. 「ネットワーク再起動」をクリックし、更新された画面で削除したCA証明書が一覧にないことを確認してください。

関連情報

➡ [「ブラウザでWeb Configを起動する方法」34ページ](#)

スキャナーとのSSL/TLS通信

SSL/TLS（Secure Sockets Layer/Transport Layer Security）通信でスキャナーにサーバー証明書を設定して、コンピューターとの通信経路を暗号化できます。なりすましや不正アクセスを防ぎたいときに設定してください。

SSL/TLS通信の基本設定をする

HTTPSサーバーに対応しているスキャナーはSSL/TLSで通信できます。Web Configを使ったスキャナーの設定や管理のための通信を安全に行えます。

基本設定では暗号強度とリダイレクト機能を設定します。

1. Web Configで「ネットワークセキュリティ」タブ- 「SSL/TLS」 - 「基本」の順に選択します。
2. 各項目を設定します。
 - 暗号強度
暗号の強度を選択できます。
 - HTTPをHTTPSにリダイレクト
HTTPでのアクセス時に、HTTPSにリダイレクトをします。
 - TLS1.0/TLS1.1/TLS1.2
各バージョンを有効にするか無効にするかを選択します。

3. [次へ] をクリックします。

確認画面が表示されます。

4. [設定] をクリックします。

設定がスキャナーに反映されます。

関連情報

➡ [「ブラウザでWeb Configを起動する方法」 34ページ](#)

スキャナーのサーバー証明書を設定する

1. Web Configで[ネットワークセキュリティー] タブ - [SSL/TLS] - [証明書] を選択します。

2. [使用するサーバー証明書] に使用する電子証明書を選択します。

- 自己署名証明書
スキャナーに内蔵されている自己署名証明書です。CA署名証明書を取得していない場合は選択してください。
- CA署名証明書
スキャナーにCA署名証明書をインポートすると選択できます。

3. [次へ] をクリックします。

確認画面が表示されます。

4. [設定] をクリックします。

設定がスキャナーに反映されます。

関連情報

➡ [「ブラウザでWeb Configを起動する方法」 34ページ](#)

IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する

IPsec/IPフィルタリングの概要

IPsec/IPフィルタリング機能を使用すると、IPアドレス、サービスの種類、受信や送信ポートなどをフィルタリングできます。これらを組み合わせることによって、特定のクライアントからのデータや特定の種類のデータを通過させたり、遮断したりできます。IPsecと組み合わせることによってさらに強固なセキュリティー通信ができます。

 **参考** Windows Vista以降またはWindows Server 2008以降のWindowsは、IPsecに対応しています。

基本ポリシーを設定する

フィルタリングのために基本ポリシーを設定します。基本ポリシーはスキャナーにアクセスする全てのクライアントに影響します。より細かくアクセスを制御するには、個別ポリシーを設定します。

1. Web Configで[ネットワークセキュリティー] タブ - [IPsec/IPフィルタリング] - [基本] を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. [次へ] をクリックします。
確認画面が表示されます。
4. [設定] をクリックします。
設定がスキャナーに反映されます。

関連情報

➡ [「ブラウザでWeb Configを起動する方法」 34ページ](#)

基本ポリシーの設定項目

[基本ポリシー]

項目	設定値と説明
IPsec/IPフィルタリング	IPsec/IPフィルタリング機能を有効または無効にします。

- [通信処理]
IP通信の制御方法を設定します。

項目	設定値と説明
通信を通過	IPパケットの通過を許可するときに選択します。
通信を遮断	IPパケットを遮断したいときに選択します。
IPsecの使用	IPsecで送られたパケットの通過を許可するときに選択します。

- [IKEバージョン]
[IKEバージョン] で [IKEv1] または [IKEv2] を選択します。スキャナーを接続する機器に合わせて選択してください。
- IKEv1
[IKEバージョン] で [IKEv1] を選択すると表示されます。

項目	設定値と説明
認証方式	CA署名証明書をインポートすると [証明書] が選択できるようになります。
事前共有キー	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

- IKEv2
[IKEバージョン] で [IKEv2] を選択すると表示されます。

項目		設定値と説明
ローカル認証	認証方式	CA署名証明書をインポートすると [証明書] が選択できるようになります。
	IDの種類	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、スキャナーを何のIDで認証させるか選択します。
	ID	IDの種類に合わせてスキャナーのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 [識別名] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。=を含めてください。 [IPアドレス] : IPv4またはIPv6形式で入力します。 [FQDN] : 半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1～255文字以内で入力します。 [メールアドレス] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。@を含めてください。 [任意の文字列] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。
	事前共有キー	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

項目		設定値と説明
リモート認証	認証方式	CA署名証明書をインポートすると「証明書」が選択できるようになります。
	IDの種類	「認証方式」で「事前共有キー」を選択した場合、認証相手を表すIDの種類を選択します。
	ID	IDの種類に合わせてスキャナーのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 「識別名」：ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。=を含めてください。 「IPアドレス」：IPv4またはIPv6形式で入力します。 「FQDN」：半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1～255文字以内で入力します。 「メールアドレス」：ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。@を含めてください。 「任意の文字列」：ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。
	事前共有キー	「認証方式」で「事前共有キー」を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

- 「カプセル化」
「通信処理」で「IPsecの使用」を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。

項目	設定値と説明
トランスポートモード	主に同じLAN内だけでスキャナーとIPsec通信をする場合に選択します。IPパケットのレイヤー4以上のデータ部のみが暗号化されます。
トンネルモード	主にIPsec-VPNのようなインターネットが有効なネットワークでスキャナーを接続するときに選択します。IPパケットのヘッダーとデータが暗号化されます。 「リモートゲートウェイアドレス(トンネルモード)」：「カプセル化」で「トンネルモード」を選択した場合、1～39文字以内でゲートウェイアドレスを設定します。

- 「セキュリティープロトコル」
「通信処理」で「IPsecの使用」を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。

項目	設定値と説明
ESP	認証とデータの完全性の保証に加えてデータ全体を暗号化します。
AH	認証とデータの完全性の保証をします。データの暗号化が禁止されていてもIPsec通信ができます。

- [アルゴリズム設定]

全ての設定で[任意]を選択するか、個別に[任意]以外を選択することをお勧めします。一部のアルゴリズム設定[任意]にして、一部を[任意]以外で選択した場合、相手の設定によっては通信ができない場合があります。

項目		設定値と説明
IKE	暗号化アルゴリズム	IKEで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
	認証アルゴリズム	IKEで利用する認証アルゴリズムを選択します。
	鍵交換アルゴリズム	IKEで利用する鍵交換アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
ESP	暗号化アルゴリズム	ESPで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 [セキュリティプロトコル]が[ESP]のときに選択できます。
	認証アルゴリズム	ESPで利用する認証アルゴリズムを選択します。 [セキュリティプロトコル]が[ESP]のときに選択できます。
AH	認証アルゴリズム	AHで利用する認証アルゴリズムを選択します。 [セキュリティプロトコル]が[AH]のときに選択できます。

個別ポリシーを設定する

個別ポリシーは、スキャナーへの各アクセスに適用されるルールです。IPパケットを受け取ったスキャナーはポリシーを参照し、IPパケットを制御します。ポリシーは、個別ポリシー1、個別ポリシー2と順に適用され、最後に基本ポリシーが適用されます。

1. Web Configで[ネットワークセキュリティ] タブ - [IPsec/IPフィルタリング] - [基本] を選択します。
2. 設定したい番号のタブをクリックします。
3. 各項目を設定します。
4. [次へ] をクリックします。
確認画面が表示されます。
5. [設定] をクリックします。
設定がスキャナーに反映されます。

個別ポリシーの設定項目

項目	設定値と説明
この個別ポリシーを有効にする	選択している個別ポリシーを有効または無効にします。

[通信処理]

IP通信の制御方法を設定します。

項目	設定値と説明
通信を通過	IPパケットの通過を許可するときに選択します。
通信を遮断	IPパケットを遮断したいときに選択します。
IPsecの使用	IPsecで送られたパケットの通過を許可するときに選択します。

〔ローカルアドレス（スキャナー）〕

お使いの環境に合ったIPv4アドレスまたはIPv6アドレスを選択します。IPアドレスの取得方法が自動の場合は、〔自動取得したIPv4アドレスを使用する〕が選択できます。

参考 IPv6アドレスが自動取得の場合、リースや有効期限切れで通信できなくなることがあります。固定のIPv6アドレスを設定してください。

〔リモートアドレス（ホスト）〕

通信を制御する機器のIPアドレスを入力します。IPアドレスは43文字以内で入力してください。何も入力しないと、全てのIPアドレスが制御の対象になります。

参考 IPアドレスがDHCPや自動取得（IPv6）の場合、リースや有効期限切れで通信できなくなることがあります。固定のIPアドレスを設定してください。

〔ポート指定方法〕

ポートの指定方法を設定します。

- サービス名
〔ポート指定方法〕で〔サービス名〕を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。
- トランスポートプロトコル
〔ポート指定方法〕で〔ポート番号〕を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。

項目	設定値と説明
全てのプロトコル	全てのプロトコルタイプを制御したい場合に選択します。
TCP	ユニキャストのデータを制御したい場合などに選択します。
UDP	ブロードキャストやマルチキャストのデータを制御したい場合などに選択します。
ICMPv4	pingコマンドを制御したい場合などに選択します。

- ローカルポート番号
〔ポート指定方法〕で〔ポート番号〕を選択し、かつ〔トランスポートプロトコル〕で〔TCP〕または〔UDP〕を選択した場合は、受信パケットを制御するポート番号をカンマで区切って記述します。最大10個指定できます。
例) 20,80,119,5220
何も記述しないと、全てのポートが制御の対象になります。
- リモートポート番号
〔ポート指定方法〕で〔ポート番号〕を選択し、かつ〔トランスポートプロトコル〕で〔TCP〕または〔UDP〕を選択した場合は、送信パケットを制御するポート番号をカンマで区切って記述します。最大10個指定できます。
例) 25,80,143,5220
何も記述しないと、全てのポートが制御の対象になります。

〔IKEバージョン〕

〔IKEバージョン〕で〔IKEv1〕または〔IKEv2〕を選択します。スキャナーを接続する機器に合わせて選択してください。

- IKEv1
〔IKEバージョン〕で〔IKEv1〕を選択すると表示されます。

項目	設定値と説明
認証方式	〔通信処理〕で〔IPsecの使用〕を選択した場合、IPsecのセキュリティプロトコルを選択します。この証明書は基本ポリシーで設定したCA署名証明書と共通です。
事前共有キー	〔認証方式〕で〔事前共有キー〕を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

- IKEv2
[IKEバージョン] で [IKEv2] を選択すると表示されます。

項目		設定値と説明
ローカル認証	認証方式	[通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。この証明書は基本ポリシーで設定したCA署名証明書と共通です。
	IDの種類	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、スキャナーを何のIDで認証させるか選択します。
	ID	IDの種類に合わせてスキャナーのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 [識別名] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。=を含めてください。 [IPアドレス] : IPv4またはIPv6形式で入力します。 [FQDN] : 半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1～255文字以内で入力します。 [メールアドレス] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。@を含めてください。 [任意の文字列] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。
	事前共有キー	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。
リモート認証	認証方式	[通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。この証明書は基本ポリシーで設定したCA署名証明書と共通です。
	IDの種類	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、認証相手を表すIDの種類を選択します。
	ID	IDの種類に合わせてスキャナーのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 [識別名] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。=を含めてください。 [IPアドレス] : IPv4またはIPv6形式で入力します。 [FQDN] : 半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1～255文字以内で入力します。 [メールアドレス] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。@を含めてください。 [任意の文字列] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。
	事前共有キー	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

[カプセル化]

[通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。

項目	設定値と説明
トランスポートモード	主に同じLAN内だけでスキャナーとIPsec通信をする場合に選択します。IPパケットのレイヤー4以上のデータ部のみが暗号化されます。
トンネルモード	主にIPsec-VPNのようなインターネットが有効なネットワークでスキャナーを接続するときを選択します。IPパケットのヘッダーとデータが暗号化されます。 [リモートゲートウェイアドレス(トンネルモード)] : [カプセル化] で [トンネルモード] を選択した場合、1～39文字以内でゲートウェイアドレスを設定します。

[セキュリティープロトコル]

[通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。

項目	設定値と説明
ESP	認証とデータの完全性の保証に加えてデータ全体を暗号化します。
AH	認証とデータの完全性の保証をします。データの暗号化が禁止されていてもIPsec通信ができます。

[アルゴリズム設定]

全ての設定で [任意] を選択するか、個別に [任意] 以外を選択することをお勧めします。一部のアルゴリズム設定を [任意] にして、一部を [任意] 以外で選択した場合、相手の設定によっては通信ができない場合があります。

項目		設定値と説明
IKE	暗号化アルゴリズム	IKEで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
	認証アルゴリズム	IKEで利用する認証アルゴリズムを選択します。
	鍵交換アルゴリズム	IKEで利用する鍵交換アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
ESP	暗号化アルゴリズム	ESPで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 [セキュリティープロトコル] が [ESP] のときに選択できます。
	認証アルゴリズム	ESPで利用する認証アルゴリズムを選択します。 [セキュリティープロトコル] が [ESP] のときに選択できます。
AH	認証アルゴリズム	AHで利用する認証アルゴリズムを選択します。 [セキュリティープロトコル] が [AH] のときに選択できます。

ローカルアドレス（スキャナー）とリモートアドレス（ホスト）の組み合わせ

	ローカルアドレス（スキャナー）の設定値		
	IPv4	IPv6* ²	使用可能な全てのアドレス* ³

リモートアドレス（ホスト）の設定値	IPv4*1	○	×	○
	IPv6*1*2	×	○	○
	空白	○	○	○

*1 「通信処理」で「IPsecの使用」を選択した場合、範囲指定はできません。

*2 「通信処理」で「IPsecの使用」を選択した場合リンクローカルアドレス（fe80::）は選択できますが、個別ポリシーは無効になります。

*3 IPv6リンクローカルアドレスは除きます。

関連情報

➡ [「ブラウザでWeb Configを起動する方法」34ページ](#)

個別ポリシーのサービス名一覧

 非対応のサービスは表示されますが、選択できません。

サービス名	プロトコルタイプ	ローカルポート番号	リモートポート番号	制御できる機能
全て	-	-	-	全てのサービス
ENPC	UDP	3289	任意	Epson Device Adminなどのアプリケーションソフト、スキャナードライバーからのスキャナー探索
SNMP	UDP	161	任意	Epson Device Adminなどのアプリケーションソフト、スキャナードライバーからのスキャナーMIB情報の取得と設定
WSD	TCP	任意	5357	WSDの制御
WS-Discovery	UDP	3702	任意	WSDのスキャナー探索
Network Scan	TCP	1865	任意	Document Capture Proからのスキャンデータの転送
Network Push Scan	TCP	任意	2968	Document Capture Proからのプッシュスキャン時のジョブ情報取得
Network Push Scan Discovery	UDP	2968	任意	スキャナーからのコンピューター探索
FTP データ (リモート)	TCP	任意	20	FTPクライアント（スキャンデータのFTP転送） ただし、制御できるのは20番のリモートポート番号を使用するFTPサーバーのみ
FTP 制御 (リモート)	TCP	任意	21	FTPクライアント（スキャンデータのFTP転送の制御）

サービス名	プロトコルタイプ	ローカルポート番号	リモートポート番号	制御できる機能
CIFS (リモート)	TCP	任意	445	CIFSクライアント (スキャンデータのフォルダー転送)
NetBIOS Name Service (リモート)	UDP	任意	137	CIFSクライアント (スキャンデータのフォルダー転送)
NetBIOS Datagram Service (リモート)	UDP	任意	138	
NetBIOS Session Service (リモート)	TCP	任意	139	
HTTP (ローカル)	TCP	80	任意	HTTP(S)サーバー (Web ConfigやWSDのデータ転送)
HTTPS (ローカル)	TCP	443	任意	
HTTP (リモート)	TCP	任意	80	HTTP(S)クライアント (ファームウェアアップデートやルート証明書の更新)
HTTPS (リモート)	TCP	任意	443	

IPsec/IPフィルタリングの設定例

IPsecで保護されたパケットだけを受け付ける

個別ポリシーを設定しない場合は、基本ポリシーのみ使われます。

〔基本ポリシー〕：

- 〔IPsec/IPフィルタリング〕：〔有効〕
- 〔通信処理〕：〔IPsecの使用〕
- 〔認証方式〕：〔事前共有キー〕
- 〔事前共有キー〕：1～127文字以内の任意文字

〔個別ポリシー〕：設定しない

スキャンデータとスキャナー設定を受け付ける

指定したサービスからのスキャンデータとスキャナー設定の通信を受け付ける場合の例です。

〔基本ポリシー〕：

- 〔IPsec/IPフィルタリング〕：〔有効〕
- 〔通信処理〕：〔通信を遮断〕

〔個別ポリシー〕：

- 〔この個別ポリシーを有効にする〕：チェックを入れる

- [通信処理] : [通信を通過]
- [リモートアドレス (ホスト)] : クライアントのIPアドレス
- [ポート指定方法] : [サービス名]
- [サービス名] : [ENPC]、[SNMP]、[HTTP (ローカル)]、[HTTPS (ローカル)]、[Network Scan] にチェックを入れる

特定のIPアドレスからの通信のみ受け付ける

管理者など特定のコンピューターからの通信のみを受け付ける場合の例です。

[基本ポリシー] :

- [IPsec/IPフィルタリング] : [有効]
- [通信処理] : [通信を遮断]

[個別ポリシー] :

- [この個別ポリシーを有効にする] : チェックを入れる
- [通信処理] : [通信を通過]
- [リモートアドレス (ホスト)] : 管理者用クライアントのIPアドレス

 **参考** ポリシーの設定に関わらず、スキャナーの検索や設定を行うためのプロトコルは使用できます。

IPsec/IPフィルタリングで使用する証明書を設定する

IPsec/IPフィルタリングで使用するクライアント証明書を設定します。設定すると、IPsec/IPフィルタリングの認証方式で証明書を使用できるようになります。なお、相手サーバー検証用の証明書を設定する場合は、[相手サーバー検証用CA証明書]で行います。

1. Web Configで[ネットワークセキュリティ] タブ - [IPsec/IPフィルタリング] - [クライアント証明書] を選択します。
2. [クライアント証明書] 画面で証明書をインポートします。
CA局が発行した証明書をインポートしている場合は、証明書をコピーしてIPsec/IPフィルタリングで使用できます。コピーする場合は、[コピー元] からどの証明書を使うか選択して[コピー] をクリックしてください。

関連情報

➡ [「ブラウザでWeb Configを起動する方法」 34ページ](#)

IEEE802.1X環境にスキャナーを接続する

IEEE802.1Xを設定する

スキャナーにIEEE802.1Xを設定すると、RADIUSサーバーと認証機能を持ったLANスイッチやアクセスポイントに接続されたネットワークで使用できます。

1. Web Configで[ネットワークセキュリティ] タブ - [IEEE802.1X] - [基本] を選択します。

2. 各項目を設定します。

無線LANで使う場合は「無線LAN設定」をクリックしてSSIDを選択するか、入力してください。

参考 ここでの設定値は有線LANと無線LANで共通に使えます。

3. 「次へ」をクリックします。

確認画面が表示されます。

4. 「設定」をクリックします。

設定がスキャナーに反映されます。

IEEE802.1Xの設定項目

項目	設定値と説明	
IEEE802.1X (有線LAN)	[IEEE802.1X] - [基本] 画面で設定した値をIEEE802.1X（有線LAN）に対して有効または無効にするかを選択します。	
IEEE802.1X (無線LAN)	IEEE802.1X（無線LAN）の接続状態が表示されます。	
接続方法	現在のネットワーク接続方法が表示されます。	
認証方式	スキャナーとRADIUSサーバーとの認証方式を設定します。	
	EAP-TLS	CA署名証明書を取得してインポートする必要があります。
	PEAP-TLS	
	PEAP/MSCHAPv2	パスワードを設定する必要があります。
	EAP-TTLS	
ユーザーID	RADIUSサーバーの認証に使うIDを設定します。 ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で1～128文字以内で入力します。	
パスワード	スキャナーを認証するためのパスワードを設定します。 ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で1～128文字以内で入力します。WindowsサーバーをRADIUSサーバーとして使用する場合は、最大127文字になります。	
パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。	
サーバーID	特定のRADIUSサーバーで認証したいときに使用します。設定した文字列が、RADIUSサーバーから送信されるサーバー証明書のsubjectフィールドまたはsubjectAltNameフィールドに含まれているかを検証します。 ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。	
証明書の検証（有線LAN）	[IEEE802.1X（有線LAN）] で [証明書の検証] をする場合は [有効] を選択します。有効にした場合は関連情報を参照して [相手サーバー検証用CA証明書] をインポートしてください。 なお、IEEE802.1X（無線LAN）では証明書の検証は常に有効です。必ず相手サーバー検証用CA証明書をインポートしてください。	
Anonymous名	[認証方式] が [PEAP-TLS] または [PEAP/MSCHAPv2] の場合、PEAP認証のフェーズ1において、ユーザーIDの代わりに匿名を使用したいときに設定します。 ASCII（0x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。	

項目	設定値と説明	
暗号強度	以下のいずれかを選択します。	
	高い	AES256/3DES
	標準	AES256/3DES/AES128/RC4

IEEE802.1Xで使用する証明書を設定する

IEEE802.1Xで使用するクライアント証明書を設定します。設定すると、IEEE802.1Xの認証方式で[EAP-TLS]と[PEAP-TLS]が使用できるようになります。なお、相手サーバー検証用の証明書を設定する場合は、[相手サーバー検証用CA証明書]で行います。

1. Web Configで[ネットワークセキュリティ] タブ - [IEEE802.1X] - [クライアント証明書] を選択します。
2. [クライアント証明書] に使用する電子証明書を設定します。
CA局が発行した証明書をインポートしている場合は、証明書をコピーしてIEEE802.1Xで使用できます。コピーする場合は、[コピー元] からどの証明書をを使うか選択して[コピー] をクリックしてください。

トラブルを解決する

トラブルを解決するための糸口

- エラーメッセージの確認
何らかのトラブルが発生した場合、始めにスキャナーの操作パネルやドライバーの画面などにメッセージが出ていないか確認してください。通知メールを送信するように設定してあると、イベントが発生した場合に素早く状態を把握できます。
- 通信状態を確認する
サーバーやクライアントコンピューターの通信状態をpingやipconfigなどのコマンドを使って確認します。
- 接続テスト
メールサーバーとの接続は、スキャナーから接続テストをすることで確認できます。また、クライアントコンピューターからサーバーへのアクセステストをして通信状態を確認します。
- 設定を初期化する
設定や通信状態に問題がない場合、スキャナーのネットワーク設定を無効にしたり、初期状態に戻して設定をやり直したりするとトラブルが解消する場合があります。

関連情報

- ➡ [「メールサーバーを登録する」125ページ](#)
- ➡ [「操作パネルのエラーメッセージを確認する」164ページ](#)
- ➡ [「イベント発生時にメール通知を受け取る」225ページ](#)

Web Configにアクセスできない

■ スキャナーのIPアドレスが設定されていない

対処方法

スキャナーに有効なIPアドレスが設定されていない可能性があります。スキャナーの操作パネルでIPアドレスを設定してください。スキャナーの操作パネルから現在の設定情報が確認できます。

➡ [「IPアドレスを設定する」212ページ](#)

■ WebブラウザがSSL/TLSの暗号強度に対応していない

対処方法

SSL/TLSには暗号強度があります。Web Configは以下のメッセージ暗号化をサポートしているブラウザで起動できます。使用しているブラウザが対応しているか確認してください。

- 80bit : AES256/AES128/3DES
- 112bit : AES256/AES128/3DES
- 128bit : AES256/AES128
- 192bit : AES256
- 256bit : AES256

■ CA署名証明書の有効期限が切れた

対処方法

証明書の有効期限に問題がある場合、Web ConfigにSSL/TLS通信 (https) で接続したときに「有効期限が切れている」と表示されます。証明書の有効期限内に表示されるときは、スキャナーの時刻が正しく設定されているか確認してください。

■ 証明書とスキャナーのコモンネームが一致していない

対処方法

コモンネームの不一致が起こると、Web ConfigにSSL/TLS通信 (https) で接続したときに「セキュリティー証明書の名前が一致しません...」と表示されます。これは以下のIPアドレスが一致していないために発生します。

- 自己署名証明書の作成や更新時、CSRの作成時にコモンネームで記述したスキャナーのIPアドレス
- Web Configの起動時にブラウザに入力したIPアドレス

自己署名証明書の場合は証明書を更新してください。

CA署名証明書の場合は該当のスキャナー用に証明書を取得し直してください。

■ ブラウザーにローカルアドレスのプロキシサーバー設定がされていない

対処方法

スキャナーでプロキシサーバーを使用する設定にしている場合、ブラウザーでローカルアドレスへの接続にプロキシサーバーを経由しないよう設定します。

- Windows :
[コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [インターネットオプション] - [接続] - [LANの設定] の [プロキシ サーバー] で、LAN (ローカルアドレス) にプロキシサーバーを使わない設定にします。
- Mac OS :
[システム環境設定] (または [システム設定]) - [ネットワーク] - [詳細] - [プロキシ] で [プロキシ設定を使用しないホストとドメイン] にローカルアドレスを登録します。

記入例 :

192.168.1.* : ローカルアドレス 192.168.1.XXX、サブネットマスク 255.255.255.0の場合

192.168.*.* : ローカルアドレス 192.168.XXX.XXX、サブネットマスク 255.255.0.0の場合

■ コンピューターの設定でDHCPが無効になっている

対処方法

コンピューターの設定で、IPアドレスを自動的に取得するDHCPが無効になっている場合は、Web Configにアクセスできないことがあります。DHCPを有効にしてください。

Windows 10の設定例 :

コントロールパネルを開き、[ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] - [アダプターの設定の変更] の順にクリックします。お使いの接続のプロパティ画面を起動し、[インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] または [インターネットプロトコルバージョン6 (TCP/IPv6)] のプロパティ画面を開きます。表示された画面で [IPアドレスを自動的に取得する] が選択されていることを確認します。

セキュリティー設定の初期化

IPsec/IPフィルタリングやIEEE802.1Xなど高度なセキュア環境を構築している場合、設定ミスや機器、サーバーのトラブルなどでデバイスと通信できなくなる可能性があります。この場合、セキュリティー機能を初期化してデバイスの設定をやり直したり、一時的に使用できるようにしたりします。

Web Configからセキュリティー機能を無効化する

Web Configを使って、IPsec/IPフィルタリングを無効にできます。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティー] タブ- [IPsec/IPフィルタリング] - [基本] を選択します。
2. [IPsec/IPフィルタリング] で設定を無効にしてください。

セキュア環境への接続時のトラブル

事前共有キーを忘れてしまった

事前共有キーを再設定する

Web Configの［ネットワークセキュリティ］タブ - ［IPsec/IPフィルタリング］ - ［基本］ - ［基本ポリシー］または［個別ポリシー］の画面でキーを変更します。

事前共有キーを変更したら、相手先コンピュータの事前共有キーの設定もやり直してください。

IPsec通信ができない

スキャナーまたはコンピュータがサポートしていないアルゴリズムを指定している

スキャナーがサポートするアルゴリズムは以下の通りです。コンピュータの設定を確認してください。

セキュリティメソッド	アルゴリズム
IKE暗号化アルゴリズム	AES-CBC-128、AES-CBC-192、AES-CBC-256、AES-GCM-128*、AES-GCM-192*、AES-GCM-256*、3DES
IKE認証アルゴリズム	SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512、MD5
IKE鍵交換アルゴリズム	DH Group1、DH Group2、DH Group5、DH Group14、DH Group15、DH Group16、DH Group17、DH Group18、DH Group19、DH Group20、DH Group21、DH Group22、DH Group23、DH Group24、DH Group25、DH Group26、DH Group27*、DH Group28*、DH Group29*、DH Group30*
ESP暗号化アルゴリズム	AES-CBC-128、AES-CBC-192、AES-CBC-256、AES-GCM-128、AES-GCM-192、AES-GCM-256、3DES
ESP認証アルゴリズム	SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512、MD5
AH認証アルゴリズム	SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512、MD5

*：IKEv2のみ対応

突然通信ができなくなった

証明書のエラーが発生しています

スキャナーに電源供給されない状態が長時間続くと、スキャナー内部の日時がずれることがあります。

IPsec/IPフィルタリングやIEEE802.1Xでクライアント証明書を使用して接続していた場合、スキャナーの日時とクライアント証明書の有効期間にずれが発生すると、スキャナーはエラー表示になります。スキャナーが有効な証明書と認識しなくなるからです。

スキャナーを正しい日時に合わせると解決できる場合があります。スキャナーとコンピュータをUSBケーブルで接続して電源を入れ、Epson Scan 2を使ってUSB経由でスキャンしてください。自動的にコンピュータと同期して正しい日時に設定されます。スキャナーは正常状態の表示になります。

解決しない場合は、スキャナーの操作パネルからネットワーク設定を初期の状態に戻してください。スキャナーとコンピュータをネットワーク接続して再度ネットワークの設定をし、クライアント証明書やIPsec/IPフィルタリング、IEEE802.1Xを設定してください。

スキャナーのIPアドレスが変更された、または使用できなくなった

個別ポリシーのローカルアドレスに登録されているIPアドレスが変更や使用できなくなった場合、IPsecでは通信できなくなります。

スキャナーの操作パネルでIPsecを無効にしてください。

Web Configの [ネットワークセキュリティ] タブ- [IPsec/IPフィルタリング] - [基本] - [個別ポリシー] - [ローカルアドレス (スキャナー)] に設定したIPアドレスが、DHCPのリース切れや再起動、IPv6アドレスの有効期限切れや再取得失敗によって見つからない可能性があります。

IPアドレスは、固定のIPアドレスを使用してください。

コンピュータのIPアドレスが変更された、または使用できなくなった

個別ポリシーのローカルアドレスに登録されているIPアドレスが変更や使用できなくなった場合、IPsecでは通信できなくなります。

スキャナーの操作パネルでIPsecを無効にしてください。

Web Configの [ネットワークセキュリティ] タブ- [IPsec/IPフィルタリング] - [基本] - [個別ポリシー] - [リモートアドレス (ホスト)] に設定したIPアドレスが、DHCPのリース切れや再起動、IPv6アドレスの有効期限切れや再取得失敗によって見つからない可能性があります。

IPアドレスは、固定のIPアドレスを使用してください。

IPsec/IPフィルタリング設定したのにつながらない

設定が間違っている可能性があります。

ネットワーク管理者のコンピュータなど他のコンピュータで、EpsonNet ConfigやEpson Device Adminを使い、MACアドレスからスキャナーにアクセスしてください。MACアドレスは、スキャナーに貼られているラベルに記載されています。

アクセスできる場合は、EpsonNet ConfigやEpson Device AdminでIPsec/IPフィルタリングを設定してください。アクセスできない場合は、スキャナーの操作パネルからネットワーク設定を初期の状態に戻してください。スキャナーとコンピュータをネットワーク接続して再度ネットワークの設定をし、IPsec/IPフィルタリングの設定をやり直してください。

IEEE802.1Xを設定したのにつながらない

IEEE802.1Xの設定が間違っている

スキャナーの操作パネルから無線LANとIEEE802.1Xを無効にしてください。スキャナーとコンピュータを接続して、IEEE802.1Xの設定をやり直してください。

電子証明書使用時のトラブル

CA署名証明書のインポートができない

入手したCA署名証明書と作成したCSRの情報が一致していない

CA署名証明書とCSRは、同一の情報である必要があります。以下の点を確認してください。

- 同時に複数の機器でCSRを作成した場合、一致しない機器に証明書をインポートしようとしたか
情報を確認して、一致する機器にインポートしてください
- CA局にCSRを送付した後、スキャナーに保存されているCSRを再生成したか
再生成したCSRでCA署名証明書を取得し直してください。

入手したCA署名証明書のファイル容量が5KBを超えている

5KBを超えるCA署名証明書は、インポートできません。

証明書をインポートする際のパスワードが正しくない

正しいパスワードを入力してください。パスワードを忘れた場合、証明書をインポートできません。CA署名証明書を取得し直してください。

自己署名証明書が更新できない

コモンネームが入力されていない

〔コモンネーム〕は必ず入力してください。

コモンネームに不正な文字が使用されている

IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式をASCII (0x20-0x7E)で表せる1～128文字以内で指定します。

〔コモンネーム〕にカンマやスペースが使われている

カンマが入力されると〔コモンネーム〕はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

CSRが作成できない

コモンネームが入力されていない

〔コモンネーム〕は必ず入力してください。

コモンネーム、組織名、部署名、市町村名、都道府県名に不正な文字が使用されている

IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式をASCII (0x20-0x7E)で表せる文字で指定します。

コモンネームにカンマやスペースが使われている

カンマが入力されると「コモンネーム」はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

証明書に関する警告が表示された

メッセージ	原因と対処
サーバー証明書を指定してください。	原因： インポートするファイルが指定されていません。 対処： ファイルを選択してから「インポート」をクリックしてください。
CA証明書1の参照先を入力してください。	原因： CA証明書1が未入力で、CA証明書2のみ入力されています。 対処： 先にCA証明書1をインポートしてください。
以下の入力値が正しくありません。	原因： ファイルパスやパスワードに不正な文字が含まれています。 対処： 表示された項目に入力した文字が正しいか確認してください。
日付/時刻が設定されていません。	原因： スキャナーに日付や時刻が設定されていません。 対処： Web ConfigやEpsonNet Configから日付や時刻を設定してください。
パスワードが正しくありません。	原因： CA証明書に設定されているパスワードと入力したパスワードが一致しません。 対処： 正しいパスワードを入力してください。
不正なファイルです。	原因： インポートしようとしたファイルがX509形式の証明書ではありません。 対処： 信頼されたCA局から送付された証明書ファイルを選択しているか確認してください。
	原因： インポートできるファイルサイズを超えています。インポートできるファイルサイズは5KBです。 対処： ファイルが正しい場合、証明書が破損していたり改ざんされていたりする可能性があります。
	原因： 証明書に含まれるチェーンが不正です。 対処： 証明書の詳細はCA局のWebサイトをご覧ください。

メッセージ	原因と対処
3つ以上のCA証明書が含まれたサーバー証明書は使用できません。	原因： PKCS#12形式の証明書ファイルに3つ以上のCA証明書が含まれています。 対処： PKCS#12形式から複数のPEM形式に変換して個別にインポートするか、2つ以下のCA証明書でPKCS#12形式ファイルを再作成してインポートしてください。
有効期間外の証明書です。証明書の有効期間、または日付/時刻設定を確認してください。	原因： 証明書の有効期限が切れています。 対処： - 証明書の有効期限が切れている場合、新しい証明書をCA局から取得してインポートしてください。 - 証明書の有効期限が切れていない場合、スキャナーの日付や時刻の設定が正しいか確認してください。
秘密鍵が必要な証明書ファイルです。	原因： 証明書と対になった秘密鍵がありません。 対処： - コンピューターで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書の場合、秘密鍵ファイルを指定してください。 - コンピューターで生成したCSRで取得したPKCS#12形式の証明書の場合、秘密鍵を含めたファイルを作成してください。
	原因： Web Configで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書を再度インポートしようとしてしました。 対処： Web Configで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書は、一度しかインポートできません。
設定に失敗しました。	原因： スキャナーとコンピューターの通信が遮断された、何らかの原因でファイルが読み取りできない、などの原因で正しく設定できませんでした。 対処： 指定しているファイルや通信状況を確認して、再度インポートしてください。

CA署名証明書を誤って削除した

CA署名証明書をバックアップ保存したファイルがない

CA署名証明書をバックアップ保存したファイルがあれば、それを使って再度インポートしてください。
Web Configで生成したCSRで取得した証明書は、一度削除してしまうと再インポートができません。CSRを再生成して証明書を取得し直してください。

仕様

基本仕様	260
ネットワークの仕様	261
対応している他社サービス	262
USBドライブ仕様	263
スキャナーが使用するポート	263
外形寸法と質量の仕様	265
電気仕様	266
環境仕様	267
対応OS	267

基本仕様

参考 仕様は予告なく変更されることがあります。

型式	ADF付きフラットベッド型カラーイメージスキャナー
画像読み取りセンサー	CIS
有効画素数（原稿台）	10,200×14,040（1,200 dpi）
光源	RGB LED
光学解像度	ADF：600 dpi（主走査）、600 dpi（副走査） 原稿台：1,200 dpi（主走査）、1,200 dpi（副走査）
読み取り解像度	50～1,200 dpi（1 dpi刻み）*1
原稿サイズ	ADF： - 最大：215.9×5,588.0 mm*2 - 最小：105.0×148.0 mm 原稿台： - 最大 215.9×297.1 mm
給紙の向き（ADF）	フェイスアップ給紙
排紙の向き（ADF）	フェイスダウン排紙
最大給紙容量（ADF）	60枚（用紙の厚さ（坪量）が80 g/m ² の場合）
階調	カラー 30 bit入力（RGB各色10 bit入力） 24 bit出力（RGB各色8 bit出力） グレースケール 10 bit入力 8 bit出力 白黒 10 bit入力 1 bit出力
インターフェイス	Hi-Speed USB Hi-Speed USB（ホスト） IEEE 802.11a/b/g/n/ac Ethernet 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
耐久性	ADF：10万枚*3、または5年のいずれか早い方 原稿台：2万枚、または5年のいずれか早い方

*1 コンピューターからスキャンする場合の値です。スキャン方法によってスキャン可能な解像度が異なります。

*2 スキャン方法と解像度によってスキャンできる最長サイズが異なります。詳しくは以下を参照してください。

[「長尺紙の最大長」44ページ](#)

*3 弊社の試験原稿用紙をスキャンした場合の数値であり、お使いの用紙の種類によって耐用枚数は異なります。

ネットワークの仕様

無線LANの仕様

準拠規格	IEEE802.11a/b/g/n ^{*1} /ac		
周波数帯	IEEE802.11b/g/n : 2.4 GHz、IEEE802.11a/n/ac : 5 GHz		
チャンネル	Wi-Fi	2.4 GHz	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13
		5 GHz	W52 (36/40/44/48) ^{*2} 、W53 (52/56/60/64) ^{*2} 、 W56 (100/104/108/112/116/120/124/128/132/ 136/140)
	Wi-Fi Direct	2.4 GHz	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13
		5 GHz	W52 (36/40/44/48) ^{*2}
接続モード	インフラストラクチャー、Wi-Fi Direct (シンプル AP) ^{*3*4}		
無線セキュリティ ^{*5}	WEP (64/128bit)、WPA2-PSK (AES) ^{*6} 、WPA3-SAE (AES)、WPA2/WPA3-Enterprise		

*1 : IEEE802.11n (2.4GHz) はHT20のみ対応

*2 : 屋外使用不可

*3 : IEEE802.11bは非対応

*4 : シンプルAPモードは、無線LAN (インフラストラクチャー) または有線LANとの併用可能

*5 : Wi-Fi DirectはWPA2-PSK (AES) のみ対応

*6 : WPA2規格に準拠し、WPA/WPA2 Personal規格に対応

有線LANの仕様

準拠規格	IEEE802.3i (10BASE-T) ^{*1} IEEE802.3u (100BASE-TX) ^{*1} IEEE802.3ab (1000BASE-T) ^{*1} IEEE802.3az (Energy Efficient Ethernet) ^{*2}
通信モード	Auto、10 Mbps Full duplex、10 Mbps Half duplex、100 Mbps Full duplex、 100 Mbps Half duplex

コネクター	RJ-45
-------	-------

- *1 : 社団法人 VCCI協会の技術基準への適合及び電磁障害のリスク低減のため、カテゴリ 5e 以上のSTP（シールドツイストペア）ケーブルを使用すること
- *2 : IEEE802.3azに対応した接続機器が必要

ネットワーク機能とIPv4/IPv6対応

機能	対応
Epson Scan 2	IPv4、IPv6
Document Capture Pro/Document Capture	IPv4
Epson Connect（スキャン to クラウド機能/スキャンしてクラウドへ）	IPv4
AirPrint	IPv4、IPv6

セキュリティのプロトコル

IEEE802.1X*1	
IPsec/IPフィルタリング	
SSL/TLS	HTTPS（サーバー/クライアント）
TLSバージョン	1.3、1.2、1.1*2、1.0*2
SMTPS（STARTTLS、SSL/TLS）	
SNMPv3	

*1 : IEEE802.1Xに対応した接続機器が必要

*2 : 初期設定では無効

対応している他社サービス

AirPrint	OS X Mavericks (10.9.5)以降
----------	---------------------------

* 最新のMac OSを使用することをお勧めします。

USBドライブ仕様

外部メモリーの種類	サポートする最大容量
USBフラッシュメモリー	2TB（FAT、FAT32、またはexFATフォーマット済みのもの）

以下のドライブは使用できません。

- 専用ドライバーが必要なもの
- セキュリティー（パスワード、暗号化）機能付きのもの

全ての動作を保証するものではありません。

参考 スキャナーに接続しているUSBドライブは、コンピューターからネットワークドライブとして使用することはできません。

スキャナーが使用するポート

スキャナーは以下のポートを使用します。必要に応じてあらかじめネットワーク管理者にポート使用を許可してもらいます。

送信元（クライアント）がスキャナーの場合

用途	送信先(サーバー)	プロトコル	ポート番号
ファイル送信（スキャナー本体のスキャン to ネットワークフォルダー機能利用時）	FTP/FTPSサーバー	FTP/FTPS (TCP)	20
			21
	ファイルサーバー	SMB (TCP)	445
		NetBIOS (UDP)	137
			138
		NetBIOS (TCP)	139
	WebDAVサーバー	Protocol HTTP (TCP)	80
		Protocol HTTPS (TCP)	443
メール送信（スキャナー本体のスキャン to メール機能利用時）	SMTPサーバー	SMTP (TCP)	25
		SMTP SSL/TLS (TCP)	465
		SMTP STARTTLS (TCP)	587
POP before SMTP接続（スキャナー本体のスキャン to メール機能利用時）	POPサーバー	POP3 (TCP)	110

用途	送信先(サーバー)	プロトコル	ポート番号
Epson Connectを利用した機能の利用	Epson Connectサーバー	HTTPS	443
		XMPP	5222
WSDの制御	クライアントコンピューター	WSD (TCP)	5357
アプリケーションソフトからのプッシュスキャン時のコンピューター探索	クライアントコンピューター	Network Push Scan Discovery	2968

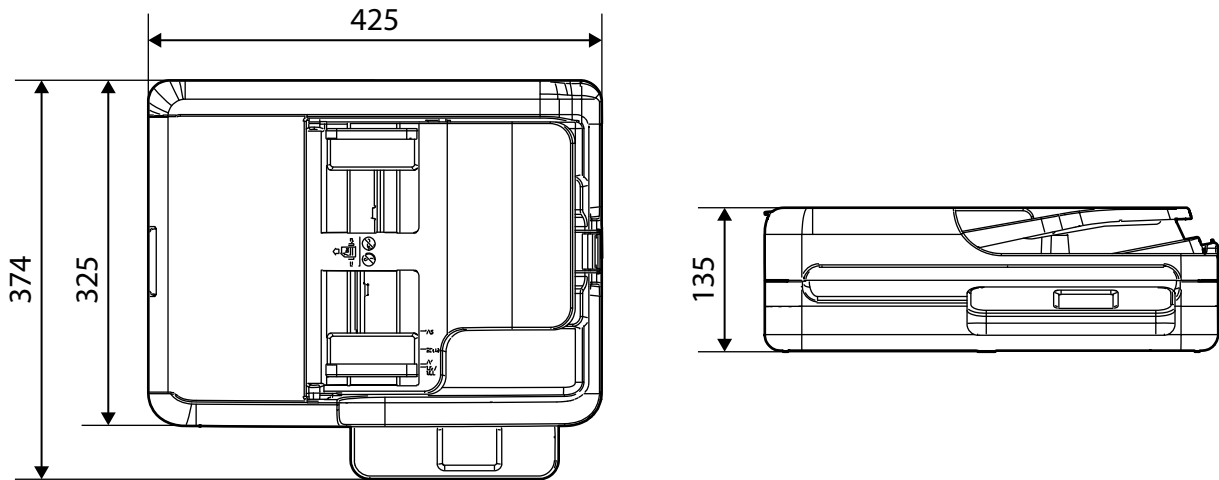
送信元（クライアント）がクライアントコンピューターの場合

用途	送信先(サーバー)	プロトコル	ポート番号
EpsonNet Configなどのアプリケーションソフト、スキャナードライバーからのスキャナー探索	スキャナー	ENPC (UDP)	3289
EpsonNet Configなどのアプリケーションソフト、スキャナードライバーからのスキャナーMIB情報の取得と設定	スキャナー	SNMP (UDP)	161
WSDのスキャナー探索	スキャナー	WS-Discovery (UDP)	3702
アプリケーションソフトからのスキャンデータの転送	スキャナー	Network Scan (TCP)	1865
アプリケーションソフトからのプッシュスキャン時のジョブ情報取得	スキャナー	Network Push Scan	2968
Web Config	スキャナー	HTTP(TCP)	80
		HTTPS(TCP)	443

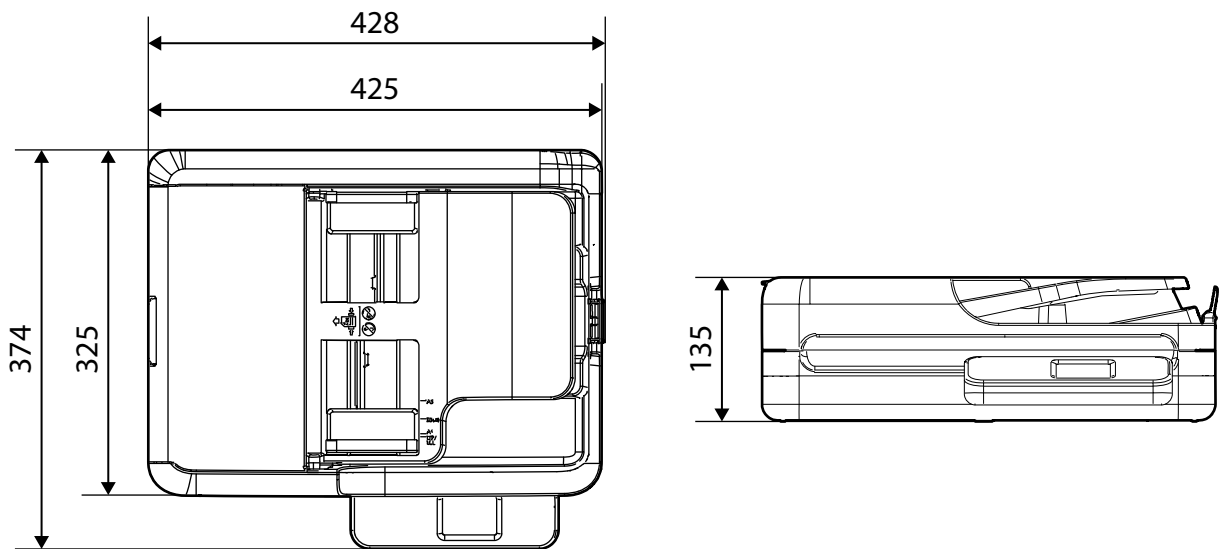
外形寸法と質量の仕様

外形寸法

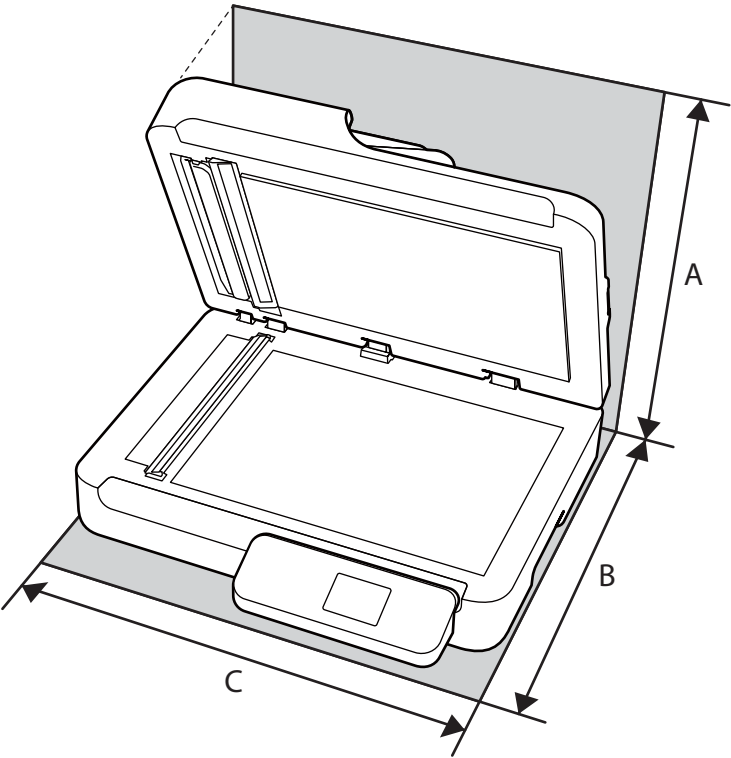
ストッパー収納時 (単位 : mm)



ストッパー展開時 (単位 : mm)



設置スペース（単位：mm）



A	388 mm
B	416 mm
C	428 mm

重さ

約5.1kg

電気仕様

定格電圧	AC 100-240 V （付属の電源コードはAC100V用）
定格周波数	50-60 Hz
定格電流	0.3 A

消費電力	USB接続時 - 動作時：約10.0 W - レディー時：約4.7 W - スリープモード時：約1.0 W - 電源オフ時：約0.1 W 無線LAN接続時 - 動作時：約11.0 W - レディー時：約4.7 W - スリープモード時：約1.3 W - 電源オフ時：約0.1 W 有線LAN接続 - 動作時：約11.0 W - レディー時：約4.6 W - スリープモード時：約1.1 W - 電源オフ時：約0.1 W
------	---

環境仕様

温度	動作時	5～35℃
	保管時	-25～60℃
湿度	動作時	15～80 %（結露なし）
	保管時	15～85 %（結露なし）
動作条件		一般の事務所や家庭で使用する。直射日光の当たる場所や光源の近く、異常にホコリの多い場所での使用は避けてください。

対応OS

対応OSはアプリケーションによって異なります。
最新のOS対応状況はエプソンのウェブサイトをご覧ください。

www.epson.jp/support/taiou/os/

Windows	Windows 7～ Windows Server 2008～*2
Mac OS*1	Mac OS X 10.9.5～、macOS 10.12～

*1 ファストユーザスイッチには非対応

*2 Document Capture ProはWindows Serverには非対応

規格と規制

電源高調波	269
瞬時電圧低下	269
電波障害自主規制	269
著作権	269
複製が禁止されている印刷物	269

電源高調波

この装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2 に適合しています。

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
(社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

電波障害自主規制

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

著作権

写真、書籍、地図、図面、絵画、版画、音楽、映画、プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
(関連法律) 刑法第148条、第149条、第162条 通貨及証券模造取締法第1条、第2条など
以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

サービスとサポートのご案内

エプソンサービスパック	271
お問い合わせ前の確認事項	271
保証書について	271
補修用性能部品および消耗品の保有期間	271
保守サービスの受付窓口	272
保守サービスの種類	272
アフターサポート・サービスのご案内	273

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年等）、出張修理いたします。また、修理のご依頼や故障がどうかかわからない場合のご相談等の受付窓口として、専用のヘルプデスクをご用意いたします。

- スピーディーな対応 — スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心 — 万が一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣して修理いたします。
- 手続きが簡単 — ウェブサイトで必要事項を登録、またはエプソンサービスパック登録書をファクスするだけで、契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化 — エプソンサービスパック規約内・期間内であれば都度修理費用がかからず、維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

お問い合わせ前の確認事項

「故障かな？」と思ったときは、まず本書の「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことをご確認の上、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。

関連情報

- ➡ [「困ったときは」163ページ](#)
- ➡ [「アフターサポート・サービスのご案内」273ページ](#)

保証書について

保証期間中に故障した場合には、保証書の記載内容に基づき修理いたします。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認いただき、ご提示ください。「お買い上げ年月日」「販売店名」の記載がない場合は、保証書と共に、購入の証憑（領収書、納品書等）となるものを添付のうえご提示ください。

保証書は大切に保管してください。

補修性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後7年間です。

予告なく外観や仕様、補修性能部品および消耗品の保有期間などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- 修理のお申し込み窓口

関連情報

➡ [「アフターサポート・サービスのご案内」273ページ](#)

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。

使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細は、お買い求めの販売店、エプソン修理のお申し込み窓口までお問い合わせください。

種類		概要	修理料金	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	• 優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。 • 修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。	年間一定の保守料金	
	持込保守	• お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、お預かりして修理いたします。 • 修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。	年間一定の保守料金	
スポット出張修理		お客様からご連絡いただいて数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。	有償 （出張料のみ） 修理完了後、その都度お支払いください	有償 （出張料＋技術料＋部品代） 修理完了後、その都度お支払いください
引取り修理（ドアto ドア）		• ご指定の日時・場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。お客様による梱包・送付の必要はありません。 • 修理代金とは別に引取料金（保証期間内外とも一律）が必要です。	有償 （引取料金のみ） 修理完了品をお届けしたときにお支払いください	有償 （引取料金＋修理代金） 修理完了品をお届けしたときにお支払いください

種類	概要	修理料金	
		保証期間内	保証期間外
持込修理 送付修理	お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、お預かりして修理いたします。	無償	有償 (基本料+技術料+部品代) 修理完了品をお届けしたときにお支払いください

*： 消耗品（クリーニングキットなど）は保守対象外です。

！重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

アフターサポート・サービスのご案内

●お問い合わせの前に

- サポート情報サイト
最新ソフトウェア、製品マニュアルなど、製品のサポート情報満載のサイトです。
epson.jp/support/
- FAQ（よくあるご質問）
困ったときの対処方法を分かり易く説明しています。
epson.jp/faq/

●製品に関するご質問・ご相談/運用支援

営業日、営業時間の詳細はサポート情報サイトでご確認ください。

- メールで相談する
epson.jp/mail/
- 電話で相談する（エプソンインフォメーションセンター）
050-3155-8077

●修理のお申し込み

豊富な修理メニューをご用意しております。詳細（対象製品など）はウェブサイトでご確認ください。

epson.jp/shuri/

- 出張修理サービス
ご指定の場所へサービスエンジニアを派遣し、その場で修理するサービスです。
 - Webで申し込む
epson.jp/119/
 - 電話で申し込む
050-3155-8600
- 引取修理サービス
ご指定の日時・場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです（有償）。
 - Webで申し込む
epson.jp/door/
 - 電話で申し込む
050-3155-7150

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店またはエプソンダイレクトショップでお買い求めください。

- エプソンダイレクトショップ
epson.jp/shop/
- ご購入相談・ご注文窓口
0120-956-285

●会員制情報提供サイト（MyEPSON）

ユーザー登録していただくと、お客様に商品の最新情報や活用のためのヒントをお届けいたします。

myepson.jp/

●ショールーム

最新のエプソン商品を実際にお試しいただけます。

epson.jp/showall/

上記 050 で始まる電話番号は KDDI 株式会社の電話サービス KDDI 光ダイレクトを利用しています。 本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
--

エプソン販売株式会社

〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

ビジネス（SC） 2022.03